

兼松資料叢書（大正編） 1

日豪間通信

大正期シドニー来状 第I巻

神戸大学 経済経営研究所

2003

日豪間通信

大正期シドニ来状

第I卷

神戸大学経済経営研究所

「店祖」兼松房治郎



シドニー支店長  
北村寅之助

大正7（1918）年  
北村寅之助（左）と  
神戸本店重役の  
前田卯之助（右）



<p style="text-align: center;">中 寄</p> <p>           本報の増刊も切望の報さるりけしけし            格高の増刊博覧も是れは之の如く            正四半刊の如くも火船の二度も有るが故            有るべき也         </p> <p>           本報の増刊も切望の報さるりけしけし            格高の増刊博覧も是れは之の如く            正四半刊の如くも火船の二度も有るが故            有るべき也         </p>	<p style="text-align: center;">本 寄</p> <p>           本報の増刊も切望の報さるりけしけし            格高の増刊博覧も是れは之の如く            正四半刊の如くも火船の二度も有るが故            有るべき也         </p>	<table border="1"> <tr> <td>           昭和二年            /月22日            No. 717.         </td> </tr> <tr> <td>           神ノ本寄文所ノ中            鮎之助様            本報の増刊も切望の報さるりけしけし            格高の増刊博覧も是れは之の如く            正四半刊の如くも火船の二度も有るが故            有るべき也         </td> </tr> </table>	昭和二年 /月22日 No. 717.	神ノ本寄文所ノ中 鮎之助様 本報の増刊も切望の報さるりけしけし 格高の増刊博覧も是れは之の如く 正四半刊の如くも火船の二度も有るが故 有るべき也
	昭和二年 /月22日 No. 717.			
	神ノ本寄文所ノ中 鮎之助様 本報の増刊も切望の報さるりけしけし 格高の増刊博覧も是れは之の如く 正四半刊の如くも火船の二度も有るが故 有るべき也			
<p>           本報の増刊も切望の報さるりけしけし            格高の増刊博覧も是れは之の如く            正四半刊の如くも火船の二度も有るが故            有るべき也         </p>	<p>           本報の増刊も切望の報さるりけしけし            格高の増刊博覧も是れは之の如く            正四半刊の如くも火船の二度も有るが故            有るべき也         </p>	<p>           本報の増刊も切望の報さるりけしけし            格高の増刊博覧も是れは之の如く            正四半刊の如くも火船の二度も有るが故            有るべき也         </p>		
<p>           本報の増刊も切望の報さるりけしけし            格高の増刊博覧も是れは之の如く            正四半刊の如くも火船の二度も有るが故            有るべき也         </p>	<p>           本報の増刊も切望の報さるりけしけし            格高の増刊博覧も是れは之の如く            正四半刊の如くも火船の二度も有るが故            有るべき也         </p>	<p>           本報の増刊も切望の報さるりけしけし            格高の増刊博覧も是れは之の如く            正四半刊の如くも火船の二度も有るが故            有るべき也         </p>		

シドニー 兼紙支店用紙

北村寅之助執筆のシドニー来状

## 本書の刊行にあたって

わが神戸大学経済経営研究所は、伝統ある兼松株式会社の経営原資料『兼松資料』を、永年にわたって架蔵している。

兼松株式会社の軌跡を伝える『兼松資料』の重要性と、その出版の意義は、研究所内で従来から広く認められていたものの、同資料群の総点数は数千点を越えてきわめて膨大であり、そのため遺憾ながら整理と読解は困難であった。しかし今回、懸案であった刊行計画が具体化して、当研究所の藤村聡氏が刊行作業を担当し、広く学界に研究素材として提供できたことは誠に喜ばしい。

本資料は、戦前期の貿易商社の日々の活動を余すところなく活写し、貴重な経営資料であることはもちろん、国際的な諸情勢や日本の社会状況を伝える歴史資料としても興味深く、その重要性は一読すれば容易に評価されると思われる。経済学や経営学、歴史学のほかに、諸分野の様々な研究に活用していただければ幸甚である。

本書の刊行にあたっては、研究所内外の先生方をはじめ、兼松株式会社の御理解と御支援を賜った。思えば大正年間に現在の研究所の前身にあたる商業研究所が開設されて以来、兼松株式会社と神戸大学

経済経営研究所の親密な交誼は、すでに半世紀を遙かに越えて、まもなく百年に達する。末尾ながら多くの方々の御尽力に、厚く御礼を申し上げます。

平成十六年二月吉日

神戸大学経済経営研究所長

西島章次

## 御挨拶にかえて

このたび神戸大学経済経営研究所から、兼松株式会社の資料文献を刊行するにあたり、謹んでその御慶びを申し上げます。

明治二十二年に神戸で発祥した兼松株式会社と神戸大学経済経営研究所の御縁は古く、大正初年に没した創業者兼松房治郎翁の遺志を継ぎ、大正八年に我国の経済、商業、貿易業に関する研究の発達を祈念して、神戸大学（当時の神戸高等商業学校）に研究施設及び研究基金を寄贈しました。その研究施設は「商業研究所」と名付けられ、昭和四年に六甲山麓に移転して、今日の兼松記念館「経済経営研究所」となりました。前庭には兼松房治郎翁の銅像があり、その遺徳が偲ばれています。

そうした深い関係を持つ神戸大学経済経営研究所で、当社の明治期から昭和前期の足跡を伝える「兼松資料」の研究が進み、今回、『日豪間通信 大正期シドニー来状』が刊行されることは、誠に喜びに堪えません。本書の刊行によって戦前期の貿易商社の活動が精彩と共に明らかになり、そして経済学や経営学のさらなる研究の進展に寄与することを祈っております。

平成十六年二月吉日

兼松株式会社 取締役社長

倉地 正

## 凡 例

一、本書は『兼松資料』のうち、神戸本店とシドニー支店の重役の間でかわされた書簡（日豪間通信）から、大正年間にシドニー支店の重役が神戸本店重役に宛てた書簡（シドニー来状）を翻刻したものである。ただし特に重要な内容の場合は、私信や雑多な資料も採集した。第1巻には大正元年（改元された明治四五年を含む）から同三年までの書簡を収録した。

二、「日豪間通信」は日々の取引や商況を記述した業務書簡であり、書簡の記事は原則的に全点記載した。しかし重役や店員の個人的な事柄も稀に含まれており、個人情報（病気名や家庭事情など）を余りに詳細に記述しているものは、プライバシー保護の観点から翻刻を割愛し、その内容を要約するに留めた。ただし加工した数は十箇所程度で、その分量は書簡全体の1%未満にすぎない。記事の選択は当研究所の「兼松資料研究会」の検討を経たうえで決定した。

三、資料原文には「」や（ ）は使用されているので、記事の要約や省略など編集作業で加工した箇所は「」の記号で明示した。

四、資料にはカスレなどで判読できない箇所がある。とりわけ英単語は筆跡が乱雑で判読が困難である事例が多い。判読不可能であった場合は、邦字は□□で、英字のときは……で示した。また原文には句読点はなく、適宜付与した。



五、通貨単位や重量単位のうち、ペンス及びポンドの特殊記号は、本書では「ペンス」「ポンド」とカタカナで表記した。

六、原文で使用されている漢字は、本書ではおおむね当用漢字に変換した。しかし戦前期の書簡であるために、平かなどカタカナが著しく混在するほか、「口仙（口銭）」「記憶（記憶）」「倚頼（依頼）」「成蹟（成績）」「丁子（調子）」といった当て字も頻出する。また同一の固有名詞にも関わらず、記事によって複数の表記がなされる誤謬もあり、例えば同一の船でありながら「シギスモンド」「シギスモント」「キシモント」「シキスマント」などと呼称され、ほかに第七一三・七一六・七五三号信に登場する「リットソン氏」は、同一人物と判断されるものの、第七五五号信には「テレットソン氏」と書かれている。地名では「ブリスバン（ブリスベン）」「アルゼンタイン（アルゼンチン）」といった現在と異なる表現も散見される。通常、それらは（ママ）と添書されるものの、本書ではその数は膨大であるので個々に注記せず、文意が著しく誤解されかねない部分にのみ（ママ）と添書した。

七、各事項の索引は、最終巻に添付する。

（藤村 聡）

# 解 説

## 1 兼松と日豪間通信の概観

### (1) 兼松株式会社の沿革

本書は、神戸大学経済経営研究所が架蔵する『兼松資料』の資料集の一であり、神戸本店とシドニー支店の重役の間でかわされた「日豪間通信」のうち、シドニー支店が神戸本店に宛てた書簡(シドニー来状)の翻刻である。『兼松資料』は明治二二年の創業から昭和一四年頃までの諸資料で構成され、その中心は合計約二三〇〇冊の会計帳簿と約一八〇〇通に達する書簡類(日豪間通信)である。

兼松の沿革と、資料の概略を簡単に述べたい。

兼松株式会社の創業者、兼松房治郎は大阪商船会社の創業者の一人でもあり、また明治二二年には休刊中の大阪毎日新聞社を復活させてその主幹も勤めるなど、起業家タイプの経済人であった。

また兼松房治郎は日本と豪州(オーストラリア)を結ぶ貿易業を宿望しており、四五歳の明治二二(一八八九)年八月、周囲の反対を押し切って「日濠貿易兼松房治郎商店」を神戸で開業した。同社は大正二

(一九一三)年に「合資会社兼松商店」、大正七年に「株式会社兼松商店」、昭和一八(一九四三)年に「兼松株式会社」と変遷した(本稿では同社を「兼松」と略記する)。

創業の商号に表れているように、豪州が海外の最大の営業拠点であり、明治二三年四月にはシドニー支店を開設して、豪州からは主に羊毛を輸入し、日本から豪州へは繊維製品や雑貨を輸出した。

大正前期の売上高を整理しておく(単位は千円)。

大正元年一月～一二月

売上高 七〇〇〇 当期利益 一五〇

大正二年一月～五月(同年五月に合資会社改組により決算期が変更)

同 二二六〇 同 三二二

同年 五月～翌三年三月

同 八〇〇〇 同 一〇三

大正三年四月～翌四年三月

同 七〇〇〇 同 一七二

大正四年四月～翌五年三月

同 一八〇〇〇 同 六六〇

大正五年四月～翌六年三月

同 二二五〇〇 同 六五二  
 大正六年四月〜翌七年三月

同 二〇〇〇〇 同 一〇〇六

また参考までに、明治末年の輸出入商品の品目を表に提示した。豪州から日本への輸入商品は羊毛・トツプ（羊毛製品の種類）・オリーン（オレイン）・牛羊脂など合計約三二〇万円で、売上高の七割が羊毛であった。日本から豪州への輸出品は合計約三二万円であり、その内訳は繊維製品・硝子製品・雑貨類などである。雑貨類は主な商品のみ、その品目を掲載した。輸出品は輸入商品よりも種類が豊富であるものの、売上高は遠く及ばない。この傾向は大正前期においても変わらなかった（なおシドニー来状では、輸出入の基点が豪州になるので読解には注意が必要である。即ち「輸出品」は豪州から日本への輸出品を意味している）。

(2) シドニー来状の執筆者

シドニー支店を統轄したのが、北村寅之助である。北村寅之助は大阪の薬種商で見習いをしたのち、横浜で英語を学び、一八歳で香港の日本人商店に勤務した。そして明治二一年、豪州視察に赴いた兼松房治郎と香港で邂逅し、両者は大いに意気投合して豪州貿易を開拓することを誓ったという。北村は翌二二年

豪州輸出入商品

単位：円

解  
説

輸入商品		輸出商品	
商品名	売上額	商品名	売上額
羊毛	2,162,684	タオル	79,456
トップ	338,058	羽二重類	61,491
オリーン	90,189	板紙	9,624
肥料	322,386	油類	72,408
牛羊脂	44,915	リネン	14,349
牛骨	39,975	ガラス製品	6,963
牛蹄	15,193	雑貨	67,041
牛筋	6,030		
牛黄	6,193	合計	311,332
牛肉越幾斯	111	(雑貨内訳)	
膀胱	4,612	なめし皮	13,297
牛陽	129	綿製品	4,496
製革及生皮	11,399	藁苞	4,489
麻類	1,096	籠類	3,521
馬糧	377	寒天	3,834
小麦	44,619	紙製品	2,468
高瀬貝	14,025	ブラシ	2,356
雑貨	3,479	陶器	1,943
合計	3,105,470	鞆	1,830
		合利	1,794
		木材	1,775
		糸屑	1,479
		樟腦	1,241

九

[明治43年「輸入商品勘定帳」「輸出商品勘定帳」]

の兼松創業に参画し、同三年四月に開店したシドニー支店では支店長（支配人は別称、大正一一年からは現地法人化した豪州兼松の取締役）に就任して、豪州最初の日本人羊毛買付人となって活躍した。神戸本店の勤務経験はなく、短期的な日本帰国を挟みつつも、約四十年にわたり、シドニーに居住して執務した。

兼松房治郎は大正二（一九一三）年二月に六九歳で没し、その後は神戸本店は古立直吉支配人、シドニー支店は北村寅之助が管轄したものの、実質的に北村寅之助が筆頭取締役として同社の最高経営責任者となった。北村は重役の藤井松四郎や前田卯之助、あるいは後に兼松株式会社の初代社長になった林莊太郎の補佐を受けつつ、兼松全体の経営を統括した。第一次大戦中に英国が豪州羊毛を管理徴発した際には、豪州で唯一日本人として英国政府公認の羊毛鑑定人に任命されるなど、羊毛売買においては高い実力を有しており、社内からは「元勳」という尊称を受け、大正中期に導入された定年制（退店年限は重役五五歳、一般店員五〇歳）からも除外されて終身在職した。

しかし北村寅之助は、昭和五（一九三〇）年六月に豪州から日本への航海中に病に罹り、日本に帰着後、神戸で病没した（享年六五歳）。本書に収録したシドニー来状の大部分は、シドニーで支店長として指揮を取っていた同人の執筆によるものである。

北村寅之助が日本に帰国、あるいは羊毛買付でプリズベンなどに出張で不在のときには、同じくシドニー支店に勤務する入江金三郎が代理に執筆している。入江金三郎は大阪商業学校を卒業後、明治三〇（一八九七）年に二四歳で兼松に入店した。明治三八年には東京支店長心得、翌三九年に副支配人に任命され、

同四三年に東京支店長を免じられてシドニー支店に転動した。大正二年には合資会社への改組に伴って無限責任社員の一人になったのち、同四年にシドニーから帰国して神戸本店会計部長、同七年には取締役任に就任している。

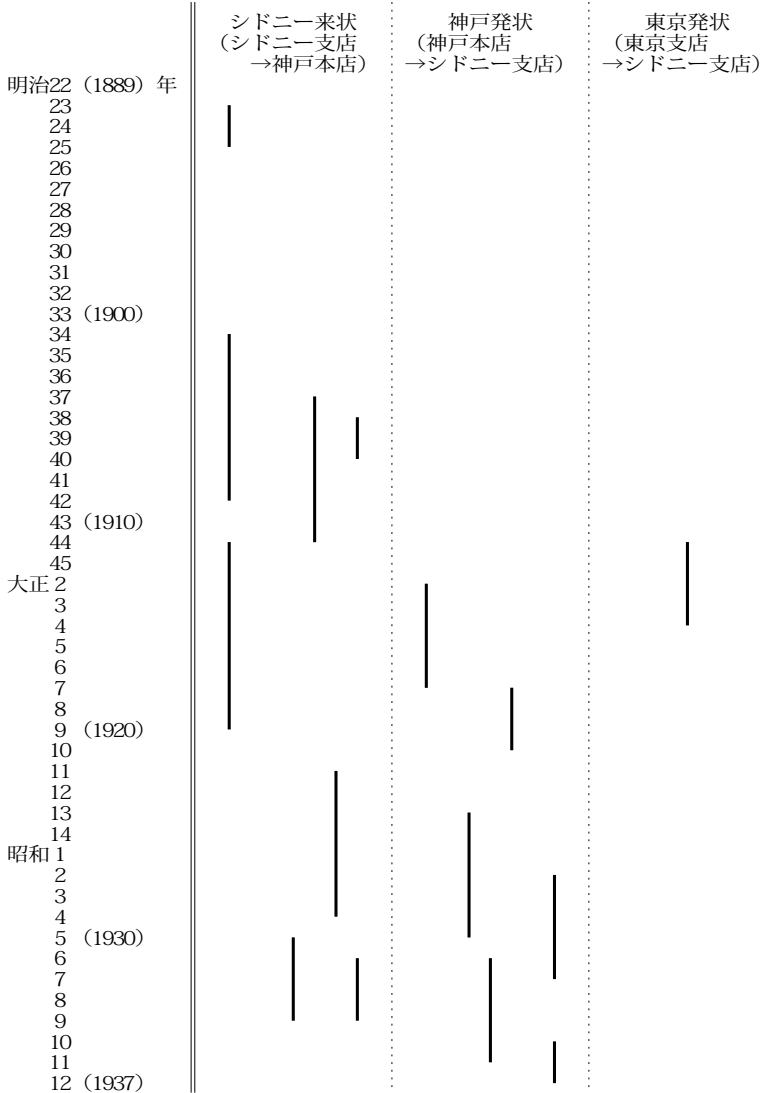
## 2 資料の現状

「日豪間通信」は、シドニー支店が開設された明治三三年四月の第一号信から昭和一二年前後まで、号外信や雑多な通信類も含めて約一八〇〇通が残っている。ただし、それらは完全に連続するわけではなく、各時期に欠落がある。

資料の残存状態を、図に提示した。ここで見るように、シドニー支店が神戸本店に宛てたシドニー来状は、明治三三年四月の支店開設から始まるものの、その後は明治三〇年代前期まで現存しない。神戸本店がシドニー支店に発信した神戸発状は大正初年から残り、東京支店がシドニー支店に出した東京発状も、明治末年から大正前期にかけて短期間ながら存在する。「日豪間通信」は、複数の重役が個別同時に執筆する場合があり、また後年には営業上の重要項目を記載した「特状」と、人事に関する「重状」に分化したことを考慮して、図のラインは一本にまとめていない。

いずれにせよ、シドニー来状、神戸発状、東京発状は完全にはそろっていないが、「日豪間通信」は一方的な通達ではなく、重役間の協議記録という性格も持ち、その時々的重要な問題は必ずどちらかに記述さ

## 日豪間通信の残存状況





れている。従ってシドニー来状と神戸発状を組み合わせれば、約四〇年間の長期にわたって同社の内外で発生した問題とそれに対する討議内容を再現すると共に、経営当事者である重役達の各時点での意識を深く探ることが可能である。

「日豪間通信」には多種多様な事柄が記述されており、社内や個々の取引に留まらず、国内外の社会的政治的な話題も多い。しかし、例えばそれが北村寅之助の執筆ならば、北村個人の思い込みの危険性があり、資料の正確性や客観性には執筆者によるバイアスが存在することにも注意しなければならない。

「日豪間通信」はA4サイズ、半透明の極薄和紙で、各書簡は造本されているか、紐で綴り留められた形態で現在まで残る。本便を執筆する際には、同時にカーボン謄写でコピーが作成された。大正期には作成されたコピーの部数は明かでなく、昭和期は一つの書簡につき、神戸本店宛の本便、メルボルン支店長宛、東京支店長宛、シドニー支店の控え、神戸本店宛に予備として次の船で発送された次便の五通が存在した。メルボルン支店の開設は昭和期であるから、大正期は四通程度が作成されたと推測される。

当研究所に現存する書簡が、はたして何番目のコピーかはさだかでない。書簡によっては受領を示す神戸本店重役の印判が書簡冒頭に捺印されており、オリジナルの本便も含まれている模様である。しかし文字が相当に不鮮明な書簡が多く、また雨水に浸かったせいか、コピーインクが紙面に広がり、まったく読めない書簡も存在する。昭和二〇年頃に社史編纂に携わったある重役は、自分が執筆した書簡は辛うじて意味が把握できるものの、そうでなければ判読は困難だと感想を述べている。

資料の翻刻は藤村が担当し、本学文学部日本史専攻の文化学研究科助手の森田竜雄氏と同研究科博士課程在籍の添田仁氏によって原稿の確認校正を得た。またビジネス関係の用語については、大学院経営学研究所助教の清水泰洋氏から御教示をいただいた。

### 3 大正前期の兼松

ここでは本書の対象になった大正前期の兼松と、シドニー来状の記事に注目する。

大正二年二月に病没した創業者の兼松房治郎の遺志を受け、短期間の匿名組合組織を経たのち、同社は同年五月に合資会社に改組した。北村寅之助、古立直吉、前田卯之助、入江金三郎、四方素、藤井松四郎、そして前年兼松家の継嗣になっていた兼松馨の七名が無限責任社員となり、初代社長には馨氏が就任した（ただし馨氏は独自の事業を企画し、数年後に兼松の経営から離れた）。

兼松の主力輸入商品は豪州羊毛であり、すでに明治四〇年代には、同社は日本最大の羊毛輸入商に成長していた。日本の羊毛輸入総高にしめる同社の比率は、明治四二年度には五八%、同四三年度は六六%、同四四年度は六四%である。当時の兼松の羊毛輸入は、基本的に自己勘定による見込輸入ではなく、毛織メーカーから注文を受けた委託売買であった。

明治末年には三井や大倉組も豪州に進出して羊毛売買を開始し、競合は次第に激しくなった。また羊毛

の最大の販売先であった日本毛織の川西社長は、シドニーに自社の社員を派遣し、独自に羊毛の買付を試みた。派遣された日本毛織の塚脇氏とシドニー支店の間で、口銭率の引き下げをめぐって熾烈な葛藤が生じたことが、第七〇四号信（大正元年七月）や第七三九号信（大正二年七月）から読みとれる。

日本毛織以外に当時の兼松の取引先には、輸入毛糸からモスリンを生産する栗原モスリンや、尾崎に工場があった石鹼製造業のリーバー（現在の日本リーバ、シドニー来状は「LB」と表記している）があった。シドニーでは羊毛の中間製品であるトップを生産するヒューズ氏（Hughes）との交渉が頻出する。そのほか兼松は肥料原料も売買し、大正三年には愛媛県の特約販売店であった清水谷某に対して一万円を超える貸倒れが生じたことが記載されている。

大正三年までのシドニー来状は、日々の細かな取引に関する記述が多いが、同年夏に勃発した第一次世界大戦によって、シドニー来状の内容も一変する。ときには号外信でシドニー市内の状況や、混乱する取引等々を詳細に神戸本店に報じ、戦争に対する個人的な想いも書かれている。戦争は直ちに営業活動に影響した。例えば日本を出航して航海中に開戦となり、未だシドニーに到着しない船を案じる様子や（膠州湾を根拠にしたドイツ艦隊が脅威になっていた）、銀行から要求される戦時保険（war insurance）や信用状削減への対応など、興味深い記事が多い。一時的に景況は沈滞し、兼松の取引も停滞したものの、翌四年から大幅に売上高が増加したことは冒頭で見た通りである。

（藤村 聡）

〈参考文献〉

- 『兼松回顧六十年』（兼松株式会社 一九五〇年）  
『兼松六十年の歩み』（兼松株式会社 一九五五年）  
『KG1974 創業85周年記念』（兼松江商株式会社 一九七五年）  
『KG-100 兼松株式会社創業百周年記念誌』（兼松株式会社 一九九〇年）

# 大正元年シドニー来状

- 第六七号信 明治四五年一月五日 オルデンハム号便 北村寅之助発 ..... 三  
 新年／羊毛／田中技師／NYK／御断
- 第六八八号信 明治四五年一月一三日 コブレンツ号便 北村寅之助発 ..... 六  
 大毛対 Hughes／王子／加古川／正金銀行／鈴鹿醇
- 第六八九号信 明治四五年一月二四日 日光丸便 北村寅之助発 ..... 九  
 四四年度決算／増資／雜貨／塚脇生／鈴鹿醇／賞与金／配当金／貸室／NYK割戻／羊毛／Top  
 ／送品／御礼／鉄鋳／鍊習艦／軍馬補充部
- 第六九〇号信 明治四五年二月一〇日 シギスモンド号便 北村寅之助発 ..... 一七  
 店長／商店組織變更／馨君／信用調／高瀬貝／被服廠／羊毛運賃／東京モスの注文／Estimat  
 Yield／大倉羊毛／馬政技師／正金銀行／サッター氏／鉄鋳／Tops
- 書簡 明治四五年二月九日 北村寅之助発 横浜正金銀行穂積太郎宛 ..... 一六  
 (正金銀行シドニー支店開設延期について)
- 第六九一号信 明治四五年二月二〇日 熊野丸便 北村寅之助発 ..... 一五  
 被服廠／羊毛／Top／清国革命／鉄鋳／山林技師／富永技師／銀価／棉花／棉糸ニ就て／イリス  
 氏

第六九二号信

明治四五年三月一日 臨時船北斗丸便 北村寅之助發

.....

四〇

第六九三号信

明治四五年三月八日 店長／鐵鉞／商店の組織變更／塚脇生／トップ／八幡丸乗客／北斗丸

オルデンハム号便 北村寅之助發

.....

四一

第六九六号信

明治四五年四月一日 店長／千住製絨所／被服廠

日光丸便 入江金三郎發

.....

四二

第六九七号信

明治四五年五月四日 店長／Widdon Top／C.O. Mant 取扱振

プリンスシギスモンド号便 入江金三郎發

.....

四三

第六九八号信

明治四五年五月一日 半季決算／店長／馨君／W. Bros & Hughes／Top 輸出／W. J. Coss／新来日本人

熊野丸便 入江金三郎發

.....

四四

第六九九号信

明治四五年五月二日 店長／馨様／八幡丸／鐵鉞／Mr. Coss／支店家賃／Lloyd 保険／古立支配人／大西君

独乙船便 入江金三郎發

.....

四五

第七〇〇号信

明治四五年六月一日 店長／北村支配人／大毛対 Hughes Preference／干魃／Coss

八幡丸便 入江金三郎發

.....

四六

第七〇一号信

明治四五年六月二六日 日光丸／店長／北村支配人／在外店員待遇／貴信／北村支配人／鐵鉞／塩鮭

独乙船便 入江金三郎發

.....

四七

第七〇二号信	明治四五年七月一〇日	日光丸便	入江金三郎発	.....	六
	店長／Tops／Drum／信用状／NYK広告帖／C. O. Mant／馬匹／加古川 Tops				
第七〇四号信	明治四五年七月二六日	シギスモンド号便	入江金三郎発	.....	七
	聖上御不例／店長／北村支配人／定款草稿／加古川派遣生／藤井君				
第七〇五号信	大正元年八月五日	熊野丸便	入江金三郎発	.....	六
	聖上陛下御崩御／店長／北村支配人／商店組織変更／加古川／玉葱				
第七〇六号信	大正元年八月六日	熊野丸便	入江金三郎発	.....	三
	老店長／組織変更問題／店状写／塚脇博士／御依頼				
第七〇七号信	大正元年九月二日	八幡丸便	入江金三郎発	.....	七
	店長／北村支配人／青木商務官／本店決算／支店手数料／日本毛織／玉葱				
第七〇八号信	大正元年九月一八日	コブレンツ号便	入江金三郎発	.....	三
	北村支配人／半季決算表／海外店員待遇／Brisbane Agent／Brisbane Sale／実印証明				
第七一〇号信	大正元年一〇月二日	日光丸便	北村寅之助発	.....	五
	(帰国中の御礼及び羊毛景況などについて)				
第七一一号信	大正元年一〇月三〇日	熊野丸便	入江金三郎発	.....	六
	Red clause／Union Bank over drawn £5000／大沢氏				

第七二二号信 大正元年一月一六日 ワルデマー号便 北村寅之助発 ..... 一〇〇

店長／為替／玉葱／馬鈴薯／羊毛／本年度決算

第七二三号信 大正元年一月二七日 八幡丸便 北村寅之助発 ..... 一〇五

店長／L B 豆粕／明治製鍊の過磷酸肥料／小麦／鐘詰箱板／鮭鐘詰／羊毛／再啓

第七二四号信 大正元年一月一四日 コブレンツ号便 北村寅之助発 ..... 一〇四

店長／台湾肥料／羊毛／小麦／ウイッドン Top／玉葱訴訟／Ross River Fertilizer／増俸／土産物所分／箱板／軍馬

第七一五号信 大正元年一月二三日 日光丸便 北村寅之助発 ..... 一〇三

羊毛／Whiddon's Top／Hughes／小麦／日光丸／軍馬／種牛／Hughes Top／過磷酸／木戸忠二郎／乾血／空鐘

## 大正2年シドニー来状

第七一六号信 大正二年一月一日 シギスモンド号便 北村寅之助発 ..... 一〇三

恭賀新年／着信／Top 虫害／ハラム渡濠／Whiddon Top／羊毛／豆粕／小麦／Hughes Preference  
継続問題／雑件



第七一七号信	大正二年一月二二日	熊野丸便	北村寅之助発	.....	一三
決算／小麦／Hughes／Whidton Top／羊毛／台湾肥料／商敵					
第七一八号信	大正二年二月八日	ワルデマー号便	北村寅之助発	.....	一四
店長／昨年度決算／商用					
第七二五号信	大正二年四月三〇日	ワルデマー号便	入江金三郎発	.....	一四
北村支配人／支店半季決算／Onion Case／W. Bross Further offer					
号外信	大正二年五月一二日	八幡丸便	入江金三郎発	.....	一五
本期決算／故店長／桑畑岩雄氏／大西君					
第七三九号信	大正二年一月一五日	コブレンツ号便	北村寅之助発	.....	一五
正金銀行／保険率／对加古川口仙／準店員					
第七四〇号信	大正二年一二月二四日	日光丸便	北村寅之助発	.....	一五
古立君／広東古銅鉄／前田君／滝村氏／浅野ブラシ／臨時賞与／貴店上半決算／羊毛運賃割引／加古川手数料					

# 大正3年シドニー来状

第七四一号信 大正三年一月一〇日 プリンスワルデマー号便 北村寅之助発 ..... 一六九

恭賀新年

第七四二号信 大正三年一月二〇日 熊野丸便 北村寅之助発 ..... 一七二

NYK羊毛運賃割引／加古川羊毛／被服廠メB／東毛メB／千住注文

第七四三号信 大正三年一月二七日 セントアルバンス号便 北村寅之助発 ..... 一八二

加古川／東京方面の注文／店員賞与金／ホルスタイン乳牛／保険料割引／小麦／H Top／W Top／牛脂其他／肥料

第七四四号信 大正三年二月一八日 丹後丸便 北村寅之助発 ..... 一九〇

古立君／加古川注文／Hallam 渡濠案／J. Pros 油糟

第七四五号信 大正三年二月二五日 ウイルカニア号便 北村寅之助発 ..... 一九六

小麦／再ヒ加古川注文ニ就て／着信／人操／肥料／赤糖／御倚頼

第七四六号信 大正三年三月七日 シギスモンド号丸便 北村寅之助発 ..... 二〇一

林店員／広瀬幸平翁／加古川对三井の取引振／為替／瀧村氏辞職

第七四七号信 大正三年三月一七日 日光丸便 北村寅之助発 ..... 二〇三

小麦／尼ヶ崎豆油／Hughes の苦情／加古川羊毛品位不同／瀧村氏辞職／〈S〉対肥料	
第七四八号信	大正三年四月四日
NYK割戻し／加古川買入品／瀧村氏／千住注文品／年度決算／紹介人	フルデマー号便
	北村寅之助発
	.....
	三〇
第七四九号信	大正三年四月一日
熊野丸便	北村寅之助発
.....	.....
三二四	
第七五〇号信	大正三年四月二九日
セントアルバンス号便	北村寅之助発
.....	.....
三三〇	
第七五一号信	大正三年四月三〇日
コブレンツ号便	北村寅之助発
.....	.....
三三六	
第七五二号信	大正三年五月九日
丹後丸便	北村寅之助発
.....	.....
三六	
第七五三号信	大正三年五月一九日
羊毛／NZ Crutchings／Hughes Top／Birts Beef Tallows／雜録	イースタン号便
.....	.....
三五三	
第七五四号信	大正三年五月二九日
シギスモンド号便	北村寅之助発
.....	.....
三六〇	
ハラム渡濠／Top 品質／Hughes Rebate／Hughes の他の約定／Top の供給ニ就て／繰業短縮／	

大毛社長／同意書／広東古鉄

第七五五号信 大正三年六月一〇日 日光丸便 北村寅之助発 ..... 二六七

NZ Crutchings／東毛宛羊毛／L B 豆油／肥料／雜貨／商号変更／人操／棉糸相場／雜俎

第七五六号信 大正三年七月一日 ワルデマー号便 北村寅之助発 ..... 二七四

Coss 夫妻／住吉の未亡人／利息勘定／決算表／対加古川口仙

第七五七号信 大正三年七月七日 熊野丸便 北村寅之助発 ..... 二八〇

陸軍交迭／毛織業合同／三井物産重役／小麦／Top／羊毛報告／NZ Crutchings／肥料ニ就し／棉糸下落／松材／人操／Talbot 氏／軍馬

第七五八号信 大正三年七月一〇日 エンパイア号便 北村寅之助発 ..... 二九〇

燐鉍／正金の制限

第七五九号信 大正三年七月一四日 チャンサー号便 北村寅之助発 ..... 二九三

毛織業合同／オリイン／NZ Crutchings／千住行保険

第七六〇号信 大正三年七月二五日 コブレンツ号便 北村寅之助発 ..... 二九八

信用制限／松材／東支移転／羊毛年報／銀価／小麦／御倚頼

第七六一号信 大正三年八月四日 丹後丸便 北村寅之助発 ..... 三〇〇

欧州大戦乱／羊毛月報／信用制限／War Risk／為替の事／煤炭／戒嚴令／Crutchings／生蹄／

羊毛NZ／戦報／玉葱／御倚頼／着信／着電／休市		
号外信（シドニー時事）	大正三年八月四日	（北村寅之助発）
戦争に就て		.....
		三二
第七六二号信	大正三年八月二二日	イースタン号便
NYK出張員／本店決算報告付帯／戦時保険／信用状		北村寅之助発
		.....
		三四
第七六三号信	大正三年八月二四日	タイユアン号便
War Risk／宣戦／信用状と金融／玉葱／肥料／着電		北村寅之助発
		.....
		三九
第七六四号信	大正三年九月三日	日光丸便
御断／NYK特派員／戦報／War Risk／過燐酸／オルデンハム号便		北村寅之助発
		.....
		三〇
号外信（シドニー時事）	大正三年九月四日	北村寅之助発
糠喜び（ドイツ船の行方）／其心中や如何（在豪ドイツ楽隊）／親日論／日本銀行の用心／日本		.....
政府戦事保険／食料品ニ対スル政府ノ保護／独艦隊ニ石炭ヲ供給シタル日本船／戦時保険率／同		.....
盟国領事ノ演説／連邦新内閣／Welcome Rain／First Loss of Australian Ship／電報料値下ケ		.....
／輸出品制限／Victoria 州食糧品直段／商船捕獲／濠州兵出軍／The Season and Crops／英巡		.....
洋艦三隻／日本艦隊来濠／Patriotic Fund		.....
		三六
第七六五号信	大正三年九月三〇日	オルデンハム号便
住吉未亡人／馨君／疏安／加古川口仙問題及ヒ注文／大毛／Hughes Rebate／Whiddon Top／正		北村寅之助発
		.....
		三六

金信用 / War Risk / 赤糖 / 人操

第七六六号信

大正三年一〇月一四日      ベンチャー号便      北村寅之助発

三五三

商店合資ニ改正後第一回決算 / 商要

第七六七号信

大正三年一〇月二三日      丹後丸便      北村寅之助発

三五七

Coblenz / LC / 加古川 / 汐肉 / 馬具 / 下半決算 / 着信 / 信用状 / 大毛重役

第七六八号信

大正三年一二月四日      セントアルバンス号便      北村寅之助発

三五五

過燐酸 / 小麦 / 玉葱 / 決算表 / Hughes top rebate / 露国軍需品 / 汐肉 / 輸出禁止 / 羊毛 / Top  
Conditionning / 銀価 / 人事 / J. Kitchens Ltd / 豆油 / 青島 / 乗馬 / 羊毛再記 / 輸人品

書簡

大正三年一二月二四日

日光丸便

北村寅之助発

横浜正金銀行山川勇木宛

三六一

第七六九号信

大正三年一二月二四日

日光丸便

北村寅之助発

三六三

信用状 / 無為替 / 過燐酸 / セメントカーバイト / 露国軍用品 / War Risk

第七七〇号信

大正三年一二月二四日

常陸丸便

北村寅之助発

三六七

(羊毛船積など)

第七七一号信

大正三年一二月三〇日

モントロ号便

北村寅之助発

三六九

信用状 / 上半季決算 / 松木生 / 高橋生 / 年末賞与 / ハラム / サツター

大正元年  
シドニー来状





第六八七号信 明治45年1月5日 オルデンハム号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店兼松御主人・支配人

新年

の御慶目出度申納居候、先以て御揃、無異御迎歳被遊候御事と遥ニ奉賀候、此方支店一同馬齡を加へ候条、乍慮外御放慮仰上ラレ候

羊毛

Hughes トップジンキ不同の件、御送付見本拝見仕候、如何にも甚敷不体裁ニ御座候、同支配人へ相見セ大ニ訓戒致シ置候、既ニ同伴ニ就ては、サッター老人よりも注意の書面到達致シ居候由ニ御座候、新着の品ハ大ニ改良の実を挙げ居候様祈上候

跡品本日ニ至るも未タ quote 不致、Hughes 不在中ニ付、殊ニ重役会議の上ナラテハ直段申上兼候様申居候、多分、次周プリスバン市場の相場を慥メタル上の事ニ相成候哉ニ被考候間、或は次周末ニアラサレハ、打電の運ニ不至と存候

新年の挨拶旁、被服廠及千住製絨所長宛、別紙之通り(写シ) 礼状差出し置候間、御披見置可被下候

筆者明日出発、プリスバン市場へ出張仕候、十四日迄ニ帰店可仕候

## 田中技師

到着已来、此方多用ニ候得共、何分一人旅行無覺束、然ルニ領事館ニては操合せ不相附由ニ付、不得止、守田又ハ広戸生を通弁として同行為致居候処、是よりメルボルン、アドレード及ヒタスマニア等の山林地方（格別の森林ハ無之候得共）旅行ニ付、是非一人操合せ呉レ度段々の依頼、難断、季節中甚迷惑ニ候得共、又他日何歟の便益と相成候哉も難計と存し、一ヶ月余、広戸生を随行為致候事ニ割愛仕候、而シテ兩人ハ明後夕、先ツメルボルンへ出発の筈ニ御座候  
右御含置可被下候

## N Y K

代理店係員の技倆未熟の処へ、欲張りて多数の荷物を約定致し、大荷主ニして創業已来（同会社）のヒイキニ不係、殊ニ近来壹萬噸の荷主も三五噸の荷主も同一運賃と申す不條理なる取扱を蒙り候上、我等の荷物ニ特別の深切無之、頗る不満足ニ御座候、八幡丸の如き当地の荷物を減少したるニ不抱、ブリスバンの羊毛を残した上、更ニタウンスヴィルのNQ牛脂を再ヒ積残し候等、言語同断ニ御座候、定て貴方も御迷惑と存候得共、致方無之、不悪御用捨可被下候

日光丸も殆ント一杯ニ付、ブリスバン、タウンスヴィル荷物保証不出来杯申、殆ント此方の好意ヲ無視スルヤリ方ノミナラス、實際八ヶ間敷申込居候ものゝ、又々積残りの不都合ヲ演し候哉も難計、此方の羊毛材木等、他船積入不出来の荷物も在之候間、荷透シノ為メ、ブリスバン、タウンスヴィルの脂肪と雜貨だけ、オルデンハム号ニ積入の事ニ決定仕候、或は香港ニテ積替ニ相成

候哉も難計候得共、冬期二付、格別の荷傷ハ在之間敷ト存し、少々危険を犯し申候、不悪御承知願上候

御断

本店各位へ逸々年始状差上可申筈ニ御座候得共、繁文褥礼ニも相成候間、乍略義中止仕候間、平ニ御海容可被成下候様、貴支配人より各位へ御伝言被成下度奉願上候

別封本宅行名刺、乍御手数御届ケ被下度御倚頼申上候

右

北村寅之助

大正元（一九一二年）

第六八八号信 明治45年1月13日 コブレンツ号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、貴信 314 号日光丸便、正ニ拝見仕候

筆者昨日正午、ブリスバンより無事帰店仕候、但し同地よりオルテンハム号便として差出し候書面九日付と致候処、十日認メの誤ニ付、御訂正可被下候

の苦情無事解決の由、藤井君詳報ニ由り了解仕候、双方共頗る紳士の体度ニして、如此協商行届候様ナラハ、何事も円満ニ御座候、然ルニ店報記載之通り 300 正金ニテ弁償の事相成候趣、ハラムより入電の由、Hughes 支配人の話ハ一寸其消息不明ニ御座候

大毛対 Hughes

大毛より種々お大名的御託宣在之候得共、店報ニも記載之通り、Hughes ニ於て出来ルだけ実意ヲ尽し居候以上ハ、あまり我俣の交渉も出来不申候、如何ニも大毛ハ大得意ニ相違無之も、今日の如く、一般ニ日本の各モスリン会社の使用適当と相成候已上ハ、大毛ニ於ても少々お手軟カニ御勘考不被下候ては½片のプレフェンスも永持無覚束候、元来ハ Hughes の人物ハ筆者反対ニ候

得共、而もお慈悲デ買ツテ見ヨウ歟的の時勢ハ、既ニ業々通り越した今日ニ付、能く々々他人の立場ニ成りて御推窮奉願上候

王子  
の減資ハ活発の事ニ候得共、旧株主ハ大頭痛と奉存候、幸ニ雨降りて地固る革新の實の挙ラン

事を祈上候

加古川  
の盛況、御同慶之至ニ御座候、幸ニ三五月の頃ニ成りてA D aの注文ニでも接センコトヲ祈望仕

候、其頃ニはプリスバンニ於テ秋剪りの早廻り新毛、供給可在之見込ニ御座候

正金銀行  
よりへK V支払の手数料秘密調査云々承知仕候、果シテ御来示の如く我等ニ利益の事ニ解釈出来

可申哉否疑問也、彼等ハ政府より莫大の保護金ヲ收受致居候ニ不抱、矢張、自家萬能主義ニ付、

我商店の如き独立独歩誠実の貿易業者ニ対しても相当の信用ヲ与エス、例の支那人の番頭ニ数百

萬円の融通ヲ敢テ承諾スル等言語同断也、玉石混合の悪弊の存在スル限り、萬事御注意大肝要ニ

御座候

相澤君より来示ニ由レハ、当地出張店の事、重役の相談中ナルモ、清国改革の大事變ニ付、少々延引の由ニ御座候

鈴鹿醇

座候  
の件承知仕候、へSへよりも来信在之、愈日光丸にて帰朝の事、申付ケ置候、今更何も申事無御

右

北村寅之助

第六八九号信 明治45年1月24日 日光丸便タウンズヴィル接続

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、貴信 315 号、プーナ号直航便八十七日目ニ早着、開店已来のレコードニ御座候  
御来示の件々及決算報告表、逸々拝見仕候

四四年度決算

書類明詳御送付奉謝候、比較的好成績ニ付、社員配当 15% ニテ、賞与金も店長御収金減少し  
店員分御増加被下候趣、御宏量之程感謝之至ニ御座候、昨年度の操越損（配当増率の為メの）原  
幸氏涙金、等外店員一時賜金等を扣除し、且ツ弍萬円の積立金の外、尚準備滞貸積立金弍萬五千  
余円を得たるは御同慶至極ニ奉存候

増資

愈三十萬円ニ御決定、出資者分配額拝見仕候、筆者を一メ支店一同よりも厚く御礼奉申上候、尚  
一層商店の為メニ尽力不可怠候、新参の広戸生の如きニ迄御分配被下、同人目下、田中技師ニ随  
行不在中ニ候得共、帰店之上ハ大ニ悦可申候哉ニ奉存候

但し此資本額ハ公表せず、公正証書ニ御記録被下候由、御丁寧の段奉恐入候、最も此出資金ハ第  
一回御発布の節の條項ニ符合スヘキ性質ニシテ、店規約束ニ違反の際ニ於ケル出資額引出し等の

## 雜貨

自由、又變動等の事も予メ公正証書ニ記入可然奉存候、御如才ハ在之間敷候得共、為念申添候  
 高瀬貝の停滯ニ付、一時直段切落の為メ、前々収入の利益を犠牲ニして、尚七百三十余円の損勘  
 ニ相成候段、遺憾ニ存候得共、近来、又ホツ々々此方より輸出する者在之位ニ付、不遠、商勢挽  
 回相当の収益ト変更候様奉祈上候

牛骨牛筋等の損勘定と相成候事、少々意外ニ御座候、幸ニ牛蹄の利益と相殺スレハ、大体ニ於て  
 殆ント手一杯ニハ相成候得共、店状よりも申上候通り、近年、是等の品買入上競争劇敷、殊ニク  
 インスラント肉会社製品の如キ最も手段を要し、漸クニして此方へ取入候次第ニして、一廉の利  
 益ニナルニアラサレハ、甚不引合ニ御座候、如何ニも支店の収入一割ハ過重ニ候、併是は所得税  
 の関係より仮定シタルニ過ぎず候得共、是アルガ為メニ、少々の損ニテも大体の損ニハ成ラヌの  
 御感念ニテ販売相成候テハ、此方ニ於て他店の仕入直段よりも割安ニ買送り居候報酬、水泡ト相  
 成候ノミナラズ、何故ニ外商人等高直の品、引続き買送り居候哉不審ニ不堪候、果シテ其地相場  
 低落致し居候ハ、彼等も閉息スヘキ道理ナリ、然ルニ啻ニ中止セサルノミナラズ、我等ヨリズ  
 ント割高ニて、劣等のセリ市出廻り品ヲ買送り継行致し居候事、合点不參候、今日の營業上、雜  
 貨の如きハ眼中ニナキカ如クニ候得共、創業已来、資金薄弱の折柄ニハ相当収益の目的品ナリシ  
 事ニ御座候、按するニ貴方販売上、御如才ハナキナレ共、可成手数ヲ排キ、輸入毎ニ税関波戸場



ニテ売却済の方針カ、如此逆勘算ニ相成候原因ニアラサル乎、矢張、手数と費用相掛り候共、直段不出合の節ハ一旦倉庫ニ入レ、徐々ニ御引締メ御売却被遊候方、利益ニハナラサル歟、敢テ貴店の御取扱振ニ容喙スル次第ニ無之候得共、随分元方骨折レル甲斐もなく、損勘定ヲ見ルニ及ンテ感慨ニ不堪、将来研窮の資料として愚見開陳仕候

塚脇生

費用支給の件、承知仕候、毎月 500 相渡し可申ニ付、此方の伝票貴着迄もナク、該金加古川より御受取可被下候

昨年末及ヒ本年ニ入りテも、殆ント毎日セリ市の日は直入ニ同行致し居候、只々逸々此方の鑑定を説明するの時間無之ニ付、比較対照的ニ直入の研窮致し候様申入居候、来月早々より羊毛学校ニ入学する筈ニ候

鈴鹿醇

愈本船ニテ本日帰朝の途ニ就き申候、別紙へS行書面写、御披見置可被下候、生意氣盛ニ付、二三年の洋行返りが却て防害ニ成ラネハ宜敷歟と同人の将来の為メ配神罷在候

賞与金

「国包生の分を除き、支店諸合計 5375 御振替被下奉謝候

配当金

筆者の分参千円は、本店より拝借金の内へ御入金被成下度奉願上候、而して御手透之節、私勘定

大正元（一九一二年）

二

書御郵送被下候様、會計部へ御下命被成下度候、

他の店員分ハ、各名より夫々処分御倚頼可申上候

貸室

ポツ々々借人在之趣、御同慶申上候、何卒一日も早く充実致候様、遙ニ祈上候、本店御使用の役場及倉庫其他の諸室ニ対スル店賃ハ、如何の御勘定ニ相成居候事ニ哉、心得の為メ御洩し置被下度候

NYK割戻

金の件、御報告奉謝候、羊毛の特別<sup>ニ</sup>割戻<sup>シ</sup>ハ、ナキヨリハましニ御座候得共、先日も申上候通り、大谷助役へも懇々交渉仕置候通り、昨年来、一割々戻し俄然取消ニ相成候義ニ就ては、我等大荷主へハ特別割戻し可在之様、谷井重役ヲ経て御掛合被成下度奉希望候、寧口三社同盟破壊、自由競争と相成候方、我等ハ便益と存候得共、夫も実施六ツケ敷残念ニ奉存候

羊毛

一時不評判の入報にて、大二失望痛歎罷在候処、其後、再好評ヲ得候趣御来示、本懐の至ニ御座候、殊ニ被服廠第三回の千五百俵追加注文ハ少々意外の好餌、加古川予定のAMの追加及東京モスリンの追加等、貴方段々の御尽力ニ由り、本季は多分昨<sup>ニ</sup>比シ、三千俵位取扱増加可仕、随て来季の席順ニ於て下落の患在之間敷、大二欣喜の次第ニ御座候

相場成行等は、店報月報ニ由り、御一読置可被下候

加古川より無經驗の三井物産への割注文ハ、其無鉄砲驚くの外無之、結局、不揃品ヲ高直ニ御買入被遊候事と可相成は、千住納品ニ於ケル東京支店通信と同一筆法と奉存候、塚脇生へも夫となく三井の買方の気楽ナ体度、品物撰択の粗洩、直段付ケの標準不定、儲はセリ市々場発声不經驗の事杯、実地ニ指摘シテ入知恵致し居候間、其内本人より其感念の幾分ハ本社へ報告可致哉と奉存候、本社より同人へハ商業上の通信無之、從て注文の事杯も不知と申居候間、我等も強て外の人の事ハ批評不致事ニ致し居候

Top

ヒュース工場人足の一部ストライキの為メ、又々意外多数の積入不足と相成、大毛ニ対し御氣の毒ニ御座候得共、如何共致方無之、幸ニ昨今複業の運ニ談判行届き候趣、且ツヒュース本人も次周末ニハ歸市可仕候間、跡品のクオテーシヨンも協商可仕考ニ御座候  
今便不足の件ニ付テハ、支配人アンデルソンより筆者への私信、本信ニ添へ寄郵致置候間、藤井君御披見之上、大毛へ弁解の一助ニ供サレ度存候

送品

大毛重役行ヒュースよりの贈品ハ無税ニて通過の由、僥倖ニ御座候、支店輸出の分ハ当地の輸入税 35% 戻り税受取ラヌ為メ、特ニ荷物トシテ積入タル故ニ御座候、貴地の御手数も掛り、又

大正元（一九一二年）

二三

多少税金も相掛り候事ナレ共、其替り原価ニ於テ三四割々安ニ相成居候勘定ニ御座候間、不悪御含置可被下候

東京支店来示の東洋重役へ進上宛ロックウオルビー毛皮一枚（58）、秋洲国平ニ托し今送仕候、是ハ矢張袋鼠の小形の一ニ御座候

御礼  
筆者より御倚頼申上候大坂京都行肉エキス、夫々御転送被下候由奉謝候、又毎月の送金の件も速ニ御手数被成下候趣、是亦御礼申上候

鉄鉞  
過般、キイン氏鉞山より帰市致し候、品質ニ就ても十分有望ニシテ、五百萬噸以上の供給受合と申居候

就ては例の鉞石輸出税案、又は鉄鉞国有案等、労働党の勝手ナ噂在之、加フルニ三井出張員よりも見本供給方申越居候趣、中々油断不相成候

於貴地も無油断御尽力中と存候得共、政府役人の事故ニ此方の望ミ通り急キ呉不申、殊ニ運搬上の設計未定等、示談の進行手間取候事ナルヘキハ、萬々恐察罷在候得共、三井のオセツカイと申シ、元方も慢々と返事の猶予不致等、頗ル心苦敷次第ニ御座候間、何とかして技師の発派と申程

迄御コギ付ケ被下度、乍勝手御尽力の結果承り度、元方の請求ニ由リ、過日發電仕候仕合ニ御座候、日本炭デモ爪哇辺ニ持込ミ、其複航ニ鉦石積取と申様の義も御研窮在之度候

愈検査官の出張と相成候得は、頗る以て不便の地ニ候間、食糧携帯、筆者同伴の覚悟ニ御座候、若し此仕事成就候ハ、本年ハ迎も筆者帰朝の見込無之、旁一層の御骨折を希望致候、三井ニ取レル杯の事在之候テハ、生涯の不面目と奉存候

阿蘇、宗谷ハ予定之通り本月十五日午前七時入港、一昨廿二日午前十時、タウンズウィルへ向け出発仕候、恰も羊毛セリ市中、日光丸輸出荷、非常ニ多用の折柄、毎日来客、筆者ハ多く不在ニ候得共、店員等ハ随分邪魔サレ申候、断ル訳ニハ不参、又添書持参の人杯も在之、東京の益田熊六氏の義弟も再航致候得共、遂ニ特別ニ御馳走する時間も無之、失礼仕候、筆者も毎日の疲労ニ不抱、夜分ハ毎夜御相伴の迷惑を蒙り申候、併近年ハ在留店舗増加ニ付、歓迎会等の費用ハ大ニ助り、今回の如きも割前ハ、£20余のみニ御座候

羊毛季節中、出帆船の前杯、クリスマスも正月も休業なし、本周ニ入り店員ハ毎夜々業、午前二時ニ及ヒ候程ニ御座候、御察可被下候

## 軍馬補充部

員熊野丸にて出張の由、東京支店状ニ由り承知仕候、実ニ廿頭位の安物(種馬ニ比し)にてハ中々収支相償申間敷も、毎年継続の事業ニして、将来発展の望ミ在之トスレハ等閑ニハ相成不申、来着の上ハ精々御周旋可仕候、但し近来馬匹<sup>※</sup>直段、大ニ騰貴仕居候間、士官用トシテ四五十<sup>£</sup>以下ニテハ格好のもの払底ニ御座候、又N Y Kの船ニテハ觀光客の時期、本社の命令ニアラサレハ積取謝絶可致哉ニ存候、聊掛念罷在候

〔※印欄外書込〕

自働車の大発展ニ不抱

余ハ讓次便ニ候、敬具

北村寅之助

第六九〇号信 明治45年2月10日 シギスモンド号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、貴信 316 号、本日七日到達拝見仕候、ブリスバン、ストライキの為メ、日曜の汽車（ピ  
ンケンバより市中間）無之、遂ニ本船にて持越候為メ、一日延着ニ御座候

店長 寒気の御支障も無之、御健勝の趣奉大賀候

商店組織変更 之件ニ付、店長よりも御高見を洩サレ承知仕候、当方別段異存ハ無之候得共、尚支店一同の意見  
を纏メテ、次便御返辞可申上候

馨君 「兼松馨氏の縁談進展について翻刻省略」

信用調 当地興信所を経て取調之上、追て御返事可仕候、但し窒素肥料会社ニハ何歟本店と御関係在之て  
の事ニ哉、普通の倚頼ならハ、可成御引受無之方可然と奉存候、幸ニ評判宜敷先との答ナラハ不  
苦候得共、若し然ラスと御返辞する場合ニハ、他人の事ニ罪造りな仕事ニ御座候

大正元（一九一二）年

高瀬貝

不残御見切売払済の由、帳面勘定奇麗ニ相成、結構ニハ候得共、既ニ大なる損害ニハナラズとの御見込確立して、元価も大ニ切下ケ在之候、又其後、元方ニ於ても安直供給の見込ハ無之、ボタンの工業萎靡不振ナラサル限り、今一入引メ不出来ナリシハ聊ホイ無き感致候、昨年の収益を棒引ニすれハ、損得なしと御アキラメ被遊候事、無理ハナケレ共、多少腰の弱過きを遺憾と致候

被服廠

第三回の注文ハ、非常の御厚配と慶賀罷在候処、其後引続キ第四回六百五十俵と矢継ぎ早ニ昨日又第五回七百俵、合計五千壹百俵の注文は、意外の又意外ニ御座候、究竟、矢野廠長の御高庇ニ由ル義ニ候得共、本店及東京支店の不撓の御尽力、大ニ与りて力ありたる結果と銘謝之極ニ御座候、幸ニ相場ニ格別大なる変化もなく、品物も昨今の分は昨年末輸出分ニ比しては幾分見劣り候事、時勢の然ラシムル処ニて、不得止成行ニ御座候得共、而も一昨年昨年分ニ比してハ、慥ニ向上仕居候間、敢て苦情の起るへしハ難考候、生憎、前六百五十俵買入後発電（既ニ手答へ在之候間、半数位買入之上、直ニ跡注文ヲ促サン歟とも考へタルニハ候得共、相手ハ用意周密ナル矢野氏ニ付、あまりあせり過ぎる傾ありてハ、却テ外ニソレル恐在之候間、全数買付ノ上、打電シタル仕合ニ御座候）致し候為メ、木曜日一日の市場ニ於て適当品二百俵斗買遁し候得共、次周中の出品予定約三萬五千俵と、閉会の周中の約二萬四千俵余の内の一自分合計四萬俵斗の内より、熊の丸出港迄ニ七百俵都合克調弁仕度、夫々配神罷在候



羊毛運賃

NYK積ミ残し、其他近来係員バクスター小天狗ニ相成、取扱振甚不深切ニ付、少々意地づくニ相成居候折柄、社外船北斗丸代理店（前年木材積入ブランチ線同店）より頻りに交渉在之、其船ハ増増の借船と存し、心中甚面白カラヌ旁、ヒヤカシ的ニ普通の半価¼片ニ掛合候処、再三応接の結果、遂ニまけ来り候間、船体の工合抔聞合せ、保険会社も異議無之旁、政府の注文外ハ皆此船と決定致候、尚郵船会社の特別率よりも更ニ四厘方割安ニ相成候間、其一部ハ此船積入如何と存し打電仕候処、矢張、被服廠分はNYK積の事、御來命承知仕候、聊の事ニテ本社の場合ヲ害し、跡直上げ等の杞憂も在之候間、初より社外船ニ積入の考案ハナカリシナレ共、近来ハ例の年未割引も無之ニ付、本店の御収益ニハ成らぬ迄も、運賃半直ハ御得意ニ於て御満足可被下哉ニ存候、殊ニ大倉三井等へハ交渉セヌ事ニ申込置候間、此安率ハ独り兼松商店のみの働キ振り可相成考ニ御座候、殊ニトップも引クルメ¼片承知仕候間、是ハ其差一層隔大ニ付、大毛ニ於ても御満足可被下歟、或は本店の御利益ニ可相成哉も難計と存候（大坂持込何程との御売約ニ付）幸ニ本船ハ海上無事、予定之通りマニラ寄港（メルボルンより馬糧搭載）、神戸直航、夫より横浜へ安着仕候様、神掛け祈居候

但し四五日中ニ当地へ入港、本月廿日頃当地出帆の予定ニ御座候

東京モスの注文

羊毛中 125 標準洗上げ 254 片以上見合せの趣、御尤ニ奉存候、而も特別優等ハ 255 片以下六ツ

ケ敷候間、御指直の範圍ニ於て出来候品にて精々撰抜可仕候、殊ニ東支状中、少々之 Burry は差支無之云々とも在之候間、跡々之試験の爲メ、此種のもの多少買入候哉も難計候

夫ニしても 131 号跡中止の入電ニハ、少々失望仕候、86 片処が御氣ニ入不申歟、或は例の三井一派の歩留り見過しの仮の安直ニ惑乱サレラレ候ニ哉、兎も角、来示着電の日より買入中止仕候、ドチラニシテも適當品は逐日払底ニ相成居候次第ニ御座候

## Estimate Yield

東支来信中、高嶋屋買次き品の歩留り見積ニハ 53/4 ザラにて、甚敷ハ 56% 抔在之候趣アキレ申候、前田君来示之通り、細物メリノにて殊ニ彼等の買次品の柄ニ於て 80% のものがあれハ関の山、我等の瞥見にてハ 48% 留り以上のものハ無之哉ニ存居候、千住及被服共、嚴重の試験強行相成度候、寧ろ高嶋屋の買次仲買人が充分の試験ハナキモノト見クビリ、法外の見積記入致候哉も難計候、尤も三井の井島博士も最高 57% 抔申込居候由、我等皆目合点不參候

好適例ニは近着の「ウールレコード」一月四日付 133 号中、平均の見積表在之、New England 産出 64.5 America 向キ優等品ニテ最高 53/4% と在之候、況ンヤ 70 前後の細物ニ於てハ、特別 Dy コンデションならてハ 50% 以上無覺束次第ニ御座候、此雜誌東京支店へも直接御取寄の事故、前田君早速ニ注目シテ御利用相成居候事と奉存候

千住苦情の成行、今便ニハ何の文通も無之、敢て他人の難義をホヂクル訳ニハ無之候得共、人情トシテ如何ニ落着セシ歟、殊ニ日光熊のの両船分の検査の結果も伺ヒ度存候

見替り品買埋説も立消ヘニ相成候ニ哉、玉木君は日光積出港前より買入中止の姿ニ御座候、殊ニ同船ニ積残りたる七俵は追送ニ不及、当地ニテ転売せよとの電報ニ接せりとてコボシ居候

然ル処、本周ニ入り、73/74 所謂加古川の 131 type ニシテ、我等の希望スル品ニ比し、毛足短カキ品ニして脂肪の多少ハ不苦的の品、少々買出し申候、加之、一昨日ハ GAN 相当の上等品、恰も加古川の A 印位の処直付け致シ居、同日ハ直合が高過キタカシテ買入レサリシも、注文ハ握り居塩梅ニ御座候、果シテ何方よりの注文ニ哉、探知致し度居候、東京支店来信中、大倉の王子乗取策の関連上、或は王子の注文ニ哉？

兎二角、今日迄当市の買入高（セリ市即買のみ、引取之後、買入分ハ不知候得共、又ブリスバン分ハ別也）四千一百六十五俵ニ不過、是ニ対し三井は既ニ三千〇〇六俵を買付け居候、新参者之此活動ハ、我等ニ於ても玉木氏の心中察し居候のみならず、如何ニして三井が如此注文を得し哉、不審ニ御座候

富永老人、熊の丸ニテ無事着ニ相成候間、御申込通一電仕置候

兼て用意は致し置候得共、熊の丸ニテ折返し帰朝とハ難考、木曜島カラテモ電信シテ被下候ハ、

又協商の進歩も可致置二と愚痴二相成申候、尤も十五匹位の事故、都合克纏り可申ならんも、閑院宮殿下の馬車用一双、余程難問題ニ御座候

兎二角、昨夕、マグリツヂ氏付添へ守田同伴、牧場視察馬匹検査トシテ、マスルブルーク地方へ出張相成候、小生ハ迎もお供出来兼候間、守田ヲ派出致候得共、本船出帆前、殊ニ田中技師ニ隨行の広戸生も未だ帰店不致、店方大迷惑御推察可被下候

馬匹十五頭分ハ、買入元価も運賃も正金持参ニ付、此方ニテ支払ヒ保険なしの由伝承仕候、然ルニ宮様の馬代予定二千円ハ兼松ニテ取替へ支払被下度旨、長崎ニ於て電信ヲ受取りタリと申被居候、貴店より何等の御通知無之候得共、慥の人ニ付、代金取替へハ不苦候得共、保険なしニ付、萬一航海中（馬ハ買入レタトシテ）斃死等の災厄ニ罹リ候場合、果シテ陸軍省より責任ヲ重シテ取替金支払呉候哉、聊掛念ナキ能ハス候、多分、熊の丸出発前、ワルデマー号便ニテ此事項ニ付、何分の御来示可被下義と奉存候

正金銀行  
支店開設は暫時延引相成候趣、本月五日來電ニ接し候、別紙返辞写同封仕候間、御披見置可被下居候

サッター氏

へ書面差出し置候、其写も同封仕候間、御閑暇之節、御一読置可被下候

鉄鉞

品質は充分御氣ニ入候得共、直段は門司の。老噸金六円五十錢以上ハ売行見込無之由、而も貴地にて運賃御見積被下候時ハ、運賃たけニ五円五十錢乃至六円も相掛り候由、片荷の關係にて如此方外高率（小麦杯ニ比シテ）ニ相成候事ニ哉？、仰之通り此勘定にては No Hope 候

兎二角、早速元方へ通喋致候通り、都合ニ由リテは会社ニ船ヲ買入ル歟、自家ニ「チャーター」スル歟の考モアル故、入用の噸数聞キタシとの希望ニ付、重ネテ發電致候処、「右値段ニテ売ル見込ナラハ、更ニ交渉シテ検査官派出の相談スル、若シ買ウトスレハ一ケ年五萬噸云々」御返電奉謝候、一ケ年五萬噸とハ少々失望致し、旁少々意味を強くして別紙写之通り申込置候間、左様御承知置被下度候

其後、先方より確たる返事無之、単ニ貴方のみナラス、偕トナルト此方ニても中々手間取り候次第第二御座候、但し一ケ年五萬噸トハ、最初は一個の溶爐の原料的ナルベシ、愈適當スレハ大ニ多額ニ入用アルベシト、先方ハ却テ一人合点致し居候

此件は仕事が多ナルダケ、容易ニ成效六ツケ敷存候、而も幸ニ萬一奏効の暁ニハ、元方ハ五百萬噸の供給在之見込ニ付、仮ニ一ケ年十萬噸輸送致候ても、五十ケ年継続の原料ハアル事ニ候、少々誇大の誹在之候得共、二十紀は鉄の需用更ニ盛大ナルヘク、日本内地ニ於ケル製鋼業も充分發展の余裕在之管ニ付、是非共何と歟、此約束成立候様御尽瘁被下度候、ドーセ手数料ハ聊の割

合ナルヘキも、數量ニ於て兼松商店収益の一廉と相成可申、我等畢世の希望ニ御座候  
 尚元方ニ対してハ乍不及、出来得ル限り誘導不可怠候、会社ニ於ても宝の持腐リニ付、何と歎、  
 金ニスル方法ヲ講セサル可カラサル筈ニ御座候

Tops

Hughes は矢張元の Hughes ニ御座候、同人の印度より帰途、西濠洲着已来、電信往復頻繁ニ致  
 し居候趣、同店員の話ニ御座候、而も我等ニ対し中受けニ致し居候ニ不抱、ハラム生へハ quote  
 致したる塩梅、其返事の確定セヌ間ハ大坂モスニ確答セス、幸ニ相当直段、即チ大毛ヨリも半片  
 高ニテ相当の斤量約定成立、同人の為ニハ利益ナルヘキモ、大毛ニ対スルプレフェレンスの誠意  
 ナキヲ証スルモノと奉存候、同人の弁解は

「大毛ニ対シテハ不在中ニモ多数約定シタルニ付、其上多く入用アルベシト不思折柄、ハラムよ  
 り照会ニ付 quote した其注文と前約済の原料買埋セサレハ羊毛相場見込確立セス、萬一騰貴ヲ  
 示セハ大損トナル故ニ、暫時大毛ニ対し quote 致し難し、強シテ quote せよトナラハ、セザル  
 ニアラサルモ、割合高キ直段ヲ示スノ外なし」 扨申候

「目下、七八月渡しはメBの 18.19 type ニ若干供給出来可申も、是は大毛ニは不向キの品ニ  
 付 quote 差扣々々」

兎も角も、同人より言訳の手紙別紙加封仕候間、大毛へ参考として御披露被下度候  
 尚引続キ適當の直段 quote 致候様、精々勧誘可仕候間、御待合奉願上候

Hughes 書面ニ在之候 type 4 大毛宛四萬斤云々は、全く先般山口嘉蔵より投機的大坂へ売却したる品ニシテ、三四月渡の筈なるも供給不出来ヲ以て謝絶したるも、段々ハラムよりも倚頼在之二付、四五月渡の Cite 廿八片四分ノ一にて約定した、是ハ内証ナル故、日本へハ通知セヌ様呉々も倚頼す云々と申候、按するニ、此件は此方種々掛合の話中、不意ニ口ヲスベラシタ如クニ聞取候、跡ニテ内証云々ト言直し居候事也、元来、此四萬斤は他の重役の關係上、滝村氏より安直（〈K〉よりも）ニ交渉相成候処、意外ニまけ来り不審也との御談議アリシ同口ニ候

然ルニ、当時 Hughes ニ於ては、大毛が他店より（貴信 402 号、昨年九月十八日付及支店 678 号昨年九月廿二日付参照）一片方も割安にて買入候様ならハ、Hughes ハ大坂モスニは quote せず杯、鼻意氣荒く支店ニ申来りたる事ヲ記憶仕居候間、其話を操返し、直段ニ不抱、山嘉ニ対し type 4 ハ供給スヘカラスと将来の利害を解説して、懇々注告ヤラ牽制ヤラ致置候事ナルモ、遂ニ自家の抗議した事迄忘却して山嘉へ供給約定候事、不埒の次第二御座候

尤も直段は如前記とすれハ、御来示の山嘉の大坂へ売却直段と比較すれハ、上記の如く廿七片以上相当ニ付（過日最後の此方直段は 28 片也）、山嘉は無虧共、一片以上の損ヲシテ買約の止ムナキ仕儀とナリタル也、然し損シテも実物ヲ引渡シ得候ハ、大坂モスニ対して不都合ハナキ事ト相成、依然トシテ我等の邪魔ニ相成候事也、而も Hughes の勘定ヨリスレハ、大毛宛よりも半片以上も高く売レル事故承諾セシナルベシ、所謂同人の慣筆法ニシテ（？）約束ニ誠意ナキ

と申所以ニ御座候

乍去、一時遁レの言訳ニセヨ、今後ハ大毛ニ一番ニ offer するとの別紙書面を以て、大坂へハ可然御弁疏置可被下候

過日来、御地サッター氏の書記イリス氏、休暇にて英国より帰神の途、当地滞在中、一再面会仕候、其砌、同氏も Hughes の不信用たる人物ナルを洩し候、局外者の言、敢テ夫程の価値ハナカルヘキモ、嘗テサッター不在中、「大坂モスニ対シテハ、必ス兼松商店ヲ通シテ約定」云々の約アルヲ承認シテ居たるニ、Hughes より直接ニ大毛ニ quote して、是非買入スル様尽力在之度旨来電アリ、自身開封シテ記憶ニ存セリ（恰モ昨年ハラム直接売約セシ八萬封度事件ニ相当ス）杯伝聞致候、蓋し我等は飽迄誠意ヲ以テ勧誘シ、彼我の利益の両全ニシテ信用増加可致様、心掛け居候事ナルモ、何分ニモ実は Hughes の仕事が同人の實力以上ニ相成（起業家トシテハ、中々非凡の才アルカ如キモ）居候様被考、日々のお天気の変化の如く、其時々々ニ手加減セサレハ満足否満足ニ近キ相談も成立六ツケ敷、頗る難物ニ御座候間、此辺能々御推察被下度候

ウイットン会社ニ於て新見本 6 A 試製ニ付、今便發送致候、此品は廿七片 106 と申居候、供給高未定ニ御座候得共、御嗜好ニ適し候ハ、折返し御入用高、御返電被下候ハ、精々掛合可申候、此人も予定よりハ頗る落付キ居、Hughes とも表向キハ妥協黙諾アルカ如キ外見在之候、但し



ヒユースニ於て、ウ氏創業後六ヶ月位ハドーセ活動六ツケ敷、試験的時代トシテ未タ俄ニ重キヲ措キ居ラサル故ト被考候、夫ニしても、ウ氏自家の利益トシテ起業シタル以上ハ、今少々熱心ニ進歩を急キソーナものと存候得共、其事々遅緩ナル、寧口意外ニ御座候  
尚申上度事在之候得共、次便ニ譲り候

右

北村寅之助

追啓、本状の写ヲ東京支店へも直郵仕候

大正元（一九一二年）

三

書簡 明治45年2月9日

北村寅之助↓横浜正金銀行本店にて穂積太郎様

拝啓

本月五日付貴電信、正ニ接手拝見仕候

「開店未定、事ム所探シ方見合セヨ」

敬承仕候、折悪敷、清国革命大事件発生の為メニ哉、御開店決定不仕候由、畢竟、時の問題とハ奉存候得共、御延期之義遺憾不尠候

店舗之件は前郵一寸申上置候通り、今以て頓と思敷場所ニ借家無之、潜ニ心配罷在候折柄ニ付、此点ニ就ては寧口御延期の方、好都合ニ御座候、賃借エゼントの方へハ一時探索方中止申込置候得共、引続き心掛け置、適當の場処発見の砌は、郵信を以て御照会申上候事ニ可仕候

右、不取敢御受迄、草々

北村寅之助

第六九一号信 明治45年2月20日 熊野丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拜啓、爰元前郵後、貴信ニ不接候

ワルデマー号便店状は、昨日及本日ニ到達拝見仕候

大沢大輔氏死去の由驚入候、平生丈夫の老体と存居候処、是急劇の卒去ハ寿命とハ乍申、御氣の毒ニ奉存候、御遺族の方へ可然御慰吊被成下度奉願上候

被服廠

五千百俵の注文ハ、寧ろ意外の意外と存居候処、前報後、突如又一千五百俵の注電ニ接し如夢驚喜仕候、電暗の間違ニアラス哉と再三係員へ調査為致候得共、全く間違無之、俄二元氣引立ち申候、同廠會計年度未剰余金の関係ニモ由ル義ナルヘキも、清国革命戦争ニ付テ多少の間連ナシトセサル歟とも被考候、而も矢野氏の此多数の注文ハ、全く兼松ヒイキの結果と深く感謝スル処ニ御座候、旁少々余計ナ事の様ニ候得共、以電信御礼御伝言方御願申上候処、引返し貴方より支店の迅速ナル取扱ニ付御謝辞ヲ辱シ、却テ畏縮の至ニ御座候

大正元（一九一二）年

元

如前報七百俵の注文ハ、前周中ニ撰買の覚悟ニ在之タル折柄、更二千五百俵追加ニ付、此分合計二千二百俵ヲ本船ニ積入候事ハ、内心大ニ杞憂不懃候処、天佑ニシテ相応ニ適当品出品在之、殊ニ時節柄一旦引込ミ、再ヒ目錄ニ上シタルモノ多々在之、加フルニ英国筋ハ、不相更、高直ハ買進マス、大陸筋も殆ント満腹の姿、其中独逸ハ引続キ買出し候得共、仏国ハ内地の機業不進の由ニテ大ニ下火ニ相成、旁我等の注文品ハ思ふ坪ニハマリ、晩季ニ不抱、強テ無理せず、あまり見劣リナキ品相揃ヒ申候、之ヲ日割ニ明記すれハ、セリ市々場ニ於て落槌分

十二日 668 俵 十三日 397 俵

十四日 168 俵 十五日 866 俵 (此日ハ〈K〉一番買高)

此外、付直引込後、買入レタルモノ、プラベーニテ買入タルモノ等、合計式千四百四十九俵買取申候、而シテ此内D印宛式千二百三十二俵アル事ニ御座候、一周間内トシテハ、近年の買高二御座候

此処三十二俵過上の如キニ候得共、45%留り予算、目方よりハ一俵の斤量割合輕ク相成居候ニ付、被服廠御予算ニ引当レハ、尚二百俵位ハ不足勘定と相成候趣、入江君の計上ニ御座候、併時日も無之、本周ニ入りテハ再度の出品中、少々ハ上等品在之候得共、其他ハ殆ント蔵浚のものニ付、イゲツナク全数取集メ候よりハ、此辺の処ニテ手奇麗ニ帳メニ致候方、矢野氏の感情も宜

敷カルヘク奉存候

右二付、前々周買入分共、本船積合計は 3732 俵ニ相成申候、而して此一枚のインホイス金高  
£52, 260. 1. 5 は、記臆すべくレコードと奉存候

羊毛

其他の買入品區別、北斗丸の件は前信之通り在之、尚別紙店状、御参照被成下度候

月報は恰も明後日ヲ以テ周市終会ニ相成候間、今便ハ中途半ニ相成候旁、次便ヲ以テ御報告可仕  
候、唯今の市況は先以保合ニ御座候得共、如前記、優等品の外ハ少々弱含ニ御座候

次の当地のセリ市ハ、三月下旬開会之筈

次のブリスバンセリ市は、同地ストライキ未タ全く回復不仕候為メ、未タ定まらず、併三月中旬  
ニ、二萬俵以下の出品ヲ以テ立会可申哉の噂ニ御座候

跡ハタウンスヴィル接続便ニテ追啓可仕候

以下、二月廿一日夕認

大正元（一九一二年）

三

前郵之通り Hughes の掛引強く、寧ろ商売ハ下手の方と奉存候、段々交渉、漸く quote すれハ意外の割高の事、申出候為メ打電致候得共、貴方よりハネ付けられ候仕合ニ候、其後又、然ラハ前 quote より各 type ヲ通して半片ツ、直引スルトスレハ（スルトハ断言セズ、一応重役会議云々杯申受ケナコトヲ申居候）注文アルヘキ哉杯申居候間、更ニ發電御伺致候得共、未タ貴答ニ接せず、定メて御思案中と存候

此節、同人ハセリ市にて、所謂 Top Makers Lot と唱へ候毛の内ニても、運賃不用の為メ、土氣多キモノ、Skirt 混合のもの杯劣等品のみ買入居、千住被服廠の RD 杯よりもズント下等のものト pieces 杯も買入居候、其他、スカート杯も可也の品ハ、少々テンダー、又は短毛杯ヲ不厭 (Gsy. Scd 共) 原料買埋メ居候、此の如キ原料ニ加フルニ Skin Wool 杯混和して拵ヘタル Top ハ、敢テ加古川其他の如く好適優等原料の Top とハ比較ニハナラヌ筈ニ御座候、而もヒュースニ一日の長アリ、其製品が大坂東京モスリンの原料ニ適スルトセハ、加古川の如く初メヨリ優等モスリン製出の御計画ニアラサルヨリハ、単ニ Top トシテ使用セハ Hughes ハ勿論、欧州製のトップニモ匹敵難致場合と相成不申哉と頗る掛念罷在候、則チ我等原毛供給者の立場トシテ杞憂仕候仕合也

殊ニ昨年東支より送付の千住製 Combing Park 原料の試製 Top、今着東モスの By 800 原料の品拜見仕候、共ニ G4 warp ニシテ、バルキーニ御座候得共、千住のものハ色も悪し仕上ケも殆ン

トメBトップの如し、東モス<sup>\*</sup>分、幾分進歩の様ニテ色も仕上げも前者ニ優ル如きも、尚 Hughes  
又はウイッドン製ニ比し遜色アルカ如シ、我等ハホンノ比較評ニ付、実況不明ニ御座候得共、更  
ニ大ニ研窮の余地アル事と奉謝候、加古川試製のもの、特ニ細物 Top 拜見仕度希望仕候

〔※印欄外書込〕

乙印 Welt と在之候得共、中々毛足長く warp ニモ使ヘソーナものと存候?

又我等は如前記 Hughes ニ於て劣等の原料ヲ買入居候得共、其技術を以て従前標本通りの Top  
製出供給候様、祈居候事ニ御座候、現ニスリバー不同の結果、貴方ハ大まけ々々の由ナルモ、仮  
初ニモ三千円の罰金ハ些少ナラストセス、幸ニ双方示談行届候事ハ、好都合ニ御座候、此ホトボ  
リのサメヌ間ニ、早々既ニ粗製品ヲ供給スヘシトハ難考候得共、男ガ男ニ付、御含置迄申添候、  
大毛ヘハ勿論口外御無用ニ御座候

先是ウイットン S 6 式萬五千ポンド御注文ニ付、早速ニ掛合ヒ、残高(同社の)九千三百五十斤  
より無之分、8 片ニ約束致候、外ニ前送シキスマント便(本船送見本箱入)見本ハ、未タ貴着  
不致候得共、S 6 の同品ニシテ改良品廿七片唱ナレ共、初メテの試注文ニ付 8 片ニまけると  
申候得共、少々直開キ過キ候様被考候間、廿六片四分ノ一ニまけさせ、二萬五千斤目下出来高買  
約仕候事ハ、店報記載之通りニ御座候、即壹萬斤弱余計ニ相成候得共、大会社の大毛の事故、御

差支ハ無之事と奉存候

此品（6号）跡製造不出来、6Aのみ引続き製出スル様ニ申居候間、幸ニ Hughes の四号ニ匹敵スル様ナラハ、此方が割安ニ可相成、且ツ引続キ供給少数ナラハ、不残此方へ引受け度存候、既ニ三井の手よりも東京へ十俵、神戸へ一俵シギスマンドにて試輸致居候間、支店呈送の小見本御覽之上、可成大口の注文御請求在之度願上候、夫迄ニも次周同社専ム重役アドレードより歸市仕候ハ、更ニ交渉之上、跡供給高ト直段と御案内可仕候、何卒、此方ニテ多少共 Hughes ヲ牽制スルヲ得ハ仕合ニ候得共、此遣操ハ随分骨折レ可申候

原毛、殊ニ Gray の割高ナルニ不抱、大陸及英国共トップ市況ハ沈静ニシテ、一寸騰貴の勢ナキモノ、如ク、一時 Hughes 等昇進の危険ヲ氣遣ヒ居タルモ、格別損勘定ニナラヌ筈と被考候、然ラハ、今後モ俄かに Top 直段引上げの必要ナカルヘキ筈と存候

戦乱ハ、茲数年ハ落着仕間敷被考候得共、断髮励行の曉ニハ、服装の改革も自然の大勢ナルベク、店長御来示之通り、軍用服ノミニても莫大の製絨を要する筈ニ御座候、幸ニ日本より供給スル場合と相成候ハ、毛織工業満歳ニ候得共、夫迄ニハ尚時日を要するべく奉存候

三井大倉等の千住乗取策の謀略を放棄し、或は上海南京等ニ協同工場新設致候哉も難計と奉存候、如何ニ哉？



右革命政府ニ対し、正金銀行の手より京漢鉄道ヲ抵当として金融の相談アリシモ、此鐵路ハ英國の優先権アルモノニ付、英政府の強硬ナルプロテストの為メ協約取消と相成候由

然ルニ其替リニ招商局瀛船ヲ抵当トシテ一千萬兩の貸金協商ハ、揚子江畔ニ於ケル英國の商権ヲ減殺セラルヘク、加フルニ

漢陽製鉄所ヲ抵当ニ、更ニ二千萬兩の貸金協約ハ、漢口ニ於ケル日本ノ地位ヲ雄大ナラシムルモノ也

昨今のロンドン電報在之、果シテ如右大協約成立致候哉否不明ニ候得共、正金ニ於テも此好機ニ乗シ、極力、帝国内勢の發展ヲ計謀相成居候事ナルベシ

而も漢陽製鉄所が我政府の掌中ニ歸シ候ハ、遠き未来ハ兎モ角、近時我等の大ニ苦心致し居候カール―島鉞石約定の如き、一寸二町目ニ相成不申哉と傷心罷在候

前報後、運賃の件、瀛船買入の件等、此方の照会状ニ対し重役会議の際、一寸談ハアリシモ、未タ何共纏リタル返答不出来、此次の會議ニ於テ再ヒ議題ニ上ス様、支配人申居候、其内貴方より御來報ニ由り、又交渉相進メ可申候

田中由十郎氏ハ本月十七日当地出發、陸路ブリスバンニ向ハレ候、広戸生引続キ隨行、目下同州

山林巡回中、来ル廿三日ブリスバンより熊野丸ニ乗船の筈、多用中出来ルタケハ周旋シタル考ニ御座候

富永技師

愈騎兵用十五頭取揃へ、本船へ積入申候、別紙浅川長官宛礼状写、御一覽置可被下候、但し軍馬補充部ニハ増田中佐ノ外知人無之候間、東京支店ニ譲り、此方ヨリハ御無沙汰仕候

尚買入の詳況及運送の事等ハ、守田生より別信悉知可仕候間、御披見置可被下候

多用中十五頭位ニテハ不引合ニ御座候得共、実は内証の口仙も在之候間、相当の報酬ニハ相成候間、御同慶可被下候、而して今後引続キ御注文在之候ハ、好都合ニ御座候、只会計年度の仕舞前、此方羊毛最中の御来客ニ相成不申様、御勧誘奉願上候

銀価

昨年末已来、近年稀ナル騰貴廿七片台ニ相成居候、定メテ支那革命の為メカ、印度戴冠式後、銀の需用ヲ増し、或は買占的の上進ニ哉、普通の時節ナラハ日本より支那ニ対スル輸出品ニハ、非常の便益ナルヘキ筈ニ候得共、例の戦時商況不定ニテ、輸出向キニ格別の利益モナキ事ニ哉、御案事申居候

棉花

日本の新聞紙上ニハ、米國豪商の買占杯の噂記載在之候得共、實際、左程の大袈裟の事ハ無之ニ

哉、ロンドンニ於ケルミッドリング棉の相場ハ、去年十二月頃よりは少々上進小高下在之候得共、尚近電ニ由れハ二三月積の片（ポンド）と在之候間、和斤ニ換算すれハ、丁度三拾円相当ニ相成申候、日本への運賃關係ニ由り、ロンドン、リバプール等よりハ多少割高ニ相成候哉ニ奉存候得共、御参考迄申添候

棉糸ニ就て

兎角、相場屋の玩弄原料の如く、頓と確固たる原料より起算したる市価ニアラスシテ、投機の標準ニ相成、而も騰貴したる時ハ現物ニ影響し、下落したる時は現荷の多少等を口術トシテ直下ケ波及せず、詢ニ得手勝手のマンダラ相場ニハ困入申候、我等の取扱品ニ直接の關係在之候間、毎時感慨ニ不堪次第二御座候、現ニ日本の新聞紙上散見致候中、

日本の各紡績会社は一昨年の高直（ナリシ原因の研窮ヲ怠リタル歟、誤解シ居タル歟、米國大豊作の前途の先見ヲ誤リタルナラン歟）ニ鑑ミ、大ナル下落ハナキモノと見込ミ、四十二円辺より原棉の買約ヲ成セリ、其後、漸次暴落ニツレ相応の買均シヲ成シタリト雖トモ、其全体の買入高を今日の棉花相場ニ比較スレハ、約八百萬円の買損（高過キル原料ヲ買込ミタル直轄）トナル云々

如此、失敗アリシモ、孟米棉は下落後の買継ニ付、順当の步調アルヘク、而して此下落したる原料より製紡したる棉糸の原価八百十七円余ニシテ、昨年の百四十七円余ニ比し三拾円以上の相異

アリ、而も紡績会社のトラストアル為メ、現荷は依然トシテ百三十円以上四十七円の間ニ彷徨セシメ、鐘紡の如きも依旧一割二歩の配当ヲ維持シ居候事、面憎き次第ニハ無之哉？、畢竟、連合力を以て直段を引メ、自家の失敗ナル高直の原料ヲ処分する之損害を蒙ラヌ方法を講シ居候、彼等自身の予防トシテハ無理ならぬ人情ニ候得共、需用者の蒙ル損害は莫大の事ニ御座候、米國ニ於てトラスト征伐の八ヶ間敷ハ、理由アル次第ニ御座候

若し、實際不引合トナル迄の競争ハ不可能ナルヘキも、公開の競争ヲ自由ナラシメハ、原料買入の優勝者ハ夫だけ製品ヲ割安ニ販売シテ、棉糸製品工業の発達も一層神速ナルヘキ理屈ニハ候ハす哉、商店取扱のタオル類ニ於ても、英國製近来直下けの為メ、屢売場ニ衝突ヲ起シ居候

幸ニシテ、ストライキ其他社会主義の悪弊ニ基因する間接の故障の為メニ、我等の製品の注文販路ヲ抑留致シ居候事也、但し前記の愚按は、所謂「ゴマメの齒ギシリ」可成も、時機ニ投シ日本綿織物工業発達の為メニ紡績トラストヲ使テ、あまりニ利己主義ヲ跋扈セシメサル工風、御研窮被下度希望致候

又、棉糸製造品輸出奨励金云々の記事も往々散見致候、是は何レノ範圍迄含マレ居候事ニ哉不明ニ候得共、タオルの如キハ、慥ニ此補助金ヲ受クヘキ権理アルモノト被考候、如何？、若し今日迄享受シ得サリシモノナラハ、何卒、本品ニも此保護の普及候様、御尽力可然奉存候、我等輸出者直接ニ収金無之共、製造者ニ於テ多少の恩典ニ浴スレハ、間接ニハ我仕入元価も割安ニ可相成

勘定と奉存候

イリス氏

サッター事ム官の書記生、今回再ヒ御地へ夫人同伴、本日エンパイア号ニ乗込出帆致候、過日、一寸当地の領事館連ト共ニ送別会トシテ、パクスハウスニテ晚餐会催し置候

先は右迄奉得貴意度、草々不一

北村寅之助

尚々此書面写ハ東京支店へも直郵仕候

大正元（一九一二年）

三

第六九二号信 明治45年3月1日 臨時船北斗丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓

貴信 317号、セントアルバンス号便到達、拝見仕候

店長

御病氣之由、去月廿七日着電驚入申候、格別の御事ニハ無之様、御來電ニハ御座候得共、大患本復後、未夕時日も無之、目下貴地嚴寒の頃ニ付、御老体ニ悪影響を及シ、余病再発候義ニハ無之哉、支店員一同大心配罷在候、我等専門の智識アルニアラス候得共、御病名を知ルヲ得は、或は安心の一助ともニ相成可申歟と、不取敢、御伺申出候次第ニ御座候

然る処、「重症のインフルエンザの由なるも、笠原博士の診察にて大丈夫」の趣、昨夜着電、聊安堵仕候、而も此インフルエンザより肺炎ニ変症する事、往々在之様承知仕居候、何卒、速ニ御全快、小生の帰神前、既ニ御本復被遊候様、只管祈上候

鉄鉞

石之義ニ付、藤井君詳報拝見仕候、直ニ元方へ通牒ニ及置候、是非、元方より雇船歟、船舶購入歟の策ニ出テ、此方ハ門司 Office にて買約仕度様、相談を持ち掛け居候事也、從て実地如何ハ未

定の問題ニ御座候得共、此方ハ相談を引続け、三井物産会社支店の方へハ要領アル返事ヲ為サセ  
又様、倚頼致居候場合ニ御座候

実は此件を重大視して、何と歟、要領を得る迄は北村帰朝中止の愚按なりし事ニ御座候得共、店  
長の御病氣ニハ引替へ難く候間、八幡丸にて兎も角出発帰朝の事ニ決定仕候

但し藤井君予算雇船の件中、5000 tons 積入十二日と在之、是ハ大丈夫ニ見たる処ナルベ  
キも、過般山方より歸りたる重役キイン氏（実地ノ鉦夫ナリ）の談にては、未タ充分棧橋  
其他の便宜ハナキモ、原料豊富ニ付、一日八百噸ヤ千噸ハ積入出来可申様申居候、為御参  
考申添候

#### 商店の組織変更

ニ付、重テ御来示承知仕候、正金銀行の内意ハ、百萬円の株式よりも五拾萬円の合資歟、合名歟  
の方ニ賛成の由、尤もの次第と奉存候、支店ニ於ても御来示の三題ニ付、衆議の結果、左之通り  
意見纏り申候、即、

#### 第一又ハ第二案ニ賛成の事

三拾萬円現在の俣の公表せん歟、実は少々過少額の嫌在之、新築店舗ニ対しても外見不面白哉、  
又前田君御説之通り、廿萬円ハ固定資本と相成候勘定ニは御座候得共、再考するニ、世間ニは五  
萬十萬ニても大威張の銀行屋も在之、三菱銀行ニても資本ハ百萬円也、又第百銀行の如きも近年

迄少資本の俛継続せし例も在之、今日の兼松商店の資格として、三十萬円ハ甚少額ニハ相違無之も、寧口此少額なるは此資本金以外、兼松本家ニハ貯蓄財産も在之様、世間の思惑批評と相成不申哉との説も、一理ナキニアラスと存候

又今分の丁子ならハ、三五年の内ニハ五拾萬円の辻ニ補充する格別の難事ニハ在之間敷乎と存候間、廿萬円未払の俛据置く共、又出資者の借勘定と相成候共、御便宜ニ任せ可申候

前田君の百萬円株式説、一理ナキニアラス、然レトモ上を見テ切無し、三拾萬円払込、七十萬円の未払ハあまりニ未払高が過多にて、殊更誇大ニ広告的の百萬円会社の苦評を蒙るか如き恐ナキ歟、又店則規約ニも在之候通り、出資者の資格ハ与へタルモ、萬一、其店員ニ不都合アリテ退店の場合ニハ資格消滅の罰條も在之、亦々萬々一、損害を蒙りたる不幸の場合ニハ、身分柄以上の責任を負担セサル可カラス、殊ニ正金銀行の内意も不賛成とすれハ、此株式説ハ御撤回被下候様希望致候

尚此方の鄙見ハ右之通りニ御座候得共、貴方ニ於ても御再議之上、可然御確定可被成下候

塚脇生

渡金受取証と伝表云々御来示ニ候得共、毎月定極メの金高ニも在之、臨時費ハ兎も角、一ヶ月ニ百円ツゝハ月初メ或は月末ニ先払致居候間、支店より伝票の貴着ヲ待タス、月初メニ加古川より入金的事ニ御掛合可被下候、お得意の事故、少々の金利ハ何れニても不苦候得共、此方支払後、



殆ント二ヶ月も相掛り候間、此方よりの受取証御待合ハ無意味ニして、縁の下の力持ニ御座候、尚本人より月初メニ毎月二百円貴店へ支払の事、毛織会社へ通報為致可申候

トップ

ウイドン製の分、小生出発前、充分掛合置可申候、只今迄の処ニては店報記載之通り、頗ル我等ニ信頼致居候塩梅ニ見受け申候、兎二角 Hughes よりハ人物宜敷候間、平和の取引進行可仕哉ニ奉存候

八幡丸乗客

中ニハ、昨年迄引続キ羊毛買人組合会長ナリシ当地の Vears 氏、前年御馳走ニ預り候コーヘン夫婦、妹尾君御存しのサスマン、偕ハ領事館のホクスウォル杯沢山知人在之、船の中より厄介の事と存居候

右

北村寅之助

尚々、此書面写ハ、東京支店へも別送仕候

大正元（一九一二年）

四三

追啓 三月初二日朝認

北斗丸

段々延引の処、一昨夜南方より入港、昨終日荷役、午後十時出発、ニユカスツル寄港、今夕同地出港、マニラニ一寸寄港之上、神戸直航之由、尤も平均八哩半位の速力ニ付、無事ニシテ四月二、三日頃ナラテハ貴地着無覚束由、恰も役所の品外ニ付、少々の延引ハ差支無之哉ニ奉存候

兼て御来示之通り、同船は増増のタイムチャーターにて、一ヶ月七千三百円の由、既ニ南濠州ニも一周間以上手間取り、又アドレード、デロン間ニ四日も相掛り候等、大ニ借主の予算狂い居候ナランモ、今回は帰航満載ニ付、格別の損勘定ニハ相成間敷乎？

此方も商敵の船ニ保護を与へる如き感存之候得共、而も千四百廿七俵の羊毛運賃ノミニても四百六七十<sup>※</sup>ノ利方ニ在之、之ニトップ其他の荷物ヲ通算すれハ、優ニ五千円余の余得ニ相成候、其全部歟、無勘共、半額以上ハ本店の収益ニ可相成愚按ニ御座候、惣テ得意の余益ニ操込ニも及間敷奉存候、無御如才御分別奉願上候

但し Hughes 自家扱のトップ五六十俵積入候得共、是ハ半片の 10% 引と確聞致候旁、此方分 B/L ニハ¼片の事、明記致し無之候得共、此方の百五十八俵ハ、惣て皆掛け目方の四分ノ一片の割合ヲ以て運賃御支払可被下候

〔※印欄外書込〕

其上正味目方ニテ記入致置候、其俣通過の筈ト予期致し居候

右

北村生

大正元（一九一三）年

第六九三号信 明治45年3月8日 オルデンハム号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、八幡丸便ニハ貴信不接候、輸出部宛通信拝見仕候

店長

追々御快方の由、御電知被下奉謝候、幸ニ感冒のみにて余病起らず、速ニ御全癒被遊候様祈上候、本店及東支諸君ニ於ても、一時ハ中々の御心配なりし事と奉恐察候

千住製絨所

払下け云々の運動は、政友会策士等の食物ニ相成候事ニハ無之哉、買方希望の向キニ於ても年賦只取の如キ目論見ナルヘキ歟、愚按ニては三井の大勢力の本尊井上侯ニ於ても、山県元老等陸軍派の賛成無之ては、払下け実行ハ六ツケ敷義と奉存候、殊ニ随分旧式（無尠共大部分ハ）の機械ニ付、安く買入候共、却て高き物ニ相成候哉難計候、兎ニ角、我等の立場としてハ、寧口現状維持を希望致候

被服廠

最後の御注文羊毛ハ、實際、被服廠ニ在庫相成候哉、加古川へ貸下け相成候事ニ哉、今便の御通信ニテハ未だ判明不仕候得共、八百俵たけハ殊ニより賃工宛の原料として、神戸揚ニ相成候様ニ

も被考候、川西社長よりハ遂ニキツパリ矢野氏へ日光丸分振替の歎願の話ニ迄至ラサリシ様被考候、従て大倉組のペケ品弐百七十俵前後と跡送りニ重分四五百俵モ、前田君周旋にて加古川へ納り候様ニも想像被致候、如何ニ哉？

当地の玉木君の話にては、熊野八幡の虫害の件も、前記二百七十俵落第の件も、四五百俵重複の事も本社よりハ一切通信無之由、楽天主義歟粗略歟、可驚ヤリ方ニ御座候

右

北村生

大正元（一九一二年）

四七

第六九六号信 明治45年4月15日 日光丸便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店支配人

拝啓、貴信三二八号イースタン号便三月二十三日、同三一九号、日光丸便四月二日、夫れ々々拝見仕候

店長

御病氣も其後順境ニ御回復と見え、其後何等の御飛報ニ接せず、一同安心致居候、北村支配人も今朝ハ長崎より陸路御着神と存候条、定て老店長ニ於て久々御会談御満悦の義と存候  
当地状況ニ就てハ、同支配人より夫れ々々御聞取被下候義と存候

馨君

〔兼松馨氏の婚儀決定について翻刻省略〕

シドニー支店 入江金三郎

第六九七号信 明治45年5月4日 プリンスシギスモンド号便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店北村支配人・古立支配人

拝啓

貴信三二〇号エンパイア便、四月二十六日着、正ニ拝見仕候

店長

御容態ニ付、御詳報謝上候、其後又々昇熱等之事有之たる由なるも、漸次経過ハ良好ニして格別御心配無之程度迄御恢復、追々と順調ニ向はれ候趣拝承、一同安心致居候、其後、何等之飛報ニ接せざるハ、引続き御快方の義と存じ、何より々々目出度奉賀上候

Widdon Top

ニ就てハ、北村支配人御帰朝御早速の御尽力ニ依り、最近ニ、二一五、〇〇〇封度之御注文ニ接し、本懐之至ニ御座候、併し創業之際として既着品、総てボタン等之苦情多く、御迷惑之段奉恐察候、元方へハ充分改良可致様、嚴重ニ交渉致居候条、願はくハ今後の積荷ニ大ニ改良之跡を表はす様祈上候、兎角、最初より無難の品ハ望まれ難く候へ共、漸次、熟練之上ハ製品も進歩可致候間、暫く御辛抱願上候

大正元（一九一二年）

四

右工場より購入之 Top 二対し、為替取組ハ Union Bank 二致呉候様、ウイットドンよりの依頼ニ御座候、実ハ同社の Banker ハユニオン銀行なる為め、総て之便宜上、是非、御承諾願度旨依頼ニ御座候、当方の立場としてハ、二銀行ニ分割する義ハ余り好ましき義ニハ候へ共、北村君御承知之通、オーストラシヤ銀行の方ハ Hughes の Banker たると同時に、Hughes とハ密接の關係も有之義ニ付、取引上之事ハ秘密を守る可きハ勿論ニ御座候へ共、利害關係も有之義ニ付、或ハウイットドン Top 多数契約等之事、此辺より消息相漏れ候憂も無之にも非ず、或ハウイットドン Top 二限り、ユニオン銀行応用の事可然やニ存し、貴見果して如何ニや、尤も不日正金銀行支店開始の事ともなれば、今日左様の事故候も一時限りニ終り可申、此辺も御考慮之上、否や御指図被下度候、今便電信係より臨暗御送附申上候

先ハ右用迄、委細ハ店状より御承知被下度候、草々頓首

シドニー支店 入江金三郎

C. O. Mant 取扱振

先年来、既ニ北村支配人ニ於ても御氣付き候通、代理店として之取扱振とハ思はれざる事のみ多く、頗る面白からざるやニ存候、過般、Birts の Bye Products 本季之契約直段ニ対し、俄然昨年之直段ニ比し、左之通、直上協議ニ接手仕候（但し雜貨ハ此処ニ省略す）



Last year

Blood	£9/5/-	8/10/-	15/-	高
Fertilizer	5/2/6	4/18/	4/6	”

依て、当方ハ多少の直上ハ無止とするも、一時ニ飛放れたる直段を交渉するニ不及、先づ愚考ニ  
てハ

Blood 9/-/- Fertilizer 5/-/-

位が Fair の所と申込候処、其返事ニハ北村支配人婦朝之途次の話ニ、

Blood 9/10/- Fertilizer 5/5/-

迄進み得る旨承知致居る云々、果して事実とせば、其ハ競争の為無止場合とし、甚々外ならざり  
しやニ存候

勿論、昨年迄之直段ハ、他の品ニ比し割安なりしハ事実なるも、年中之供給を総て引受ける年中  
通じての直段としてハ、決して格外ニ安値と言ふ可らず、然るニ、強ひて上値ニ交渉する如き態  
度有之、昨年 Gladstone Meat Works の引受交渉の際と言ひ、平素之取扱振ニ頗る嫌厭たる者有  
之候

右ニしてハ、過日、日光丸積の Red Bank 并ニ QME の Tallow 一対する Draft 引之如きも、

従来総て毎樽2ポンド引之事ニ相成居候ニ係はらず、差引き来らざるを以て照会致候処、今回より Draft 引無之旨、簡單なる返事ニ御座候

総て此の如き元方インボイスを示さざるより起る疑念ニ付、今後ハ是非マントの口仙を各品ニ依り決定、インボイスハ総て元方インボイスを提供せしむる事ニ致し候ハゞ、近来競争激甚なる場裡ニ立ち、活動ニ便ならずやと存候（實際之元値を知り得るを以て）、何つれ北村支配人ニて御熟考の御帰濠之上ハ、何んと良方法御考究願度候

近来のタローの如く競争激甚なる折柄、100の口仙を「マント」ニ取られ候場合なきニ非ずと之疑念も有之候次第ニ御座候

Coss 帰店之話を聞くも、Red Bank 辺りの Want 評判、余り面白からざる様ニも申居候

要するニ、代理店として行動ニある可からざる詰まらなき駈引を弄するハ、争ふ可らざる事実ニ存候

草々

第六九八号信 明治45年5月14日 熊野丸便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店北村支配人・古立支配人

拝啓

半季決算

無人の爲め追々延引、漸く四月末之帳簿締切を了、決算丈ハ結了致候へ共、附属明細書類ハ今便二間ニ合ひ不申候条、不悪御了承被下度候、次便ワルデマー便ニハ総て取揃え御送附可申上候本年前季ハ、輸出取扱高、開店以来之 Record ニて、インボイス面価格、優ニ參拾萬磅以上ニ達候ハ、全く前季羊毛御注文の多額ニ増加せると、新進之 Top 注文之累加ニ原因せる次第ニ御座候、從て金額之割合ニ収益の膨張せざるハ無止義ニ存候、然も輸出ニ於て約壹千磅、輸入品ニ就き三百五拾磅斗りの収益増加（昨年同季ニ比し）ハ、本懐之至ニ御座候、下半季ハ例年輸出の閑散季ニ属候へ共、肥料獸脂等出来可得丈多數之御注文を受け、上季の成績を一層光輝ある者ニ致度期待致居候

肥料輸出高之甚しき減縮ハ、当地 SMP SANDOWN 等之供給皆無となれるニ原因し、無止義ニ存候へ共、後半季ニハ何とか挽回致度存居候

大正元（一九一二年）

五

兎二角、大体ニ於て本季ニ於ける上半ハ、先づ々々近来ニなき好結果を得候ハ本懐之至ニ御座候、委細別紙決算表并ニ説明ニ依り、御対照被下度候

店長  
引続き御経過御良好之義と存候、併し錦地ハ暖氣ニ向ひ候条、一層御注意被下度候

馨君  
の御婚儀も、多分、先月末ニハ御目出度く御決行の義と存候、奉賀上候

W. Bros & Hughes  
両工場 Top Preference の件、再三御電命之効もなく、頗る不満足之交渉ニ終り候ハ遺憾之至ニ候へ共、何つれ先方の申條ニも大ニ理由のある所も有之候条、強ひて当方の要求を徹す訳ニも参らざるやニ愚考致居候、何つれも店状ニ依り御承知被下度候

Top 輸出  
本船一ハ W. Bros 并一 F. W. H 両工場の方を合せて四百五拾俵積入申候、同品取扱以来の Record  
ニ御座候、即ち、

- |     |         |        |
|-----|---------|--------|
| 東洋宛 | F. W. H | 五拾六俵   |
| 大毛宛 | "       | 二百六拾九俵 |
| "   | W. B.   | 百貳拾五俵  |

ニ御座候

W. J. Goss

「ロス店員の病氣休職について、翻刻省略」

新来日本人

川嶋某并ニ須藤某、前航熊野丸便ニて来濠、「メルボルン」ニ小売店開設の計画ニて同船ニて同地ニ向ひたるも、二日間短視察ニて「メルボルン」ハ見込なしと断案、今度ハ当地ニ開店せん  
の取調中之由、出資者ハ貴地株屋増谷某とか、商品之仕入ハ大沢商会の森田氏引受居ると之話ニ  
候、大沢商会ニも若蔵一人新来ニ候  
高野山之僧小嶋某、西濠洲を経て来着、何つれ出稼人の懷中を搾らん為め之巡回ニ存候、当地ニ  
ても日本人の集會を傾き、一場の法話を致度など申居る様子なるも、乞食坊主之相手ニなる者ハ  
有之間敷候

先ハ右迄、草々

シドニー支店 入江金三郎 拜

大正元（一九一二年）

五

第六九九号信 明治45年5月31日 独乙船便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店北村支配人・古立支配人

拝啓、香港并ニ京都御認めの貴状及び八幡丸号外#1、何つれも八幡丸便にて去二十九日着、拝見仕候

御航海中ハ船暈勝にて御気分勝れず、御難義被致候由なるも、先づ々々御安着目出度奉賀上候、全く羊毛季節中の激務御疲労の治せざる内ニ、長途の御航海にて御健康を害したる義と存し、然も今回ハ短期間之内地御滞在にて、何角と御多用、御静養之季も無之義と恐察致居候、願はくハ余り御無理之御動を避け、御撰養の程願上候

店長

其後の御経過ハ頗る良好ニして、本月初頃迄ニ兩三回の入浴も採られ、室内の運動も被致程度迄ニ御恢復、殊ニ去十七日の本店電信ニ依り、全く御本復被遊候趣御通知ニ接手、一同安心致居候、御来示之通、大患後之老体ニ付、乍此上折角御大切ニ願上候

馨様

〔兼松馨氏の婚礼について翻刻省略〕

今航香港より乗船の婦人一等船客中ニ天然痘患者發生の爲、タウンズビルより当地へ直航、即時  
檢疫所繫船ニ御座候、本船ハ去二十八日早天ニ着せるも、爲めニ郵便ハ一昨二十九日（水曜日）  
正午ニ相成申候、別段、新患者發生の模様ハ無之候へ共、何日頃解除ニ相成可申乎、目下の処未  
定、從てメルボルン行の成否も判明不致、吾等荷主ニも迷惑千万ニ御座候、同船ニハ今便木曜嶋  
より真珠採貝業取調委員五名乗船、メルボルンへ歸任の途中、此難ニ罹りたるハ氣の毒の至りニ  
存候、但し *Baxter* の話にてハ、NYK 本社より此際費用ニ係はらず、乗客一同を満足せしむる  
様と之入電ありたる様子ニ御座候

乗客へ船長并ニ船医其他之取扱振ニ就てハ、大ニ満足致居るやニ新聞ニも書立て居候ハ、抜かり  
なき関根船長之事故、其辺ハ万事如才なき義ニ存、併し此災難ニハ、船長も大閉口之事と存候

過般 *Kono* 氏より書面にて、重役會議之結果、当方へ交渉開始後長日月と相成、最早、此上猶予  
出来不申、他へ交渉開始之事ニ確定せるを以て、一応日本ニ電信之上、即時貴表之御見込を確む  
る必要有之可き様催促し來候条、御歸朝後早々にて未だ進行六ヶ敷とハ存候へ共、不取敢、其意  
味にて電照仕候処、矢張、本店通信四一六号便の通、*of Mori* 一噸六円五拾錢見當にて出来ざ  
れば御見込無之と之御返電ハ、到底再び交渉の価値無之やニ存候、誠ニ遺憾之至ニ御座候へ共、  
致方無之候

Mr. COSS

「ロス店員の病氣回復と復職について翻刻省略」

支店家賃

御来示之通、三月末にて「リース」の期限と相成、先方より三年「リース」にて百五拾磅ニ直上方申来居候、近年、漸次地価家賃騰貴之折柄、支店之割安之家賃ニハ無理ならざる直段ニ存候へ共、一時ニ25%の直上ハ甚だ閉口、過般来、再度交渉致候へ共、頑として聞き入不申、年限の義も恰も家主之当主三年後ニハ丁年ニ達し後見を離るゝ事と相成、其上ハ如何なる方針ニ出づるや難計ニ付、右以上の長期契約ハ出来不申と之事にて、無止、先方申出通りニ確定仕候条、左様御承知置被下度候、尚亦、下の酒屋へ亦貸の分ハ、今後直接貸の事ニ申来候条、当方も面倒を省く義ニ付、承諾致置候

Lloyd 保険

兼てLloyd 保険会社にて、独逸船積之分ニ限り稍低率ニ契約し居る義ニ付、兼てランサーニ御話ありたる結果、別紙之通、書面到来致候条、封中致置候

古立支配人

より御来示之当支店一同之委任状五枚ツゝ封中致置候条、御入手被下度候、何つれも実印携帯無之分、認印にて捺印致置候条、左様御承知置被下度候



先ハ右当用迄、草々

シドニー支店 入江金三郎

大西君

愈二十一日、親父サンニ相成候、月不足にて養育ハなか々々困難と存候へ共、目下の処ハ無事ニ候、先つ々々日出度義ニ存候、自然小生ハ早速国包之下宿ニ引渡申候、以上

大正元（一九一三）年

五

第七〇〇号信 明治45年6月15日 八幡丸便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店北村支配人・古立支配人

拝啓

店長 其後、引続御経過順境ニ御恢復の義と奉賀候、折角御大切ニ願上候

北村支配人

昨今ハ各御得意御歴訪等にて、定て御多忙之義と存候、最早、僅かニ二ヶ月を余すのみニ相成候条、余リニ短時日にて、御静養之機も御帰濠の日取ニ相成可申やニ恐察致居候

大毛対

Hughes Preference

も御尽力の結果、頗る好都合成立致候ハ御同慶申上候、新契約締結後、既ニ五拾万封度ニ届き申候条、一ケ年百万封度之極限ニ到達致候ハ、容易の事ニ有之可申、大毛も御満足の義と存候

干魘

春来早天続きにて、牧羊之斃死并ニ屠殺高激増とLamblingの不結果ハ、本年の羊毛收穫ニ大影響を惹起すべきハ争はれざる所なるも、未だ確固たる数字を示しての予想ハ、店状記載の通、ヘラルド紙上ニ一回表はれたる外、他之新聞雜誌、未だ発表之期ニ至らず、各問屋又ハ農務局当局

者等二も未だ確信して言明する者無之、三井之電信ハ、多分、六月一日のヘラルド記事を主眼として発電せる者と存候、然るニ前週より今週ニ掛け、三四日間之豪雨ハ、実ニ一般農家のみならず、牧羊国を以て任ずる当国ニ取りてハ、実ニ黄金之降下とも言ふ可き次第ニして、新聞紙ハ何れも Drought Broker を祝し、数月来之愁眉を開きたる義と存候

本日も市中ハ降雨有之、願はくハ地方ニも普ねく配当あらん事を祈居候、過日来之豪雨ニして更ニ兩三回降下せば、大ニ見直すべき状態ニ回復可致存候、今週月曜日迄之 Home Bush 中、羊の目録ハ毎回五六萬頭を以て算せる、去木曜日之 Sale ニハ約半減して三万五六千を以て算するニ止まるのみニても、雨量の關係が如何ニ影響あるを知るニ足る可く候、特ニ月曜日之 Sale の如きハ、目録高約六万を算するも、其売行を見るニ、屠殺用の肉商連ニ売れたるよりハ、更ニ引戻して飼養之目的ニ売れたる者大部分ニして、其他食用として売却之目的ニても一時体量を肥やす為、牧場ニ収養し、他日充分の肉附きせる後、競売の見込を以て（投機的？）買入候連中多数ありしが如きハ、全く降雨のありたる影響ニ存候

Coss

「コス店員の病氣回復復職について翻刻省略」

先ハ右用迄、草々

入江金三郎

大正元（一九一二年）

六

第七〇一号信 明治45年6月26日 独乙船便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店北村支配人・古立支配人

拝啓

日光丸

今航、木曜嶋迄ハ予定之通到着致候へ共、其後、O. T. and 沿岸ニ於て暴風雨ニ遭ひ、去二十三日、ブリスベン入港予定ハ漸く昨日午後四時、漸く「ピンケンバ」ニ着、当地入港ハ早くも明日正午と之事にて、メールも明日午後ニ至らざれば到着不致、頗る不便ニ存候

店長

引続き御健全の義ニ奉賀上候、追々暑中ニ向ひ候条、折角御大切ニ願上候

北村支配人

も此状御入手の頃ハ、恰も御出立前ニて定て御多忙之義ニ存候、久々の御帰朝も頗る短日間之御滞在ニて、殆んど御静養の機も無之義ニ存候、折角御自愛被下度候

在外店員待遇

ニ就てハ、小生着任後目撃したる経験ニ依り、大ニ感ずる所なきニ非ざりしも、自ら在外店員の列ニ在りて建議する稍心苦しき角も有之、今日迄沈黙を守り居候へ共、是ハ却て吾等之立場とし

て、多衆の為ニ躊躇すべき所ニ無之、且ツハ今や北村支配人の帰朝ニ際し、商店之組織其他ニ関し、専ら御協議中之事ニも有之、此際具申する之好機なるを悟り、此処ニ聊か理由を陳して御協議申上候条、御了承被下度候

商店之基礎混沌として不確定之時代ニ在りてハ、店長始め北村古立之諸先輩諸氏、専心一意、悪戦苦闘之際ニハ、如何ニ店長ニ於て店員優遇の御思召ハ有之ても、不可能なりしハ無主義ニ御座候へ共、今日となりてハ商店之基礎も稍確實となり、店員優遇之道も相整ひ、日ならずして合資組織之下ニ營業する之機ニ至らんとす、吾等後進、又其恩典ニ浴するを得るニ至れるハ、日夜感泣して措かざる所ニ御座候、然るニ此処ニ在外店員之待遇ニ於てハ諸官省、又ハ他の諸会社ニ比し、聊か改定之余地有之やニ被存候次第ニ御座候

諸官省、又ハ他会社ニ於てハ在勤地之内外を問はず、一定之俸給を定め、即ち本俸として支給すると同時ニ、海外在勤者ニ対してハ其地位相当の手当、又ハ在勤俸を支給するやニ聞及び申候、然るニ商店ニてハ、内外其俸給率を異にし、海外在勤者ニ対する本俸を欠くの現状ニ御座候、尤も数年前之如く、内地在勤者ハ半永久的店員のみを以て組織するの狀態の下ニ店員之配置を主義としての場合ハ、現行の組織ニて或ハ可ならんも、熟々商店之前途を鑑みるニ、創立當時之如く北村大西両君之如く、半永久的店員を将来ニ得るハ至難之義ニ存候、左すれば今後之配置ハ、矢張三四年毎ニ一新、店員を交代する之無止ニ至るハ明瞭之義と存候、此場合、内外店員ニ対する

給与之公平を謀るハ、店員待遇の方法として可然義と存候

且つや内外店員の階級秩序を定むる上ニ於ても、本俸を定め置く事、便宜ニ存候  
既ニ御承知之義ニ候へ共、当地駐在領事館員之本俸并ニ在勤俸を記せば、左の如し

在勤俸

総領事

領事

総領事代理

領事官補

書記生

七、〇〇〇円

六、〇〇〇

六、五〇〇

三、〇〇〇

二、六〇〇

本俸ハ在任者の官等ニ依り差異あるも、現今の分ハ左之通ニ候

齋藤領事

三穂領事館補（先般転任）

林書記生

三、〇〇〇円

一、五〇〇

五四〇

右之通、高等官ニ於てハ本俸の倍額以上を在勤俸として支給し、書記生ニ至りてハ四五倍の在勤俸を支給致居候、勿論、吾等店員ハ右領事館員と異なり、単ニ給料以外ニ配当賞与等の恩賞ニ預り居る事とて、海外在勤手当の如きも彼等之比較ニ均当なるを要せざる可きも、内外店員之権衡を図る上ニ於て、現行の組織ニてハ、後進之少壯店員ニして配当資金并ニ俸給之手薄き者、殊ニ内地ニ家庭を有する者ニ於てハ、殆んど難堪者あるやニ被見受候次第ニ御座候  
将又、内外支店支配人ニ対する特別手当の如きも、此際考究の余地可有之やニ被存候

貴見如何ニや、幸ニ愚見御採用被下候へば、単ニ小生之光榮のみニ無之候

(以下、六月二十九日認む)

貴信

北村支配人、東京にて御認め之日光丸便御書面、難有拝見仕候、御来示委細承知仕候

北村支配人

食物の変化と日々之御疲れにて余程体量減少の旨、前田君通信にて承知致候へ共、元氣ハ一向變化無之、日々得意先歴訪、訪客応接ニ御多忙を極め居る由、格別之事ハ無之様祈居候、御帰店之上ハ、直ニ Season に入候事として、折角御撰養、余り無理ハ不被致様願上候

鉄鉞

の件ハ乍遺憾致方無之候、近着新聞ニ依れば、朝鮮ニも一大鉄鉞脈を發見の由ニ付、遠方の当方よりハ近間之仕事就容易ニして、且つ運賃其他之費用も少なき事として、自然、当方ハ不引合ニ可有之存候

塩鮭

二尾、日光丸スチュアド托送にて御送附被下謝上候、殆んど生鮭之如く未曾有の上等ニ存候、一同大喜びにて賞味仕候、此段厚く御礼申上候

大正元（一九一二年）

六五

尚、本宅より味噌昆布其他御来送被下謝上候、宜しく御礼願上候

先ハ右取急ぎ右迄、草々

シドニー支店

入江金三郎



第七〇二号信 明治45年7月10日 日光丸便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店北村支配人・古立支配人

拜啓、貴信六月六日附シギスモンド便、昨日入手拝見仕候

愈本船之複航にて御帰任之義と存候条、公私共、定て御多忙を極め居られ候義と恐察致居候、守田君へ之御状にてハ、昨今ハウイスキーを廢して可成スタウト御飲用被致候由、頗る心細き事ニ存候、矢張永續きハ致間敷、ウイスキーニ復活被致候様祈上候

店長

も本月ハ温泉ニでも行コウカ位の程度ニ御回復ハ、御同慶之至ニ不堪候

Tops

東京モスリン二十一万封度之約定引受ハ、口仙の如何ニ係はらず、実ニ御同慶の至、前田君の尽力多謝の至ニ御座候、ハラム氏の公平ニして、英国人的体度ニ御感服被致候由、果して然らば、Hughesも好代理者を得、吾等も頗る利便ある義にて何寄好都合と存候

大毛之方も其後藤井君之尽力ニ依り、引続き先物御注文ニ接し、御同慶の至ニ御座候

本年之羊毛減収あるとも、倫敦并ニ大陸方面の市況も引続き高値気強き折柄、大毛之先物約定ハ

其当時ハ頗る疑はしく存居候へ共、今日となりてハ慥ニ先見之明ありたるやニ存候

Drum 御買集中之由、昨今 L. Bros より神戸行 Coconuts Oil 二三船、E A 船ニシテ 200 Drum 位ヅ、積

入居候、何つれ自家之工場宛とハ存候へ共、値段ニ係はらず戻荷之關係上、積入居る義と存候  
椰子油ニして此之如く輸出する以上ハ、定て工場も運輸、牛脂も多数入用の義と存候、是非御滞  
留中、牛脂の供給を御引受度御尽力願上候

信用状

外国貿易業者として、信用状之重要なるハ、今更贅言を要せざる所なるニ、今便積荷金額四万三  
千磅ニ対し、約三千磅の無為替をなせるニ係はらず、尚信用状之尻ニテ壹万磅の不足を生ぜり、  
本店ニても Shipment 毎の大略之推算ハ有之義ニ付、余り間近ニ至らざるニ順次発行御送附の義  
ハ、万々承知致居る可き筈ニ候、然るニ尚出帆前日ニ至り、特ニ電信催促の必要ある如きハ、当  
地取引先銀行ニ対しても、頗る面白からざる次第ニ候、畢竟、四方君輸出部兼務の為、會計之業  
務ニ間隙を生ずる次第と存候、今後御注意願上候

NYK 広告帖

の件ハ、御来示御尤もニ存候、過日、既ニ Baker ニ交渉致候処、BP ニても当方同様の立場ニ  
て、NYK 本社、斯様ペテン師的人物ニ堂々たる会社之名義を貸して出版せしめたるを憤り、本  
社へ抗議申遣はし度ハ存候へ共、代理店たるの弱味ニて本社への抗議ハ見合せたる由ニ候、然も

根がペテン師的人間之事とて争ふも其効なく、極局、裁判問題となる可く、其場合ニハ明カニ契約面ニ sign せる事とて、吾等之敗訴ニ歸する義ニ付、今日之処、致方無之模様ニ御座候、何つれ同様之被害者多々可有之、愈之場合ハ 〆〆 の広告料損と断念する外無之候、併し N Y K 本社ニ対してハ、此際一切之責任を持たしめ候事、至当ニ存候

の件、委細承知仕候、其当時ハ小生大ニ癪ニ障りたる為、其余憤が貴表ニ漏れたるや之嫌有之候、熟考するニ、一得一失ハ不免可れざるハ御来示之通ニ付、善用する外有之間敷候、併し口仙を定める事と元インボイスを取る事ハ、是非実行致度存候

バーゼリーの件ニ就き、Cos 大ニ心配、イースタン便にて、委細同人より直報申上候筈ニ候、御了承之義と存候、恰も Easter の前後ニ同人来市、Borthwicks 工場開始之上ハ、同人が特殊之 Influence を持ち居るを標榜して、是非、同工場の一切の Bye Products に対し直段を与へと之請求ニ付、兎ニ角、肥料以外之其当時之大体の相場を与へ、肥料ハ見本を見たる上ならでハと申置候処、其後 Cos ブリスバン行の節、同工場へ F B 同行して参り、雑貨之様子を見たるなど、実ハ当方も余リニ同人之同工場ニ特殊之連絡ある事を一時ハ信用致居り、場合ニ依りてハ、同工場丈之分ハマントを経ずして取引可致やニ考へ居候処、其後、愈同工場事業開始之日ニ及び、「マント」よりも種々状況と製品之状態を報知し来りたる為、一寸妙な具合ニ相成たる次第ニ候

然も雜貨ハ Hoofs、Glue Pis 等を除きてハ、骨類一般ニ仕上宜しからず、目下の処、望みを属するハ乾血并ニ肥料のみニ候、然るニ粉碎作業延引して見本を見るの期ニ至らず、過般、突然見本と共に Confer offer をFBより求め来りたる次第ニ御座候

然るニ、恰も右着電の数日前迄、マント当地ニ滞留、右 Borthwicks の肥料ニ就き、種々協議の上、プリスバンニ帰着之折ニ付、FBの方ハ断り置き、「マント」をして今送之 Board 初手合之事ニ相成候、FBよりハ頗る苦痴を申来候へ共、今更致方無之候、実ハFBの方ハ見本を得たるハ早き様ニ候へ共、約一ヶ月間、何等消息を申来らず、「マント」よりハ、每便種々接衝の内情通知し来りし居り、且ツハ吾等之 Buying agent として働き居る以上、FBニハ氣の毒なるも無止義と存候

馬匹

熊野丸輸出之馬匹ハ好評之由にて、今後毎年、多少共、注文有之様と之事ハ、頗る好都合ニ御座候、マグ氏へ始終現品心掛け置く様ニハ委細承知、早速伝達可致候

加古川  
Tops

輸入部宛ニ書漏候へ共、同社注文の「Type 9」ハ、過般「プリスベン」にて買入候原毛廻送延着の爲、今便二間ニ合兼候条、必要あれば次之独船積ニ可致と之事ニ候へ共、貴着ハ熊野丸ニ比し七日間の義ニ付、熊野丸ニ可致存居候、別紙元方よりの書面参照之上、加古川へ御弁疏願上候

先ハ右用迄、草々

シドニー支店

入江金三郎

大正元（一九一三）年

第七〇四号信 明治45年7月26日 シギスモンド号便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店古立支配人

拝啓

貴信三二一号熊野丸便、正ニ拝見仕候

聖上御不例

去二十一日以来、新聞紙上并ニ領事館への入電にて去十五日以来、

聖上陛下御不例之趣僅承、在留日本人一同恐懼、一日も早く御快癒之報ニ接手致度祈上居候、  
来五拾年ニ御即位五十年祭之計画有之折柄ニ付、是非、此度ハ御本復被遊候様祈上候、併し三十  
七年末以来、糖尿病ニ加へ腎臓病ニ進みたる御病症にてハ、頗る痛心之至ニ不堪候

店長

愈御全快にて、去六月二十七日以来、城崎温泉より山陰地方へ御入湯の為、御転養被致候由、何  
寄之義と奉賀候

北村支配人

も愈日光丸乗船、御帰濠ニ就てハ諸般の御打合やら御準備の為め、昨今ハ定て御多忙之義と存候

定款草稿

合資組織ニ変更の為、御確定の定款草稿御送附ニ預り拝見仕候、之にて店長多年御配慮の御趣意も貫徹、御満足の義と存候

資本金參拾万円ニ確定之由、今日の日本諸会社之資金ニ比し、如何ニも少額にて遺憾之至ニ候へ共、商売之性質上、目下の場合、格別大資本を要するニ非ず、信用ハ単ニ資本の大のみを以てするニも無之、未払込之虚勢的資本を計上するニ比し、寧ろ得策ニ存候

加古川派遣生

塚脇氏之件ニ就てハ、目下、帰朝中之北村支配人より委細近況御了承之義と存候、同氏之性行トハ存候へ共、頗る早判かりの傾き有之、学校の方も殆んど不規律にて、校内ニ於ける評判も頗る悪しきやニ承居申候、尤も学校の方ハ、別段、卒業証書を振廻はしてドウノコウノと云ふ同氏之境遇ニも無之、自己之意志にて必要之場合ニ出席して研究すれば足る可きも、昨今ハ既ニ一角の Wool Expert ニなりたるの考ニや、自ら加古川を代表して種々の取調をなし、市場ニ立ち購入之意志有之乎の如き態度を表はし来るやニ被見受申候、勿論、羊毛ニ対する総て之研究ニ来濠せる以上、羊毛之研究ハ勿論、総て之商習慣等取調に熱心するハ、頗る其意を得たる尤もの義ニ候へ共、約一週日前ニ来店、守田店員を通して左之件ニ就き、当店之返事を促し来申候

一、本社にて従来神戸御本店を経て御注文申上居りたるも、第一ニ手数料を二重ニ交附するの嫌あり

一、羊毛之運賃、ダンピングチャージ、又ハ保険料等ニ相当の割戻あるやニ承知す、從來御本店よりハ是等之割戻を受け居らざる様なり

就てハ今後、若し本店を経ずして直接当支店ニ注文せば、如何なる振合にて買次致呉れるらるゝや、御協議之上、見積表と共に一週間以内ニ確答を要求ニ御座候

次室ニ於て、筆者ハ塚脇氏要求の大体要項ハ承知、形式的ニ守田店員之取次報告を受け、直ニ塚脇氏を迎へ、直接、左之通返答致置候条、左様御含置被下度候

第一、当支店ハ塚脇君を単ニ加古川毛織より派遣せられたる羊毛研究生と見做し居るを以て、其目的之為めニハ出来可得丈の好意を以て便宜を計り居るも、同君と商売上、即ち取引上之交渉ハ目下の処、絶対的ニ応じ難き事

第二、本店之得意ハ当支店之御得意ニ付、無論相当責任者之御出張にて注文下命あれば喜んで御注文ハ引受け可申も、若し同君にして其等之権限を与へ居らるゝ事、果して事実とせば、多年買次之下命を受け居る本店ハ、何等か予め内命受け居り、当支店ニ通信し来る可き筈なる事

殊ニ従来買次委托引受けニ就てハ、本店と本社間ニ相当契約之取換はし有之次第ニ付、如何ニ当支店實際上之買次者たりとハ言へ、本店之指図を待たずして、同君之希望ニ



従ひ能はざる事

第三、従来本店にて頂戴し居る手数料ハ、書類面ニ支店手数料何程、本店手数料何程と區別し居るも、實際、本支間ニ區別して何程と之手数料ニハ無之、従て当支店ニ直接御下命あるも引下等之余地ハ無之事、既ニ一 $\frac{1}{2}$ %規定之手数料、既ニ再三引下の結果ニ付、是以上、直下之余地可無之と筆者ハ信ずる事

運賃其他之割戻金有之ハ事実なるも（是ハ先生、種々取調之結果承知し居るを以て、割戻なしとハ答へられず）、其割戻金を貴社へ返戻し居るや否やハ、当支店之預り知る所ニ非ず

然るニ、同君ハ当方の確答を意外ニ感じたる者か、塚脇敬次郎を加古川の小僧扱ひして相手ニ不成成とあれば夫れ迄なるも、着濠以来、日本人買次人の三軒ニ比し、当店之買入方、最も優勝なるを知り（頗る形式的且つ辞令的ニ）、且つハ第一番ニ種々好意を受け居るを以て、可成貴店ニ注文致度腹案ニて、買入方ニ就て聊か考ふる事も有之、試験的ニ当地ニて直接注文発し度心組も有之ニ付、一応御協議申上たる次第なり、塚脇ニ買入之権能を与へられたるか否やハ、後日ニ判明する事なり、唯小生が他店ニ交渉するニ先だち、第一ニ貴店ニ交渉せるを御記憶ありたし云々と之事ニ候

然るに、北村君より守田への私信中ニ、加古川にて試験的ニ塚脇氏をして羊毛買入を實行為致可申やの模様有之や云々の通信ニ候、果して事実とせば、右本人之右等之交渉も読め申候  
同氏着濠以来、運賃割戻とか、Dumping 割戻とか一局部之研究ハ実地ニ就き取調たるなるならんも、未だ羊毛之注文を発し、自ら購入之衝ニ当る如き能力ハ認められず、単ニ研究的ニ実地ニ遣らして見ると云ふ丈なれば兎二角、随分危険千万の次第ニ存候、若し此人之命を受けて真面目ニ買入るゝと云ふ場合ニ相成候ハゞ、誠ニ心許なき義ニ存候、聞く所ニ依れば、同君之加古川入社ハ濠前数ヶ月の事ニ属し、自己之工場の様子も充分研究したるニも非ず、殊ニ毛織工業ニ相当経歴あるニハ勿論無之、当地滞留尙三年、真面目ニ研究の後、帰朝、工場の様子も研究の後、技術者と協議之上、購買之衝ニ当るとなれば、所謂、鬼ニ鉄棒ニ存候へ共、目下之同君之経験丈にてハ、仮令、加古川にて重用するも、此人之命令ニ服しての注文引受ハ余程考物ニ存候  
兎二角、貴店ニても夫れとなく加古川当局者ニ御注意之機会を得て、尚早の感念を河西社長ニ持たしむるを得バ、徒ニ吾等の利益のみならず、加古川毛織之為、得策ニ被存候、如何ニ河西社長之浮氣質とハ言へ、マサカニ今日之塚脇氏ニ、原料購入ニ対する一部之権能ニても与へ候とハ確信出来不申候へ共、御本人ニ於て既ニ天狗風ニ感染し居る事とて、如何なる報告を本社ニ送り、当地之事情ニ暗き当局者之意向を傾け居るやも難計次第ニ候

目下、朝鮮御出張中之由、是非、此方面の肥料販路之拡張祈上候

先ハ右当用迄、草々

シドニー支店

入江金三郎

大正元（一九一三）年

七

第七〇五号信 大正元年8月5日 熊野丸便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店古立支配人

拝啓、貴信三二二号ワルデマー便、本日着拝見仕候

聖上陛下御崩御

兼て御同様帝国臣之恐懼憂慮申上居候

聖上陛下の御容態ニ就てハ、其後、日々御重態の電報ニ接手、去三十日早朝、当地領事館への入電ハ帝国臣民として最も悲しむべき報を齎らし、在留民一同恐懼慟哭致居候、回顧するも畏き義ニ御座候へ共、

陛下御一代中ニハ維新之革命ニ起り、日清日露之大戦争あり、韓国を併合して東洋の平和を確定し、泰西之列強ニ対峙して東洋之覇権を握るニ至れるハ、真ニ陛下の御稜威ニ依る義ニ存候、其他、

御治世中ニハ帝国憲法之御制定発布、国会之創設、対外通商條約之締結改正等、御偉業挙げて数ふ可らず、畏き義ニ御座候へ共、御歴代中ニ於ける中興之 聖天子ニ存候、吾等臣民としてハ勿論、天壤之無窮を祈る所、攻めて来五十年之御即位五十年祭迄之宝齡をと存居候処、遂ニ其甲斐もなく昇天の報ニ接手、恐懼此事ニ奉存候

皇太子殿下、近来頗る御健康ニ被為亘、既日御即位被為在、大正と御改元被致候趣拝承、御先考の御偉業を、

新陛下ニ依りて有終之美を被為挙候ハ、新陛下の御威徳と一方、吾等臣民之奮起、富国強兵之道を図るニ可有之義と存候

今回之御崩御ニ就てハ、当地各諸官省ハ勿論、知名之商社何つれも半旗を以て、帝国皇室ニ対し弔意を表し、各新聞ハ何つれも頗る同情を以て、

陛下之御偉徳を賞賛して丁重ニ弔意を發表致居候

在留同胞ハ相申合せて、領事館より發表の当日（七月三十日）、直ニ閉店、静肅ニ弔意を守り謹慎し、翌日より静肅ニ執務致居候

店長

御予定之通、城崎温泉を根拠として山陰道地方温泉御巡遊、其後の御容態ハ頗る御元氣之趣、何寄之義ニ奉存候、貴表ハ昨今大暑之頃と存候条、乍此上折角御撰養之程奉願上候

北村支配人

日光丸御乗船、帰濠と存候条、此状御入手之頃ハ御出立後と存候、何つれ六週日後ニハ貴表之近況詳細拝承可致、鶴首致居候

商店組織變更

の義ハ、其後千住并ニ被服廠等への關係上、此際三拾万円資本の合資会社發表ハ商略上不得策と

之御考にて、一先づ会社成立之義ハ中止、当分店長之御安心有之程度にて、匿名組合様ニ正式之手続をなし置く事、御決定之由、御尤もの至ニ奉存候、右役所方面之關係だニなくバ、未払込之百萬円株式よりハ、小資本ニても堅実なる払込済之会社組織、寧ろ可然と之小生等意見ニ御座候へ共、役所方法ニハ資格之規定等、妙な關係も有之義ニ付、寧ろ第三者の目ニ図り知る可らざる責任無限之個人商店を維持する方、大賛成ニ存候、公正其他の方法ニ依り、確實ニ内部之規約さへ成立せば、店長ニ於かれても御安心之義と存候、夫れニしても御同様協力の上、攻めて世間ニ公表して稍恥かし可らざる程度迄、増資する事の一日も早からんを勉めざる可らざる義ニ存候

## 加古川

にてハ、塚脇氏ニ三五十万ポンド直接買入をなさしめ、夫れを土産ニ帰朝せしむる事ニ内部にて確定致居る云々御来示承知仕候、之にて愈過日、当方より詳報仕候件ニ一致仕候、過日、塚脇氏之洩したる口吻并ニ目下之同氏之当地滞留中之短き経験ニ依り、自ら Sale Room ニ立ちて買入候者とハ考へられず、多分ハ当支店、三井、大倉乃至ハ他之外人之 Buyer ニ注文して買入候覺悟と存候、而して買入手数料之減縮、又ハ各種之 Rebate 等を取調べて、会社への着価を幾分ニても安値ニする位が関の山ニ存候、是等些細の事の研究を以て、大ニ会社之原料買入方針を革新せる者と天狗を極め込まれ候ハ、苦々しき義ニ存候、凡て物ニハ程度のある者、手数料之如きも譬令へ競争の世の中とハ言へ、所謂 Buying agent への与ふる口仙として規定之  $1\frac{1}{2}\%$  ハ、同品之如き買入上之苦心と、積入納附迄之手続ニ相当の手数を要する勞ニ報ゆる報酬ニ対し、輕く

とも多大なりと之事ハ、如何ニ臆目ニ見るも申され間敷、殊ニ当地之事情を知らざる間ハ兎ニ角、特ニ羊毛研究として一ケ年有余も滞留せる同人が、多少、真面目ニ store ニ於ける value の状態、又ハ積出前之苦勞を充分ニ熟察せるならんニハ、些細之手数料之問題や諸費の研究（之も是非取調之要ハ有之事なるも）よりハ、羊毛鑑定之能力并ニ自己が常ニ依托買次をなさしめ居る各 agent の買入方ノ巧拙等を充分ニ觀察して将来帰朝之上、如何なる方法ニて何つれ之 agent ニ托して買入るゝの事が、果して自社之為利益なる可き等、少しく大局ニ眼を注ぎて研究するこそ同人之任務ニ存候〔後略〕

本年ハ久々ニて六百噸斗り取扱申候処、着品之模様も今日迄之処好評、全く本年の收穫品質優等なりしは、近来の船会社、同品之取扱ニ熟したるとに大原因たる可く、一方、貴店検査之充分留意ありし為と存じ謝上候、今日ニなりても、不相変、相場ハなか々々手堅く、全く雨天続きの為、次之收穫も腐蝕の結果、当地不作の予想ニて高値を維持する様子ニ御座候、熊野丸の着品を見たる大西君ハ、斯様ニ満足之状態ニ来ると思へバ六月積之注文、貴表梅雨の折柄、積入早々の品、乾燥不充分ニて航海中の Danger を心配して差控たるを、今更後悔致居る様子ニ候へ共、同品の如きハ近来一切航海中之 Risk 買人負担とハ申すながら、可成大事ニ大事を踏み注文引受けたる結果、右之次第ニ付、此辺が花と存候（余り深入りして向ふ不見ニ商売するよりハ、自重主義肝要と存候）

右の次第にて、九月積之P O船積宛も既二千箱丈注文有之、跡も尚注文有之模様ニ付、本日電信御照会申上たる次第ニ御座候

早天にて商売出来、雨天続きニても商売出来ると云ふ、降ても照てももの商売とハ妙な者ニ存候、草々

シドニー支店

入江金三郎



第七〇六号信 大正元年8月6日 熊野丸便

シドニー支店入江金三郎↓香港日光丸にて北村支配人

拝啓

老店長御夫婦ニ御同行、山陰地方の温泉へ御旅行の由、御静養ニハ頗る好機会ニ存居候へ共、僅々  
数日間之御滞留にて、御一行ニ別かれて御帰神にてハ御静養の事も叶ひ申間敷、内地御滞留日数  
も僅少の事故、無止義ニ存候、願はくハ御撰養の上、御帰店之頃ハ御常態ニ被復候様祈上候、併  
し元氣ニハ一向御障も無之、内外共ニ御活動の由ニ拝承安心致居候、当支店一同も一統元氣ニ勤  
務致置候条、御省意被下候

老店長

も城崎を根拠として山陰地方の温泉巡り、扱てハ出雲の大社ニ高砂の翁婆的結縁の御礼参り、殊  
ニお光婆さんの介副役と来てハ、頗る賑ひたる者ニ奉存候、余りヤセ我慢を出して東奔西走的活  
動をなされ、後日御疲れ等之無之様のみ祈居候

組織変更問題

も千住、被廠ニ対する御用引受の規格ニ不充分と之氣兼にて、一頓挫ハ無止義と奉存候、矢張御

大正元（一九一）年

八三

同様一生懸命ニ稼ぎ、一年も早く五拾萬圓之声を聞きて会社組織の事ニ致し、多年、老店主之御宿望を為叶度者ニ存候、併し日進月歩の日本之財界、今後五六年間之間ニ八百万圓資本の株式会社も小会社（今日ニても既ニ百萬圓之会社ハ一向敵みも聞き不申、三井の二千万圓、大倉の一千万圓と云ふ相手を同業間ニ持ち居る吾等ニハ、資本問題ハ Zero とは言はざる可らず）ニ相成、又々公表之運ニ至るを躊躇するニ至る可く、斯くの如くんバ、現在之商店之營業範圍ニてハ、他ニ対峙する位置（資本の上ニてハ）ニ到達するハ、何つれ之日ニ望むべきやハ吾等之予想之能はざる所、寧ろ将来とも老店主之名を以て、何処迄も營業する之勝れるニ如かずと之感なきニ非ず、不幸ニして店主ニ於て天命を遂けて永眠せらるゝ場合ハ、後続者ニ於て襲名ハ、古来、日本ニ多々前例有之義、如何之者ニや被存候、商店之永續する限り、創業者老店主之名を商店ニ冠して、老店主兼松房治郎の名を後世ニ伝ふる之料ニも相成可申やニ被感申候、外面、個人商店之形式ニて、内実匿名組合的組織ニ相成居る之例ハ、既ニ堀越善重郎氏之店之如き、裏面ニ出資者あるやニ伝聞致居候

## 店状写

前便シギスモンド便の分より、多分、貴台神戸御出發後ニ神戸着と存候条、格別之事も無之候得共、別紙封中致置候条、御手隙きニ御一覽の上、神戸并ニ東支へ御転送願上候（香港マニラ間ニ御覽濟ニ候ハゞ、「マニラ」より御投函願上候）

外ニ D & Co の Annual Review 并ニ新聞等一括、熊野丸事務長近藤氏へ托送致置候条、乍御迷

惑香港御碇泊中、御受取被下度候

塚脇博士

の件ハ、別紙店状写ニ依り御承知被下度候、小生、例の单刀直入主義ニ出てたるハ、今日となりてハ或ハ商店之為、不利益なり之罪ハ不免候へ共、其当時の小生之立場としてハ、此位之事をガソとして申渡さざれば、無止場合と御笑棄被下度候、何つれ老兄の御着濠も近々ニ相成候条、同博士ニ於て本社之注文命令を握り居るとも、何つれ老兄御着濠位よりポチ々々 Weekly Sale を目掛けて買入方針ニ被存候間、老兄御着濠の上、夫れ々々懐柔策を取られ候ハゞ、別段不都合も有之間敷候、其後、同博士再三再四来店、前週之 Store 廻りも同道致候へ共、別段悪感情を起させたる如き事無之義ニ付、此点ハ御安心被下度候  
本店より来示之通、川西氏ニも困ツタ者ニ存候

先ハ当用迄之事

シドニー支店

入江金三郎

船長始め、Dr. Chief 其他船員一同へ宜しく願上候

大正元（一九一二）年

八五

御依頼

M M C 埃及煙草、可成多数并ニ香港之ジャボン若干御持歸被下度願上候、其外日本よりハ甘イ物  
沢山御持歸りの義と一同鶴首奉待上居候、以上

第七〇七号信 大正元年9月2日 八幡丸便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店古立支配人

拝啓

貴信三二三、セントアルバンス便八月十三日着、拝見仕候、前船ワルデマー便御受可致の処、恰も青木商務官来着其他にて、頗るゴタ々々致居り延引致候段、不悪御了承被下度候

店長

山陰方面より御帰神後も不相変御元氣の由、何寄の義ニ奉賀上候

北村支配人

愈日光丸便にて御帰濠之途ニ就かれ候趣、電信にて拝承候、本日、マニラ出帆予定ニ付、本船出帆後、二週日ニして又々貴表之近況拝承出来可申と樂居申候

青木商務官

愈八幡丸にて来濠ニ付、当支店ハ同氏神戸正金支店御在勤時代之關係も有之義ニ付、北村支配人留守中ニハ候へ共、一夕同氏を主賓とし、領事并ニ船長等を招待晚餐を饗し置き候、目下、恰も当地 Wool Showing の季節ニ付、何つれかの牧場へ御案内可致様御勧誘申上候処、頗る御希望する所ニは候へ共、何分今回ハ余日無之、見合ニ相成候、自然、別段御待遇も出来不申候ハ遺憾之

大正元（一九一）年

八七

## 至二御座候

## 本店決算

当上半季之決算ハ、本支店を通じて純益六万五千円ハ大差なき御予算之由、御同慶之至ニ御座候、御来示之通、是非、拾萬円迄漕附け度者ニ存候、下半季ハ每期ニも取引高大減少の例ニ付、如何と存候へ共、本支通じて四萬円迄之収益ハ、多分大丈夫ニ存候

## 支店手数料

従来、貴表所得税其他税金の關係より、輸出品ニ対する当支店手数料、一般ニ倍額位の標準ニて「インボイス」致居候処、其れニてハ本店之純益を減縮して、税務署へ之届出ニ御都合悪しき趣ニて、今後改訂可致様、手数料率を示しての御来示委細承知仕候、早速取調之上、当下半季より輸出品ニ対する過剰分、振替之事ニ為致可申候

然るニ羊毛ハ、従来 $1\frac{1}{2}\%$ 并ニ $2\%$ と御得意先ニ依り異なる所も有之、將又、当支店原価書ハ、委託買次之分ニ対してハ総て御呈出相成居る様ニ存候、左すれば支店手数料、従来 $1\%$ 附出の者、今後 $3\frac{1}{4}\%$ 丈ニ減縮之結果、得意先より貴店ニて $1\frac{1}{4}\%$ 直引を迫らるゝ如き事無之候や、此辺御一考の上、改めて御来示願上候

## 日本毛織

去月三十日朝貴電、左之通拝承仕候

Sigismund 便通信拜見

日本毛織会社

Dumping, freight rebate

has been refunded for full amounts

保険料 10/-

K. Tsukawaki has been authorized

500,000 Lbs 買入

塚脇へ渡す可キ Instruction

Samples one on the way

in the Hands of T. Kitamura

依テ北村寅之助婦店ノ上然ル可ク

交渉セヨ注文引受方是非尽力セヨ

此件ニ就てハ「シギスモンド」便認め後、貴信ワルデマー便にて御来示ニ依り、加古川にて塚脇氏へ羊毛三五十万斤買入を委任し、同氏ハ其れを土産ニ帰朝可致様内定之趣承知致候条、既ニ熊野丸便にて申上候通、此上ハ北村支配人の帰任を待ち、協議之上、適宜出来可得丈の芝居を画く考ニ付、御案事被下間敷候

大正元（一九一二年）

八九

当方シギスモンド便通信が余りニ強硬之態度ニ御一驚、妄りニ長文の電信ニ接手致候ハ申訳無之候、商人として得意先之大切なるハ、充分承知致居り候条、決して商売を無視して迄も憤怒を敢てする如き事ハ無之ニ付、御省意被下度候

先ハ右当用迄、草々

シドニー支店 入江金三郎

玉葱

P & O 船積約定之 8000 噸ハ、遂ニ同船廻航見合ニ相成たる為、熊野丸積ニする外、他ニ策無之趣ニて承諾方御電命ニ御座候へ共、当地の收穫期ハ十月中旬頃より始まる可き見込、且つハ追々暑氣ニ向ひ候事とて、熊野丸積ニてハ漸次品位を落す之恐有之、43/- per Ton の解約金を与ふるニ非ざれば、承諾出来不申云々と不当の申出、且つハ先方ハ弁護士之意向を確かめて之返事ニ付、無止当方も弁護士之説を徴候処、解約ハ差支無之も、熊野丸積として之引取を強求する事ハ出来ずと之事ニ付、稍意を強くし、正式ニ解約を通告せるハ前週末ニ候へ共、未だ約定先よりの返答ニ接せず、返電之都合ニ相運び不申候、貴店ニても既ニ品物ハ約定済なる可きニ、解約の上ハ其処分ニ御迷惑とハ存候へ共、成行上、無止義ニ存候、徳義上よりせば、本年之玉葱約定ハ、当方ニハ僅少の手数料のみなるも、買方ハ約倍額の相場を以て売行き居り、方外の利益を得たる次第ニ付、殆んど不可抗力の結果、熊野丸積となりたる場合、当然、当方の請願を容る可き筈な



るも、Sussex st. の連中ハ商徳義も何も無之、右之如き態度ハ普通之由、今後の契約ニ就てハ充分の注意を要す可く、寧ろ将来の為め能き経験ニ御座候  
併し右解約品之処分の為め、貴表ニて損害の多大ならざる様祈居候、以上

大正元（一九一二年）

第七〇八号信 大正元年9月18日 コブレンツ号便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店古立支配人

拝啓

貴信三二五号イースタン便去五日着、夫れ々々拝見仕候

北村支配人

去十五日、愈プリスベン着、昨日開会之同地羊毛競市ニ出席致居候、多分、三日間之 Sale を終へ、来二十一日午前中ニ鐵路帰店之筈ニ候、同地へ出向之コツス并ニ広戸兩人よりの通信ニ依れば、錦地滞留中ニ体量減少、又ハ大ニ瘦せたりと之の評判ハ、帰航之船中ニて恢復と見え、寧ろ当地出立当時ニ比し健康状態なりと之事ニ候、体量も航海中ニニポンドを回復せる様子ニ付、御安心被下度候、但し着早々羊毛 Sale 出場激務ニ従事ハ御氣の毒ニ存居候、何つれ次之土曜日ニハ、久々貴表之近状、詳細拝承可致候

半季決算表

前便御送附ニ預り拝見仕候、幸ニ予期以上之成績ニて本支店を通じ七萬円余ニ相成候由、御同慶之至ニ御座候、次季も御同様協力して、一ヶ年を通じ拾萬円以上ニ漕付度存候

海外店員待遇

二就き、兼て愚見上申致置候処、早速御賛同之上、北村支配人御出発前ニ確定、同支配人帰店之上、御発表被下候由承知仕候、委細同支配人より拝承可致候

Brisbane Agent

取扱振二就てハ貴店ニても御同感之由ニて、北村支配人帰任之上ハ大革新を实行する事ニ御協議被致候由承知仕候、何つれ一定之口銭率ニて取扱はしめ、單純なる Buying Agent の組織ニ為致候事、得策ニ存候、何つれ北村支配人帰店之上、貴店之御意向も拝承之上、協議可致候

Brisbane Sale

へハ、予め Coss 及江戸生を先着せしめ、帰途上陸之北村支配人と共ニ協力の上、幸ニ千住并ニ加古川の注文品千百式拾五俵買入行届候ハ好都合之至、殊ニ加古川の直接電命分、全額買調行届候ハ御満足之義と存候、本季ハ当初より多数の積荷ニて、何んとなく最先良き様之心地致候へ共、被服廠之御注文、昨年ニ比シ大ニ減縮すべきやの東京支店来信ニて心許なく存居候、是非、全期を通じて壹万四五千俵之取扱高二相成候様祈居候

実印証明

登記用之必要上、各店員之実印を町村役場の証明を受け得る様届出で置く事、必要と之御来示、委細承知仕候

先ハ右当用迄、草々

シドニー支店

入江金三郎

第七一〇号信 大正元年10月2日 日光丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、各位御揃、愈御清康ニ被為涉候御事と奉大賀候、先般小生帰朝中は種々御厄介ニ相成、御厚意深く奉謝候、九月十五日、プリスバンニ上陸、同地の羊毛定市ニ出席後、廿一日正午、陸路無事帰任仕候間、御安神可被下候、健康も元氣も依旧変化無之、体量ハ船中にて十二ポンド回復、其後引続き旧姿ニ立戻り居候間、是亦、幸ニ御配慮成被下間敷候、近況ハ日光丸船員より御聞取被下度候

出発の際ハ美事なる銀杯御恵贈被下、厚く肝銘仕居候、逸々御礼書可差上の処、多用中ニ付、古立君より諸君へ宣布御伝言被成下度候

輸出入品の件ハ、逸々店報御照合被下度候、実は羊毛注文品買入方ニ奔命致し居、帰任已来、未だ一日も殆ント休なしニ付、支店員へも懇談の時間無御座候、本船出港後、寸暇を得て種々協議可仕考ニ御座候、尤も支店一同、依例協力一致商務鞅掌致居候間、御安心可被下候

羊毛の景況ニ付テハ、別送の月報ニ詳記致し置候外、矢野侯賀両君宛書信写加封仕候間、御披見可被成下候、塚脇生の注文ハ可成当店へ引受け候様、面倒を我慢して同人の希望ニ叶ひ候様気合を合せ、日々同伴巡回仕居候、口仙ヲ一%ニ減少の事、希望致候得共、是ハ頑トシテ(ソーカツテニハ答ヘスト)拒絶致シ居候、増増へ交渉云々の事ハ不明ナルモ、或ハ北斗丸運賃の事を聞き付テ、社外船積の事ヲグズ々々掛合居候義ニハ無之哉と存候、其内機会ヲ得テ探窮可仕候、但し同人ハ本季濟次第、二月初旬ニは出発帰朝仕度様子ニ御座候、御心得迄申上候

大倉は王子注文宛ニ哉、3 a相当品廿四片半前後相当の起算にて三百俵斗買付け候、ソーカと思ふとBuryのピースス杯買入居候、是ハ多分千住向きと存候、何分出品少数ナルト相場上建ニ付、思ふ様ニ買入レ六ツケ敷塩梅ニ外見致候、三井は未た一俵も手出し不致候

大坂モスより引続キ多数の御注文ニ接し、御同慶の至ニ奉存候、藤井君御尽力と、ハラム先生の奔走の功空しからすと遥ニ奉賀候、小生帰任已来、ヒュースは一度会见仕候得共、多用中具体的の話も出来不申、近日緩々懇談可仕予約仕候、何卒、誠心的取引完全ニ相成候様、只管切望罷在候

ウイツドンの事も同様ニ御座候

Q M肥料其他の要件ハ、不取敢、店報ニテ御承知被成下度、追々詳細御報告可仕候

正金銀行支店より御紹介の木戸忠二郎氏ハ、未だ当地滞在、近々メルボルン、アドレード、ブロークンヒル等へ巡回の筈ニ御座候、鉾山巡視等ハ多く三井の手ニテ周旋致居候間、此方ハ多用旁、先方より依頼ナキ以上はコセ付かぬ考ニ御座候、但し西濠州の鉾石の事だけは懇々ニ依頼致し置候得共、急ニハ物ニ成る見込無之候

右

北村生

大正元（一九一三）年

七

第七一一号信 大正元年10月30日 熊野丸便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店支配人

拝啓

貴信三二七号ワルデマー便、去二十八日着拝見仕候

Red clause

の件、愈正金銀行、全濠銀行へ出状被下候由奉多謝候、近来、羊毛問屋の代金支払規約改正の爲、買附後長期之保管を肯ぜず、二週間以内ニハ是非仕払の規則ニ相成候へ共、吾等之買入品ハ大抵ハ買附後、最近之便船ニて積入候事、各問屋ニも明療ニ付、此之如き規約を勵行する如き事も無之候へ共、其ハ単ニ好意的ニ止まり、表向き規約ハ右之通ニも有之場合ニ依り、大ニ便宜ニ相成候、正金銀行の好意ニ対しても慎重ニ運用し、決して乱用ハ不致方針ニ付、御安心被下度候、全濠銀行よりY S Bの書面落手の由ニ付、熊野丸出帆後ニ銀行支配人と会谈之上、可然交渉可致候の件ハ委細承知仕候、当方ニてハ随分往時之事ニも有之、昨今殆んど応用ハ不致候処、之も正金銀行の好意ニ依り、「ブリスベン」ニて引続き使用差支無之事と相成候由奉多謝候

Union Bank over  
drawn £5000



大沢氏

愈入店之事ニ相成候由承知仕候、世間の発表ハ当分見合可申旨ハ委細拝承仕候

先ハ右御受迄、草々

入江金三郎

大正元（一九一三）年

九

第七二二号信 大正元年11月16日 ワルデマー号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拜啓、貴信 327 号及 S. アルバンス便 328 (三二七トアレ共) 号拝見仕候

当方よりの支配人状ハ、筆者帰朝中脱号と相成候得共、夫ハ其俣として、

去ル十月二日、日光丸便ヲ以て七百十号付

十月廿六日、クマノ丸便 七百十一号付

十一月一日、 ” 711B

と御記号置被下度希望仕候、今後順々継続可仕候

店長

ニは全く御快癒、毎日午後数時間、御出勤被成下候趣奉慶賀候、御如才ハ無御座候得共、追々寒  
氣ニ向ヒ居候間、余病の再発無之様十二分の御用心奉願上候

為替

羊毛代前払ニ関し、愈正金銀行より全濠銀行へ来信在之、別紙守田生より上伸仕候通り、倉庫預  
り証ヲ交付して先払ヲ受クル事ニ横浜本店へ打電為致候、未だ返電無之塩梅ニ候得共、多分、承  
諾致シ呉ラレベキ筈ニ奉存候

毎度申上候通り、此レッド線云々ハ、羊毛為替の商習慣ニ相成居候間、欧米よりの信用状ニは別段、抵当的返り証の事例無御座候

ユニオン銀行ニ於て五千£過振云々の事ハ、余程已前の事と存候、殆ント記憶無御座候、而もブルスバンニテ使用差扣無之事ニ御承諾被下候趣奉謝候、御来示之通り、此分御承認被下候様ナラハ、赤線云々の件モ同一例ニ御座候

我商店の信用ニ関し面目ニ係ル様の義ハ致へクモ無之、充分御安心之上、正金の承諾在之度存候の件は、過日ブルスバンより上伸仕置候通りニテ、其後、未だ訴訟の進行通知ニハ接手不仕候、何卒、無事落着ヲ祈居候

玉葱

本年ハ既ニ終末ニ及候得共、来年ハ早くより各地の作付区域、作柄等、充分御調査御詳報ニ預り度、是非 5、7、9 位の端下口仙ニアニサル相当の取引利益ヲ得度存居候

馬鈴薯

一時乾燥の影響、作柄不良ニテ三十年來の暴騰、昨今一噸 522 ニ在之、当市ノミニテも毎周一千噸の需用在之候品ニ候、而も外国よりの輸入ニハ "Blight Disease" と申黒葉病の有無証明嚴重ニテ、苟も何等カノ病的のものハ断然入荷禁制ニ在之、旁日本よりハ未だ輸入の運ニ不到、

我等ハ寧口誰歟他の商人の着手ヲ傍觀致し居候、殊ニ本品ハ十二月より翌三月時分の收穫品と存候ニ付、此状貴着の上、能く々々御取調への上、御詳報被成下度候

尤も当地も追々新荷出廻り可申ニ付、いつ迄も今日の如キ珍直ハ無之、又日本の薯ハ水分多く候間、マニラ辺迄ハ大丈夫ニても、当地方迄ハ航海ニ適セサル哉も難計、是も御調査奉願上候

羊毛

市況其他の報告ハ、東京支店状ニ相認メ候間、別紙写ニ由り御披見被成下度候

千住の分ハ丁度手配済ニテ直段も $\infty$ 以下ニ相成、品柄も他店買送り物ニ比し、屹度優等と確信仕候、決テ手前味噌ニハ無之、嚴重の批評在之度希望ニ候

トップの諸件、過日ブリスバンより上伸仕置候ニ付再せず

本年度決算

別紙之通り上表仕候間、守田會計課付箋と共に御披見被遊被下度候

塚脇生注文の羊毛、千住被服の一部、十月ニ輸出致候為メ、例年ナラハ翌年度トナルヘキモノ三千八百十四俵加算候為メ、輸出インホイス高、実ニ三百拾萬円余ニ相成申候、昨年度五倍已上ニ御座候

トップの取引發展ニ付、此分同じく式百十二萬円余ニ相成候、小麦殆ント無取引ナリシト其他多少の増減在之候得共、金額ニ於ては昨年の三百三十七萬円ニ対し、本年ハ実ニ五百七十八萬円余之レコードと相成申候、之ニ運賃諸費税金等加算相成候ハ、貴店の輸入高ハ優ニ六百五十萬円

以上の計上ヲ見ルナラント奉存候、薄利ニても損ニナラサル限り、金高の取引ニアラサレハ、ウソニ御座候

当支店輸入ニ於ても、本年度ハ税金諸費払済の原価高、実ニ五十二萬八千余円ニ相達し、御同慶の至ニ御座候、是非、一兩年中ニ百萬円迄コギ付ケ度、折角係員等ニ刺撃を与居候

例の消極的ナルヘキモ、注文引受の売買ニて見込荷殆ント皆無ナルト、売場ニ注意ヲ加ヘ居候為メ、幸ニシテ貸倒レ皆無ナルハ、是亦タ御同慶可被下候

持残品の直引は売直より二割三割等、品ニ応し減価致し候為メ、如依前、元直より更ニ直引シタルニハ無御座候間、ホントの原価ニ比シテハ僅少の減価ニ過キサル訳ニ候得共、大概格別の損耗ヲ招ク如キニ無之ト相信シ候間、其儘通過致候、御含置可被下候

則当支店本年度の純益金六千六百十九£ $\frac{8}{1}$ ニシテ、昨年度ニ比し約六百£の増収ニ御座候、近來、使用人の増加ト加フルニ給料の割合も高率ニ相成候

輸出品口仙率も大ニ改減実行致し、保険其他の割戻しハ此計算外ニ本店ニ振替ヘ返上致し居候等を通觀致候ハ、頗る好成績と存候、全然取引金高増額の余光ニ不外候

尤も前記の如く、羊毛の金高意外ニ膨大と相成居候間、明年度の収益ニ於て著敷影響を蒙る事ニ候、トップ約定高ハ増加致し居候得共、薄利の品ニ付、収益之点ニ於て減額ヲ不免と存候

何卒、夫等の見替り品と可相成新規商品、発見仕度苦勞罷在候、唯今の処、未定の問題ニ候得共、濠州全体の小麦作柄、昨年ニ比し大ニ減少可在之見込ニ候得共、東欧の戦争平和克復と共にダツダネルス開放、其他露領小麦の運搬自由と相成候ハ、北亞米利加は豊収の由ニ付、旁当地方の小麦相場 30 位ハ下落の事可在之哉ニ被考候、幸ニ日米間の運賃四弗半維持致候曉ニハ、此方より相当の輸出望ナキニ非すと奉存候間、於貴地も見込無キモノト御失望ナク、日夜其意向（製粉界の）御研窮之上、約定方法御尽力被成下度、切望之至ニ御座候

台湾肥料の如キも共同購置中止、各自の取引と相成候曉ニハ、三井湯淺等の仲介ヲ俟タス、独立の御約定成立不仕哉、実情不明ニ候得共、いつ迄もへス氏ヲ当テニセス、配合方法等も関西一般ニ発展方、御尽力希望仕候、尤も濠州のN多量の品供給不足ニ可在之、且ツ Ross River の如きも、今後 4/12/6 杯の見切取引出来候哉否ハ無覺束候得共、クインスラントは来期も先以テ好順ニ付、75 1/2% 位の品ナラハ相当の供給ハ可在之様奉存候、且ツ品質改良の事も極力勸誘罷在候

先ハ右迄、余ハ八幡丸より補筆可仕候、敬具

北村寅之助

第七一三号信 大正元年11月27日 八幡丸便タウンズウイユル接続

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、イイスタン号ハ今以て入港不仕候得共、貴信 328 号写ハ、スマトラ号直接便にて去廿三日到達拝見仕候

店長  
引続御元氣の趣奉賀候、折角御自愛奉願上候

L B 豆粕

一手販売の件、追々進行、多分具体的御契約出来可申の由、御同慶奉申上候、何卒、チリットソンの氏の協賛を経て一廉の仕事と相成候様祈上候

同社の技師ウエンライト氏も、愈シキスマント号にて貴地出發、此方へ帰途ニ相付き候趣伝聞仕候間、来月帰着之上、御地の模様承知可仕候

オリイン買次の事ハ、幸ニキッチン商会の約束履行ニ付、此方5%収益致し、今後も毎月相当の取引出来可申存候、尤も此品ハ同工場用ノミニて、日本の内地ニ転売不可の事ハ書面ヲ以て申入

大正元（一九一二年）

一〇五

レ置候

夫ニ付ても牛羊脂類買次の事、是非成効為致事、内々運動仕居候得共、機会アラハ御地のステワード氏へ御申込被下、同人よりもチリットソン氏へ紹介致呉候様御尽力奉願上候、唯今の処ニては何方へも一手引受の約束ハ無之、入用ニ応して quote セシムル方針の様子ニ御座候

明治製鍊の過燐酸肥料

一手販売の事、段々御骨折の処、遂ニ妥協破談と相成候趣、遺憾の事ニ奉存候、何分、相手が一枚上看板の連中ニ付六ツケ敷次第、何事モ意外のボロイ事ハ在之間敷候

小麦

東欧戦争の下火ニ相成候加減ニ哉、米國豊作の影響ニ哉、竜動市場沈静の入電、加フルニ近時火船帆船共、運賃非常ニ騰貴致し、目下 42/6 前後の相場ニ候（昨年ハ 25/1 より 27/6 辺ナリシ）、旁三方の市場も一時の景氣ニ反し、殆ント無取引の現状ニ御座候、且ツ両三年来、先売約定の純投機的取引盛ナリシモ、結局、売方の大失敗ニ歸し、一人ニテ百四五十萬圓の損害を蒙り自殺シタル者抔在之、従て投機売買は大ニ注意を惹起し、確實の商人は一層慎重の体度を守り居候、而して一時早魃難の呼声高カリシモ、幸ニ順雨アリ、今日ニては昨年ニ比し、殆ント同額の産出可在之見込ニ候、則ち、



South Australia	約 18,000,000 Bus.
Victoria	// 25,000,000 //
New South Wales	// 22,500,000 //

收穫予想ニ御座候、自今の相場一、二月後も（一月ニハ現荷不充分ナルヘキモ） $3/8$   $3/4$  Cob ニ  
御座候間、不取敢、過日一電仕置候事也、但し本年の实入ハ大ニ寧口意外ニ宜敷、 $1/4$   $1/2$  六十二度  
辺との噂ニ御座候、相場も今一段下落可仕哉ニも被考候間、今季ニハ是非数千噸の御注文ニ接し  
度希望致候

米国、加奈太共、豊作の入報在之候得共、實際の景況ハ此方不明ニ候、リバプールの相場ハ百封  
度ニ付  $1/3$  前後ニシテ先安の竜電ニ候、米英間の運賃不明ニ付、算当仕兼候得共、 $1/3$  ハ丁度  
百斤五円弱ニ相成候間、百斤七十七仙の輸入税アル貴地の五円十錢辺の相場ニ比スレハ、大ニ高  
価ニ相当致候、而も近日、米日間運賃一噸  $64/2$  ニ相成候ハ、恰も  $18/1$  相当ニ付、若し  
此方より  $15/1$  以下ニて積入出来候ハ、運賃ニ於ては優ニ拮抗シ得可キ之筈ニ候

〔欄外書込〕

桑港又ハポートランドより英国行運賃、約四十志の由伝聞致候

前記認の後、荷樽の注文其他御返電ニ接し、本懐の至ニ御座候、幸ニ貴方より<sup>2</sup>の御直増御交渉被下候ト同時ニ、此方ハ少々弱含ニテ<sup>3</sup>ナラ売物在之候得共、今少々下落不仕候ては思敷岐点ニ達せず、市況ハ保合ニテ敢て先物安売の見込人も無之候得共、NYKの三ヶ月分（十二月の日光丸ニハスペース無之）千二百五十噸 15/1ニテ仮約定仕置候得共、NDLハ17/6よりまけ不申、E & A目下 other 不致、旁目下交渉中、明日中ニは何歟御返電可仕事ニ致度、仲買人ダッカー氏とも協議致居候次第ニ御座候

全く米国よりの輸出旺盛ナリシト、近時露国よりロンドンへの輸出頻繁トナリタル影響ニテ、ロンドン市場大ニ下押と相成候様入電ニ加ヘテ、如前記、此方の作柄もマンザラニ無之、旁今一段の下落ハ在之事と相信シ候、但し風聞ニ由れハ、北米太平洋沿岸の産麦の大部分ハ好価ニ乘し、既ニ大概欧州へ輸出サレ、残部ハ僅少のもの、由伝承致し、且ツ前記の如く日米間の運賃騰貴の影響ハ、茲処、一番面白キ商売成立チ可申哉と潜ニ樂み居候

当地二三の外商等も内々奔走致居候様探聞仕候間、兎も角、NYKの外NDLの17/6も千五百噸（一二三積）仮約此方へ握り置候、愈の暁ニは直引を迫ルヘク候、而シテ不引合の暁ニ解約の考ニ御座候

〔欄外書込〕

先般御地湯浅商会よりダッカー氏へ直接小麦取引希望の通信在之、披見致候、併我等の敵

手の事相話候処、ダ氏より断り書差出シ申候

罐肉箱板

前便輸入部より着手致し、是はQMLとベーンズ商会より試注ヲ受ケタル事ニ候、何卒、充分御吟味之上、可成安価ニ御供給被成下度、愈全部約定トナレハ、中々大口の仕事ニ可相成候、SMP其他交渉中ナルモ未定ニ御座候

前二口の注文品ハ御積出之節、B.L.ハブリスバンのC.O. Mart 氏へ御直郵被成下度候

此前のNQLM L送りは前案内ナカリシ為メ、沖取ニ会社社の解けニ受取ルヘキの処、タウンズウイ  
ルへ陸上ケセラレ、再ヒ船ニ移シ工場へ運搬の為メ、當ニ費用の掛リタルノミナラス、破レ板沢  
山ニ相成、大ニ迷惑の由、コーテング氏苦情申居候

鮭罐詰

僅ニ弐百箱の試注文ニ対し百六拾箱約定、跡ハ暫時供給不出来云々、あまりのシミツタレニて御話ニ相成不申候、畢竟、見本御積送前の交渉研窮不足の結果と存候、今後、商売発展の計画ニハ、可成、如斯日用品ニ着目肝要と存候、而して本品の如きは、是より收穫時季ニ入ルモノ、様存居候得共、如何ニ哉？、兎ニ角、貴店支配人自ラ輸出部の事務ニも大ニ注意奔走、敢テ人任せニ放逸セス、元方トノ交渉の如キ、平常より充分の御心掛け希望仕候

〔欄外書込 筆跡は北村と異なり本店重役の書込か〕

平罐ノミノ電信ニ立罐ノミノ注文ナル事、立罐ノ不自由ナルハ既ニ屢々通知セル所ナリ

大正元（一九一二年）

羊毛

市況の概略ハ、本日別郵の月報ニ詳記仕候間、各御得意と共に粗御了解被成下候哉ニ奉存候  
然ルニ右脱稿後、今夕發電仕候通り、ロンドン定市ハ前回ニ比シ $7\frac{1}{2}\%$ 上騰ヲ示シ、且昇進  
の歩調ニ在之、加之、米國よりの優等品注文入込等にて、本日午後の市場は近來の大活動、左程  
fine の品ニ無之も、歩留り 56% 鑑定の shafly メリノ遂ニ二十八片四分の一の珍直ニ売行キ、  
其他十三片以上ハザラニ御座候、尤も tender や Wasting の劣等品ハ出品増加と共に、望人減少  
の傾ニ在之候

昨日迄の塩梅にては、加古川注文の 3 a 廿五片半、新 type G1 廿七片ナラ買入出来可申哉の予  
想の処、今日の勢ヲ以テ押セハ、廿六片半か廿七片半ナラテハ調弁六ツケ敷存候、而も何時小弛  
ミナシトモ難考、一旦成行無指直御注文被下候品ニ付、特ニ高直の具体的ニハ打電見合ル事ニ御  
座候、或ハ直段ニ恐レ、注文減少等の事ヲ杞憂シタル故ニ御座候、昨日ハ幸ニ 3 a 宛五十六俵、  
㊦ 号宛の五十三俵買付ケ候得共、本日ハ適當品豊富ナリシニ不抱、僅ニ九俵より手ニ入り不申  
候実況ニ御座候、併一種五六百俵迄の御注文ニ付、日光丸ニハ積入レ間ニ合可申考察罷在候（ブ  
リスバン市も在之候）

千住被服廠宛の品も、今日のセリ合にては 24 乃至 24  $\frac{1}{2}$  一杯ニ御座候、少々氣のキ、タ P. es

八十一片半、十二片と申ス勢ヒ、可驚ものニ御座候、呉々も此方早手仕舞ニ買付け候事、今日ニテハ大勝利ニ御座候、実地ニ滞在セル高橋技手へも説明致し置候、大ニ注意ヲ惹起シタルカ如ク見受け申候、併是もブリスバン次回の出品五萬俵も在之候間、愈御注文被下候場合ニは、可成廿四片以下ニテ調弁仕度考ニ御座候間、今夕発電の意味、幸ニ御解釈之上、多少共、御用命被成下候ハ、好都合ニ御座候、玉木氏よりも跡品買入困難ニ付テハ、或は直増シ請願の喋電在之候哉も難計奉存候

メBの方ハ、出来レハ宜敷的御注文ニ付、及ブ的尽力可仕候、是もテンダーの品斗ニテ思敷品頓と出品無之候、王子の方の一品ハ、貴方電暗の間違ニテ少々異様の品買持ニ相成候得共、成行不得止候、是ハロンドンセリ市へ輸出セン歟と考中の事ハ、既ニ店報上伸之通りニ御座候、メB二等B向キの品ハ、前田君来示ニ基き、一等と共ニ精々尽力可仕候、近来、メBの騰貴ハ著敷モノニテ、追々メリノ直段の墨ヲ磨スル勢ニ御座候

「For」上等品ハ発見次第、早目ニても買入居申候、ステエンピースの試注文も承知仕候、可成荒毛ニテも、毛足長キモノ御好ミト存し注意致候得共、未た一俵も手ニ入不申候

〔欄外書込〕

電暗間違ヨリ生スル損害は夥敷事ニ候間、能ク々々御注意在之度事ニ御座候

塚脇生ハ去ル廿二日夕出立、メルボルン及デロン市場視察中、多分、本月一杯ニハ歸市の筈ニ御座候

尚々、王子注文宛一等雜種トシテ、ソルテユー輸出の分ハ細手80/4の品ニ付（コムバック相當）、或は前田君来示の品柄とすれハ細過キ候哉も難計、然ル場合ニハ東毛、又ハ日本織物等へ御転売被下度候、今日ニ相成ては大ニ割安の品ニ相成居申候

千住の俣賀所長宛通信写ハ、本日既送の店状の中へ同封致置候間、御披見被成下哉ニ存候  
被服廠矢野氏宛別紙写同封仕候間、是亦御一読願上候、月報記載後、アドレード市及ロンドン市場騰貴の事、加筆致置申候

尚申上度店務種々在之候得共、御存之通り、毎日払曉ヨリ羊毛ニ掛り、五時頃迄ニガツカリ致候、其上ニ地方通信モアリ、日本行出船前ハ毎夜々業ニテ大ニ疲労ヲ覚ヘ候間、余ハ次便ニ補筆可仕候、羊毛月報印刷等ニハ、いつも広戸国包、一晚徹夜致居候仕合ニ御座候

右

シドニー支店 北村生

尚々、此書面之写ハ東京支店へも直郵仕候間、御含置可被下候

再啓

十一月廿八日認

今朝着電、大坂莊所氏注文壹月積二百噸、昨日の御指直にて御注文被下奉謝候、精々尽力可仕候、何分、船腹無之為メ大閉口ニ御座候、殊ニ小麦の取引成立仕候場合ニは、例の社外船アルトモ、Ross River 肥料積入の船容無之事と可相成、大ニ苦心の処ニ御座候、いつも如此場合ニ想到致候、我商店にて三四千噸の荷船の所有ヲ得ハ、大ニ操合の便利も可在之と囁指拒腕致候  
本日より為替料、又 $\frac{1}{4}\%$ 方(5/100)引上げの通知在之候、然ルニ、ブリスバン積の羊毛ハB/Lハ送済ナルモ、八幡丸ハ明日ナラテハ到達セス、大ニ心配致し居候、尚會計部より追伸可仕候

大正元(一九一二年)

一一三

第七一四号信 大正元年12月14日 コブレンツ号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

店長

拝啓、貴信 329 号日光丸便及ヒ藤井君十月廿九日備後丸便船中認の御状、正ニ入手拝見仕候  
軽症の感冒にて御引籠の処、追々御快方の趣、御案事申上候、萬々御除才ハ無之候得共、寒サの時分ニ付、一層御用心奉願上候

台湾肥料

藤井君一メ東西各位御尽力の甲斐なく、遂ニ落第ナリシ由遺憾の至、御同情申上候

羊毛

ブリスバン積の分、又々八幡丸にて積残し相成、不都合千萬ニ御座候、委細店報御披見可被下候  
此方市況ハ、不相変手堅く保合ニ御座候、次周ニは上等品可在之見込ニ付、可成のI号品買入仕舞ニ致度存じ居候、千住被服廠等よりの追加御注文の入電無之、旁 Cos のみブリスバンへ出張為致候

大倉は七八百俵同地にて買入候由ナルモ、日光丸ハ休日の関係にて積取不申ニ付、多分熊の丸迄



船待の事と存候

3 a 宛三拾余俵買入候様 *Coss* より入電在之候、此分ハオルテンハム号より積出し可申考ニ付、一寸御含置可被下候

塚脇生ハ、多分日光丸ニて帰朝可致哉ニ伝承仕候

小麦

今半片の事ニて未だ買約不仕候、多分、次周中ニハまけ可申哉ニ存候

運賃も跡ハ 20/1 杯誇張致居候得共、未だ何方へも約定ハ成立チ居不申、多分 17/6 ナラハ N D L 承知可仕候見込ナルモ、15/1 ニハ逆もまけ不申哉ニ存候

四五月積 N Y K 大形火船参り候様ナラハ、多少船復余融可在之候も、生憎其運ニ不倒、加之、小麦相場も一二三月物ハ 3/7 目下相場ニ候得共、四五月物ハ 3/8 1/4 杯申居候ニ付、今暫時買付ケ六ツケ敷奉存候

ウイットン <sup>Top</sup>

恰も英国騰貴の入電ト此方市場引続好況の折柄ニテ、大毛御指示の先物承諾、大ニ躊躇致居候処、段々説法之上、漸く約定済仕候、大毛ニ於て御不用ナラハ、不得止次第御座候得共、御類用の途在之候ハ、右は近頃の割安物ニ奉存候

熊の丸積 Hughes 分、虫害在之趣、厄介ナ事ニ御座候、何故此の如き欠点相現レ候ニ哉、不審ノ至ニ御座候、羊毛の虫付熱一寸下火と相成候折柄、又此事アル大ニ心痛罷在候

玉葱訴訟

愈過日一審開庭相成候得共、双方共控訴の考ニ候間、十分の解説ヲ待タス、仮ニ原告の勝利ニ相成、一月下旬更ニ開庭の筈、我等の代言人の意見ニテハ大丈夫勝利と申居候得共、外々の事例ニも相成候事故、内実大ニ配神致し居候、詢ニ厄介の事ニ御座候、但し弁金額ハ大ニ過多ニ候得共、小生帰濠前、大西生と代人間ニテ取定メ後、如何共致方無之、要ハ我等の勝利ニサヘナレハ宜敷ナレ共、為念申添候

Ross River  
Fertilizer

店報詳記之通り、オルデンハム号ニテ 600 噸積入の事ニ約定致候、増増の 15、御見込ニ比シテハ失望と存候得共、棧橋迄参り候事故、17、相当と相成候義ニ付、御満足被下度候、況ンヤ其後、MMハ日本行便船無之由、代理店より通告在之候間、丁度好都合ナリシと存居候

増俸

兼て御協議済之通り、十一月一日の年度替りより、御指示之通り、支店員之増給実施致候、但し広戸生ハ留学生手当の収入も在之候間、週給 £3/10/0 一致シ、CosS も一時ニ £2 は過多と存し候間、£1 増の週給 £6 止メ置候間、御含ミ置可被下候

年末ニは、ターナー以下の雇員へも年末ニは相当の増給可致考ニ御座候、何れも熱心執務致居候

土産物所分

先達、本店より五六百円出金相願候小生携帯のみやけ物ハ、左の人々へ分配致候間、左様御承知可被下候、間接ニハ多少の好感情を与へ可申相信じ居候

H. H. Cordnight	QOME Co	Townsville
R. A. Talbot	//	
C. O. Mant	Brisbane	
F. Bardsly	WBA Ges't	Brisbane
J. Byrnes	Auctioner	Morehead L //
Mc...richs	Redbank	Meatworks //
A. Dnoker	Broker	Qy...
W. Muggidge	Horse Export	//
Mathews	Agricultural Dept	Wool Export
Mis Hughes	Top Co	
// Anderson	//	
A Gee	SMP Co	
A Geeys	//	

大正元（一九一三）年

Thomson	〃
Dr Jannison	店員係り付の医者
Dr Sturdy	〃
W. J. Memahon	S... SWB association
C. Ryland	Lever Bros' Buyer
J. R. Boxfer...	代理人
W. P. McElhone	代理人
Simpson	Pate...Laing & Buice
F. Lloyd	Lloyd & Collins
Burnett	Sergood Bros
W. Hume	Melbourne
R. N. Kirk	BHP Co agent Sydney
M. F. Whiddon	Top Co       〃
Consul Jeneral	M. Saito
C. Hayashi	領事書記生
E. Lancer	保険会社ノ人
J. OdomeII	NYK Wharfinger

J. Huwood Auctioneer G. Mozham Co

J. Mcfeger Wool Buyer

其他支店雇外人等へも夫々配付仕候条、御含置可被下候

箱板  
今便SMPよりも試注文入手致候間、輸入部より御報可仕候、何卒、精々御注意、将来一取引の

増加候様、御尽力被成下度奉願上候

先方が目下買入居候欧州より輸入の実価も知らせ呉候間、御参考之上、夫よりも相当之廉価ナラサレハ日本の松材ハ木質ニ於テ余程劣等ニ付、不引合と可相成存候、SMP使用の箱板ハ時折、筆者の送り居候罐肉ニ付テ御一覽可被下候、若し御入用アラハ京都私宅へ御通喋之上、空箱御取寄被遊度候

軍馬

購買員ハ、熊の丸より御出張の事と存候、既ニNYKより同船二十五頭積入の事、当地代理店へ通知在之候様伝聞仕候、宮様の車用如何、一寸御照電仕居候事ニ候、入用ナラハ早くより探し置可申候

右

シドニー支店

北村生

大正元（一九一二年）

一一九

第七一五号信 大正元年12月23日 日光丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拜啓、前便後貴信ニ不接、シキスマント号ハ多分ブリスバン廻りにて、明日午後到達可致哉と奉存候

本船は休日の為メ一日操上げ、明日正午出帆ニ付、旁多用ニ消光罷在候  
塚脇生は本船にて帰朝致候間、御面会之上、此方の近況御聞取被下度候

羊毛  
市況ハ毎週の電信ニテ既ニ御了解被成下居候通りニして、今便、例之通り月報別送仕候間、御披見被成下度候

一時何品も奔騰一方ニ在之候処、ブリスバン閉市後、当地最後の定市ニは普通品の売行同事ナリ  
シニ比し、優等品ハ競争稍緩慢の気味にて、幸ニ我等の好機逸すへからすと3 a 及 2 宛割安  
ニ相当買入申候、而も出品は細物過多ナリシ為メ、3 a 向キ品豊富ナラズ、遂ニ二百六十俵斗不足  
ニ相成候得共、是は一月のインパイア、又は熊の丸より必ず輸出可仕候間、格別の御差問ハナキ  
事と測定致居候

前郵便報より詳悉之通り、タウンズウィル肥料の關係上、オルテンハム号へ羊毛五百俵斗積入の条件在之候間、加古川G1号の半高前後、王子のメB及「ox」は、同船ニ積入の考ニ手配濟ニ御座候

ブリスバン買入の3a宛三十一俵ハ本船受取り不申ニ付、無止、オルデンハムより輸出可仕候

其跡の加古川のG1号宛ハ小麦積入の關係上、エンパイア号カ或は熊の丸歟、考中ニ御座候、NDLのシギスモンド号は一月十一日出港の筈ニ付、少々尚早ニテ新麥出廻り払底ニ付、エンパイアへ「T」ニテ仮約中ニ御座候、而シテ若シ積出ムトスレハ五百噸ニ候、而シテ羊毛若干ヲ積マサレハ、横浜ニハ參らぬと申す故ニ御座候

千住宛のメBは、最初王子注文見本の電暗誤発の為メ、買入見込直段高価ナリシヲ標準トシテ御注文被下候事故、直段ニ余融ハアルモ、サウンドの毛大払底の為メ大ニ困難致候事也、殊ニ長サニモ條件在之、去り連、御注文通りの品ハ例のケーシングするニあらずハ供給不可能ニ候、而も御注文を謝絶すへきニあらず、旁少々の不同ハ承知之上ニテ買送り候間、何卒、可然御弁解奉願上候、其衝ニ当ル前田君の御迷惑御察仕候得共、実地ハ御承知之通ニ御座候間、廿三片予定の品が廿一片四分ノ一ニテ出来キタトスレハ、多少の処ハ俣賀閣下も御辛抱可被下哉ニ期待仕候且ツ又107の処へ54相当品の混合アリ、54の処の中ニ107/8の細物混合の品も在之、理屈

より申セハ甚不都合ニ候得共、前記の实状ニ御座候間、工場ニ於テ逸々御撰毛ヲ願フ外無御座候  
過日電信ニテ細ものの方割安ニ相違ナケレハ、 $\text{S\&A}$ の方廿一片迄不苦と御訂正被下、御心掛ケの  
程奉謝候、其節  $\text{S\&A}$ の品と訳文ニ在之候得共、実物ハモット荒く、近来メB高直ニ付カウ  
トのデテリエーション在之、人々一定の確信無覺束候得共、見本ハ  $\text{A}$ より  $\text{B}$ 一杯のものニ  
御座候間、廿片ナラ出来サル可カラサル品ナルモ、例のテンダーニテ困居候処、幸ニ前周二至り、  
適當品比較的多カリシト、例の中弛ミの気合のナリシ市場ヲ利シ、結局、廿片已下ニ調弁仕候間、  
直段の処ハ御安心可被成下候

Whiddon's Top

目下注文ハナケレ共、製品見込アラハ打電可仕様御命示承知仕候、早速、元方へ交渉仕候得共、  
市場閉会後の休暇之節ニも在之、能く熟考之上返答スルトの事ニ、前周分納後、何共申參らす候、  
何レハ一月ニ入りテの後の事と奉存候

保護税は明年満期後、更ニ二ヶ年継続の議案通過致候塩梅ナレ共、此会社ハ未タ一ヶ年も先物売  
約の勇氣ハナキモノ、如し

Hughes

虫害の事ハ、熊野丸便到達せされハ不詳と奉存候、何卒意外の大患ナラサル様祈居候



Hughes も保護法案通過ニ付、一ト安神と存候得共、不相変、多用ニテ碌々面会不仕候、其内來年の契約の事、懇談可仕候考也

P. H. Morton 氏のロンドンへ出張致居候事は、先日一寸申上候、右は矢張、此会社の資本増加ニ付、英国ニテ資金借入の目的ニテ出張致し居ものら敷候、同人本業ニ經驗アル人物ニ無之、例の策略起業家ニテ格別信用アル訳ニハ無之候、御心得迄申添候

小麦

再三發電御案内申上候通り、此方市況頓と定り不申、唯今の処ハ一月中ニ輸出スヘク、瀛船帆船のチャーターパーターニ於て、満船だけの買付ケを成サ、ル可ラサル処へ、農家ハ昨年来の  $\frac{1}{4}$  前後ヲ夢想シ容易ニ売放サス、旁竜動同率トスレハ  $\frac{3}{5}$   $\frac{1}{2}$  より  $\frac{3}{6}$  迄ナルニ、 $\frac{3}{7}$  ニテも沢山売人無之現状ニ御座候、而も作柄ハ昨年よりハ百五六十萬ブツセルの減少見込ニ候得共、一時早魃難の大評判アリシ時節ニ比すれハ大ナル増収ニシテ、当州最近の予想ハ二千三百五十萬ブツセル前後と在之候、依之、一月ニ入レハ、屹度今一段下落可仕存候間、是非、 $\frac{3}{6}$   $\frac{1}{2}$  迄ニテ買入申度存候、若し出来ルトスレハ、

エンパイア号ニ 五百噸

熊の丸ニ 五百噸

大正元（一九一二）年

先以テ輸出の考ニ御座候、莊所益田注文三百噸の外ハ、東京製粉の方へ御振向ケヲ願ふ考ニ御座候、而シテ日本東亜日清等ハ、何れも一二三月、又ハ二三月積売手勝手ニ相成候得共、仮ニ一船五百噸より積入レ不申トスレハ、此五百噸ヲ三ツ割ニ致候事ニ哉、一口ツ、先方御引取被下候事ニ哉、委細ハ熊の丸便ニハ御詳報可被下哉と待兼居候

17/6の運賃ニては、他の商人より御地向キ約定不出来ニ哉、其後、NDLの運賃約定シタル者無之候、3/6 1/2ニナレハ、ドーニ歟引合可申ニ付、其際ハ逸早く打電可仕候(船腹ヲ仮約シテ) 15/1率ハ一寸六ツケ敷存候

日光丸

八幡丸積残りのブリスバン羊毛ハ、惣テ本船ニテ当地へ持来り、一旦陸揚シテ、メルボルンより帰港後、更ニ積入タル事ニ御座候、如此余計の手数ヲ掛ケ候テハNYKの収入ハ殆ントゼロニ可相成、啻ニ荷主の迷惑ノミナラス、会社の為メニも大不利益ニ御座候、八幡丸の積残シの掃除引受けハ、いつも本船ナリトテ八木船長大ニコボシ居候、且ツ本船ニも船容已上の荷物ヲ Booked 致し居、迎も積メヌと頭カラ謝絶シタと伝聞致候、何卒、我等のブリスバン及タウンズウイル約束の肥料類ニ積残り出来不申様、神掛け祈居候

本船積のトップニは虫害無之様祈居候、何故ニいつも熊の丸とオルテンバム号ニ此災厄アル事ニ

哉、妙ニ存候

軍馬

購買員ハ、熊の丸ニて来着スルニ哉、東支の先着状ニテハ八幡丸ニ勧誘云々の御話も在之、愈出  
発相成候ハ、御一電被下ソーナモノと存居候、尤も馬匹ハ夫々用意為致居候得共、返事長引候  
事が不面白処ニ御座候、人夫の用意モセサル可カラサル事ニ御座候

種牛

姫路共進会の報告御送被下、高橋様ニ御伝礼被下度候、我等の輸送せし子孫中、相当のものが出  
来居候事、御同慶の至ニ御座候

近来、当方ハエアシャー不流行ニて割安ニ買入出来可申見込ミ、御注文ハ無之候哉、目下ハ又  
ジャージーとガーンジー流行ニ御座候、ホルステーンも一寸ニ町目ニ御座候

Hughes Top

曾テ大毛ニて御話在之候スリバー秤量の事、小生帰来、同人へ申入置候処、追々改良致す様約束  
仕候、前便八幡丸輸出の中、

Type 4 B/S \$4290/7

” 9 ” 4298/4305

ハ、特ニ御希望の 80/5 グラムの平均相当ニ相成居候様申居候間、御試験被成下候様、御伝言  
願上候

大正元（一九一）年

二五

但し此目方の平均実行出来候様相成候ハ、細太之不同も自然消滅シテ、需用者の御希望ニ叶ヒ可申存候

## 過燐酸

例のハッセルの手より、オルテンハム号ニ約定シテ、門司工場より四千噸持参致候、然ル二十一月廿二三日頃、台湾外沖近傍ニテ大風ニ遭遇、船体余程損傷ヲ蒙リ、予定ヨリ三日後レテ、去ル九日、ニユカスツルへ入港致候得共、アドレード行の二千噸延航不出来ニ付、一旦全荷同地ニ陸揚げ、本船ハ近日シドニーニテ入渠の由、而シテ他船ヲ以テ南濠州行分送の由伝聞致候、而シテ同船ハ今以テニユカスツルニ碇泊仕居候間、今後修覆シテ愈の出船ハ、多分、来年一月十日頃ニ可相成哉ニ存候、少々之延引、不惠御承知奉願上候（羊毛ト肥料ニ対シ）

兎二角、右の船会社之損害と存候得共、荷主側ハ如何ニ感シ居候事ニ哉？、然ルニ右の外、辰馬商会の白鹿丸ヲハッセル商会ニ於テタイムチャーター致し、先日三千數百噸持来り、其内小千噸当地へ陸上ケシタル哉ニ伝承、跡二千五百噸斗ハネピーヤトリットルトンに分送の筈、其途中、本船ヲニユカスツルへ廻シ、材木ヲ新西蘭へ輸送すべく手配シタルモノナルベシ、然ルニ別紙切抜キの如し新聞在之、果シテ今後新西蘭へ廻航後、荷揚方如何の都合ニ可相成可申歟、随分、ウンザリセサルヲ得サルヘキ哉ニ被考候、御心得迄ニ申上候

何事ニ不限、楽ナ商売ハナキものと、余所之事ナカラ精々氣の毒ニ相感シ申候

木戸忠二郎

氏、曾テ四方君より御倚頼アリシ同君ハ、濠州及新西蘭の一部ヲ巡回視察シテ、去月三十日、当地出發、シンカポールを経て印度へ向ハレ申候、別紙同君よりの書面ハ此方不用ニ付、四方君へ御回付被下度候

乾血

熊の丸輸出の□□ニスクリーキ製品、大不都合の事驚入候

目下直段ニ不抱、法律違反ニ付、日本内地ニテハ売レヌ故、積返すと掛合中ニ候、別紙書面写御披見可被下候、先方の返事の如くシツクイ的地盤ニ乾燥シタル故、最後之二三袋ニ多少の土砂の混合の事ハ難受合も、全体ニ40%モ混合物アルヘキ筈ナシト抗議申来リ候、何分ニモ唯今の処、水掛論ニ付、貴店よりの詳報ヲ待テ嚴談可仕候、夫迄の処、一時御積返しハ御見合之上、御貯蔵願上候、而シテ御除才ハ無之候得共、全体ニ付テ再三の分析御検査相願度候、實際、故意ニ40%も土砂ヲ混合スルカ如キ猛烈の奸計ハ無之哉ニ被考候

先日御来示之CWS及Ros 肥料の分析も、貴方の御間違ナリシ事発見の由、大ニ安神仕候、特ニ後者の70%以上ナリシハ好都合ニ御座候、果シテ全部ハ如何可在之哉、八幡丸の五十噸ト今回の五十噸ニ就テ御再査被下候ハ、粗等御見込相付キ可申歟、何卒、一千噸を通シテ6%以上の平均ニ相成候様祈上候

大正元（一九一二年）

三七

豆油用トラムニ付テハ、筆者帰朝中、種々説明仕り置候事ナルモ、過日、四方君より輸入部宛来状中、「LBニ於テ $\frac{25}{1}$ ヨリ見テ呉レヌ様ニテハ買置キハ不利益云々」と在之候得共、甚淺薄の考と存候、いつも此筆法ニテハ實際閉口ニ御座候、其節ニモ屢申上候通り、LBニテハ何程ニても此空鐘入用ナル事ニ候、而も先方も商人ニ付、何程高くとも買フトハ不申候、当り前の事也、乍併、豆油の直段ニ含算シテ取引致候曉ニハ、第一買人の危険ニアル2%の漏弁金ヲ助カリ、我モ亦タ2%以上弁金ノ負担ヲ免レル事ニテ、仮ニ $\frac{25}{1}$ と見ルモ、鎔代の外ニ漏りの予防ニ於テ無 $\frac{10}{1}$ 共 $\frac{15}{1}$ 已上 $\frac{15}{1}$ の直打増加スル勘定ニ御座候、況ンヤ鐘サヘアレハ、豆油の取引モ樂ニ出来ル方便トナルニ於テヲヤニ候、故ニ今少々自己之考ニノミ拘泥セス、他人の意見ニ付テモ研窮ヲ怠ラス、先入主の陋習ヲ打破シ、須く事実上の利害ヲ深く厚く懇切御調査之上、御取扱相成度候、一概ニ輸出部ノミニ放任セス、支配人ニ於テも協力同賛、取引の發展ヲ重要視セラレ候様相願度希望仕候

最早、本年も余日無之、折角御自重日出度御超歳被遊候様、遙ニ奉祈禱候、敬具

シドニー支店 北村生

大正元（一九一三）年

大正2年  
シドニー来状





第七一六号信 大正2年1月11日 シギスモンド号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

恭賀新年

本年は本邦皇室の諒闇中ニ在之、諸方への年賀状ハ中止仕候間、各得意先或は知人等へ宣布御伝言被成下度奉希望候

着信

店長十一月九日付御書及貴信 888号、本月九日熊の丸便にて正ニ接手拜見仕候

店長ニは寒さの時候ニ不抱、御元氣の由安神仕候、引続き御健康にて御一同御揃、目出度御超歳被遊候御事と奉賀候

大正二年の元旦ニ貴電到来、昨年期の決算は頗る好成績にて純益十五萬円ニ上り候由、少々意外ニして聊多過ぎ候様被感候得共、再考するニ、トップ及羊毛取引の増加ハ、口仙の分割ニ於て貴店の収益も著敷増加仕居候間、一般の取引發達と共に如此好果を得たる義と、本店及東京支店各位の御尽力を拝謝致候

Top 虫害

の件、委細承知仕候、如何にも重大の事件ニ御座候、而も Hughes よりハラムへ返電之通り、又

大正二(一九一三)年

一三

今便店報ニも相認メ候通り、無暗責任問題を船会社へ持込候ては、必ず運賃引上げと相成候事ハ見易キ次第ニ候間、可成温和に注意致居候、棧橋の受荷の場所清潔の事杯ハ忽チニ夫々手数致候、NYK代理店ニ於ても出来ルだけの事ハ致居候と相信し候、併愚按ニては毎航メルボルンニ於ても、ヒュームゲート致居候得共、尚虫類ハ船底ニヒソミ居候為メナラス哉と存候

併本年ハ各船共、通信省検査前、入渠大掃除之筈と承知致候間、庶幾くハ此危害減少可致候哉と奉存候

## ハラム渡濠

ニ付、種々御尽力奉謝候、態々電信ニテ Hughes の意向御問合ニ御座候得共、申迄も無之、頗ルデリケートの問題ニ付、探偵の手段ニ苦ミ居候、且ツ滝村氏の手紙の写ヲ見ルニ、何となく「ハラムヲ呼寄セテ呉レ」との依頼状の如き文句（愚按ヲ以テスレハ、今少々高飛車ニ貴方の利益と認識スルカラ、将来の製品改良等の為ニモ、ハラムヲ工場ニ呼付ケ大研究可然思フ位の事ニ御認メ被成候ハ、宜シカリシナラント存候）ニ被考、殊ニアンデルソンを以て探聞スルニ、何の原因ニ哉、当周ハ頗ル不機嫌との事故、更ニ手段ニ究し候、旁具體的の御返事不出来ナルハ不本意ニ候得共、不得止次第と御了察可被下候

本年の如き先物ハ大概売約済ニ付、同人の渡航ニハ頗る便宜の時機と存候間、アンデルソンヲ以て Hughes へ勧誘方倚頼致置候

御尽力ニ由り、お正月初手合として十二萬斤御注文被下奉謝候、ウ氏も満足致し居候、手近物御  
 売方六ツケ敷由、御尤ニ御座候、然ルニ丁度其難物が此方売方希望ニ候間、ダメとハ存候得共、  
 王子へ御納の御相談も哉と押テ打電シタル事ニ御座候、一月ハ既ニ遅ク候間、二三月積として御  
 引受被下度希望ニ御座候、而も萬一ドーシテも不出来ナラハ、三月分ヲ六月ニ持越の事、改メテ  
 掛合直し可申候、兎ニ角、今日の羊毛相場ニ比シテハ割安と奉存候

Type 14 は不引合ニ付中止し、16 新製仕候ニ付、今便、一俵神浜へ試輸致候、直段は6 A 同様  
 27  $\frac{3}{4}$  ニ御座候、果シテ直打在之候哉、御研窮被下度候

## 羊毛

如予想、聊も弱含無之、活況ヲ以て開市致し、其後多少上向キの勢ひ、優等メリノの如キハ十二  
 月引け相場よりも $\frac{1}{4}$ 乃至 $\frac{1}{2}$ 方騰貴ニ御座候、此方ハ加古川の $\text{㊂}$ 号去月中ニ大半買入済ニ付、  
 大ニ仕合ニ御座候、兎ニ角、大概の注文ハ本月一杯と、来月初旬のブリスバン市場にて買埋メの  
 考案ニ御座候、夫ニしても被服より今壺千俵たけニても御注文被下候ハ、、払底の折柄ニても必  
 死利方ニ調弁行届き可申考ニ御座候

加古川の追加DD十五萬斤、東毛の三十萬斤は詢ニ御尽力感謝之至ニ御座候、是にて当季節中ニ  
 ハ壺萬二千俵位ニハ相成可申候、来季の席順も安心ニ御座候

三井は引続キ東毛宛ラシキ品、当周二も $\text{100}$ の俵買付け申候、大倉も単二千住宛の品のみ頗ル緩

慢ニ買付け居候、玉木君楽天、寧口可驚ニ候、高嶋屋ハ同人名義ニては其後買出し不申候、Duboe  
 ハG1号相当品も買入居候得共、其注文先は不明ニ御座候、要之、御来示之通り、加古川より  
 右三店へG1号相当品の優等物ヲ注文サレタトスルモ、唯今の模様ニては頓と買入ニ着手致し  
 不居候間、或は取消ニ相成候哉も難計、川西式のやり方ハ甚迷惑ニ奉存候

〔欄外書込〕

来ル十四日より開催のロンドン第一回定市出品ハ、昨年十八萬俵ニ比し、僅二十三萬五千  
 俵との予報ニ候間、相場ハ更ニ5%以上の騰貴可在之候とも、下落ハ無之哉ニ被考候間、  
 適当品ハズン々々買埋メの決心ニ御座候

豆粕

尼崎LB工場も近日開業致し、一手販売の御契約行届き候由、御同慶申上候、例のウエンライト  
 氏は去月廿四日、シキスモントニて無事帰濠、過日面会仕候、同人の話ニ貴店の商取引振チリッ  
 トソンニも好感ヲ与へ居候様ニ思フ、スチワート氏の *stow* ニハ閉口、永く会社勤続スルトハ思  
 わぬ杯内聞致候、御含迄申添候

豆油も、追々ニは輸出向キトシ製産可致も、会社の経済は別勘ニ御座候間、貴店ニ於てLBの品  
 ヲ当地のLBへ御周旋被下候事、不可能ニハ無之事、恰もタローの如し、大ニ切込ミ被下度希望  
 致候

度々の御来電、貴方の御イラチも御尤ニ存候得共、既ニ御約定済ニシテ、船積の時日ニ猶予も在之候間、多少共収益ニ相成候様致度、且ツ作柄も意外の好収、欧州行運賃、不相更、帆船 38、39、火船 42、43 の高直ニ在之、旁是非、今少々の下落アルヘキヲ確信致候間、格別の危険ナシト見テ、内心ハ焦チナカラ無理ニ落付き居候次第付、不悪御了解被下度候、一日一寸下押と見ルト、翌日ハバルカンの戦争仲裁会議の様様不味ナリトシテ安売跡寄り致候等、大ニチラサレ居申候

船腹も大ニ苦神候得共、不幸ニシテNDLの約定セサリシ為メ、他ニ横取セラレ候為メ、貴方既約噸数ダケの積場ニ不足を生し居候事ナルモ、三月迄ニハ何ト歟、方便相付ケ可申考ニ御座候、船腹ヲ尽力セサレハ跡売方困難云々の御来示、御尤もニ御座候得共、唯今の処、売ッテ頂キ候テモ、此方ハ積出しニ苦ム訳ニ御座候

何分売直ニ余融無之、切詰メ一杯ニ候間、元直ニ多少の利方ナケレハ骨折損ニ相成候仕合ニ付、大ニ苦神仕居候訳ナリ、而も本船積他店の 500 噸も 3、4 已下ニ無之様確信致候、加フルニ外商の手ニ付、日本ニ於テも仲次者の口仙ナカルヘカラス、此処買手萬歳の売屋貧乏ニ御座候熊の丸ニハ肥料を 150 噸斗跡廻しニ致し、本品今ニ百噸だけ積入申度掛合ニ御座候、而して此 200 噸ハ 3/7 1/2 ナラ出来可申予想ニ御座候

来月のセントアルバンスニモ、是非 300 噸だけニても積サセ度、大ニ尽力中ニ御座候

二付懇切の御来示奉謝候、ハラム買取二付、同人の話と不申候由、大ニ多トスル処ニ御座候、サ  
 スガ英国人ト見上ケ候処、而も昨年の東毛売約二付、前田君ニウツチャリを打ツタ処ハ、中々悪  
 「ラツ」油断相成不申候、尤も余処の人ニ付、いつも味方として「アテ」ニする方が虫が宜し過  
 キル歟と存候

要するニ、昨年の條件が実ハ意外ニ少々利方過キタ次第二付、本年の継続ハ余程六ツケ敷と存候、  
 内々ソロット当り居候得共、更ニ手答無之候、尤も昨年来、大毛一点張の大取引在之候間、多少  
 のプレフェレンスハ可在之も、何分ニも其後東毛抔も大口取引出来居候間、此処頗ル苦神罷在候

雑件

高橋天神君へ別紙御届け被下度候、牛の事ハ何も記載無之候

田辺貞造君の事承知仕候、来訪在之候ハ、精々御周旋可仕候、同船ハ帰航ニニコカスツルより  
 石炭搭載、印度回航の予報、新聞紙ニテ見受け申候、三井物産ニも手島精一氏より依頼状参り居  
 候由

Cos 日本観光の件、御承諾被下奉謝候、次回八幡丸ニテ妻同伴出張可仕候間、宜敷奉願上候  
 北村私宅行エキス御転送被下候由、毎度、御手数奉謝候

熊の丸事ム長へ御托送のボタン三個、慥ニ入手仕候間、秋田へ御伝言願上候

高橋泰二郎氏より今便サッター老人へ礼状出サセ置候

此書面写、東支へも直郵仕置候間、御含置可被下候

右

北村寅之助

大正二（一九一三）年

一三七



第七一七号信 大正2年1月22日 熊野丸便 タウンスヴィル接続

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、貴信 332 号、一昨日到達拝見仕候、327 号重複ニ付、番号訂正の件承知仕候

店長ニハ不相変御健康と存候得共、寒中折角御加養奉願上候

決算

予報敬読、次便ニハ詳細の書類在之候事と大待兼ニ御座候、何ニ致せ、開業已来のレコードは御同慶之至ニ奉存候

日濠館の貸間も十二室ハ貸人在之候趣、何卒全部貸切と相成、固定資本ニ対する多少の利息回収相成候様祈上候

資本金の増加ハ、いつも切望の限ニ御座候得共、此頃の如く積荷の船腹払底ニては、是非五六千噸乃至三四千噸のニても不苦、火船の二隻も所有致度とも考ラレ申候

小麦

前報ニも詳報之通り、此方ニても内心大ニ焦慮罷在候得共、兎角思ふ様相運不申、ミス々々先キの見透キ居候如くナルモ意の如く不參、残念千萬ニ存居候、バルカン問題も到底再開戦の如キ事

在之間敷存候得共、何分此地ハ現物取引の事故、先売スル者無之、大ニ迷惑致し居候事ナリ、最初より一二月渡しの相場ハ申上候得共、三月物ハ quote セザリシナリ、實際、売人ハ割高の直段ヲ請求スル故ニ御座候、而も筆者ハ運賃（欧州行）の直近ニ下落スヘシと不考、旁先物下落の愚按ニ付、御売約済の分ハ其俣引受け置候事ニ御座候

東京支店来示の如く 3/7 1/2、運賃 17/6 二ても、本支通計 2% の口仙云々と在之候得共、此方ハ 1 1/2 % 位の勘定と看做候為メ、今少々収益致度考にて見送り居候、敢テ危険ヲ犯シテ欲張り候程ニハ考へ居らす候次第、不悪御承引在之度候、実ハ今日迄見送り候事故、是非 〇〇 以下ニ下落スル迄（未定ナレ共）辛抱仕度とも存候得共、御来示の通り、屹度下落スルニ限リタルモノニ無之候間、3/7 1/2 ナラ注文物数買約済仕度、昨今奔走中ニ御座候

然ルニ、日清宛最後の千噸の内、多少共約定承諾セサレハ、信用ニ関する云々の御来示ニ候得共、是ハ甚迷惑ニ御座候、仮ニ直段ハ出候とも、船腹ナキヲ如何センニ御座候（支店一月四日付打電中、三四月積ニテハ如何と申上候事ハ、筆者の意見ニハ非ラサリシナリ）、全くの処、前報之通り御注文被下候共、甚困入候次第ニ御座候

三井力或は其他の商敵より、二月積五千噸五円四十銭にて売約申出居候由承知仕候、彼等ハ多分自家持船ヲ以て利用致候故、如此売買出来候事ナラン、此方備船ニ付、再三ロンドンへ交渉致サセ候得共、唯今の処ハ濠州より日本行 25/1 已下ニテハ応スルモノ無之、此直段にてオイソレと何時デもある訳ニ無御座候、尚 25/1 二ても応スル船アラハ、早速ニ通喋致具候筈ニ仲買

人へ倚頼致し在之候

夫ニしても、前記の他店より offer 致候五千噸の実否疑惑ナキ能ハス、五円四十錢ニテ売物アルニ係ラス、貴店ニテハ五円四十五錢テモ売行御見込可在之の由、又其後、日本製粉会社ニテ五円五十五錢ニテ他店へ五百噸注文相成候由、是が事実トスレハ五円四十錢の offer は一時の投機的申込歟、単ニ噉ニ止リタルナルベシ

近電の東亜製粉の五百噸ハ三月積ニテハ唯日光丸の千噸約定の外、船腹無之ニ付、御約定出来不申訳也、故ニイスタン号へ積入方極力運動仕居候得共、頓と承諾不致、大ニ苦神の処ニ御座候、今一応明日交渉之上、御返電可仕考ニ御座候

Hughes  
 日光丸輸出の Top ハ惣て虫害無之安着の由、ハラムより着電在之候趣、昨日アンダーソンより伝聞安神仕候

ハラム渡航の件ニ付、昨日 Hughes 二面会の節、勧誘仕候得共、何分時日ヲ要し候間、矢張、同人ハ日本ニ駐在の方、自家の利益ト信スルと申居、二三ヶ月の時日ヲ割愛するたけの事ハ、貴工場ニ於ても利益可不尠と押返し候ハ、手筈無之、不同意の模様確實ニ付、不取敢、御返電仕置候

事ニ御座候、此方の深切も此種の人ニハ効能不感化ニ御座候

Whidlon Top

四五月積御延期分、売行御見込可在之の由、本懐の至ニ御座候、無論、土曜日迄御返事被下候ハ、約定故障なく出来可申候

過日打電候通り、英国 Top 64 同直ニ候得共、8 手ハ¼乃至½上リニ御座候、近来乍遅蒔、当市ニテも英国筋中々買進ミ居申候

羊毛

御注文品ニ対し、前周迄買付直段ト俵数発電仕置候間、御承知被下候事と存候、其後、殆ント買入手配済ニ御座候ニ付、セントアルバンス号ト日光丸歟イスタン号ニテ皆送の考ニ御座候

台湾肥料

之件ニ付、御来示承知仕候

関西方面の販路も、精々御発展被下度奉願上候

商敵

加古川の御社長式として 61 号見本相当品、三店へ御注文相成、高島屋の手より本船ニ二百數十俵積入、大倉三井よりも相当の数積入候哉ニ存候、且ツ大倉、三井ニ於ては 3 a 相当の品も買入レ居候間、此種の分も多少取合せ注文相成候事と存候、特ニ面白キハ、例の井島博士、玉木君

大正二（一九一三）年

一四

が何歟一口買入候同印の品ヲ必ず（大口の分ハ）買入れ居候、又、我等或ハ玉木氏の発声付直致シ居候ヲ知りツゝ、其上ニ¼片ヲ加へ買入居候事、頗る卑劣のヤリ方、千住の高橋氏も實際目撃致居候、結局、同じ品ヲ四分ノ一片方高く加古川が御買入レニ相成候勘定ニ御座候、此際、塚脇先生の当地ニアラサルヲ恨ミと致候

〔欄外書込〕

或ル時ハ半片飛直致し居候

店長より御来示ニ由れハ、湯浅竹之助氏商店も濠州へ店員派遣の由、鈴木岩二郎氏商店も後藤へ放資の關係上、漸々以て濠州へも手を延し可申御見込の由、既ニ大坂安宅商会ヲ全体併合候趣、何れも中々油断相成不申候

先達も申上候通り、湯浅之如きハ小麦仲買人ダツカー氏へ取引開始の照会致し来り候由、筆者へ相談在之候ニ付、謝絶セシメタル次第第二御座候

右

北村寅之助

尚此書面写、東京支店へ直郵仕候、御含置可被下候

第七一八号信 大正2年2月8日 ワルデマー号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

店長

拝啓、貴信 333 号 334 号及店長一月七日付御懇書相達、拝見仕候、然ルニ一昨朝、俄然、

御病気の報と、遂ニ御養生不相叶、六日午前9時半、御永眠被遊候大悲報と三通同時ニ到達、あまりの事ニ支店一同茫然自失致候、何分遠方の事ニて実況審ナラス候得共、寒中ニ付、一寸の御感冒より発熱高く遂ニ肺炎と相成、中西博士の尽力も無其効能、溘焉、御逝去被遊候義と今更愁傷痛苦ニ不堪、一同慟哭の思ニ沈ミ居候、貴方諸君ニ於ても、定メテ御落胆の御事と深く御察申上候、鈴鹿老台ニも御多用ナルヘキも多分早速ニ御下神、諸般の御相談ニ御肝煎被下候哉ニ遥ニ御礼申上置候、今便不取敢一書差出し置申候(写同封仕候)

奥様ニ於ては永々の御看病、幸ニ其甲斐あり、漸く御本復との御安神之間もなく、如此突然の出来事、何共御悔の申上様も無御座、深く御慰問申上候、何卒、此際御疲労無之様御自愛奉願上候就ては今朝着電、北村是非八幡丸ニて帰朝可仕様御命示承知仕候、支店事務ハ如昨年入江君へ重委任仕、来ル十九日出立可仕候、何分、商店營業ト法律の關係上、主人死去の事、世間へ発表難

大正二(一九一三)年

一四三

相成義は、昨年帰朝の節も懇々御話申上置たる次第二付、在留日本人へハ不取敢内報仕、夫々弔辞挨拶の訪問ヲ受け候得共、外国人へハ暫時秘密の俛、營業継続の考ニ御座候間、左様御含置可被下候

於貴地商店の基礎は、昨年の改革ニ於て既ニ公証人届濟ニ相成居候間、外部より何等の異議の起ルヘキ筈無之、内部ニ於て本店及東京支店の重役諸君、加フルニ鈴鹿氏、京都井上氏、偕は林先生等御協議被成下候ハ、萬事円滑の跡仕舞行届き可申、此際小生帰朝致候ても格別の御役ニハ相立子申間敷存候得共、御来示ニ付、不遠帰神拝唔の榮を得可く存候

然ルニ兼て賜暇漫遊の準備殆ント完全、近日出立の覚悟致居たる Cos 夫婦ハ詢ニ可愛想ニ候、併非常の場合ニ付暫時延引、小生帰任後、直々出発、十月頃当地へ帰任候様致しても可然歟とも存候

## 昨年度決算

詳細御来示辱拝見仕候、開店已来のレコードにて、何よりも御同慶之至ニ御座候、本年大ニ相稼ぎ、是非五十萬円之辻ニ相成候様相楽み居たる甲斐もなく、店長御逝去之事、返す々々も千載の恨事ニ御座候

配当金賞与金等、夫々御通喋難有奉謝候、支店一同よりも厚く御礼申上候、殊ニ古立君と小生ハ

商用

店長特別の思召を以て御手元より五百円追加ヲ賜り、感激之至ニ存候も、今や親敷御謝辭を申上候御本人の此世ニ在ラセラレサル、遺憾至極ニ御座候（古立君私信、正ニ拝見仕候）

種々申上度義も候得共、少々ボンヤリ致居候間、入江君店報ニ由リ予メ御承知奉願上候

右

北村寅之助

大正二（一九一三）年

一四五



第七二五号信 大正2年4月30日 ワルデマー号便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店北村支配人・古立支配人

拝啓、三月末日八幡丸便、北村支配人御認め御書面難有拝見仕候

北村支配人

予定之通り、三月十八日海上も御無事ニ御安着の由奉賀上候、長崎よりハ古立支配人御同船にて、店長御逝去前後よりの詳況も、逐一御了承之趣承知仕候〔後略〕

支店半季決算

本日メ切にて、上半季決算ニ着手之筈ニ御座候、今季ハ前年度之同季ニ比し、羊毛取扱高半減以内ニ減縮致候へ共、Top 其他之取扱高増加之為、輸出金額ニ於て四万五千七百磅余の減額を来せるのみ、最初の予期程迄之減額なかりしハ、神戸并ニ東京両店諸君の御尽力の結果と存じ謝上候、何んとか此減額丈ハ、下半季ニ於て回複出来候様祈居候  
当上半季之輸出総金額ハ、左之通ニ候

Wool	6, 213 bales	2, 147, 045 ポンド	£99, 636: 16: 5
Tops	1, 997 "	892, 831 "	103, 881: 2: 1

Tallow	759 cks	329 T:11:1:9	10,931:18:5
Wheat & Flour	44,006 Bofs	3,447:17:1:26	24,229:2:9
Fertilizer	19,162 //	1,505:3:0:26	8,519:19:2
Oline	1,471 cks	243:6:1:12	7,167:0:5
Others			3,097:8:0
Total			<u>£257,463:7:3</u>
Corresponding Period of last year			£303,165:13:7
The decrease			<u>£ 45,702:6:4</u>

Onion Case

愈相手方ニても此上、上告之勇氣ハ無之者と見え、本日、当方代人より右関する訴訟入費中、裁判所規定之費用丈ハ相手方より支弁之事ニ相成候へ共、代言人之報酬并ニ其他にて四拾八磅余之差行きハ、誠ニ迷惑千萬之至ニ御座候へ共、斯る相手ニ掛合ひたる場合ニ付、無止義ニ存候

W. Bross  
Further offer

兼て御待兼候 W. B. Top Further Supply ニ就いて之 offer ハ、店状にて御承知可被下候通り、重役会議延引の為、段々遅延致候処、漸く本日確定 offer を受け、直ニ電信御案内申上置候条、両三日中ニ大毛其他御尽力の上、何分の御返電ニ可接存居候、直段前価ニ比し  $\frac{1}{4}$  ペンス方の直増ハ突飛ニ御座候へ共、其後の羊毛市況并ニ Bjord 市場の騰貴につれ、無止義ニ存候、然

も Hughes より最近ニ貴表へ quote せる直段ニ比せば、頗る割安ニ被存候条、是非御尽力の上、全額御注文ニ接する様祈居候

ウッドンの話にてハ、右直段にてモ僅かニ政府より下附ある可き  $\frac{3}{4}$  ペンス per ポンドの Bonus が関ノ山、収益ト之事ニ候 (吾等之考にてハ本年中ハ Bonus 1 ペンス per ポンドト存居候へ共、既ニ本年度之補助資金ニ余剩ハ不充分にて  $\frac{3}{4}$  ペンス per ポンド位ニ相成可申見込ト之事ニ候)

先ハ右用迄、余ハ店状より御承知被下度候、草々敬具

シドニー支店 入江金三郎

追々過般之主四十九日祭の節ハ、愚妻出神、永々御厄介様ニ相成候様子難有謝上候、本人よりハ未だ通知無之候へ共、不取敢、御礼申上候、以上

号外信

大正2年5月12日

八幡丸便

シドニー支店入江金三郎↓神戸本店北村支配人・古立支配人

拝啓

本期決算

当支店大正二年度上半期決算、予報之通四月末メ切ニテ決算終了、別紙諸表御送附申上候、御覧被下度候、詳細添附之決算報告ニ依り御承知被下候通り、本年度ハ前季ニ比し羊毛御注文高ニ於ける減少と、将又、前年後半季決算ニ繰入れたる金額も相当影響をなして（羊毛買入時期之關係上）、羊毛取扱高、実ニ半減以下ニ減少の爲、輸出総金額ニ於て四万六千磅弱の減少を来たせるも、「トップ」以下其他の輸出品ニ於て、多少ヅゝ増額之爲め、幸ニ羊毛減少額之大部分を補充して、

輸出総額參拾万三千百六拾磅

ニ達したるハ、偏ニ神戸本店并ニ東京支店各位之必死注文御引受ニ御尽力被致たるニ依る義と感謝仕候

輸出額之減少ハ、自然、輸出商品取扱収益ニ影響するハ無止次第、然も前年同期ニ比し壹千磅強

大正二（一九一三）年

一〇

之減収ハ、恰も当支店輸出商品ニ課し居りたる手数料率改正の結果も有之義ニ付、強ち右金額之減収ハ前年度之比較とすべきニ非ざる次第ニ御座候

輸入品の取扱統計ニ於てハ、幸ニ油類玉葱等之輸入増加ニ依り、約三千磅の増加を示したるも、損益計算ニ於て反対ニ五百四拾磅の減額を來したるハ、漸次競争切合ひ之結果ニ存じ、遺憾之至ニ御座候

右の結果、本季当支店純益、左之通ニして、

Export Profit	£3, 095-15-0
Import Profit	994-14-11
Total Gross Profit	£4, 090-9-11
Less Total Expense	2, 445-9-0
Net Profit for the 1/2 year	£1, 645-0-11
Corresponding Period of Last year	£3, 574-10-2
The decrease	£1, 929-0-3

實ニ昨年度ニ比し約二千磅の減収ニ御座候、然も前記之通、輸出商品取扱手数料率改正之結果ハ、輸出商品手数料差額ニ於て九百六拾磅以上ニ達する次第ニ付、即ち昨年度と対照する時ハ、恰も

約壹千磅弱之減収とするを至当とする次第第二御座候、兎二角、何つれにしても昨年度ニ比し、甚しき減額ニ御座候

是非、此差額ハ下半年ニ於て補充致度者ニ存居候

(以下拾参日認ム)

今朝、貴電ニて本年度上半季決算純益高御電照、承知仕候、早速、今夕發電御案内之筈ニ御座候、多分、商店組織變更之為、御入用起り候事もやと存居候、然も余り減額ニて御失望之義ニ恐察致居候、実ハ貴店ニて御決算等之為め純益高御承知致度御希望なれば、支店純益高のみニてハ当方ノ切ニ際し、諸割戻金(保険料其他)振替等も有之為め、稍正鵠を欠くの嫌有之候へ共、近来羊毛「トップ」等之運賃割戻金ハ、総て貴表ニて払戻を受くる事ニ相成居り、単ニNYK以外之瀛船積分と他ハ保険料之割戻位の者ニ付、別段電信御案内不申上次第二御座候

故店長

百ヶ日も拾六日ニ相当、明春一周忌迄之最終の御供養ニ付、御盛典御営みの義ニ存居候、之ニ就けても唯吾等之希望ハ、馨様遺産相続之義も円満ニ御協定相附き候様事のみ祈居る次第第二御座候

桑畑岩雄氏

何か支那人共同ニて一仕事致度希望とかニて、本船ニて帰朝の由ニて持参金之振替方依頼ニ付、

大正二(一九一三)年

一五

永年間の馴染ニも有之、且つハ前金払込之事故、店ニ取りてハ決して損ニも不相成義ニも有之、百五拾磅丈邦貨千五百円ニ取替方承諾致置候条、当方預り証書引替ニ御払渡被下度候、外二百五拾磅入金ニ付、此方ハ銀行為替相場ニて御計算之上御払渡被下度候、尤も昨今之貴表参着相場ハ 200 以内ニ相成居候条、格別之差ニも無之、本人も年六朱の利息を支払ひ、他より借金して調達したる金之様子ニ付、北村君御考ニて、此分も磅拾円替ニて御払渡被下候ハズ、本人之喜び此上もなき義ニ存候、可然御取計らひ被下度候

支店よりハ「カバン」一個餞別致置候、御含置被下度候

大西君

漸く「チャッチウード」停車場近傍ニて相当の売物有之、住宅購入、前週末移転仕候、台所浴室以外ニ五間許りの丁度手頃の家屋ニ御座候、尤も家賃済崩之償却方法之様子ニ候へ共、家具并ニ右購入内入金入用の由ニ付、店より用達致置候条、左様御承認被下度候、併し同君之預金も幾分有之、差引式百磅未滿ニ可有之候、御含置被下度候

先ハ右当用迄、草々敬具

シドニー支店 入江金三郎

第七三九号信 大正2年11月15日 コブレンツ号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拜啓、支店支配人状<sup>(10)</sup>号より本号迄ハ、筆者帰朝不在中にて逸号と相成候段、左様御含置被遊被下度候

貴店御一同益御盛大の御事と奉大賀候、先般来、筆者帰朝中ハ公私種々御厚誼を蒙り、辱肝銘罷在候、殊ニ身体疲瘦ニ付、不一方御心配相掛け、御心切の程深く奉謝候、右ハ前例之通り食物の加減、氣候の変化ニ基因候事ニ哉、御表出港後、海上至極平安にて去月十三日無事帰任仕候と共に引続き体量増加、外面回復、依旧頑健にて、無寧日、羊毛市場へ奔走仕居候条、幸ニ御省慮奉仰候

熊野丸にて出状可仕の処、ブリスバン出張归来、感冒ニテ頭重く、市場ハ一日も欠勤不致候得共、遂筆不勝ニ相成失礼仕候段、平ニ御寛容可被下候、本年ハ廿数年来、稀有の冷氣にて去月上旬々ウンスヴィル通過後、今以て晩秋の如き氣候にて、前周の如き筆者役室にて終日六十五度前後ニ在之、夜分の如き優ニ毛布三枚を要し候不順ニ御座候、併早晨より羊毛直入巡回ニは大ニ好都合にて、感冒も漸く本周ニ入り回復仕候、尚近日多少落付き候上、一層事務励精可仕候



貴信 343. 4. 5 号共到達、拜見仕候

住吉別野御後室にも引続き御健勝の趣奉賀上候、馨様にも其後御健康回復と共に、日々数時間二ても御出勤被下、多少共、商務の何レニ歎趣味を持たれ候様ニ被成候様、遥ニ祈上候、宜敷御伝言奉願上候〔後略〕

当支店員一同無事精勤仕居候間、御安神可被成下候

商務一般ハ尚店報ニ由リ御披見被成下度、其内小生よりも御報告可申上候

今便鈴鹿氏へ別紙写之通り、不取敢発信仕置候、為念御一読置可被下候、其他、正金の山川、穂積、安部三氏、大毛の瀧松羽三氏、千住の岡林、渡部、田中満三氏、南為氏、井上静雄、林和太郎、山岡景命三氏、川西社長、門川谷江二氏、矢野正躬氏、高橋得太郎氏等へハ前便発信状済ニ御座候間、御含置可被下候

正金銀行

近来、モスリン及毛織物界不況ニ付、各得意ニ対し取引上貸売高制限ニ付、正金本店より厳命在之、安部支配人の御厚意も黙諾の俛ニハ不相済候趣、御迷惑奉恐察候、東毛の如き長期のものハ不得止と存候得共、大毛の如きニ対してハ今少々手加減を緩められ度、何卒、古立四方両君の宮川氏へ御歎願の事情斟酌致し呉ラレ候様、只管希望罷在候、御同様ニ大ニ収益の道を講せされハ、

保險率

商店の経費も相嵩ミ居候事故、苦心の至ニ御座候得共、兼て山川重役より内命も承知仕居候通り、故店長存命中と同等ニハ取扱難相成との趣旨ハ、寔ニ不得止仕合と存候間、茲処一兩年ハ臥薪嘗胆、進ミ得べき処も割愛して、乍消極的商略上、未来ニ損害の影響を醸サヽル限りハ銀行者の命ニ服従する外在之間敷乎、而して我々の誠意誠心の貫徹致候上ハ、又大ニ手心を緩和可致様存候のみならず、モスリン界の如きも一陽來復、いつ迄も今日の如き焦心を要する時斗ニも在之間敷奉存候

右の丁子にてハ、兼て川西社長より御話在之候信用状手数料の如きも、輕減の相談ニ応し呉候哉？、予期せし処ニハ御座候得共、無覺束次第と奉存候

輕減の件ニ付、前田君種々御尽力奉謝候、如何ニも御尤の事ニ奉存候、併筆者歸任後、時日無之、未た此方にて掛合兼居候得共、大体ハ咄し込置候間、近日何と歟御挨拶可仕候間、乍姑息暫時御猶予被下度候

千住御注文書ニハ本年分特ニ会社の指名無之ニ付、規定の範圍ニ於て此方にて申込出来候得共、昨年の例も在之、電信料付出し不苦様御来示も在之旁、矢張、貴方にて東京海上へ御申込被下事ニ仕り、前田君御交渉上の多少の報酬ニハ可相成存候

要之、今日の俣ニても東京海上にて通減すると言ふ率ニ比し、格別の相違ニハ無之哉ニ被考候得共、尚詳細の比較計算相試可申候、只困ル事ハ萬一の場合ニ候、仮ニ Total Reck の時ハ無遲滞

支払可在之候とするも、乗上ケテ船体暫時危険ナキ場合の如き、或は分損と相成候場合の如き、又ハ open policy の条項ニ何歟法律上の疑点ヲ見出サレタルトキの如き、更ニ困ルコトは当地船待中火事ニ罹リタルトキ、オイソレと直ニ弁金支払の用意在之哉否哉？、一概ニ外国の会社ニ偏レルニハ無之候得共、願ハ又事ナレ共、萬一の危険ヲ防ク為メノ保険ナル以上ハ、萬一の場合ニ故障ヲ生スルカ如キ慮リアルモノハ、排斥スルノ至当ナル次第ニ御座候、併這般の理屈ハ又キニして十分研窮之上、御確答可仕候

塚脇氏の内談ニモ、日本ニ於て百円ニ付四十錢迄ナラハ引受ル会社之見込の趣、内信アリタリト申居候、此方面ニモ是非従前 10% より多少共割引方、当地ニテ掛合中と申入在之候事也

対加古川口仙

の件ニ付、御地三井物産会社より信用状手数料 $\frac{1}{2}\%$ を取消す事ニ申出候趣、如命忌々敷次第ニ御座候、併口仙ハ内約協定の存スル已上、此辺ニ抜け道ヲ拵ヘタル事と存候、ヨシ此事ナクトモ川西社長の先達の口振も在之、又今回塚脇生之三十五萬封度、自由注文在之候事、三井ニテ探知シ、当出張所へ打電セシ哉ニテ、西村氏再度塚脇生へ注文用命ヲ依頼ニ参り候由、同人モ井島博士の手練の程度ハ承知致居候得共、多少ハ買次キサスルノ内命ヲ握り居候間、本周百三五十俵同社の手ニテ買入候、今後、何程注文可致乎ハ未定ニ候得共、多くも五百俵位迄ニシテ呉候様、筆者より塚氏ニ迫り居候事ニ御座候

店報ニモ記載之通り、貴電ハ三十萬ナレ共、塚脇生へハ三十五萬と申来り居候由、然ラハ三十萬

ハ当店へ注文シテ呉ル内意ナラン歟と切込居候次第ニシテ、大倉組ヨリハ未た何等の話も無之塩梅ニ付、無論、同人の握り居候Dの大部分ハ当店へ引受け可申候就ては買入手数料の件、御協議之通り

初メノ百萬封度迄ハ、 1 ½%

次キノ " 1 ¼%

貳百萬封度已上ハ、 壹歩

ニ本社へ申込候事、塚脇生へ相話候処、本社よりも其通り通知アリタリ、併大部分ハ(加古川姫路共)兼松へ注文スル筈ニ付、是非一率ニシテ百分の一ニ規定セヨと切込ミ来リ、中々アヤフヤニては承知不致候ニ付、小生ハ同意スルモ一応本店へ相談して、本店重役ニモ賛同スル様尽力スルト申答置候、既ニ如前条、三井ニて½%割引(口仙ニハアラストスルモ同じ事也)申込ミ居候已上ハ、当店ニノミ仮令¼%方ニテも割高二手数料を供給スル的川西社長ニ無之哉ニ被考、将タ又タ口仙率高キモ、注文高減少スレハ同一勘定ニ相成候間、寧ろ塚脇生の顔ヲ立テ、又貴地ニテハ本社へ対し好意ヲ表スル如キ体裁ニテ、一步口仙ニ御承諾相成候方可然哉ニ存候、此処、聊の事小キザミニするも格別の効能在之間敷存候間、キレイニ先方の請求ニ応し、季節末ニ秘密ニ半%割戻しする事ニ被遊候事勧告致候、其替りニ注文の九分迄ハ、是非当店へ用命相成候様、塚

脇氏へも懇々念押し罷在候

羊毛 〇〇号手違の事ハ、店報御参照可被下候

幸ニ塚脇生へ交渉して優等品ハB、或ハDへ振替仕候、併此事ハ本社へハ御内密ニ願上候、当店ニテ他の注文ニ振替タル様御振舞被下度、然ラサレハ谷江君等ニ於て品物ニプレヂエタス相起し候哉ニ存候間、必要の場合ハ塚脇生帰朝之上説明すると申居候間、御安心置可被下候

準店員

等外店員ニ対する賞与金の件、御来示承知仕候、御申越之通り同意ニ御座候間、例年之通り年末ニ夫々御支給被下度、可然御依頼申上候

先ハ右迄、余ハ丹後丸便より補筆可仕候、草々敬具

シドニー支店

北村生

第七四〇号信 大正2年12月24日 日光丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、貴信 346.7.8 及日光丸追伸、又昨日はワルテマー便、前田君番外状共、正ニ到達拝見仕候、此方より每便御返辞可申上の処、御承知之通り帰任已来、無虚日相働き居候、日曜日ニでもすれハ、敢て不出来ニハ無之候得共、月曜日より木曜日までハ、早暁ヨリ午後五時迄ハ殆ント羊毛一方、夫より夜分ニ掛けて又殆んと毎夕夜業致し居候、幸ニ地方通信等ハ多く守田生ニ任せ、銀行其他の書類は依然入江君ニ署名為致居候得共、加古川注文品の如き日々の出品中、適當ト看做候品の直入品評歩留等を、せり市前ニ昨年も同様逸々予定表ニ記入して、塚脇氏ニ渡す必要在之\* (同人希望ニ由り)、金曜土曜は每周買入品見本の再検査致し居候、又塚脇氏注文の如きも何程として一纏メニ注文致し呉候事ニ無之、思ハセ振りニ引張り居候間、敢て突込ムヲ見合せ、機嫌取り々々毎日の品物ヲ勧誘して、同人の満足を得るニ努メ居候次第ニ御座候、買入レテ仕舞へハ何ンテも無之様ナレ共、御案内の人物ニ付、ドーセ兼松ニ注文スルノ決心アルモ、尚イヤミヲ申シタリ、見本ニ小言ヲ付ケタリ、中々取扱困難ニ御座候、旁日曜日ハ唯一の静養と休業致居候事也

本月初二ハ注文も不多候間、ブリスバンへハ *Coss* ノミ出張セシメ、一周日の中ニ通信の整理ヲ

スベク期待致居候処、俄ニメルボルン出張の必要起り候等、又每便出船前、一筆記報仕度精神ニハ御座候得共、羊毛ニ関し署名を要する書類沢山在之、店報の補筆、月報の校閲訂正、儲は積荷の注意ニまで苦心致居候間、自然疲労を覚へ候上、年の加減ニ哉？、筆不勝ニ相成、遂ニ其機を逸し延引之段、不悪御海容被成下度候、尤も商務の大体ハ各通信ニ由り、粗御了解被遊被下候哉ニ奉存候（至急の事ハ電信ニテ）、詳細の御受けハ次便エンパイア号迄御猶予被成下度候、NY K船は毎年休暇日前ニ相成、商要の外、取引先社交上の雑務も在之、不行届無之様注意仕候事、頗る困難罷在候、御察可被下候

今便ハ乍勝手单ニ此方の事情分疏ニ止メ候間、御勘弁可被下候

〔※印欄外書込〕

貴店より直接注作品ニ対シテも

古立君

〔病氣入院の見舞いについて翻刻省略〕

広東古銅鉄

買入事件、其後具体的の進行を経て、愈藤井君、実地探見の為メ御出張相成候趣、御苦勞ニ奉存候、幸ニ鑑定人の満足を得テ、元方の順序も好調ニ相運ひ、正金銀行とも公然ニ御取扱相成候様祈上候

藤井君日光丸船中より御認メの書類、正ニ到達仕候、御入念奉謝候

前田君

前記両君、本店より御不在ニ付、前田君東京より臨時御出神、御留主被下候由、是亦御苦勞ニ奉存候、此為メ大沢君も大多忙ナルベク、富森生の入営ハ東支の無人を訴へ、林生の来濠延引の趣、事情無止義と奉存候

当支店ニ於ては一同精勵罷在候間、御安心可被下候

入江君来年帰朝の事、暫時延期セラレ度件も承諾を得候間、左様御安心被成下度候、而も大西生帰朝の事ニ付テ其補佐、同留主中、国包の女房役トナルヘキ人、是非御撰定之上、来年遅くも三月頃、貴地出立セシメラレ度、特ニ御依頼申上候、此事ハ四方君へも御願仕置候件ナルモ、其後時日も無之、未夕候補者の撰定モアラサル塩梅ニ候得共、何卒、至急御相談之上御決定被下度候

四方君より度々御手紙を頂き候得共、前記の事情にて碌々御返事も不仕、失礼之段、平ニ御断申上候

滝村氏

モスリン改良者として褒章を得ラレ候趣、遙ニ御同慶申上候、其内閑を得て賀状差出し可申候

各社連合繰業短縮等の御協議行届き候得共、儲相場ニモ人氣回復ニモ夫程の好影響無之趣、遺憾ニ存候、殊ニ満歳豊作と承り居たる内地の米作ハ、却て昨年よりも五六歩減収の由、何卒農家の



購買力を減殺する無之、モスリン類売行活発と相成候様、此方よりも祈祷罷在候

大毛御重役連へ宜敷御伝言奉願上候

浅野ブラシ

大坂坂部商会代表者、オルテンハム号にて来着面会仕候、其後、国包生の下宿へ同居相成居候

臨時賞与

商店の組織変更後、計算期も変更致し、従前毎年々末ニ贈与相成候賞与金も、本年ハ其連ヒニ不相成、無止、雇員等ニハ雑費中より一時操替へ御支給被下候得共、店員中ニも失望の向キ可在之趣ナルヲ以て、事情御酌量之上、旧兼松商店の仮計算中ナリシ葬儀費、相続税等御精算之上は四五千円の余剰可在之見込ニ付、此額たけ旧店員へ御配与の御考察之由、御尤ニ御座候、御照会ニ基き、過日臨暗ニテ賛成の意ヲ返電仕置候

實際、重役会議ニ御提案相成候曉ハ、馨君ニ於テも別段御異論ハ在之間敷筈と察上候

貴店上半決算

表御送被下奉謝候、肝腎の書類ニ付、早速研窮すへきニ御座候得共、其時間無之、跡廻しニ相成居候得共、追て通覧可仕候

幸ニ本年も世間の不況ニ不抱、当商店は昨年ニ比し格別取引高の減少ハナカリシハ僥倖と奉存候、只々老店長を失ひたる取返しに付カサルト競争激甚ヲ加へ来り候結果、収益の段々減殺セラル、

ハ遺憾千萬ニ御座候

羊毛運賃割引

兼て御交渉中の処、加古川ニ対しNYKニ於て相当の割戻し承諾致候由、御手数奉謝候、是ハ勿論其他の取扱品羊毛トップ共通（政府の分ハ別）と奉存候、今日迄もNYKニ於てハネ付ケ居たる事、先方の虫のヨキ歟恐入候、加古川共同の交渉にて俄ニ承諾シタトシテハ、兼松商店の顔ハ何処デ立チマス歟

加古川手数料

川西社長の意向ハ1%ニアラシク云々、御来示承知仕候、併是ハ小生面会の時より其意氣ハ見エ居タル事ニ御座候、況ンヤ三井ニ於テ為替ニテ½%軽減の途ヲ開キ候ハ、結局、口仙共通ニテ同様（1%）と相成候事は前便得貴意置候通りニ付、此頃ニは御決心被下候哉ニ奉存候、要ハドーシテモ同社の注文ヲ沢山引受ルノ策ヲ採ルより良途無之候、御承知之通り、何ンテモ自己主義の川西社長ニ付、塚脇生の申告の可不可ニ不抱、社長ニハ氣ニ入り可申、從て他の社員ニキラワレ居候得共、社長ニ取り入り居候以上、幾分ハ同人の説が立ツ事ニ御座候、此説が立ツノハ或場合大ニ利益アル替リニ、又邪魔ニナルコトモ沢山在之候、六ツケ敷モノニ御座候

今回のメルボルン行買入品の如きも、理論より申セハ、当地ニ供給ナキ品ヲ引受ケ候以上ハ、在ル処ニ於て買入ルヘキ義務アリ、故ニ口仙手数料の如きもシドニーニテ取扱フヘキ品ト同格ナラ

大正二（一九一三）年

一六三

サル可カラス、即塚脇氏ニ対し此説ニ応し、メルボルン仲買手数料半%ハ当店より支弁する事ニ答へ置候、而も筆者一周間出張シテ入費の外の労苦も在之、 $\frac{1}{2}$ %正味の口仙にてハ実ニヤリ切レ不申、此事塚氏ニ弁疏スルモ功能ナク、殊ニ昨年貴地へ出張(本年も参り候)フオーマン、ツルース商会のポール氏等ツゝキニ参り、罷り間違へハ多少は此方へ注文候哉も難計、一度取ラレテハ取返し面倒ニ付、大ニ苦神致候次第御座候、併メルボルン買入品ニ対シテ、別ニ $\frac{1}{2}$ %の口仙カ、セメテ費用トシテ $\frac{1}{4}$ %ダケデモ増加の事、塚脇氏又キニして、貴店より川西社長へ御泣キ付キ被下度候、萬一承諾ナキニシテモ、如斯迄勉強仕候以上ハ、注文全部、兼松へ下命アルヘキ様、言責ヲ取り置キ被下度候、實際、三井大倉へ注文アルモ、当店たけ深切の取扱ハ不可能と存候、況ンヤ外国商人ニ注文シタ迪、歩留ニ間違ナシト讓歩シテモ(讓歩スル理由ナキヲ確信スレ共)、取扱振乃至塚氏ニ対シテ、逸々当店が同人の希望ヲ容レテ、馬鹿手間ヲ不厭呈致居候如キ品評報告等、決テ得ラルヘキモノニ無之候(買入前ニ)、彼等ハ注文ハ取りテモ、品物ニ付キ敢テ教示の深切ハ無之候、何トナラハ日本人の智能ヲ恐レ居レハナリ、殷鑑遠カラス、玉木氏が足掛ケ四五年メルボルンのジョエツトの店ニ居リタル、中積氏が三年斗当地のロエストの店ニアリシモ、各自の研窮ノミニシテ、中々仲買等の経験アル呼吸等ハ教へ不申候、此点が塚氏ニハ未タ十分會得ナキモノゝ如し、例の Vanity ニテ注文サへ遣レハ、何ンテモ唯々諾々位之考へ居ラシク、頗ル遣リニクキ処ニ御座候

右

シドニー支店

北村生

大正二〇九一三〇年

一六五



大正二〇九一三  
年

大正3年  
シドニー来状





第七四一号信 大正3年1月10日 プリンスワルデマー号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

恭賀新年

貴店御一同御揃、目出度御超歳被遊候御義と奉大賀候

本年ハ老店长御逝去後、初メテの新年にて何となく寂寥之感ニ不堪候得共、今更致方も無之、大ニ勇気を鼓舞して、新商店の為メ事業の発展を希望仕候、本店及東支諸君へ逸々賀状差上可きニ候得共、省略仕候条、宜敷御伝言奉願上候

支店一同無恙加齡仕候間、是亦御省慮奉仰候

貴信十二月八日付 359 号及前田君私信（番外）難有拜見仕候、逸々御返事可申上筈ニ御座候得共、近来、俄ニ暑熱加ハリ疲勞を覚へ候ニ付、甚怠慢之至ニ御座候得共、商況萬般ハ各部店報ニより御判読被下度候、熊の丸便よりハ種々補筆可仕候〔後略〕

被服廠注文の毛糸用メBは、メルボルンへ出張買入の考、多分御指直の 18 一杯なら買入行届き可申見込ニ御座候

本周当地の定市ハ、予想已上の景氣ニテ、加古川の GI Type の注文の遅カリシヲ遺憾ニ存候、

大正三（一九一四）年

一六九

昨年十一月末頃ニ決心御注文被下候ハ、優等品割安ニ（全部ナラサルモ）調弁容易ナリシニ、今日ニ相成候ては成行精々利方へ尽力可仕候

右

北村寅之助

第七四二号信 大正3年1月20日 熊野丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拜啓、益御清康の事と奉賀候

熊野丸入港後、独船コブレンツ号は昨日入港の筈ナルモ、今以て姿相見へ不申、多分途中にて滞延仕居候事と存候

NYK羊毛運賃  
割引

二付、段々御交渉被成下候結果、漸く去ヶ年一萬五千俵以上と以下ニ區別して $7\frac{1}{2}\%$ と $5\%$ 、又若し式万五千俵以上ニ相成候ハ、 $10\%$ 割引の事ニ御決談被下候趣奉謝候、政府用の品の去錢五厘正味ニ比してハ、尚割高二御座候得共、先は此辺以上ハ六ツケ敷哉と御察申上候、就ては従前の例も在之、内密にて $2\frac{1}{2}\%$ たけハ、矢張、本店御収入の御計画ニ付、種々入割御来示、御尤ニ奉存候、乍併過日も電信にて得貴意候通り、此際可成内証の収入は犠牲ニして、公明正大の御取引相成候方、商店信用布植上、寧口利益と奉存候、況ンヤ仮ニ去萬俵の注文を引受け候運賃ハ、 $300$ 封度平均として約六萬六千円也、是ニ対する $2\frac{1}{2}\%$ ハ僅ニ千六七百円ニ過ぎず、一ヶ年店費の一部ニハ可相成候得共、此去萬俵アルカ為メニ、他の羊毛トップ類ニ於て $2\frac{1}{2}\%$

大正三(一九一四)年

一七

の余益在之候間、差引ハ八九百圓の事と可相成候、タツタ是たけの事にて、萬一発覺の曉ニハ、如何ニもシミツタレの小細工として、大ニ面目ヲ失する次第とハ相成不申哉、御再考を煩し度候、乍併、既ニ御來報之通りにて先方承諾相成居候事ならハ、今更寢夕兎を起すニハ不及候得共、何歟の機会ヲ捕ヘテ、夏座敷主義ニ御申込被下度、切望之至ニ御座候、郵船会社ニ対シテモ、詢ニ意氣地ナキ事と見クヒラレ候哉ト肩身狭く相感し申候〔後略〕

## 加古川羊毛

先日乙印羊毛標準見本優等の為メ誤解ヲ招キ、上等品買入後ニ於て大ニ詰問を蒙り、頗る難渋ナリシモ、幸ニ塚脇生ニ説き付け、B印ニ振替へ、漸く品物の所分相付き候事ノミ一時の便宜を得候外ハ、各標本の品買入ニ付き、如前記、監督先生の講釈を頂き、毎朝馬車同乗、各問屋へ同伴、一時頃帰店後、先日も申上候通り逸々番号、俵数、細太番手、歩留、見込直段、線維の概評等を例の活版刷台紙ニ記入シテ同人ニ供呈シ、其内同君御氣ニ叶ヒ不申候品は（此方適當と見立テ候共）割愛シテ、夫よりCosへ指直ヲ命し、市場へ出席致候順序ニ付、中々の面倒ニ候特ニ皆々盲従致す訳ニも不相成、此方利方と見込候ハ、夫々意見を述ヘテ同人の同意ヲ得サルヲ得ず、偶ニハ此方意見勵行致候得共、大概ハ可成同人の機嫌ヲ損セサル様、筆者初メ支店員一同へも申付ケ居候次第、甚卑屈の様ニ候得共、川西社長の中着ニ候間、聊の感情より大キナ鰻を釣落し候事残念と存候間、臥薪嘗胆の覺悟ニ御座候

却説、昨年十月已後、熊野丸丹後丸輸出の㊦標本の品太毛混合多く、品質吟味のカス電ニ接し恐縮致候、左程粗末の品を買送りタル様ニハ難考候得共、回顧スレハ、周市開会の節の支店見込直段が、七月定市の一時底直ニ達シタル振合ヲ標準トシテ、洗上ケ廿六片と申上在之

無論當時ハ(70/4)此直段ニテ買入行届きたる訳ナリシモ、筆者帰任後㊦標本ハ昨年例ニ従ヒ70/80の格ニ引上ケタルト、其後相場ジリ々々上騰シタルトの両原因ニテ、26片ニテは買入困難トナレリ、於茲乎、一昨年買送り品の直段を取調へ候処、廿六片半より廿七片四分ノ三ニ相成居候、依之、廿六片以上奮発方、塚脇生へ再三勧誘致候得共、矢張廿六片指直ヲ固執致候為メ、ブリスバンへ出張前、当地定市ニ於て適当品二百俵余買逃シ候事ハ今以記憶致居候、而シテブリスバンへ出張スルニ及ンテ、適当品払底ナルニ積出期限切迫ノ為メニ、多少太毛トハ乍存、塚脇生の希望ニ任せ買送り候為メ、熊の丸の内ニハ多少B或ハDの品の混合セシ品アリシヲ不免と存候得共、御来示ニ由レハ、右條件付キの品の他の品も粗品多しとハ頗る遺憾ニ存候、右熊の丸及丹後丸積、此方扣へ見本ハ多用ニテ未だ再検不仕候得共、本船出帆後、調査可仕候

〔欄外書付〕

最初昨年買送りの直段ヲ取調へタル上、当時の相場ヲ参酌シテ半片位ユトリを見込ミ、26乃至26½トテモ申上置タランニハ、塚脇生の頭も一概ニ安直ニ執拗ナラサリシ哉モ難計候、何分ニモ割安々々とのみニ注目し、可成其範圍内ニテ買入方ヲセマリ候為メ、或ハ多少の無理ガ出来タル哉モ難計、詢ニ遺憾の事ニ御座候

但し、大体ニ於て本季の毛ハ昨年ニ比し、多少太毛多く相成居候ハ事実ニ付、*Q*の如キ優等品ニテモ、多少粗太毛の混合ハ不免仕義ニ御座候、殊ニ是等の品の中よりウーレン用原毛御撰分け可相成御咄も在之、塚脇生も同意見ニ在之、加フルニ、指直の廿六片平均ニ買埋メ候上ニ於て、多少一部の太毛、又ハ短毛の混合アリシ哉も不知候、而も左程苦情の起ルヘキ品ヲ買送リタル様ニハ乍我難信候、不都合の点ハ飽迄筆者の責任ニ在之候間、今更、敢テ愚痴ケ間敷義ハ申上度ハ無御座候得共、何卒、無事通過候様祈上候

今朝着電（昨夜十一時）、九月十月の因幡日光ニ船積の標準ナラハ、*TO/A*不苦云々御来示ニ付、此分惣テ本日午後再検致候、如何ニモ *TO/A*ニテ中々好く揃ヒ居、殆ント *sorting* の必要無之、毛足も至極長く候、前記問題中の熊野丹後丸の品ハ此品ニ比シ、余程細きもの多く相成居候間、太キ分が一層目ニ立ツ事ニモ無之哉、技術家の谷江氏、ゲッツ氏杯ニ対し抗弁ハ無之候得共、実ハ太毛交リ多キ故ニ不適當との様ニも被考候得共、或ハ短キ細過キル *毛* 多きの故ニ、御氣ニ入らぬニ哉と疑問を生し居候事ニ御座候、兎二角、御質問の何程の割合ニ太毛ヲ辛抱スレハ百萬斤買拵ヘ行届く可き歟との御返辞ハ、咄嗟の間ニハ困難ニ御座候（イ、加減ノ事ハ難申ニ付）、依之、明日明後日中ニ充分詮策致し、買ヘルタケ買入レ、来周又ハブリスバン市場（二萬二千俵前後ニシテ、内スカート六千五百俵の予定ナリ）ト二月九日より四日間、出品の様子ヲ研窮シテ、土曜日迄ニ何卜歟、御返事可申上候考ニ御座候

愚按するニ、単ニモスリンの原料ノミナリシセハ、左程迄ニ優等の毛ナラサルモ、今少々格安の原料を応用セラルレハ、余程の利益ナルヘキ様存候得共、技術上左様ニハ參らぬものニ哉？

103 及 107 号メBは大部メルボルンへ出張調弁仕候間、品揃も宜敷、テンダーも無之、定て御満足被下候哉と存候、107 号残部ハ今送後尚少々残り候得共、是ハ当地ニテ買入、丹後丸ニ積入可申候、尚別項之通り被服廠注文品及東京毛織の 108 号ハ、当地ニては少々六ツケ敷候ニ付、又ブリスバン定市中、当地休会を利し、筆者メルボルンへ出張買入れの考ニ在之候処、同地市場も今周初メ再会、来周ト再来周ニて殆ント売切りと可相成見込の由、来報在之候、然ルニ最終の市場ニ出張スル事と相成、出品格柄も相劣り可申哉ニ存候間、取引先き *Th... Acamounts & Son* へ交渉之上、特別ニ今回ハ半パーセント口仙ヲ以て買入の事、承諾致させ候間、此機ヲ利用し、更ニ勧誘之上、同地ニ於て 103 号宛今壹百俵買入れさせ候事ニ塚脇生の承認ヲ得申候、然ルトキハ、御来示の廿五萬斤よりハ余程増加可致、或は三十萬斤の注文ヲ握り居ニハ無之哉とも被考候

D 印ハ、今送の百十五俵ヲ以て一ト先と申居候、是にて丁度三十式萬斤余ニ相成申候

Z 印 (33) は、今少々の事にて不足ニ相成候得共、新年ニ入り目切り上建ニ相成候為メ、少々

買後レ候段、平ニ御免可被下候、跡四五十俵は可成割安ニ買入、丹後丸より皆済可仕候

夫ニして加古川はDの如キ上等品ノミニて、例のD印一派のウーレン用兼併の品ハ跡入用無之ニ哉？

## 被服廠メB

御注文のメB買入直段御問合の折ハ、メルボルン出張の決心ニて、当地ニテハ揃物ダメと存居候処、過日、御馴染の◎印出廻り候間、七十余俵買入申候、是分十七片半ソコ々々ニ相成候得共、跡買入品平均の関係上、ワザト十八片と申上候段、不悪御含被下度候

其後、洗上げ八萬斤ニ相成候由御再電ニ付、恰も四百俵余脂付と可相成、其内式百俵たけ、不取敢、メルボルンへ十八片一杯の指直ニて注文致置候、何分、本船ニハ間ニ合不申ニ付、前記の七十余俵ノミハ、却て御迷惑と次便丹後丸迄引延し申候、但し御参考之為メ見本ノミ四種今送申上候間、御一覽置可被下候

此僅少の注文モ、矢張、大倉高島屋へ分配相成候趣、お役所のレッドテープニも困ツタ物と奉存候、探聞ニ由れハ、高島屋の *Dutche* への指直ハ十七片半との事ニて、混合沢山の品少々買入、今送の模様ニ候、大倉も少数買入申候、両店共斤量沢山の注文ハ握り居ラサルカ如くニ候



東毛メB

御注文の 103 号ハ少数ニ付、当地にて買入行届き可申候モ、108 号は沢山の事ニ無之も、当地にては揃品払底、且ツ割高二付、是は廿一片一杯の指直にてメルボルンへ注文致し置候

(因記)

昨日新西蘭より入電ニ由レハ、

Good 56 Fleece Yield 60% @ 12 ½ペンス

と在之、然ルトキハ丁度洗上げ廿一片ニ相成候、NZのメBニテゴニテ毛足ハ長カルヘキモ、濠州品ニ比シ割高と存候、御参考迄申添へ候

又三井ニ於ては東洋モスリン宛か其他か、色々の品脂付買入居候

Merino Fleece Piece's' X B Pe's B's' X B star Pe's

其他スカート皮毛も P/S ニテかい入レタ様ニ伝承仕候

千住注文

漸く今便皆送仕候、実ハNZの見本ハ、御来示の通、別口ニ致候心組の処、本季ハ生憎予想ニ反し、新年ニ入り却て割高と相成、殊ニ是迄比類ナキ劣等品ニ付キ、萬一、千住ニ納ラサルトキハ御転売面倒と存候間、NZの分、高橋泰二郎氏の五十俵斗ト此方の見本荷七八十俵斗可在之見込ニ御座候、是は丹後丸より輸出可仕候

カーキー用原料として Swift ヲ以て調査為致候処、御来示の如き見本の Pieces & Bellies の

大正三(一九一四)年

一七

外、*Lox* 杯も混用致し居候趣、尤も多少ハメリノも混合致し居候由、兎二角、左之通り試ノ為メ注文致し置候

Greasy	10,000	ポンド	56 s	P&B
"	10,000	"	46/50	"
"	5,000	"	44/6	"

高橋君ハ、又別ニ Napier, Wellington, Christchurch & Dunedin、或ハ Invercargill ニて数俵ツ、取合せ四五十俵買入の筈、是ハスイフトニ於て口仙1% 付出シ、高橋氏支払之筈ニ御座候

此方買入分ハ、如先例2% 手数料付出し候様 *Swift* へ申遣置候間、追て貴着何ト歟シテ特別の手数料御徴収方、御尽力奉希望候、要之、如前記三種取合せ、特ニ八ヶ間敷條件無キ限りハ五千俵ヤ六千俵ハ買入容易と申来り居候間、御含置可被下候

再説、本季の注文品メリノ *Pe's* ハ、最初三井や大倉の買送品ハ *B'y*、*S'y* 又は *Gathing* の短毛等劣品買送り居候ニ付、又々苦情ものと思の外、此方の買送品ハ却て先方予期以上ニて直段格高二相成、試験の競争ニ落第の危機アルヘキニ付、更ニ劣等品との御加電ニ付大ニ苦心仕候、何

ンテモナキ事ニ候得共、実は先日も付箋加筆仕候通り 1st Cost 安上リニても、織上の成績如何も在之、現ニ昨年ノ試験も最初ハ大倉以下ナリシモ、最後ハ好果ヲ得タル先例も在之候間、可相成アマリ *Burry* ヤ *Seedy* ナラサルモノ中送り申上度、去り連 1st *Pe's* ニては、中々割安ニハ手ニ入不申、2nd *Pe's* トナレハ、ドーシテモ多少の *stained* ハ難免、是が或ハ虫害ノ原因ニハ不相成哉杯、種々気苦勞仕候、加之、本年ハ收穫も十七八萬俵ノ増加予定ニ付、新年ニ入り、或ハ多少下押モ可在之歟と存候、他の品のいそか敷ニ紛れ落付き居候処、逆ニ上昇致候為メ、一層買入困難と相成候

(因記) 昨今 *Ne* 上等 *Pe's* ハ十三片迄売行き、セツシドピースニても十片半位の品、多々在之候

ロツクス杯も本年ハあまり優等品無之、何れも *Heady Cond* ニ候得共、六片以上のもの不  
尠候

高橋氏より懇々製絨所へ報告サレ候様伝承仕候得共、要するニ、粗品ト比較的優等品トヲ混合併用スルコトニ注意相成候ハ、大ニ利益ナルヘキニ候得共、果シテ夫たけ深切ニ取扱ひ行届き可申哉、最初蔵入の際、一船分混雜ニ貯蔵可相成ニ付、品評表ニ引合セ、置場の區別杯出来居申間敷ニ付、或ハ可言不可行の事ニ属シ候哉も難計、萬一然ルトキ、此方送品初期優等ニシテ晩期劣等と相成居候ニ付、製品ニ懸隔を生し不申哉とは亦案事居申候

而も結局洗上げ見積直段カ廿二片強と相成候ニ付、三井大倉の品ニ比シ割高二相成不申哉と是も  
氣掛りニ御座候、然ニ此方ハ可成テンダーのナキ物ニ尽力仕置候間、*stained*の洗ヒ方ニ注意相  
成候ハ、製品ハ草種沢山の品よりハ良成蹟ヲ得可ク哉と予期致候得共、実地如何、御注意被成  
下度候

未完

第七四三号信 大正3年1月27日 セントアルバンス号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、前郵後、四方君御認十二月十六日付支配人状、本日は又東支前田君十二月廿二日付、本店藤井君十二月廿六日付共、イースタン便到達拝見仕候、逸々御返事可申上筈ニ御座候得共、過日電信申上置通り、加古川注文其他二付、本夕筆者出張の事ニ決定仕候間、丹後丸便より御返辞可仕候間、不悪御承知可被下候

加古川

注文上等メリノ之義、電信にて申上候通り Type 120 の如キハ、一季を通シテ漸く二千俵力三千俵の産出ニ不過、殊ニ本季の如キ年柄ハ太毛多く候間、千俵の品ニテモ指直アリテハ中々買整六ツケ敷、所謂成行買入の外無之品ニ御座候間、今日トナリテハ御訂正の十五萬斤ハ備置き、五萬斤も無覚束存候、メルボルンニても此種細毛ハ、タスマニヤ産の出物アラハ、或は手ニ入可申も、ボーモント氏の考にてハ迎もダメと申来り居候、而も GI 号宛 TONARA ハ、直段奮発スレハ多少ハ出品可在之見込ニ付、本周ハ丁度塚脇生手持分、三井大倉手合ニ買入方ヲ命スル筈ニ承知仕候間、其間ヲ利用し、筆者メルボルン、デロンへ出張の事ニ決心仕候、然ル処、今朝ニ至り GI 号残部七萬封度斗注文取消しの着電、大ニ失望致候、実ハ小生出張ニ先子出物アラハ 27½

大正三(一九一四)年

一八

Clean Basis 迄 70/4 二百俵迄買入方、昨日メルボルンへ注文致し置たる事ニ候、又今日夫レヲ取消シ候得共、頗る定見ナキ注文の出し方と存候、若シ取消スナラハ塚脇生所有の分ニ於て輕減可然筈と存候、此方へハ 63 増注文の入合せ在之候間、敢テ小言ヲ申上候事ニハ無御座候得共、同人への注文分ハ、到底全部買調へ六ツケ敷哉ニ存候、而も当店へ注文アラハ、メルボルン、或はブリスバンへ出張シテナリトモ、費用ニ不抱、可成御希望ニ叶ヒ候様、調弁尽力可致事ニ御座候、単ニ我々は欲張ルノミヲ目的トスルニアラス、御得意の便利を專一と致し居候事也

如右 61 号七萬斤注文御取消と相成候ハ、今更筆者態々メルボルンへ出張する程の事ハ無御座候得共、一旦決心シテ先方へ通し、瀛車切符迄買入済ニ付、矢張行く事ニ致候

被服廠注文の四百俵余も粗買入済ニ候得共、尚五六十俵不足ニ在之、東毛の 68 も少々不足ニシテ、加フルニ今朝入電王子メ B 48、50 の御注文も聊ナカラ在之候間、口仙 1/2 % 棒ニ振ル事ニ相成候得共、出張の序ヲ以て割安品アラハ買入度考ニ御座候

加古川の 63 十五萬俵メリノ太毛ニ候間、来月上旬の仕舞セリ市ニモ多少ハ出品可在之、又五月迄ニ御入用の事ナラハ、次のブリスバン、又は三月当地の定市ニモ多少ハ出品可在之見込、乍去メルボルンへ出張の序ヲ以て、若コンバック細物割安出品アラハ、多少買入度考ニ御座候

東京方面の注文

東京毛織王子製絨注文等品、乍少数御尽力被成下奉謝候、前者ハ殆ントメルボルンニ於て買入濟、後者ハメルボルン、又ハ当地ニテ調弁之上、丹後丸ニテ輸出仕度存候

店員賞与金

之義、種々御心配被成下奉謝候、貴方重役御協議濟之通ニテ、此方異論無御座候  
本年三月晦日ニ於テメ切勘定の義も承知仕候

ホルスタイン  
乳牛

兼て高橋得太郎氏より御咄在之候分、二才前後モノ上等牝牡共、先以て五十ギニ前後ノ相場ニ御座候、四月上旬ニハ当地共進会在之、秋山君の御出遊ハ如何ニヤ、下宿屋住居ナラハ格別の費用モ掛ル間敷候

右

北村生

以下、一月廿三日認

但し、右のステーンの方も多少は *Dark* 在之候間、是等はスカート前予メ此部分をエリ分け、特ニスカートシテ後、優等の部分ニ混合して使用相成候ハ、大ニ為メ方宜敷筈ニ御座候、然ラス

大正三（一九一四）年

一八三

シテ初メヨリ其俣スカート相成候ハ、舊ニ Dag の部の洗上げ不充分ナルノミナラス、優等の分の色合も悪敷可相成恐在之候

保険料割引

兼て懸案ニ相成居たる本件、広東へ段々交渉之結果、漸く左之通り協定仕候間、不取敢、電信御案内申上置候

Wool & Top	w. a.	9/- %	Less 20%
Wheat & Fertilizer	"	11/6 %	" "
General Cargo F. P. A.	"	9/- %	" "

則ち、従前之率より一一方直引致候事也、小麦及ヒ肥料の如きも F P A 二相成候ハ、セネラルカード同率ニ御座候、羊毛ハ正味 7/2 ½ 弱ニ相成候事ニ御座候、小麦は正味 9/2 ½ 弱ニ御座候

前田氏より、東京海上ニ特約すれハ余程割安との御見込御来示在之候得共、筆者、頑固ニシテ日本ノ保険会社ニ多額の約定ハ危険を不免と相信し候間、先以て前記の改訂率にて御承諾被成下度候、保険屋ニても右已下ニては寧口引受けぬが優れり抔申居候



加古川羊毛ニ対する分、實際の新改正率、塚脇生へ申聞せへき哉と相考へ候得共、如此多額の割引の俄ニ協定シタル事、或は疑念の元と相成候哉も難計モ考へ、不取敢、10/1の二割引と即従前之率ヲ新率トシテ申入置候、本人満足の様子ニ御座候、而シテ何歟の利益交換の問題相起り候際、更ニ9/1%の二割引発表の事可然と存候、御含置可被下候

小麦  
三井増田屋等、各五千噸早幕ニ約定仕候ニ不抱、此方頗る手遅れの段、甚申訳無之候、既ニ先日

電信仕候通り、本季ハ全濠州のレコード收穫ニて、如左予定ニ御座候

New South Wales	41,800,000 Bus
Victoria	35,500,000 "
South Australia	19,500,000 "
West	13,869,000 "

則チ従前の本場ナル南濠州ノミ作付も三千エーカー斗減少、收穫も昨年ニ比シ約二百萬ブツセル減少ニ候、兎ニ角、如此多額の作物ハ是非輸出サルヘキモノニテ、運賃も欧州行31/6前後手堅く保合ニ在之、アルゼンタインの作柄も印度露国等も凶作の報無之、是非、今一段下押アルヘキ筈と被考候得共、四五年打続きての豊作と相場の保合ニて、大概の農家ハ有福ニ相成候上、収



受取済之上ニ付、今更元方へ苦情の申述之手段無之、ダツカーへ愚痴ハ申入候共、御氣の毒トノ  
ミニテ殆ント自失の場合、乍遺憾御迷惑相掛け候段、幾重ニも御託申上候

今後の輸出ニ付 Bag の保証として、商業会議所の Certificate 付の事ハ御容易ニ御座候得共、  
其検査人が頼と当テニ成ツタモノニ無之、而も貴方御得意ニ於て右証明書サヘアラハ無事ニ納リ  
候様ナラ、何時ニても其手数可仕候、夫ニしても如前記、本季の 2 封度平均ナラハ美事ナモ  
ノナルヘキモ、大口 shipment カ皆々其通りニ参リ可申哉、勿論其筈ニテ委員等協定致候事ナレ  
共、頗る掛念仕居候

H Top

毎度店報より上伸仕居候通りニ御座候処、昨年末ニ二口廿萬封度、ハラムを経て大毛へ御売込被  
下候段、乍いつも御尽力奉謝候、何卒 *Latex* 等の故障相起リ不申様一入祈居候

東京方面ハ、昨年末殆ント毎便粗製濫造ニテ弁金の交渉ニ遭遇し、ハラム先生も大ニ疲レ居候事、  
実見仕居候、然も御本人ハ例の気性ニして平氣の塩梅、ソレテヨク々々算盤ニ合ふ事と、人事ナ  
カラ心配致し遣し居候次第ニ御座候

先日も申上候通り、筆者帰任後探聞ニ由レハ、メB所謂 type 18 の原料の如きハ Bay や Batt  
の小口交り々々之物を買集メ、其内より Sort シテ Fleece ニ混合致居候様子、店員等多少諫言  
を加へタルモ聞入無之由、其結果ハ線維の太キニ過キタリ短キニ過キタリ、扱ハ混合ニ成タル杯、

其原因アル事ニ御座候

又メリノ Top ニ就ても、皮毛の混合ハ依然之通トシテ、近来買入居（市場ニテ）候羊毛が、膏ニ Fleece の並以下のものナルノミラス、Pieces や Bellies 杯中々買集メ居候、最も其内ニハ線維長キ G4 手位のものも買入居候得共、大体ニ於て前年の原料よりも格落の品混合致し居候様の疑念在之候、如此義ハ貴方お得意へハ素よりスツパ抜キハ出来不申候得共、綱渡りの危険ナル事、詢ニヒヤ々々致候、何卒呉々も何事もなく、先物引渡し済と相成候様祈居候

W Top

右ニ引替へ、ウイツドンの方ハ、貴方の評判も宜敷たけ、元方原料の仕入上、マサカ Pieces や Bellies ハ買入居不申候（無尠トモ市場ニ於テハ）、且ツ Fingles の原料ヲ落ス事が、或は濠州 Top の声価ヲ落ス事トハ不成やと大ニ心配致居候位ニ付、此方面の約定品ハ先以て安心ナルヘキ期待罷在候

牛脂其他

ニ就ては、入江君広戸生、其他一同尽力可仕候間、追々ニは御満足可被下の域ニ達すへき哉ニ奉存候

肥料

ハ S M P 十一月より休業、今以てストライキ回復不仕候、回復シタトスルモ、製品のアルダケハ

ノミテ工場より取り勝チト申程ニ付、輸出の供給無覚束候

右

北村寅之助

大正三（一九一四）年

一八

第七四四号信 大正3年2月18日 丹後丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、貴信一月六日付360号同日付藤井君別伸及一月十四日付361号シキスモンド便到達、  
拝見致候

古立君

「病氣療養の見舞いについて翻刻省略」

加古川注文

羊毛ニ対する銀行率、NYK運賃割戻し、偕は当店買次ぎ口仙等ニ付、種々御来示敬承致候  
既郵御報之通り、筆者敢テ貴論ニ反スル次第ニは無之、無事ニ解決致候事ナラハ、勿論多少共、  
我店ニ収益多きを希望致候、而も僅の手加減が先方へ漏洩し、只サへ疑団深き川西社長の取引振  
ニ抵触し、牽テ貴店の信用ニ及シ、注文減少の如き逆待を蒙ルコトナキ哉の掛念ニ不外候

口仙之件ニ付テハ、其後塚脇生へ何等の話ハ不致、同人ハ無論其俣ニ相成居候間、貴店と本社の  
間ニ於て多少の余融在之候ハ、多少共一%以上ニ御コギ上ケ被下度候、加之、我等ハ表面飽迄  
も一 $\frac{1}{2}$ %の公称致し居候事故、三井大倉ニ対シテも兼松の1%承諾の事、苟も漏洩無之様口  
止メハ致在之候得共、同人の事故、如何程是ヲ遵守致居候哉、元より忖度難致、殊ニ多少共、三

井大倉ヲ経テ買入サセ候品ニ対スル手数料の歩合ハ果シテ如何、同人の体度如何ニ由リテハ、前年田君呈議の同盟約束ニ（實際、今日ニ於テハ有名無実ナルヘキモ）、何等紛議ヲ生シ不申哉、潜ニ案事居候点も在之候

（註）大倉組ハ萩原生柔順ニ付、塚脇生の呈議通り唯々承諾シタルモノナラン歟

三井ニ至リテハ、塚脇生の進退ニ嫌焉タラサモ<sup>マヤ</sup>ノ多く、西村支店長トハ意氣衝突セシモノ、如し、従て最後の○<sup>二</sup>号の如キ時季遅レヲ口述トシテ、塚脇生ハ例の通り恩ニ着セケ間敷口振ニテ注文セシモ、却テ先方ヨリ謝絶セラレタルモノ、如く想像セラル

他の銀行者ニ由リ、新規協約行届キ候ハ、イザ知らず、正金銀行ニ於テハ川西社長の勢力と雖も、今日兼松商店ニ与ヘラレ居候以上の便宜ハ、至難の問題と存候、要之、銀行の信用状ニ対する手数料の如き、我等海外直買家ニハ中々の重荷ニ候得共、加古川如き会社の原料ニ対シテハ、左程歯牙ニ掛クヘキニハ無之と存候、而カモ川西氏のシマリ屋なるニ付ケ込ミ、鬼の首デモ取ル様ニ半可通の書生上りがツ、キ廻すニ起因スル事と存候

若し夫れNYK運賃割戻しの件ニ関し、貴店ハ加古川の為メ可成便宜御尽力被下候ニ不抱、東京本社ニ於テハ兼松本位ニ付、加古川ニハ無関係の体度ヲ保持候由、近頃快心の事ニ御座候、夫テコソ初航已来、否日濠貿易の開闢已来、斯業の発達ニ尽瘁シタル我等の苦心ニ報酬スルノ精神明

カニ相成申候

原来、加古川ニ於て三井大倉等ニ注文シテ、聊モ利益ナルヘキ筈ナシ、又塚脇生等の誇称スルカ如ク外国人ニ買次キ為致候共、何等著シキ利益ナキハ、過日マーテン商会試買品ニテ既ニ会得シタヘキ筈ナリ、而も頑明ニシテ尚外国人買入品の便宜アルヲ主張スルトセハ、蓋シ度シ難キ者ニ候、兎ニ角、将来一層、我等ヲ信頼シ、又一方、孤立の商店ヲ引立ツルノ義、心ヲ以て、可成当店ヘ一手ニ注文可被下様、懇々御説明被下度候、御来示之通り $2\frac{1}{2}\%$ ト老萬五千俵已上 $5\%$ ニテ川西氏承知被致候ハ、重畳の事ニ御座候

(註) 先日マーテン商会買入品及メルボルン買入品は、従前の如ク外国人名義ニテ積出し、為替は当店ニテ取組候間、兼松の荷物と認定相成候事と存候、何卒、異議ナキヲ祈上候、併今後ハメルボルンの品モ当店名義ニ改正可仕候

又マーテン商会買入の品代金支払之件ニ付、当店ヘ依頼在之候間、塚脇生希望之通り為替取組申候、元より正金信用状手数料の如キハ申迄も無之候得共、多用中インホイス其他種々の手数料在之候間、当店手数料として $\frac{1}{2}\%$ 位御ネダリ被下度候、尤も塚脇生ハ左様の思遣リアル男ニ無之候間、此件御手加減肝要ニ御座候、加古川ニテもロハニテ傍觀スヘキ義理テハ在之間敷存候

羊毛の一部エンパイア号積出シニ付、御来示在之候得共、商略上の必要ニテ断行致候、殊ニNYK割引来電前ニ於テ約定済ニ付、変更出来不申候、如此件ハ此方ニテも無神經ニ無



之候間、御任セ置可被下候

保険料新規約定、御満足被下奉謝候、是ハ羊毛ノミナラス、一般ニ引下ケ候事故、相当の利益ニ御座候、是も前來の行掛リモ在之候間、特ニ夏座敷式ヲ斟酌シテ 10/1% の 20% 引ニ塚脇生へ申入レ、同人モ満足セシコトニ御座候、但し此事ヲ他の三井大倉組等へ披露セヌ様注意致し置候得共、如前文実地不明ニ御座候

川西社長へ緑綬褒章下賜サレ候由、御同慶申上候、既ニ物質的御祝意済の由承知仕候、此方よりも祝辞申出ヘク候

塚脇生、愈本日乗船出港致候、ヤレ々々ニ御座候、御洞察可被下候、みやけとして相当の心付け致し置き申候、但し店よりニすれハ角が立子候間、小生より同人妻君と小供宛ニ致置候、御含置願上候

Hallam 渡濠案

二付、御來示承知仕候、実ハ昨年筆者帰任後、Hughes へ誘導致し置候得共、依例如例、馬耳東風ナリシ次第ナリ、御探聞ノ如キニテハ Hughes 残りの output を売却出来候ハ、右形付の上、來濠承諾致候趣、一応御尤ニ奉存候、此方アンダルソンニ由リ探知スル処ニテハ、ハラム自身の

仕事モアリテ、尚二三ヶ月ハ未定ナリトノ事ニ御座候

案スルニ、今日ニ於てはハラム渡航スルモ、製品の改良等ハ到底其時ノミの事ニ属スヘキ哉ニ存候、原来、是たけの放資事業ニ付、保護金の自然消滅ヲ覚悟シテ全力ヲ尽し、将来の發展ヲ計ルヘキナレ共、御案内之通りの先生ニ付、起業計画ニハ無双の腦力ヲ有スル様ニ候得共、ドーモ移り氣ナルニ哉、之ハ *Wool* 羊皮スカードの約束破棄後、騎虎の勢ヲ以テ、曾テハ生皮の鑑定研窮上 *Ge.* 氏ニ随從シテ、ホームプシの市場ニ直入セシ經驗ヲ利用し、遂ニ新ニ皮毛ヲ以テ *Wool* ニ混用し、一方凍肉輸出の有利ヲ誇唱し、新ニ Colonial Meat Export Co. ヲ組織セリ、而も其株主の大部ハ、矢張 *Wool* 会社の同人也、從て今日ニ於ては同人の毎日の仕事ハ、殆ント此肉会社用ニ忙殺サレ居候有様、從て其寸暇ヲ利し羊毛之市場ニ立入、一週間も十日も市場の景氣ヲ実見セズ、殆ント新聞報告ニ由り進退致居候塩梅ニ候、尤もアンデルソンより内聞ニ由レハ、クリスマス休会中、市場より引込品羊毛約二千俵余、少々の直増シニテ *Wool* 買約致候由、今日より見れハ中々の勝利ニ御座候、如此原料の買入機敏ニシテ、仮ニ失策ナシトスルモ、工場ノ事業(羊毛混合、又ハ *Wool* の出来上り等)ハ職工任セニシテ、自分大ニ研窮スルノ余力ヲ存セス候、若しハラム来濠二三年も滞在シテ、工場ノ整理ト發達ヲ監督致候様ナラハ、或は著明ナル進歩ト基礎の確固ヲ増シ可申ナレ共、悲哉、夫迄例の保護金繼續可致乎、頗ル疑ナキ能ハス、果シテ然ラハ *Hughes* 工場ハ、今後如何ニシテ其会社ヲ安全ノ位置ニ進捗スヘキ歟、我等ハ頗危懼ノ念ナキ能ハス、然レトモ、之レ或は杞人ノ憂ニ過キス、会社ハ毅然トシテ繼續候事と存候、又然ルヲ希

ハサルヲ得ス候、去リ乍ラ大毛対 Rebate の如きハ御察之通り、詢ニ当テニシテ当ニナラヌモノ  
と一日も安心シタ事無御座候、理屈ノ上ニ於ては、同工場の製品ハ大毛アルヲ以テ操業セルノ感  
アルモノ、衷心より相当ノ報酬ヲ供呈スヘキニ候得共、ソコガ Hughes 二付、頓と安心の出来サ  
ル処、依之、本件も用意研窮ハ怠ル可カラス候得共、其時の気心ニ由り、臨機応変の外、致方在  
之間敷愚考致候

米国向キ輸出計画ニ就ては、ウイドン杯も同様、兼て研窮中之由ニ御座候、乍併御来示、保護税  
同額ノ特別課税ノ外 Top ハ従価5%の海関税モ在之、未タ以テ輸出有利ノ域ニ達セヌ為、加奈  
太方面ハ米国ニ比シ課税輕少ノ由ニ付キ、目下見本ヲ送り研窮中トノ事ニ候得共、例の欧州より  
の評判も在之、Prejudice 之氷解致候までハ尙相当の時日ヲ要スヘキニ付、當場ニ工場ノ Top  
ハ、依然トシテ日本の注文如何ニ進退セサル可カラサル哉ニ期待致候

成行御詳報被下、大ニ心得ニ相成申候、実ハ先達藤井君より御来示モ在之候間、当地ニ滞在中、  
一度敬意ヲ表し置候事ノ決心ヲ以テ、再三工場 Office へ交渉、又大西自身モ訪問相試ミ候得共、  
いつも意の如クナラス、好機ヲ見テ知ラスヘシトノ事ナリシモ、一周間の滞在中、遂ニ面会ヲ得  
サリシヲ遺憾ト致候、而も当地店員の咄ニテハ面会シタカラ速、別段信用ヲ増ス程の考慮ヲ与ヘ  
呉レル老人ニハ無之由、決テ捨セリフニハ無御座候得共、御含迄其評判申上候、兎ニ角、一代ニ

シテ世界ニ一二の成効ヲ挙ケタル非凡の人ニ付、凡夫の眼界の及フヘカラサル処ナルヘシ

聞説ニ由レハ、貴地分工場の成蹟予想以下ナリシ由ニテ、老人甚不機嫌ナリシハ事實の由ニ御座候、殊ニトーマス氏の無能、ステワートの時代遅レナル、偕テハ昨年狂人トシテ追返サレタルウインライトの敢テ狂人ト迄称スヘキモノニ非ラス、何歟内情ノアルラシク、或は役員の交迭アルヘキ哉の秘報モ承リ候、御含迄ニノミ申上候、御他言無用ニ候

殊ニ日本ノ工場ヲ閉鎖シ、支那ノ一地方ニ移転スヘシ杯ノ風説アリシ由ナルモ、夫レハ虚説ナリシ由ナリ、乍去創業浅年ニシテ、其支配役ニモ殆ント素人使用ニ付、成蹟ノ挙ラサルハ夫程苦情ハ言ヘ又筈ナルニ、老人の短氣ナル歟、人選不適ナリシニ由ル歟

却説、豆糟販売上の御苦神御垂察致候、石鹼販売上、今一段光彩ヲ加フルニ至ラス、搾油専門ニテ利益ヲ挙ントスルハ、少々虫ノ宜キ話ニハ無之乎、殊ニ御尋問ノベンジン使用の豆油、現品ハ透明ナルモ、サンライト石鹼製煉後、大ニ黒色ニ変化致候由、無論、普通品ト同直ニテハ使用不出来と申居候、尼ヶ崎よりも直接ニ見本ハ当地ヘ先着致し居候趣也、然ラハ直段何程軽減スレハ、混合用トシテニテモ注文致呉レス哉と、目下交渉中ニ御座候

改良豆粕御取扱上ニ就ても、ステワートとへS、東西の六ツケ敷大関、御操縦上の苦心、藤井君の立場御推察仕候、而も何の商業モ困難ハ益困難ヲ加ヘ居候、今日此頃御落胆ナク、奮心一層の御尽力奉希望候

右当用のみ、草々不尽

北村寅之助

大正三（一九一四）年

一七

第七四五号信 大正3年2月25日 臨時ウイルカニア号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拜啓、先日御報致候P&O所属荷船、貴地へ売却相成、愈本夕直航之由ニ付、一書補呈致候  
運賃割安ニ係らず、小麦現物払底、且ツ割高二付、遂ニ本船ニは積入無之様傳承仕候、漸く鉛数  
百噸ノミ搭載之由ニ御座候

小麦

旧年末已来、屢電信料冗費ニ相成、残念の事ニ御座候、何分ニも各問屋連合の歩調ヲ取り居候上、  
毎年之通り鉄道貨車不足の為メ、各輸出商等の希望通、地方より荷廻り無之、殊ニ昨今ハ前々約  
束のチャーター船続々入港、速ニ積荷不相成候てデマレージ相掛り、旁日本行の如き局外的荷物  
ハ進ンテ売人無之候、加之、近来欧州行の運賃も段々下落、昨年此頃ハ $\frac{35}{1}$ 前後ナリシニ反  
し、昨今ハ普通 $\frac{25}{1}$ 、安キハ $\frac{20}{1}$ 位も在之、然ルニロンドン市場ニ於てハ、仏国筋の買進ミ  
等ニテ、前周来、目切活気を帯び、一時 $\frac{35}{1}$ (四百八十封度ニ付)枺ナリシモノ、昨今 $\frac{35}{3}$   
前後の取引と相成旁、此方ニは在荷潤沢ニ不抱、安直売人無之、現物 $\frac{3}{9\frac{1}{2}}$ 三月渡しも同直  
の唱へニ御座候

第一御地の製粉界の人氣回復いたし、第二米国麦の直段歟、或は大平洋岸よりの運賃騰貴するニ

アラサレハ、当分の内、御注文ハ無之ものと被考候

日本製粉宛及増田屋の門司行杯ハ、惣てメルボルンより輸出の様子、左候ハ、Faq は昨年同様 62 ½ ポンドの品ニ在之、NSW の標準見本よりハ格落ニ可相成候、乍併今日ニ相成候テハ、よき買物ナリシ次第、而も日本ニ於て果シテ夫れたけの値打在之候哉否哉、市場が孤立ナダケニ、忽チ世界相場の影響無之ものと奉存候

NSW Faq 標準見本、丹後丸にて六袋差出し置候、不遠御一覽可被下哉ニ奉存候、64 封度ハ未曾有の重目（スタンダードとしてハ）ニ候得共、肉眼にてハ左程著敷大粒ニモ相見不申、只タ粒揃ヒと身入宜敷点ハ合点被致候

但し NSW Faq 64 ポンド Victoria 62 ½ ポンド

SA 61 ½ ポンド也

然ルニ前郵ニも切抜き同封致候通り、当地商業會議所ニ於ては全州の各方面より見本ヲ蒐集して、至極平等の処を撰定致候事ニ付、此平均建ニ不都合アルヘキ筈ハナキ筈ニ御座候、然ル処、近来、各地方より Faq の目建高キニ過クルの不平頻々ニして、實際ハ 62 ポンド処ナルベシとの説喧敷候、段々諸説を研窮するニ、最初見本を商業會議所へ供呈スルニ際シ、心アルモノハ可成平均処を差出し候得共、或者ハ自家の豊作の誇りのニ「より以上」の見本を差出シタルモノナキニア

ラスト云フ処より、標準見本の決定が實際よりも重目ナリト申す事ニ候、實際、全部輸出品平均のポンド建ニ通過スルモノトスレハ、ウイクトリア、又ハ南濠州輸出品ニ比シ、NSW産の品ハ多少高直ニ売行クヘキ筈ナリ、而も未だ其相違ナキヲ以テ見レハ、欧州ニ於て夫れ程迄ニ、センシチブニアラサルニ哉、不審ニ御座候、僅ニ壺封度前後の事ナラハ兎ニ角、濠州麦の本場ヲ以て称スル南濠州品ニ比シテハ、実ニ壺封度半の軽重在之、製粉上、相当の影響ハ可在之勘定と被考候

要之、NSWの積荷が果シテ平均ニ通過致候ハ、無此上好都合、且ツ当州産麦の広告ニも相成候得共、萬一、壺封度以上も格落ナル時ハ買入ニ於て黙過可致哉、疑問ニ御座候、殊ニ昨年東亞苦情の例も在之候間、本季の品積出しニ付ては、一層注意ヲ要スル事と頗ル重大視致居候、御含置可被下候

再ヒ加古川注文  
ニ就て

前郵ニても其前々よりも再三上伸仕候通り、加古川ニ於て各社へ注文の分割の甚不利益ナルハ、今更贅言の要無之候得共、過般、塚脇生の入江氏への会話中

来季再ヒ自分が濠州スルトスレハ、歩留其他ハ自家ノ責任として、単ニ市場の発声ト積出しの手数ヲ倚頼し、惣て半%口仙にて取扱の事ニ致すも難計云々

一時の雑談として聞流ニ付し居候「後略」



又筆者への話中、自分も毎年濠州往復も困ルニ付、学校出の青年を派出留学の事ヲ社長へ提議スル考云々と申候、是ハ賛成也と答へ置候、按するニ、川西氏ハ余程同人ヲ眷顧致し居られ候塩梅ニ見受ラレ候、果シテ然ラハ、今日迄の如く入社已来、トン々々拍子ニ同人の意見採用相成候為メ、人間ニハ不免常弊ニて、多少、頭が銀杏葉形ニ相成、意気軒昂の風姿も相見へ候間、此際大ニ引メノ方、同人将来の為メ大緊要と存候、實は川西社長へ直接書簡差上可申歟とも存候得共、萬一、誤解ヲ招キ候ては取返し相付き不申ニ付、差扣へ申候、兎も角、会社事務の修要として二三年ハ製品の売方係ニ御廻し被遊候事、可然存候、殊ニ大坂商人のお得意ニ対する応対ニ充分鍛錬相成候ハ、其利益や莫大と奉存候、此辺の消息を門川君へ御通喋之上、好機を見て川西社長へ御忠告、可然哉ニ奉存候、昔より「損シテ得取レ」の諺も有之候間、一概ニ欲張ル斗が商売の秘訣ニハ無之と奉存候間、売買双方の位置ニ実習して、初メテ趣味の深きを覚醒すへきニ候、右ハ甚余計の世話ニ候得共、塚生を今日の俣ニ看過致し置候事ハ、近き未来ニ於て我等の収益上、不尠不便ヲ可感危疑在之候間、特ニ御注意申上候、微衷御洞察奉願上候

既癸丹後丸迄の輸出羊毛、昨年七月已後、合計約壺萬二千九百俵、加フルニNZ約千五百俵余ニ相成居候間、トップノイルを通算すれハ、既ニ々々壺萬五千俵の辻を超過致し居候間、NYKの $7\frac{1}{2}\%$ 割引ハ確實と相成申候、而も式萬五千俵ニコギ付ケ候事ハ不可能ニ属し候間、御アキラメ可被下候

## 〔欄外書込〕

本年六月末迄ハ羊毛ノミニテモ尅萬五千俵ニハ相達シ可申勘定也

前郵便報ニテ上伸之通り、同社御注文の屢變更相成候事、如何ナル原因ニ哉、工業家の体度とし  
てハ甚不審と存候、過日電信仕置候御注文の 120 type ハ、当分の内、跡買入見込無之候、右ハ  
見当り次第、新規走り荷デモ買送り可申歟、右注文存廢御序の節、御一報願上候、Z宛 Pieces  
類は三月末のプリスバン定市、或は四月初メの当市場ニテ買埋の考ニ御座候間、御含置可被下候

## 着信

本書認メ中、オルテンハム号便貴信 352 号四方君別報及私信等到着、拝見仕候

日光丸乗組林生より今朝タウンズヴィル港へ無事着の由、午後電信到達仕候間、御安心可被下候  
古立君御病氣稍御回癒の由安神仕候、何卒、折角御加養御自愛被成下度、遙ニ奉願上候

加古川羊毛口仙之件、夫々御配慮奉謝候、メルボルン買入分ニ対する $\frac{1}{2}\%$ ハ中々六ツケ敷と存候、  
御意見之通、塚脇生帰朝前ニ決着未定トスレハ、余程難件と存候、既ニ前記之通り、同人ハ安く  
買フ目的ニ於て手段を不選と申方ニ付、此方ニテハ、メルボルン行の義務不得止とハ申置候ニ付、  
今更別段の手数料ハ承認仕間敷存候、乍去、其辺ハ人情ニ訴ヘテ何と歟御工風奉希望候  
運賃割戻の件ハ、既ニ御返辭済ニ御座候

住吉未亡人ニモ引続き御健康之由、御同慶申上候

人操

児玉寛二郎君と、たる嬢の結婚ハ、愈旧臘十三日華燭の典式相濟候趣奉賀候、御披露ハ故主人の一周忌法会后の由承知仕候、若し重役諸君より御祝物進上相成候様ナラハ、小生分も連名にて願上候

鈴鹿氏第二女養子之件承知仕候、四方君御来示之通り、祝物可然御取計奉願上候、御手数奉謝候  
四方君別報御来示之件、御尤も二奉存候、此方は本年五六月ノ頃の注文引集メ之上、大西帰朝の予定ニテ徐々準備罷在候事ナリシ、而シテNZ、タスマニア等巡回の事モ相談仕候得共、今一応、日本の事情を大西自身篤と実地研窮之上、巡回致候方利益ナルヘシとの説ニ付、筆者強テ反対セサル次第ニ御座候

兎二角、御来示之趣旨ニ基き、大西帰朝一時延期の事ニ為致可申、其内御通信の條目ニ付き更ニ研窮之上、異見アラハ追報可仕候

学校出の男も必用ニ候得共、雜貨屋杯ニハ（外の課ニテモ格別変リハナケレ共）中学卒業程度の小僧より叩キ上ケタル青年も却テ役ニ立ツ様存候、廿六七才の中年より鋭敏機智の實際家ヲ拵ルコトハ頗ル難事と奉存候、御考へ置可被下候

肥料

旧年末、前田君より御来示も在之候得共、此方決シテ意氣地張リテ不動サルニ無之、適當品アラ

ハ不透買送り申度、一同心掛け居候事ニ候得共、何分ニも適當品払底にて、遂ニ貴意ニ満足を難  
 与候段、平ニ御海容被成下度候、但しメルボルン、コックビルの分は全其改良致し居候事ニ心付  
 カサリシハ、我等の手落ニ候、過般、筆者メルボルン出張中、其工場ニ付き実見候処、同工場の  
 性質として乾血ハ無之候得共、例のターロー溶爐より出るスープを乾燥シテ混合致居候故、色も  
 濃褐ニ、且ツ窒素も増加シタルコトニ御座候、尤もNは6%と同場試験方申居候

大倉組？約定ハ二月一杯と申居候間、丹後丸の積残り品の外ハ九月頃迄輸出スル程現品無之、惣  
 テ内地の冬肥にて手一杯と申居候間、九月より翌年二月迄分ヲ、是非此方へ引受度相談申込置候、  
 但しS151杯申居候

大倉組右直段奮発致居候モノトスレハ、更ニS200或はS151方直増セサレハ手ニ入不申、勘定  
 果シテ左様ナ高価にて御引合ニ相成候ニ哉、前以て御洩し置被下度候

キッチン商会製品ハ、当地のSBCよりも薄色ニ候得共、内地用とNZ行にて輸出の余融ナシと  
 申居候

メルボルン市役所直轄屠殺場の乾粉血ハ、近来毎年千三四百噸産出在之候得共、内地用手一杯ニ  
 て近頃外国へ輸出せすと申居候、品ハ矢張従前之通りニテ頓と改良ナク、水分殆ント20%ニ  
 候、尤も直段ハS101にて売払居候趣也、若し残荷アラハ、兎ニ角、此方へ知らせ呉候様申  
 込居候

アンクリスの乾血及骨肉粉ハ例の粗製ニ付、御咄ニ相成不申候

アドレードニ於てハ、前年来、各連合屠殺場ハ市役所の管轄と相成居候間、余剩アラハ、多少共 offer 致呉候様申込在之候得共、未た要領を得ず候

当地 SS & Co は矢張内地とNZ、或は西濠州行にて、輸出スル程の surplus 無之と申居候得共、多少共余融アラハ知らせ呉候様申入置候得共、目下、内地売は 5/1 也、右様直段奮発出来候哉杯申居候

又時々バウデンの手より輸出致候魚肥も、SSN/2 ニテ同店へ売渡したと申居候、此品ハ前々目欠の苦情の為メニ跡買扣へ居候事ナルモ、若し御見込在之候ハ、御指図被下度候、色ハ可成茶褐色ナルモ、骨の白キモノ渥点ニ相見候、Nは6%辺申居候得共、不同ハ不免、一寸目安相付き兼候

其他の当地製（ポイリングタウン工場）ハ、例の色合ニ於て、貴地ニハ依前不向ニ御座候

SMPは啻サへ供給六ツケ敷処へ、昨年十一月上旬よりストライキにて、今以て復業不致候

折柄本月上旬よりの肉店雇人給料引上ケ問題ヨリ、遂ニストライキハ屠殺場ニ及ヒ（既送新聞紙ニテ既ニ御承知ナルヘキモ、目下屠殺人の給料ハ一周間£6ニ御座候）、本月十六日朝より市中の各肉店ハ閉鎖致候、其後、各肉屋の主人等連合シテ、自身屠殺して時間ト場所ヲ限り、多少共、肉ヲ売出し致居候得共、到底一般の需用ヲ満スヘクも無之候、此影響ハ忽チボイリングタウン工場ノ閉鎖トナリ、Hughes、ウイツドンの如き皮毛スカード工場ニ波及し（Topニハ直接未タ大関係ナケレ共）、SS & Co、CWPの如き肥料原料皆無ナルノミナラス、混脂工場の閉業ニ相成居候仕合ニ御座候

（註）丹後丸ニテCWP五十噸輸出シタルハ、好都合ナリシ事ニ候

サンタウンの如きも閉業ニ御座候、而シテ今日の処、急ニ復業の模様無之、又ハ此先キ一ヶ月位ハ継続仕候哉も難計、目下、労働党政府ニ於テ調停案研窮中ニ御座候

Borthwicks 肥料ハ、昨年輸出分の不注意ニ基ク弁金ニ付、其後嚴談中の処、漸クニシテ貴店希望之通り £75 支払申候、偕テ奇麗ニ取ツテ見ルト、又多少氣の毒ニモ相感申候、元惡意アリシニハ無之候故也、然ル処、粉血ハ九磅ニ志六片ニテ、百噸迄別々の約定ニ相成居タルニ候得共、肥料苦情の起リタルヲ口術トシテ、此乾血も、最初（昨年七月 Nizko 20 T、八月 Kumano 12 T、Inaba 8 T）三口四十噸輸出済の外、引取拒絶致居たる事ニ候、併如前記、弁金支払致候上ハ此約定取消しと申訳ニ不相成ニ付、丹後丸ニテ三十噸輸出仕候、併跡三十噸ハ是非取消の事ニマン

トへ掛合中ニ御座候、多<sup>ク</sup>承諾致呉レ可申筈ニ御座候

同所肥料も昨年分ニ比シ少々色濃く相成、粉末も荒キモノ無尠相成、目下百五十噸斗現荷在之、  
£5/5/0ニテ引取呉候様申居候得共、前々不合格の跡ニ在之、先方ハN6%以上受合と申居候  
得共、アマリ当ニハ相成不申、旁甘噸ツ、神浜上ケ再見本トシテ、丹後丸より輸出致候事ニ御座  
候、若し品物御思召ニ叶候ハ、跡一手引受ケ方奔走可仕候ニ付、至急御打電被下度候

GM & Co. "Eagle Farm" 従前通りの品、目下 150 屯斗在之由ニ付、£5/5/0迄奮発致し候得共、  
未だマケ不申候、本年ハロス河分工場と双方ニテ牛羊取合セ、余程多数の屠殺可在之、且ツ昨年  
ハ案外内地蔗園用ニ売行候得共、本年ハ果シテ如何、若し昨年同況ナランニハ、例の£5以下買  
入方、到底ダメニ御座候、本店ニ於ては一昨年末約定の £4/12/6 ヲいつもの相場と御了解相  
成居候様子ナルモ、右ハ法外の見切モノナリシ事ニテ、普通の相場ハ以前より £5/5/0 樹之品  
ナリシナリ、一時の安直ヲ利用シテ大ニ割安ニ御売出し被遊、敵商との競争ニ勝利ヲ得ラレシハ  
御同慶之至ニ御座候得共、何と歟、方便ヲ以テ跡直上ケ行届キ不申テハ原料供給六ツケ敷候  
Baynes Bros ハ灰色ニテ不合格ニ候、何と歟シテ骨斗ヲ區別シテ二種製造の事、再三勧誘致居候  
得共、不得要領ニ御座候

〈S〉主人より筆者へ御話相成候純骨粉の事、種々取調候得共、僅ニ二ヶ所の小工場アルノミニ

テ、粗荒の品£6以上ニ売行居候間、安直ハ見向キモ不致、且ツ $\frac{3}{33}$ 粉末の事杯、到底只今の処、見込無之候間、宜敷御断置可被下候

Redbank 工場ニ於テハ、御承知之通り、会社ハサンダウン、ニューポート等同一ニ候間、同処の品ノ $\frac{1}{2}$  £5/10/0ニテハ重役不承諾の由申来候ニ付、品サへ改良相成候ハ、サンダウン同直ハ六ツケ敷ナルヘキモ、多少の直上ケ可致様慰問致置候、今回の分ハ營ニ多少色合宜敷相成候ノミナラス、 $\frac{1}{2}$  杯申来候、Bulk 如何は貴地の分析ニ由ラサル可ラス候得共、兎ニ角 $\frac{1}{2}$ 位ハ大丈夫と存候間、不取敢 $\frac{1}{2}$ 方直増仕候間、不悪御承知被下度、若し7%モアリトスレハ大ニ割安ナル事ニ御座候、依之、跡も今一段改良ナラサル以上ハ、右同直据置き之事ニ交渉中ニ御座候

Gladstone は多分四月より起業と存候間、都合克此方の手ニ入り候様マントを以て注意為致居候  
 Rockhampton の CQW Co 品は頓と改良無之ニ付、貴地向キ不面白候上ニ、船積ニ不便の処ニ付、  
 余程貴方の需用必迫セサレハダメと存候

QAM Co は本季より新器械使用相成可申筈ニ候得共、果シテ濃厚色の品出来可申歟未定ニ候、而



## 赤糖

シテ米國スウイフト商会等、例のトラスト一派の關係と相成候間、買入方如何可相成歟、未定ニ御座候、尤も此会社ハ、ブリスバン河畔ニモ新規大工場設立致候間、是よりも産出可在之、此支配人モ筆者知友の人ニ御座候間、*Bres* 等と共に此方へ申受ケ度、より々々交渉中ニ御座候、且ツコーデングレー氏へも其意依頼致置候

但し先日電注致候箱板も同様ニ御座候、若し貴店取扱品適當スレハ、毎年大ナル数ニ上リ可申候、而も最初の事故、手後レ積後レ等の危険ヲ恐レテ、其一部ノミ注文致呉レタル次第也

要之、クインスラントの工場ハ三四月より各起業可致ニ付、追々安直ニ適當品買集メ方、尽力可致候

当地の濠州製糖会社所轄フヒージー嶋蔗園ニ於ケル原糖、昨年度ニ於て頗る豊作の為メ、新西蘭行原糖ニ余融ヲ生し候由ニテ、遂ニ約壹萬一千噸、香港へ輸出の事ニ相成、第一船既ニ同地出帆、第二船ハ日本の雇船シンフウ丸と歟の由、依之、同社の支配人ニ面会之上、実地聞合候処、原糖輸出ハ今回初メテニテ、今後の事ハ未定ナリ、若し余剰可在之見込ナラハ、四月已後ニ大約判然スベシとの話ニ御座候、今回分も元来ハ加奈太ニ輸出スルヲ以て最利方の勘定ナルモ、和蘭標準色別関税上、遂ニ英國殖民地同士の中ニテも無税の香港へ輸出スルコトナレリ、尤も直段の建

ハ 96% ポロライズ標準ニシテ、其以上ハ Unit 二付一片半増、其以下三片落の規約ニ候、但し色ハ和蘭標本 15 号以下ニスルコト容易也と申居候、唯今見本ハ手ニ入不申候得共、貴地向キ需用如何、御調査被成下度候、輸出スルトスレハ、矢張、本年末乃至明年早々ニ御座候、唯今の処、無論此方の直段不分ニ候得共、御地の相場何の辺ニ哉承り度候、其内当方ニても探索可仕候、何分普通ハモノポリニ相成居候間（公然ニハアラサルモ）、製々糖の直段ハ直く分り候得共、原糖ハ一寸六ツケ敷次第ニ御座候

〔欄外書込〕

見本ナク共、黒人筋ニハ既ニ分り切ツタ話と奉存候

御倚頼

丹後丸ニテ出張致候 Cos、何分妻同伴ニ付、案外費用相掛り可申、宜敷御願申上候、船賃の如きも段々交渉仕候得共、普通往復の 20% よりまけ不申、不得止、二人ニテ約 5140 支払、手当トシテ 550 支給仕候次第、御含置被下度候、而シテ御地滞在中の宿賃汽車賃等ハ、商店負担ニ在之候間、其他ハ同人勘定トシテ御振替へ可被下候

〔欄外書込〕

但し本人の給料ハ本年一月より一周六磅十志ツゝ支給仕居候事ニ御座候

右

北村生

第七四六号信 大正三年三月七日 シギスモンド号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、貴信 353 号日光丸及四方君御認めのおルテンハム号便、日光丸便御書、慥ニ到達拝見仕候、今便逸々御返辞可申上候筈ニ御座候得共、筆者所勞ニて両三日引籠居候為メ、日光丸迄御猶予被成下度候、格別の病氣ニハ無御座候間、御心配ハ被下間敷奉希望候

林店員

日光丸ニて予定之通無事安着、即日勤務仕居候間、御安心被遊被下度候  
四方君御懇切ニ御来示之件、御尤ニ奉存候、當ニ林生ニ不限、各店員を通して大ニ注意為致可申候

広瀬宰平翁

八十七歳の長寿を保して遂ニ御逝去之由、御相続人と申シ御家門御繁栄、何の御不足も無之哉ニ奉存候

加古川対三井の  
取引振

御来示の為替打歩のゴマカシ的行動ハ驚人申候、大商店の体度ニ無之、人事ナカラ歎カハ敷存ラレ候

大正三（一九一四）年

三二

為替

貴店より御輸出品ニ対し御取組の際、今後可成 30 days sight 一御改正云々、理屈御尤も二御座候得共、實際の取引ハ其通りニハ参り不申、今便會計部より上伸仕候通り、矢張、当分之内ハ九十日払ニ御取計被下度奉希上候、仮令、多少余日在之、遊金出来候共、敢テ無駄ニハ不致、此方よりの輸出無為替ニ利用可致候ニ付、左様御含置被下度候

滝村氏辞職

の御飛電喫驚致候、大ニ深因のアル事と被考候、跡々の継続ハ松尾氏重任アル以上、貴店の位置ハ大ナル影響在之間敷哉ニ存候得共、何分宜敷奉願上候

右

北村生

第七四七号信 大正3年3月17日 日光丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拜啓、今午後ワルデーマ号便店報到達仕候間、貴部よりハ御書面無之候

今便何歟申上度存し居候処、明朝本船にてブリスバン羊毛セリ市ニ出張の事ニ決心致候間、商要ハ各部詳報ニ由り御披見可被下候、尤も永々御無沙汰仕居候、私信の大部ハ今便返辞濟ニ御座候、其写の一部同封仕候間、御披見置可被下候

外ニ別封住吉未亡人宛、磯部令様宛、古立君行、鈴木小氏行私信、夫々御転交被成下度奉願上候  
今便秋洲国平ニ托し、京都私宅行ナイフ、フォーク入奁箱差送り候間、可成ハ無税御□揚ケ之上、貴店へ一寸御預り置被下度、京都より誰乎受取りニ参上可仕候、税金アラハ小生勘定にて支払方奉願上候

又前便Cos手廻りの中へエキス六鐘差加へ置候間、是ハ例年之通り大坂伏見町一楠井松兵衛氏行ニ候間、毎度乍御手数様可然御届け奉願上候

今送新聞雑誌包中へ花種一包同封仕置候間、是ハ住吉未亡人へ御届け被下度早速ニ願上候「後略」

小麦

引続現物高直ニ付、100の運賃ニても貴地向キダメニ御座候、遺憾不勘候

先日一再上伸仕候、本季のF&B目方の義、種々議論在之候為メ、農務局ニ於て更ニ調査仕候処、矢張平均64封度ハ過重ニ無之との決定相成候間、御含迄一寸申添候

尼ヶ崎豆油

例のベンヂン入製油ニ付、当地LBへ交渉の結果、多分前郵貴店輸出部宛、大西生より上伸仕候哉ニ存候、則同品ハ、

外見透明ニシテ普通品ニ比シ寧口薄淡褐色ナリ、然レ共、石鹼ニ製鍊スルト其品普通豆油使用の製品ヨリモ黒帯色ト成ル

右欠点ノ為メ、同直ハ無論不承諾ナレ共、何程の直違ナラハト申定見未タ付カス、尤も尼ヶ崎よりの報告ニ由レハ、老噸ニ付300落位と申来り候ニ付、見本トシテ五噸送り方注文セシニ付、不遠輸入試験之上、実地の直開キヲ講窮スル筈と申居候間、右調査後ナラテハ、尼ヶ崎製品ハ当地ニテ引受け不申ニ付、左様御承知被遊被下度候、其他ニハ豆油、近来一寸買人無之候

Hughes の苦情

藤井君より御送付のハラム私信拝見仕候、双方の主意御同感ニシテ、別段異議スヘキナシ、嘗てヒュース氏ニ筆者面会のせつ、貴店ハ ≡ Top 売弘メニ尽力スルト何故日印ヲ更ニ尽力シ呉レズ哉と詰問致候ニ付、決シテ然ラス、無論日適當の注文ハ出来ルダケ多売ニ尽力セリ、而モWの品

ハ又各得意ヲ異ニシ、品質 type ヲ異ニシ候間、W 注文ニ対し日代用と申事ハ、絶対不可ナルノ故ナリト弁解致置候事之候、乍遅蒔申添候、全くハラムの仲間ニアルニアラサレハ、日と直接の取引ハ、何トナク危険の感念ヲ脱スル能ハス候

追々原料の Blending ニも熟練し、機械の操縦ニモ職工の研窮ヲ積ミ、製品ハ段々インプルーブ可致筈と存候得共、先達も申上候通り Pieces や Bellies の格落品を市場ニ買取居候間、ヨシ其内の上等の処を撰り抜キ混合可致事トハ、萬々善意ニ解釈仕居候得共、或は品物ニ苦情相起り不申哉と内々配慮罷在候事ニ御座候

同会社の年度報告、電報スヘキ御注文ニ候得共、今便店報ニ記載の如き内情ハ、アンデルソンより探聞仕候得共、未だ抛ルヘキ確報ヲ見ス候ニ付、打電仕兼居候次第也

加古川羊毛品位  
不同

之件ニ付テハ、今便川西社長へ断り状差出し置候、既報補筆之通り、熊の丸輸出品ハ慥ニ粗太の毛多カリシニ相違無之、同船出帆期日切迫前、半片も奮発スレハ適当品アリシナレ共、安直々々トノミ固執干渉（塚脇生の）在之、不得止看過致し、結局無理シテ送り候品ニ付、苦情の起ルハ無理ナキ処ニ御座候、要之、従前之通り此方へ全任相成居候ハ、時機ヲ見テ可成利方ニ調弁可仕候得共、一概ニ塚脇生ヲ責メルニハ無之候得共、生兵法の先生ニ毎日コセ付カレ候事故ヤリキレ不申、多く同人の責任ト下駄ハ預ケ在之候得共、本社ニ向ケ逸々弁疏スルハ甚大人気ナキ行動

と存し、責任負担可仕候得共、次季ヨリハ可成塚脇生ノ出張無之、一切此方へ任命被下候様、御尽力御運動被成下度、伏て奉懇願候、前年迄格別の苦情も起ラサリシニ、年々技倆進歩スヘキ筈が却テ退歩シタ形と相成、遺憾千萬ニ御座候、ソナナ筈ハナキ事と御信用被下度希望ニ御座候

右

北村生

大正三年四月十六日認 749 号再追伸

貴信 355 号三月十日付、昨午後コブレンツ便到達、拝見仕候

滝村氏辞職

之件ニ付、藤井君より詳細御通報被下、大ニ心得ニ相成申候、ゴロ取引上、唯一の御得意ニして平常我等ニ同情を与られ候同君の進退ハ、多大の關係在之、御来示之通り、銀行の迷惑上ニも不尠影響可在之、幸ニ貴店御一同の御尽力ニ由り、正金支店の安部氏も内情推察致呉られ候趣、奉多謝候

滝村氏の性質ニてハ、御来示逸々御尤ニ奉存候、故松本老人存命中ハ他の重役連も同君の専権ニ



黙認ヲ与へ居候処、稲畑氏抔直接ニ仏国<sup>ヨロ</sup>。又ハ器械類売込ニ関連アル人の反対起り候事、寔ニ不得止次第ニ御座候、蓋し一国の君主ニして資性賢明、緩急公平の政令を布かるゝあらハ、寧ろ憲法政治ニ優ル義也トハ、夙ニ唱導セラルゝ空論ニ御座候、而も此賢明公平の人ニ乏キニ由リ、憲政ヲ以て公平ニ近キモノトシテ甘諾スル所以ニアラス哉、故ニ法律上、株式会社ハ重役の決議ヲ以テ方針を定メ、常務取締役之ヲ執行する事と相成居候得共、実ハ此常ム役員の手腕と信任如何ニ由リテ、事業上の利害ニ多大の關係を及ホスモノト存候、再言スレハ、今日迄の大毛ニ於テハ、滝村氏ノ専任独断の營業振りガ同社の發展ニ貢獻スル処、多カリシニハ非ラス哉と被考候、今日已後、重役連議論百出の多頭政治と相成候ハ、円満滑脱の松尾君と雖トモ、果シテ之ヲ惣括シテ業務の進捗ヲ敢行サレ得へき哉否哉、況ンヤ稲畑氏の如き原料供給上、直接ニ痛痒を感じる的人物の重役中ニアルニ於テハ、協商の平和保全ハ頗る困難の事ニハ無之哉と潜ニ御案事申居候、按するニ前年工場増設上、株主ニ異分子加ハリ、牽テ株式取引等ニモ掛念ヲ生シ候哉ノ感アリ、甚愚痴的ニシテ今更致方ナキ事ニ候得共、若し此新資増加ノ事ナカリシナランニハ、昨年来、モスリン界の不況モ左程迄ニハ影響ナカリシナラント、又タ聡明敏達ナル滝村氏ニシテ、如貴説、重役連ヲ操縦スルニ変通奇策ヲ用ヒス、平押の陣立ハ、特ニ大坂商人ニハ不適當ナルニ想ヲ与へられざるは千慮の一失歟と奉存候、既ニ御来示の如く絶対的行動を敢てせられ居候ハ、再ヒ大毛へ復歸の望ハ可無之、遺憾之限りニ御座候、前便ニモ申上候通り、小生より御見舞狀の書き様も無之候間、乍略義御面会之節、深く御同情申上居候様、御伝言奉願上候

幸ニ松尾君羽仁君の御在任在之候条、藤井君特別の御尽力ニ由リ、将来の原料売込上、多大之影響無之様、遙ニ祈禱罷在候

因記、松本重太郎氏ハ養子松蔵の重名の為メニ破産云々のカツギ説ハ、我等昨年此頃を追想し何ンタカ妙ナ感致候

〈S〉対肥料

今便貴店肥料部通信拝見仕候、其中、

丹後丸積ボスウイキ乾血三十噸ハ、高価の為メ〈S〉ニ於て半数引受謝絶之件

其後の詳報ニテ事情御了解被下候哉と存候得共、此分ハ前約定の一部ニシテ、B Bの弁金支払之上ハ全然引取の義務アルモノニ候、而も跡三五十噸ハ、グズ々々の内ニ約定取消タルモノニ御座候、元来、貴方の御協商ハ如何の手續キニ相成居候哉、失念仕候得共、右三十噸の半高ハ、無文句、鈴鹿商店の引取呉候義務アルモノト解釈致居候

丹後丸積ボスウイキB B四十噸も〈S〉引取拒絶之件

是も弁金受取之上ハ、前約定履行スヘキ筈ニ候得共、品物の不安ヲ口術トシテ跡荷ハ断然取消シタル事ニ候、而シテ此四十噸の前直よりも、遂ニ〆の高トナリタルハ、前約定ヲ取消シタル報酬の意味モアリ、又多少濃色と成タル様ニモ見受けタルト Ross River 其他の供給不足等より、試験的ニ二十噸ツ、新直段ニテ買送りタル事ニ御座候、故ニ若し鈴鹿商店不用トアラハ、不得止

次第二候得共、如此少数のものハ其趣旨御了解被下候ハ、無論引取呉ラルヘキ筈と存候  
弁金ハ取り得ニシテ、跡ハイヤ的御振舞、甚不都合ニハ無之哉、況ンヤ元来ガ不正品ニハ無之、  
工場人夫の不注意ニテ骨粉ヲ一般ニ混交シテ袋込ニスヘキヲ、別々の俣詰込タル不注意ニ不過、  
内地肥料会社の如く、石炭殻や土砂の混合と同一ニ看做スヘキ性質のものニ無之候

要之、時世の変遷上、いつ迄も鈴鹿翁の情実的取引ニ倚頼スヘキモノニハ無之哉も難計候得共、  
我等ハ矢張多年の親族付合の習慣解脫せず、随て今便の如き通信ニ接し候時ハ、甚不快ニ感し申  
候、和三郎氏の主義が、叩キ付ケテ安ケレハ買フ、然ラサレハ拒絶との方針ニ候得ハ、我等も自  
衛上、相対取引の事ニ御変更可然歟と存候、然ラサレハ、口仙率ヲ引下ケタル主旨ハフイと可相  
成候

ボスウイク及バートの乾血 £7/12/6 ニテ買入候分、先方指直ハ£8ニ在之、是等ハ如何御取  
計被遊候哉、我等の精神ヲ以テスレハ、無論、安直其俣ニ引渡すヘキニ候得共、先方の出様次第  
ニテハ馬鹿々々敷被考申候

右

北村寅之助

第七四八号信 大正三年四月四日 ワルデマー号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、貴信 354 号エンパイア号熊の丸店状及東支前田君より二月十八日付共、夫々拝見仕候筆者、ブリスバン市場へ日光丸にて出張中の処、セリ市後、各肉会社の交渉、又ハ高橋泰二郎君案内目的にてスカート工場等一巡致し、熊の丸にて高橋君同伴帰店仕候

羊毛市況の義ハ、既ニ電報仕置候得共、今便の店状及ヒ月報ニ由リ御通読被成下度候、引続き好況、此処暫時下落の模様無之哉ニ被考候

NYK割戻し

之件承知仕候、今便前田君よりも懇々御来示被下、逸々拝承仕候、前便既ニ賛成仕候通り、兼て本店御取計の通り同意仕候、如何ニも奇麗サツパリ吐出し候共、相手が相手ニ付、不得止次第ニ御座候

此件ニ就き、NYKの〈K〉ニ対する体度明カニ相成、兎も角、割引歩合ハ格別の事ニ無之も、而も日濠率先貿易者ニ対し相当の好意を表し呉候点ハ、我等会心の次第二御座候

加古川買入品

ニ対する塚脇生の牽制ニ付上伸候処、本店よりも前田君よりも懇々御来示、逸々同感ニ在之、筆

者迎モ御来意の趣旨、充分飲込ミ居候事ニテ、敢て右出張員の言動ニ重きを置き、責罰を担き込ミ候失体を甘受する心得ハ毫も無之候得共、僭テ権限の有無を議論し、君の意ハ諒トスルモ、指直ナキ品ニ付き、我ハ私の行動ヲ採ルベシとキツハリハネ付ケ候暁ニ、塚脇生ハ果シテ如何ナル動作ニ出ツヘキ乎ヲ杞憂シタル、所謂、理ニ勝チ非ニ負ケル如き場合ニ立至り不申哉の觀念ニ重きを置きたる事ニ御座候、御来諭の「奇麗サツパリ」ニ出ツルモ、川西氏ハ依然タル川西氏ナルベシとの点を御敷衍被下候ハ、蓋し貴意央ニ過きん、今度の如く *Globe* 氏の苦情ハ初メテの事ニテ、谷江氏（従前通りの）ナリシランハ、左程迄キツパリ品位の区域ナク融通の付きたるならん、畢竟、先方の進境を軽視したるハ筆者の罪ニ候、敢テ見クビツたる訳ニ無之候得共、例年之通り標準ニ確固たる撰定無之、多少の不同ハ製品上、相当のヤリクリ相付き候事と存候（毛糸会社の一心両体ナルモ承知ニ候得共）、寧ろ塚脇生の無理を丸飲ニして苦情起り候時ハ、同人を説明の衝ニ当ラセシムルの優レルニ如カスと我慢いたし候、此方の苦衷御洞察被下度候

今後、塚脇生出張の場合ニハ、御来示之通り、同人の権限鮮明、区域相付き候事、最も希望スル処ニ候得共、川西社長の習慣として、左様テキハキ言明相成可申哉否哉、依例「ヨク相談シテ取計へ」的体度なるべしと推量仕候間、夫よりも塚脇生ヲ製品販路研窮等の名義の上ニ、売捌課ニデモ鍊習的ニ振向ケ、此方へハ従前之通り一季ダケデモ全任シテ、其成績果シテ如何を比較スル事ニ試験的御倚頼被下方が捷徑ニハ無之哉、御一考を煩し度候、若し然ラズシテ指直ナク成行任

セニ付云々の行動を採り、幸ニ品物満足ニテも塚脇生の意志を輕視シタル時は、社長ニ信用ある（今日迄の如く）男の一言、不幸我等ニ不利ナルトキハ、當ニ同人自由の注文を逸するのみならず、大体の注文高ニモ影響ヲ及ホシ不申哉が研窮上重要問題ニ御座候

マ―テン商会買次キ品及ヒメルボルン出張調弁の品等ニ対し、多少共手数料御交渉中の由奉謝候  
 大毛辭職の事、御来示敬承、種々盤根セル原由も可在之も、詢ニ残念の事ニ御座候、此方より見舞状之出シ様無之、当惑罷在候

千住注文品

無事既納済の趣、東支の御尽力奉謝候、幸ニ御来示之通り好成績ナラン事ヲ祈居候  
 而シテ来期ニハ、昨<sup>マ</sup>以上の斤量下命相成候様祈上候

年度決算

之義、早急送呈可仕様御来示承知仕候、目下尽力中ニ御座候間、出来次第郵呈可仕候、生憎大浦氏出張ニ付、例年の勝手知りタル守田生随行、其他ニテ手間引ケ居候得共、殊ニ延引ナキ様夫々手配罷在候、但し昨季の如くニハ至る間敷も、此際貧倒ナラサルモ見込薄、又ハ手持永引居候（元来持品ハナキガ主趣ナルモ）品等ハ、大二直下ケ実行可仕考ニ御座候、幸ニ相当（時季柄）の収益ナランを祈望罷在候

紹介人

前便日光丸にて貴地へ漫遊致候三四人へ添書仕候、秋洲ドクトルへ伝言仕置候通り、御多用中御迷惑ニ御座候得共、間接の広告ニモ相成候事故、右等一連相纏り候ハ、一夕日本料理の御饗応御奮発被下度奉希望候、別々ニ相成候テハ、費用相嵩ミ候ノミナラズ、時間差支可在之ニ付、御見合せ不苦候、単ニ相当便宜ノミ御給与被成下度候

次便熊野丸ニテ、多年 *NOM Co.* の書記長ニシテ、我等の出入品深切ニ取扱呉候 *R. A. Talbot* 氏夫妻、病氣保養旁御地へ漫遊致候間、是ニハ相応の御周旋被成下度、前以テ御倚頼申上置候、現ニ同新会社（アメリカ派）の書記長重任致居候

右

北村寅之助

第七四九号信 大正3年4月14日 熊野丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、昨日セントアルバンス号便貴店輸出部状、会計部電信課通信及ヒ東京支店状共、無事着仕候得共、貴店輸入部及支配人ハ不着ニ御座候、多分時間ギリ々々ニ御発信の為メ、メ切ニ後レ候事と存候、多分一両日中、独船コブレント便ニて到達の事と存候、格別の相異ハ無之候得共、矢張、出すならハメ切前、間ニ合ふ様被下度、御注意願上候

国喪

皇太后陛下、沼津御避寒中の処、去月下旬より心臓病ニて御不例の由領事署へ着電、夫々在留民へ通知在之、其御容体ニては格別の御事共存居不申候処、御養生不相叶、遂ニ崩御之由、本月十一日正午前、領事館へ着電、一同恐懼罷在候、尤も外国新聞通信ニて八九日ニ崩御之由、其前記載在之候、多分沼津より東京へ御還幸之上、発表相成候義と奉存候

未だ左程の御高齢ニも無之候処、遺憾千萬ニ奉存候、本年ハ一月已来災厄多く、海軍事件より内閣の瓦解等、国家多事の折柄、又た此凶報ニ接し一同痛苦之至ニ御座候、殊ニ昨年来、内地一般の人氣阻喪の処、本年ハ太嘗会、御即位式挙行等ニて景氣恢復を祈居候処、国喪中ニ付、遂ニ大禮御延引之由、不幸此上なき次第、為國家哀悼の意を表し候



## 新内閣

サスガ頑強の山本内閣も与論ニハ抵抗致し難く、遂ニ惣辭職と相成、新内閣延引の処、清浦奎吾氏首相として組織相成、荒井氏（賢太郎？）大蔵大臣之由、新聞紙ニ記載在之候得共、其他の顔振は記載無之、領事館ニも来電無之由ニ御座候

## 決算報告

休日続きニ不係、粗等調査行届き候得共、輸出荷物の整理、大浦大尉馬の勘定等混雜仕居候間、今便ニハ間ニ合兼候、何れ結果ハ電信ニテ御案内可申上候間、一便御猶予可被下候

成蹟ハ予想之通り悪敷方ニハ無之、御安心可被下候、但し又々所得税引上げニ相成候等の關係上、此際什器の切下げ、貸金中の停滞分、思切り割愛する考ニ御座候、予メ御含置可被下候

## 季候

昨年末より本年一二月ニ掛ケて雨量不足、人々杞憂罷在候処、三月中旬より三月末ニ涉り大雨普及殆ント濠州全体順境と相成（広汎の面積ニ付、尚多少雨不足の処ハアレ共）、先以て本年も牧畜上ニハ十分の好況ニ御座候、仔羊分娩期も無事ニして羊の統計ハ余程増加可致、羊毛の發育も順調ニ付、来季ニハ昨年よりも更ニ多少の増収の見込ニ御座候

而も羊毛の相場ハ、急ニ下落の兆候無之と存候、一説ニハ高直棒立ちの反動として、五月のロンドンセリ市ニハ、多少の下押可在之哉ニも噂致居候得共、果シテ如何？、例年七月頃ニハいつも一時的小弛ミ在之候得共、本年ハ如何ニ可在之歟

## 原糖

先便、当地蔗糖会社砂糖、香港輸出の件上伸候処、近着の新聞上、爪哇糖も本年ハ余剩在之、内地同業者間ニ大ニ混雜致居候塩梅、果シテ然ラハ、当地方より御地へ輸出の如きハ、ヨク々々の場合ナラサレハ、仕事ニハ不相成哉ニ存候、而シテ貴地ニ入用の時ハ、当方ニも入用の時ナルヘク被考候

## 輸入品

当店輸入部の事務ニ関してハ、可成大西ニ全任して、同人の意思にて充分運動為致度考案候、羊毛季中、小生多用等にて絶対ニ干涉不致、従て或ハ多少不行届きの廉も可在之、内外潜ニ心掛リニ相成居候ニ付、季外閑暇之際、精々注意可仕候間、悪からず御承引奉願上候

## 雜俎

先日来、印度ボンベ―其他にて十七日間ニ廿六回モ棉花の火災在之、或は付火ナリト言ひ、或は堆積中自然の発火ナリ等の新聞も在之候、事実不明ニ候得共、兎ニ角、約五百萬円の損害と申候間、棉花供給上、多少の影響ナシトセス、又ハタオル原料等ニ影響波及無之様祈居候

過日、肥料雜誌中、米國ニ於て近日肥料の原料ニテモ他ニ使用の途アル品、即硫酸、硝石の如きニも新規課税云々の記事在之、若し事実トスレハ硫酸杯忽チ相場ニ關係可致存候、乍序申上候  
当地ガス会社ニ於て例年之通り、五月七日ヲ以テ（此日付ケハ一定セス）、来年六月末迄の製産

中、二千噸迄の入札在之候得共、御表近来の様子にてハ到底電信御照会の価値無之と存し、差扣へ申候

但し昨年落札分なるへし、本船二もメルボルンより二百噸斗日本行積入之由伝聞致候、多分大倉組分ナルヘク、為御参考申添候

昨年十一月、当州西部ウエリングトン市の近郊ニ於テ燐鉍石発見、其性分優等の噂高く、投機的会社の設立も在之、増田屋出張員鈴木氏の如きは態々出張実見候由、伝承致候得共、事実特ニ有望のものニハ無之塩梅、別紙切抜御一読置可被下候、仮ニ出品可在之トスルモ、瀛車賃七八志ヲ要シ候間、日本行トシテハ見込無覚束存候

鈴木岩二郎商店の出張員山田某、過日来、当地ニ滞在致居候趣、面会ハ不仕候得共、伝承致候、別段エゼントハ無之様子ナレ共、先日売船と共に小麦ヲ輸出セシ、メルボルンの船仲買(貴地の佐藤某ノ如き者) H. C. Steins を手先として、メルボルン及当市ニ於て、何歟調査致し居候様子ニ御座候

毎度御手数恐入候得共、今便、京都私宅行バタジャム入一箱托送致候間、京都へ御転送被下度願上候

今送新聞紙中(ヘラルド)、濠州海軍国防ニ関する記事在之候、何歟の参考ニ可相成哉も難計存

候間、御覽之上、朝日乎毎日新聞へ御交付可然存候

前便一寸御報申上置候 *Now & Co.* のトルボット夫妻、今便にてタウンスウィルより貴地へ漫遊可致候間、相応の御饗応御周旋奉願上候

又本船にて馬匹人夫として出張致候ジョージ、フィンチは元支店ト同館下層アムストロク商会のストアメンナリシ男ニ御座候、日本見物希望の事、兼て申込居候ニ付、今回の好機を与へ遣り候事ニ御座候、前田君妹尾君ハ御承知の男ニ御座候、可然御願申上候、但し給料其他ハ例年同率ニ御座候、契約書ハ東京支店へ御送り致し申候

東支状前田君御認メ中、小麦の薄利観念ニ付、御高見敬承致候、此方迎も敢テ爪長ニハ構へ居不申ナレ共、 $3/6 \frac{1}{4}$  の  $12/-$  運賃云々の時ニハ、小麦ハ  $3/6 \frac{3}{4}$  より不出来、運賃ハ  $13/-$  と申候、而シテ運賃が  $12/-$  或ハ  $11/-$  にもまけソーニ相成候時ニハ、麦ハ  $3/7 \frac{1}{4}$  ニ再騰致し、結局、聊の処ニテ物ニナラサリシ次第ニ御座候、乍序成行申添候

右

北村寅之助

大正三年四月十五日認、追啓

肥料滞貨

四方君より御来示被下候清水谷某、貸金壹萬〇七百余円之分、中々取立六ツケ敷趣、之ハ昨年筆者滞神中ニモ承知仕居候事件にて、御申越之通り所得税の關係も在之候ハ、勿論の事、兎二角、事実急ニ収入の御見込無之以上ハ、肥料部の損金トシテ御処分被下候事、至極適当と奉存候、入江君も同感ニ御座候間、宜敷御倚頼申上候

対上毛 Top

取扱内情ニ付、東京支店より御来示之義承知仕候、此会社宛のウイツドン8号を特ニ10号と仮称候事、元方へ交渉可仕、別段六ツケ敷ハ無之哉ニ奉存候、而も公明正大ニ商売の不出来ナルハ、厄介ナ事ニ御座候、世間の風習が敗類致居候場合、又タ不得止の策略と奉存候

再新内閣

今朝の新聞紙ニ由レハ、大隈伯爵新ニ内閣組織ヲ引受ケラレ候由記載在之候、貴族院派の清浦子内閣、遂ニ成立セサリシニ哉？、内地ハ嘸々混雑の事と御察申上候

右

シドニー支店 北村生

大正三（一九一四）年

三九

第七五〇号信 大正3年4月29日 セントアルバンス号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拜啓、貴信 386 号及ヒ四方君御認メ去月晦日付御書面、外ニ東京支店丹後丸便状共、辱拜見仕候、先以貴店社長一メ御一同御健福之趣奉賀候、此方も一寸季外ニ相成候得共、Cos 不在にて彼是ユツクリ不致候、来周二は又羊毛市ニ付、プリスバンへ出張の事ニ御座候

御表本年の花盛の好期ニ際し、意外ニも国母陛下の御崩御被遊候為メ恐懼御遠慮可申上、一般ニ静肅ナリシナルヘク、加之、追々準備進行中ナリシ京都の御大礼も無期延期（公報ニハ接セサレ共、此方想像）可相成、此影響中々莫大ニシテ経済界の人氣沮喪可致、為国家悲痛之至ニ奉存候

新内閣

清浦子爵辞退、遂ニ老雄大隈伯首相及内相の元ニ各大臣顔振れ、領事館より伝承仕候、既ニ議會も閉会ニ付、本年末迄ハ先以て無事ナルヘク、此平穩の間ニ処シテ尾崎司法先生の体度、果シテ如何、海軍収賄事件は有耶ニハ泣寝入レ相成申間敷、昨日のヘラルド其他の東京電報ニ由れハ「三井物産の重役三名ハ遂ニ起訴セラレタリ、彼等ハヴィカース社の代理店トシテ口仙百十五萬円（一事件ノミニテナルベシ）ヲ受取り、其内四十萬円ヲ松本中将ニ呈セリ云々」と記載在之、M B Kの名義ニハ、慥ニ墨ヲ塗タ訳ニ御座候、併如此ホヂクリ居候ハ、追々犠牲者ヲ出ス事ナル

店員の操合

へキモ、第一、宮内省の如キ如何ニ候哉、其他各省ニモ事の大小ニ由リ、同種之出入ハ可在之筈ニ存候、妙ナ場合ニ立至リ候義と歎息罷在候、尤も近時の如く、暁季の又暁季の人氣腐敗之折柄ニ付、司法部の活動ハ、慥ニ矯正の功能ハ可在之と奉存候

我等ハ公平ニ商売が出来テ相当の収入を得るニ努メ居候次第ニ付、何卒、一般の人氣の沈衰ニ落ラサルヲノミ希望致居候事ニ御座候

四方君御来示之松木謙一生之義承知仕候、御取計之通り入江君も同意仕候

更ニ本年高商生佐々木恒彦ナル者御撰定、近日入店可致之由承知仕候、幸ニ役ニ立ツヘキ人物ナランコトヲ祈居候

南阿古谷駒平氏との取引も格別の進境無之ノミナラス、中々ニ御手数と費用ヲ要シ、收支ニモ御掛念可在之由、御尤もニ御座候、相手方御承知之通りの六ツケ敷、且ツやり手ニ御座候間、御仕入上ニも一層御骨折ヲ要スヘキ段御察申上候、併折角着手相成候仕事ニ付、今少々御辛抱被下度存候、古谷氏迎も他の店ニテ大ニテコズリ候ニ於て、本店ニ信頼致し候義ニ付、目先キ格別の御利益無之共、御損害ニ相成不申以上ハ継続肝要と存候、羊毛小麦の遠因を見越しおらぬ南米ニも、研窮生派遣の決議も在之候次第ニ付、南阿迎も早晚何歟財源発見候哉も難計と奉存候

右係員鈴木君、追々老境ニ進ミ候ニ付、補助員必要之由、御尤もニ御座候、右ニ付、高給の人よ

りも中学卒業生程度の者ヲ二三年、ウント御仕込被遊候御見込之由、是も御同感ニ御座候、按ずるニ商業出の高等尋常程度、中学校程度、偕は赤門出の先生ニても、實際役ニ立つ人物ハ曉星の如し、殊ニ海外貿易業向キの如キニ於ては一層ニ御座候、蓋し人ハ生レナカラの意思ヲ以テ、平押の世渡りハ不可能ナルカ如し、須ク本人の錬磨と勉強ニ由リ、出世間の人ト成ル事ニ候間、本人の品柄の善悪ニモ大原因在之候得共、而も之ヲ指導スル人の良否ニ由リ、其成蹟ニ大關係ヲ及ホシ可申候、依之、御来示之通り、中学程度青年より御仕込の事ハ、小生最も賛成スル処ニ御座候ト共ニ、筆者の希望ハ、本店ニ於て其上役が自身ニ引構へテ、此青年ヲ一人前の役ニ立ツ様仕込シテヤル的、重ク申セハ責任、平タク言へハ世話方（身腹ヲ切りテモ）ナケレハダメと存候、唯々個人の技倆ニ放任シ、又ハ仕事ヲ言ヒ付ケ放しニする様ナラハ、矢張、高商生杯の方が「トシマ」ナ事致候テも、大ナル間違ハ無尠と存候、呉々も若き者ニハ老人役が付従候て、指揮緩嚴宜シキヲ得サレハ、人物ヲ製造スル事、大難件ニ御座候

大西生NZ行其他の件、追々協議可仕候

国包生之義ニ付テの御来示も大ニ同感ニ御座候、精々貴見ニ則り候様注意為致可申候

Cos 夫妻出遊、種々御厄介ニ相成奉謝候、殊ニハ同人妻病氣ト歟ニテ、東支非常ニ御多忙の折柄ニ参上致、大ニ御迷惑相掛け候趣、御氣の毒ニ奉存候、目下引続き観光中と存候、多分熊の丸ニて貴地出發乎、或ハ帰途ハ長崎より乗船可仕歟とも想像致候



滝村氏

幸ニ大毛顧問役承諾相成候由好都合、夫ニテ双方平和と奉存候、同氏御在任中、褒章下付の御祝として銀製花瓶御送呈之由承知仕候、同君謝状拝見、茲ニ同封返上仕候  
小竹千話奉謝候、閑暇の砌通読可仕候、御伝礼願上候

塚脇生

丹後丸歸神已来、今度御地ニ於てコセ々々致居候由、厄介ナ男ニ御座候、同人歸朝前、折角御談し付ケ被下候マーテン取次品、メルボルン買入品ニ対する心付ケ的手数料も、遂ニハキ出しの不得止場合と相成候由、御氣の毒ニ奉存候、御来示之通り、此事件ヲ塚脇生へ任ス云々は川西社長ノ手段、アマリニ小心ニシテ甚タ水臭きやり方と存候、結局、理屈テ行カス、情実テモ感シナク、ロハの御奉公と相成候由、無止次第ニ御座候〔後略〕

Whitdon & Hughes  
決算

報告ハ過日興信所よりの分、差上置候ニ付、御披見と存候、其後ウイツドンニ対し軽く請求候処、強テ入用ナラハ重役会議ニ上スベシとの事ニ付、夫ニハ不及と申置候、其訳ハ此方ニ於てハ株式会社ニテも年報発行の義務ナク、僅ニ所得税局ニ対シテ秘密的ニ届ケ出ルニ不過、銀行保險会社ノ如き、自家ニ有利の計算ナル分ハ、自ラノ為メニ新聞紙ニ広告スルモノニテ、法律上ニハ何等の制裁無之由伝聞致候、果シテ然ラハ、前田君御注意の五枚や十枚の株券所有致候ても、格別の便宜ニモ相成間敷奉存候間、不悪御承知奉願上候

偕 Hughes の報告ニ付、斯界の皮肉の批評ニ通シタル当地ブルチン雜誌ニ記事在之候ニ付、別封ニテ本店ト東支ト郵送仕候、ハラムへ御披露の事ハ一考ヲ要シ候ノミナラス、表向キ Top の御得意へハ見セサル方、可然と奉存候

該批評ニ由リ御通読被下候通り、会社創立の際ニハ、ヒュースの洗毛場其他の Good - will を壹万千磅以上ニ売付け、其不足分ハ既ニ支払済之上、多少の利益配当を致し候事ナレ共、其配当金も昨年ハ一時延トシ、今年も原料貯蔵の金融上を口術ニシテ未払の俣の如き評判、畢竟、株主少数ニ付、何の苦情もナク纏り居候事と存候

輸出保護金も、該評ニ由レハ、政府既定の一萬磅ハ惣テ Hughes へ收受の如く記載在之候得共、Ward 輸出の Top も其内ヲ均霑致居候間、實際 Hughes への収入ハ七千五百磅以下と存候、果シテ然ラハ、昨年ノ如き我等予測之通り、相応の損勘定ニ相成居候事也

加之、百六十七萬円払込の会社ニテ、其多くハ器械ト工場ニ固定致居候 written off 即器械償却等、毎年僅ニ四千磅、多イトキテスラ六千磅、仮ニ五千磅トスルモ、資本ニ対スル百分ノ三ニ充タス、其割合甚輕少ナリト言フベシ、果シテ如此進行致居候ハ、保護金撤廢の曉ニハ会社ハ如何ニ計上スルノ考ニ哉、若し株主ナランニハ頗ル痛心の筈ナリ、我等間接の關係者ニ於テも、不勘杞憂ナキ能ハス候、然レトモ翻テ Hughes の所謂辣腕手段ヲ以テ如此不利益の報告ヲ敢テ公

告し、明年ニ於テ更ニ、二三年保護金継続請願の原料ニ資し居候哉も難計、甚々穿ち過キタル批  
判ニ候得共、御参考迄ニ申上候

ウイツドンの實際払込資金高不明ニ候得共、同社の Depreciation は七千四百磅ヲ控除シタと申  
居候、實際ナラハ多分一割三四歩ニは相当可致被考候（約五萬磅位ハ払込居哉ニ想像ス）、右御  
心得迄ニ奉得貴意候、草々

北村寅之助

大正三（一九一四）年

二三五

第七五一号信 大正3年4月30日 コブレンツ号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、昨日出セントアルバン便を以て貴信 388 号其他の御受旁啓上仕置候、順着御披見可被下  
哉ニ奉存候

決算報告

新会社組織後の下半季決算の成績は、過般電信にて上伸仕置候間、既ニ御承知之上、大正二年度  
の年期惣決算御整理中と奉存候、幸ニ諸君の御満足を得候様遥ニ奉祈望候

別紙 貸借人名表 一 輸出品有高表 一

下半季決算表 一 輸入品 " 一

大正二年五月乃至三年三月末迄十一ヶ月決算表 一

右決算後本年四月一日の本帳貸借表 一

同封仕候、乍恐御一覽被遊被下度候

則チ上五ヶ月の差引尻 £2974.17.0 ニ付

下六ヶ月は其 " // 1212.13.5

£4187.10.5

の支店純益勘定ニ御座候

今其内様を概説セシニ、第一、輸出口仙ニ於て前年来其率減少ニ不抱、約壹千磅の増加、利息等の収入又々百三十磅増加候得共、輸入部帳簿上の利益ニ於テ (Gross Profit) 約四百三十磅減少也 (別項再照)

(右何レモ昨年四月ノ時比較シタルモノニ候)

第二、経費之部ニ於て給料式百磅余、是ハ俸給引上ケト人員増加ニ由ル、旅行費用ニ於て式百五十磅の増加ハ、Cos 夫妻請暇貴地漫遊分ハ 107 余と筆者等メルボルン、ブリスバン等出張多数ナリシ事、輸出处雑貨の増加は従前より相当の金高ナリシモ、例の羊毛見本売揚金の一部を補給相殺致居候処、昨年より塚脇生等ニ対する気兼、又ハ歩留も追々切り詰メ居候等ニテ、見本聚集之際、殆ント半減ニ為致候結果、見本残りの売上大ニ減少、加之、人員の増加より毎年イイスター休暇の心付けの分配金 (此帆待金ヨリ支出スルモノ) も増加致等ニテ、殆ント手一杯、其他馬車賃及 Car: ship の騰貴等、彼是ニテ百廿磅斗増加の事、不悪御推察可被下候

(此見本の如きも、迂活ニ塚脇生杯ニ打明ケル事出来不申候、多少ハカギ付ケ居候得共、当支店の取出し方の少量ナルハ (何程トハ知ラサレ共)、信用為致居候事ニ御座候、御含置可被下候)

〔欄外書込〕

輸出入共、近来電信料大ニ増加仕居候、何ト歟、今一段節約致たきものと奉存候

輸入部の品分け統計未調製ニ付、目の子にてハ説明仕兼候得共、第一、昨年来、為替付きの品増加と、惣テ無為替分も前年より利息 $1\frac{1}{2}\%$ 付きと相成候事ト、手持残品ニ於て今回ハウント直引致し、大部は原価より三割已上四割落ニ致候等ガ大原因ニ御座候、幸ニ引続き好況と相成候ハ、持品売捌きと同時に、次期ニ於て収益回復の筈ニ御座候、而も雜貨類ハいつも思ひ切りテ直引致し置クヘキ性質のものニ御座候、一兩年前迄ハ多くインデント専門ニシテ、手持残品少額ナリシ故ニ如此必要ナカリシモ、近来係員へ委任の結果、成行持品多く相成候事、不得止次第ニ御座候、是れも乍失礼やり方ニ由レハ、今一段機敏ナル働キモ出来可申筈ナレ共、何事モ一人ニテハ手廻り不申ニ付、不行届きの処ハ不悪御寛恕奉仰候  
又今回切下ケ致候内、詳細如左候

西濠州鉄鉱応募 300 株ノ内払込高	£75. 0. 0
前年北村持帰り候鐵甲細工皆無不売ヲ口術トシテ品ハ	
アレ共代金不払ニ付一時貸倒レト見切ル	112. 0. 9
紙手中注文品引渡後分散 Cook & Co	55. 9. 6
合計	£242. 10. 3

西濠州鉄鉱会社の件ハ、一昨年報告仕置候、一時有望ニテ貴方へ一手引受輸出の目的ナリシモ、

遂ニ不可能の事ト相成、実ハ跡 5225 払込の義務アルモノニ候得共、当分ハ其俣ニ打過キ可得見込ニ付、不取敢、既払込分棒消シニ致候、鼈甲は筆者知人（妹尾君も御承知の人）ゴウルドリング（人造真珠依頼ノ同人也）倚頼ニ付、仕入持帰り候事ナレ共、品物流行遅レニ付（時間もナキニ、長崎ニテ種類ノ内、可成新規の品撰抜シタルナレ共）云々ニテ、頓と売行不申為メ代金支払不申、何れハ品物現在ニ付、何と歟、所分仕候得共、此際一時帳消シニ致候段、是亦平ニ御断申上候

什器類も年々相当ニ切下ケ居候得共、其実器物と申候よりも普請費用（Office の）大部分の残りニ在之、旁此際全部帳消仕候条、左様御承知可被下候

右の結果として取引高の増加ニ不係、差引尻純益は如前記千式百十二磅強ニして、昨年同期ニ比シ、却て 5480 斗少額と相成候段、残念之至ニ御座候得共、是亦不悪御承引被成下度候

支店輸入統計表及損益比較表の如き、是迄同部よりの伝票より記入の元帳の売場ニ由リ、守田生調査致居候処、肝腎の輸入部主任ニ於て其事二十分の精神は入居不申ては不都合、且ツ将来進退の参考ニも不相成、旁同部ニ於て調製する事ニ申付け候、然るニ御承知之通り、如此明細の算盤勘定ハ、到底、大西生ニハ六ツケ敷（出来又ニハ無之も、今一段統計的頭腦薄弱ニ付、拵へサス

ニシテモ余計の時間ヲ要スベシ)ニ付、目下、国包生例の女房役として取調中ニ付、少々延引仕候得共、後便より可供貴覽候

(因記) 守田生、病氣ハ無御座候得共、平常中々仕事多く、殊二頭を遣ふ男ニ付、いつも顔色悪敷候間、毎年一度ハ休暇を与へ候様ニ特ニイタワリ遣し居候次第旁、過日来二週間、転地療養として地方へ旅行中ニ御座候

却説、輸出部の統計ニ付ては、例之通り *1st cost* 及ヒ毎号インホイス高共、別表下半年明細ニ前五ヶ月分を加へタルモノ及ヒ三四年前ニ逆上リタル参考表同封仕候間、其一部は東京支店へ御転郵被成下度候

該表ニ付解説スレハ、従前ニ於て毎年十月末を以て決算期と相成居候処、大正二三年、即会社組織の初年度より支店ハ三月末メ切と相成候間、其下半年ニ於て羊毛季節輸出の殆ント全部を網羅スル事と相成候、故ニ従前の十一月より翌年十月末迄の計算を以て比較すれハ、大正二年度之十一ヶ月間惣計は £132,304.16:2 トナルヘカリシニ、決算期変更の結果、此下半年六ヶ月ニ於て £195,132:9:10 の多額ニ上リ居候事、著敷変化ニ御座候、而シテ今後も毎年の下半年ニ羊毛の金高ハ偏重する事ニ候、何も差支ハナキ義ニ候得共、御含迄申添候

何と申ても *Top* のお蔭ニて、取引高ハ大ニ増加致候、則大正元年五月乃至二年四月迄の惣計は



£333,020:3:11 11対し、今期ハ十一ヶ月間11し、尚且ツ £642,264:5:1 の多額と相成申候、此増加、丁度百〇九萬円以上ニ相成候、而して各品ニ就て是を見れば、Top、羊毛、雜貨ニ於て著敷増加し、肥料、タロー、オリイン等ハ減少の方、其他ハ多少の出入ニ止マリ申候、就中 Top 八十五萬円余、羊毛廿六萬円余、其著明ナルモノ也

右ニ対し、貴地迄の運賃税金諸費等通算致候ハ、取引高約七百廿萬円ニモ可相成歟？

之ニ此方輸入品元価運賃税金諸費メ高約三十二萬円<sup>※</sup>を惣計すれば、約七百五十萬円ニ御座候、世間の状態ニ比較して、我商店の立場ハ満足セサルヲ得すと奉存候

〔※印欄外書込〕

是ハ今半季のメ高ニテ、昨年五月より九月迄之分廿八萬円余ヲ加算スレハ、惣メ高約七百八十萬円ニハ可相成乎？

本年ハ更ニ一層の進境を見度、御同様切望の至ニ候得共、今日の模様ニては各原料産地高ナルニ引返へ、日本内地の人氣不引立ニ付、既期同額ニ迄ゴギ付ケ候事も余程骨折れ可申哉ニ奉存候

店員私借

四方君御来示ニ基き、北村大西国包分、前便既ニ伝票ニテ貴店へ振替仕候、就中、筆者は貴店ニも多分の借用在之上、此方ニも少々買物致候為メ多額の借勘定ニ相成、申訳無之候得共、特別を以テ御承認被成下度候、今後の配当賞与等の在之次第、惣て御差引被成下度願上候、今後ハ大ニ

注意可仕候

大西生も家屋購入の為メ、其手金としての借金御座候間、是も御含置可被下候、国包生分は恰も昨年小生不在中ニ不知不識の取替金相重ミ候次第、既ニ四方君より御譴責ヲ蒙リ居候ニ付、今後ハ給料の内を儉約シテ速ニ返済方、本人も観念仕居候間、不悪御寛容奉願上候

貸勘表中Cosの名前在之候得共、是は旅行ニ付給料前借、留守宅へ残し置候分ニ候得共、毎週の分より徐々差引仕居候間、左様御承知被下度、其他ハサツパリニ御座候間、御安心可被下候

本店決議同意証

本書認メ中、イイスタン号便到達、四方君四月一日御認メ状拝見仕候、御来示逸々御同意ニ御座候、則チ署名之上、同封返上仕候間、御入手可被下候、印形は古立君保管致呉ラレ居候間、御捺印願上候

Cos 夫婦

は多分熊の丸ニテ帰濠可仕哉ニ想像仕居候、果シテ如何?

余は丹後丸便より再伸可仕候、草々

北村寅之助

追伸五月初一日認

燐鉍

当州西部ウエリントン地方ニ発見の事ハ、既報之通ニ御座候、然ルニ我等の知人小麦仲買人ダツカー氏は其第一鉍会社の重役と相成候ニ付、聞合せ候処、頗る有望の見込と申居候、目下採掘試験中ニシテ、多分内地にて過燐酸ニ再製の事と存候得共、直段はシドニー渡 20/- per ton 位と申居候、而シテ含燐酸量一寸不明ニ候得共、アルミナは1%以内と承り候、分析表と見本ハ次便より為御参考呈送可仕候、或は商売ニ相成候哉も難計候

敵商

前便一寸申上候カネ辰の山田某ハ、熊の丸にて帰朝仕候、而シテ其手足トナリ居候船舶仲買商 C. Steinh は、一昨日セントアルバンスにて出帆致候、多分御地迄も出張致候哉ニ奉存候  
一昨年、玉葱ニ付、御地へ出張致候マクヒュー氏の兄ナル D. J. Mchugh も御地へ出張致候、多分玉葱視察と存候、唯今の処、内地品潤沢ニ付、格別の人気無之、£7より £7/10/- 辺相場ニ御座候

署名人

筆者帰任後も、引続き入江君ニ手形証書等の 500/- 相願居候義ニ付、御地正金銀行ニ於て別段疑問ハ無之候哉ニ案事居候、実は昨年在神中ニ説明仕候通り、主人死亡後も支店ハ同じ姿勢ヲ以テ

大正三(一九一四)年

二四三

營業繼續仕居、訴訟事件の起ラサル限りハ何等の故障ハナキ筈ニ御座候得共、萬一、店主死亡ヲ表向キ（世間ニテハ知ツタ人モ沢山アルコトナレ共）發表仕候時、筆者所有の委任状ハ不用と相成可申候（今日ハ有名無実ナレ共）、然ルニ入江君は馨君より最初御郵送被下候委任状の宛人ニ在之、且ツハ如前記、新会社組織の事モ当地ニテハ發表致サス、従前の俣の看板ニテ營業仕居候次第、此際、同君在任中ハ同君ニ署名人ト成リテ貰フ方、円満と存候ニ付、其俣ニ押通し居候義ニ御座候間、甚姑息之至ニ御座候得共、可成ハ兎角、事勿レ主義（如斯法律的事ニハ）希望ニ御座候、萬一、何歟御話モ在之候時ハ、右の事情御説明之上、不悪含ミ呉ラレ候様、御尽力奉願上候、実ハ貴方ニテハ事情も疎通致候得共、時々ロンドン正金支店よりハ杓子状木の通信ニ接し居候間、一寸為念申上候、但し此件ニ付テハ、未た何等の故障ハ承知仕らず候

## 割戻金

過般電報の第二音ニ付記致候通り、当期（六ヶ月分）の保険料其他割戻り金 3300 余ニ御座候、此額は既ニ熊の丸便ヲ以て、會計部より貴方へ振替濟之由ニ候間、二重ニ御考へ無之様願上候是等も年々お得意へ吐出し居候為メ、引續キ減少致候事も、不得止仕合ニ御座候

## 千住行保險の件

先日も一寸申上置候、近来、千住注文書の條件中、保險ハ四十二錢五厘%ナラハ、何方ニても差支無之と記載在之候、而シテ東京海上へ御申込相成居候情実ハ、東京支店ニテ5%割引御受取の事と存候ニ付、其俣我慢致居候処、林生の談話ニテ左様の割戻しハ皆無之由承知仕候、果シテ然

ハ、今後ハ当方ニテ数年前と同様ニ保険取計の事ニ御承諾被下度候、右條件之通りハ $2\frac{1}{2}\%$ ニ  
すれハ、此方改正の率ニ由れハ $10\%$ 以上の割戻し在之候（3ペンス印紙ヲ通算シテ）、且ツ千  
住ニ於ては毎便の電信料ヲ省略するを得候、第一、此方の手数も余程楽ニ相成候事故、東京ニ於  
て或は交際上の情実等生し居候哉も難計候得共、是非、此方ニ於て一度手数済仕候事ニ御承認被  
成下度、訳テ御倚頼申上候

右

北村寅之助

乍御手数、別封住吉未亡人様へ御届け被下度奉希上候

大正三（一九一四）年

二四五

第七五二号信 大正3年5月9日 丹後丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拜啓、其後貴信未着ニ御座候

筆者、本日午後二時出帆、ブリスバン市場へ出張仕候間、二三心付きの件、記述致置候

羊毛

は引続き上騰、Top も今朝のブラッドホード入電にて64は遂ニ31片と相成申候

伝聞ニ由れハ、Hughes 先生、曾て割安ニ買入置候原料を利喰のツモリ歟、又は貯蔵利子倉敷等の相重ミ候金融上の関係ニ哉、過般 Gay 羊毛千数百俵、ロンドンへ輸出致候、而して原料買入の為メ、本日筆者同船ニてブリスバンへ出張可致由、果して如例適当品ハ相応ニ買煽り不申哉と甚気掛りニ存居候

ソレ歟否歟、The 原料不足の為メ、本船積大毛宛予定よりも不足可致旨、昨日ニ至り報知在之、甚不都合ニ付詰責ハ致置候得共、同人の進退ハいつも確實ニアテニは相成不申、困ツタ先生ニ御座候、御含迄申上候

小麦  
一再三の打電も、遂ニ物ニならず、残念の事ニ御座候、其後も引続き上進、本日は3/10 1/2 ニシ

も売物払底ニ御座候、全く欧州行運賃 20/1 より 21/1 (昨年ハ 30/1 已上ナリシ) ニ豊富ニ在之、ロンドン相場ハ、四百八十封度ニ付 36/6 売行居、旁此方在荷潤沢ニ不抱、底意手堅き景況ニ御座候

本船の如き自今季節外ニ付、早くより 10/1 位の運賃承知致候ハ、或ハ 30/4 位ニテ手合出来タ歟も難計、懇々説得致候ニも不係、例之バキスター一統ニテ頓と傾聴不致、1/1 杯ガン張り候為メ、又機会を失し申候、其後 12/6 承諾の時ハ既ニ遅し、又其後何程ナラト再昨日ニ至り申来候得共、麦価再騰ニ付打電見合候次第也、日本より硫黄 7/8 位ニテ積来り候事ニ比較すれハ、同率ニテも不引合ト申事ハ無之筈と存候、現ニ本船ハ多分三分ノ一斗空船の俣出港すへき形勢と推測致候

上毛宛細手<sup>Top</sup>

前郵便報中、ウイツドンニテ撰出し候細手の物、特別試製の事、御伺申上候、其中八十手云々と在之候得共、實際ハ 8/8 ハ無理と存候、現ニ王子宛残分十三五俵買入度、特ニ soft 為致候品一見致候処、何分ニもいろいろ々の品より撰出し候もの故、Character も一定せず、細サモ先以 74 前後力関の山、中ニ勿論 8/8 のものも在之候得共、混交不同ニ付、遂ニ買送り中止仕候、何トナラハ如此品ナラハ、曾テ輸送致候 1/1 俵より御撰別被下候ハ、更ニ優等の品、御発見可相成ト相信し候故ナリ

尤も 10/1 拵候ハ、一層拝見宜敷相成可申ニ付、上毛宛トシテ三五俵試製為致候テは如何と

存候、御高見御洩し被下度候

輸出棧橋料

之件、前報後、更ニ調査仕候処、議案ハ通過致候得共、大守の批准無之、且ツ当州憲法ニ抵触候法令ナリトノ公評ニテ、或ハ立消ヘニ相成候哉も難計模様ニ御座候、故ニ小麦の如きも七月一日より実行云々ハ、未タ俄ニ信シ難く候ニ付、愈の場合ハ電信ヲ以て御報導可仕候

NZ羊毛

Pe's + Bellies、遂ニ御注文無之、残念ニ存候、前年よりハ直段も騰貴致居候間、買方躊躇致候方ニ哉？

クラツチンクは過日見込直段返電仕置候間、目下御奔走中と存候、是も昨年よりハ彼是一割高ニ付、注文の出方延引候哉も難計候得共、米國関稅撤廢の影響ハ、支那毛の米國行増加ト共ニ、原地相場も騰貴可致ニ付、是非NZ品御入用の場合ニ差迫り可申哉ニ被考候旁、ウント腹ヲメメテ買入決心方御勸誘被下度候、兎も角も本月初市可在之由ニ付、成行ヲ以て適當品百俵斗買入可申候様 Swift へ注文致置候

昨年輸送品歩留、大不成蹟ニ付、兼て嚴談中の処、過日デニー氏欧州へ出張の途（一旦NZへ歸り、七月上旬出立の筈）、当地へ巡回致候間、其機ヲ以て大ニ談判致候、先方も頗る恐縮致居候、全くPrice 氏病氣の為メ頭が狂ヒ居タルニ原因スルラシク候、何分ニも非常の損害ヲ振舞ハレ、



遂ニ金二百磅弁金受取ル事ニ致候、而シテ五十余磅ハ此方用捨トシテ、且ツ是レ限り今後の例トハセヌ事ニテ落着致候ニ付、定メテ御満足可被下哉ニ存候、素より貴方ニテハ一旦釜ニ入レタモノを吐出サレタル義ニハ候得共、元方ニ於ても *Warrant* の保証ハ無之約定ニ付、我等ニ同情シテ薄利の取扱品ニ対し  $\$200$  を支払候事、寧ろ見上ケタ商徳振と奉存候、追々該金入手之上、御振替へ可申上候

サウスダウン季節中、三百俵位ハかい入行届キ可申見込と承り候得共、兎ニ角見当り次第、二百俵迄見込買入方注文致置候、而シテ *Swire* ニ於て一旦開荷一二三位ニ撰別シテ、見本と直割急送の事ニ申入置候間、是ヲ貴方へ転知之上、送荷の段取ニ可致候、而シテ裾物、又は太毛短毛等ハ *NZ* ニて転売行届キ可申見込、又ハ *Pe's + Bellies* とシテ、貴方ニて他の *M&B* と同時ニ御売却被下候テモ宜敷存候

大倉組へハ二歩口仙励行致居、又其他ニ付ても此方ニ対するよりハ、余程割高の手数料を以て取扱居候間、貴店ニ対して決シテ御損ハナキ筈とのデニー氏弁解ニ御座候、且ツ今更謝絶と申訳ニも不相成ニ付、今後モ大倉ダケハ黙認在之度、他の日本商会へハ取引開始致間敷と申居候ニ付、是も不可能の儀ニ候ハ、今更他へ取引開始致候よりハ其俣継続の方、当店の為メ一層尽力可致哉ニ存候間、不悪御承引奉願上候

## 東毛原料

フローマン手先より一片方も割安ニ申込候由承知仕候、左程の直開き可在之筈ハ無御座候得共、若し事実トスレハ、全く歩留り鑑定ヨ二三歩方、我等よりハ余計ニ見積り候故ナルベシト奉存候、実ハ我等の歩留見込方實際ヨリモ低キニ過キ居候ハ、夫ハ此方の技倆未熟の欠点ニ御座候、乍併今日の場合、一時の方策的安直ニ申込、注文引受け候テモ、現物買付ケハ頗ル困難ニ奉存候現二本日ブリスバンへ出張致し、丹後丸宛百二三十俵宛も買入度（其以上手ニ入候共、次船ニ割積の考へ）存候得共、果シテ 25 1/2 片及ヒ 24 片予定直段一杯ニテ調弁出来可申哉否も未定ニ御座候、尤も四萬俵も出品在之候間、如此少数のもの、マサカ買入不出来と申程の暴騰ハ無之哉ニ相信し居候、而も萬一、右直段ニて不出来の場合ニハ、一応御照電之上、進退（ブリスバンニて買遁し候共）可仕候考案ニ御座候

## 肥料

57/12/6 の乾血も尚御不引合の由、浩歎之至ニ御座候、果シテ然ラハ、メルボルンのコックビル製薬之大倉組へ引取居候品の如き、何程御好ミの色合ニても N ハ僅ニ 6 % のもの故、六磅十志（サンダウンも同様ナリ）杯ニてハ、到底御引合ニ相成申間敷存候得共、御高見至急御洩置被下度候

前便 Birts 11) 五十噸買約之処、44 tons 輸出の残り六噸ハ、丹後丸積の筈ニ相成居候間、神

戸宛輸送可仕候間、不悪御承引奉願上候  
レドバンクB Bも£5以上ナラハ中止の御命電承知仕候、一般肥料界の不振ニ由ルコトと存候、  
然ルニ既報之通り、丹後丸積ヨ噸は準備済ニ付、今更取消出来不申、無止半分宛神浜分送可致  
ニ付、是亦不悪御辛抱被成下度、伏て奉願上候

右

北村寅之助

大正三（一九一四）年

二五

第七五三號信 大正3年5月19日 イースタン号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拜啓、シキスモント号は昨晚入港致候得共、貴地及東支よりも書面新誌類共、到達不致候  
筆者は十六日午後一時プリスバン出港、昨午前海路帰店仕候

羊毛

プリスバン買入品ニ就ては、十五日付号外を以て上伸仕置候間、丹後丸にて既ニ御承知被遊被下  
候哉ニ奉存候、右ニ対する原価証品評表其他今送可仕候、為替も本船便にて取組申候

歩留の概評は、積入目録へ一寸併記仕置候得共、其後見本再調査の結果、少々 Dusty tip の重  
きもの存之、 $\frac{1}{2}\%$ 乃至 $1\%$ 格下げ（東毛宛 Type 1ニ於て）仕候、Type 2ハ其俣ニ致し、丁度  
御指直一杯ニ出合申候、本日の市況ハ別項之通りニ付、先以て割安と相成、安神致候仕合ニ御座  
候、目下見本の中、三五種洗上げ試験中ニ御座候、幸ニ大体の Bulkが見込通りの成績を挙げ候  
様祈上候

王子宛メBも Dusty tip の割合多き様相見へ候間、四口の内三口 $2\%$ 乃至 $3\%$ 格下げ仕候得共、  
精算の結果、 $19\frac{1}{2}\%$ 片相当ニ相成候間、既電御案内申上候ニ比シ、半片方廉価ニ相成申候、Low  
は季節外の事故、あまり好き不好きも出来不申成行にて御辛抱被成下度候

却説、本日は問屋五店にて約八千俵出品在之、其大部は例の西北地方秋剪の新毛ニ御座候、其品柄は既報之通り降雨豊饒の結果、発育宜敷も頓と Burr 多く脂肪多く、且ツ太毛多く候は勿論、カナリ stained と中ニ tender の品も不尠、我等の注文 type 1 宛ニは格当品皆無ナリシニ不抱、多少 Bury やカナリスティーン交りニても、多少細手 64/70 交りにて「カラクター」と申程の好ニハ不出来ナルモ、稍スタイル宜敷品は洗上げ三十片前後の見当を以て不残売行申候、特ニ米国向きは品払底ニ由ル歟、格別の競争無之、過半は大陸向き Wending & Co の手ニ買取ラレ申候、此仲買はブリスバンニても前周買高ナリシ人ニ御座候

極く Burr の多きもの、歩留りのダウトフルたるもの等は、先以てブリスバン同率と看做すべく、優等（比較的）のフリス及バルキーピース等ハ、慥ニブリスバンより割高にて売行申候、但しスカードの裾物且ツ faulting スカードハ、競争乱調にて引込品多く（三月の付ケ値ニ満タスシテ）在之候

電暗都合悪敷、此方市勢の意味開陳難致候間、少々費用を奮発して（クラッチングの關係も在之）、英文にて時間外電信にて御通知申上置候間、明朝ハ本日開市の景況御承引可被下哉ニ存候、而て明後日乃至来ル廿二日、当方閉会の市況打電可仕候ニ付、其上東京支店にて昆ニヤク摺を以て各得意へ御披露被下候ハ、可然奉存候

明日は多少クインスラントの品も在之候間、直段ニより東毛一号宛九十俵斗もかい入可申歟とも存居候得共、御注文は七月積迄差支無之ニ付、強テ進ンテ買極不致覚悟ニ御座候、二号宛はブリスバンニテ全部調弁済と相成、寧口好都合と存候、本日之出品中十一片半ニ売行候もの数口在之候得共、何レモバーリーの不向キ品ニ御座候

メBは本日多少適當品アリシモ、あまりカナリ stained 多く候為メ見合申候、跡二日間ニ不足分買足し、日光丸より皆送仕度存居候

Box は既送廿八俵ニテ一ト先メ切ニ可仕候

## NZ Crutchings

加古川注文として C to K 押込脂付き廿萬斤 Job Sydney 12 洗上げ御指直を以て御照電、今朝拜見仕候、然るニ丁度本日NZより来信在之、既報の見込直段は低きニ過ぎ、到底買入見込無之と在之、然る上ニ、ブリスバン、当地、偕はロンドンの引け相場も頗る好況ニ在之、本品の如き殆ント副産物ニ候得共、供給高ニ限りある品ニ在之、近来NZ内地の製絨所の買出し増加致し居候上ニ、米国無税の影響は、屹度、此方面ニも波及可致哉ニ確信致候間、今夜前電取消し

Type A 16 ペンズ Clean Scd NZ 1 st Cost

C 13 ¾ //

C to K 込 13 //

御任せ被下候ハ、精々安直ニ買入行届き可申だけハ尽力可仕候、アマリ爪長の御指直ニテハ、

時機を失するの恐ありと申上置候間、加古川へ御交渉之事と存候、殊ニ今日の形勢より見て、責任引受の如きハ、論外の事ニ御座候

昨年ノ御売直ニ比シ、余程高直ニ可相成候得共、一般ノ市況、如何共致方無之、支那毛ノ如きも米國行増加可致候ニ付、既報ノ如ク本年ハ余程割高ニ可相成哉ニ推測仕候

加古川注文も、単ニ前記ノ廿萬斤位ニハ在之間敷、千住方面、東京毛織等ノ注文も御奔走可被下と存候間、本年ハ無尠共、二千俵位ノ御注文アルヘキ筈と期待罷在候

既ニ本日 Swift & Co.ノ報告ニ由レハ、NZノ田舎ノ少サキ Dealer (ディーラー) Dean Bros ナル者、日本より Crut'g 千俵ノ注文を受取たり杯とNZ新聞紙ニ記載在之候由、是ハ世間ノ狭きNZ市場ニハ屹度影響可在之哉と存候、苦々敷存居候、先方手紙ノ書抜キ別紙加封仕候

但し昨年加古川へ売込ノ直段が割合高直ナリシニ比シテハ、其元価と今日ノ直段トノ如ク直開キ無之ニ付、塚脇生杯ノ口出し致候場合、昨今ノ如キ高価ハ寧ろ御掛合中好都合ニハアラス哉? (弁金シタ関係ト原因ハ在之候得共)

Hughes Top  
入江君認メ丹後丸通信中、大倉組ノ手より十萬斤斗、近頃売約云々在之候得共、果して如何哉、或ハ Hughes ノ直話ノ東洋モスリンノ分歟、然ラハ山口嘉蔵ナルヘキ乎と存候、記して貴方ノ情報を待ち可申候

同人ハプリズベン市場ニテ、合計千八百俵余買入申候 (ウイットドンも千〇三十五俵かい入申候)、

尚本日も引続き百七八十俵かい入申候、ウイツドンも亦タ殆ント同数かい入居候処、中々妙二御座候

前郵番外二書洩し候、Hughes の直話中、昨年来、日本へ先売候分ハ惣て欧州（英とも大陸とも不申候得共）、先物買約致し置候間、二片乃至二片半の利喰にて徐々ニ転売シツゝアリ、而も今日之の如く原料暴騰候テハ、相当の罰金を支払ても、日本より解約を許容セラルゝ方楽也抔申居候、果シテ欧州にて先物 Cover セシトセハ、全く前年来、ハラムよりの忠告を實行シタルものと奉存候

大毛宛三号、今便ニハ僅二十二俵だけ輸出候由、旁五月分恰も予報ニ比シ尙萬八萬封度斗、尚不足の由ニ御座候、為念申上候

Birts Beef Tallows

横浜上げ 25 tons 熊野丸なら 30 fob との御注文、あまり先物ニ付マントも躊躇致候得共、目下不況の折柄ニ付、\$29/15/0 ナラ買約せよと過日申入置候処、本日承諾之旨通知在之候、近来の安直と存候、跡下落ナキヲ祈居候

右

北村寅之助



大正三年五月廿日認 753 号追伸

近来  $\text{CaCO}_3$  より輸出の混脂ハ、中々の噸数にて、メルボルン当地及ブリスバンより何れも神戸揚ニ在之、例の尼ヶ崎工場宛と奉存候、前年筆者チリットソン氏面会之節の談も在之、一寸注文引受け方六ツケ敷義とハ存候得共、伝聞ニ由れハ  $\text{CaCO}_3$  輸出之品ハ、中々混雜の買集メ品ニして不同沢山と承り居候、就ては藤井君より  $\text{CaCO}_3$  オルカーへ御話之上、試験的ニても此方へ注文致呉不申哉、御交渉在之度候、当方よりも本店へ書面を以て一応照会の考ニ御座候

コックビル肥料の件ハ、既ニ店報より御報濟ニ候得共、6% N の品如何ニ色好シニても  $\text{£}7$  ニて御引受被下候哉、確と御返辞被下度候、先般、再三製造元へ掛合置候処、愈来ル八月ニは輸出向き相談開始可致情報を得候得共、生憎、貴方大不況ニては、又大倉組へ継続被致候ハメと相成不申哉と配慮罷在候

本状ニも相認メ候通り、NZクラッチンクの直段、目切り高直ニ相成、4G Top ニ比較シテも割高二して、結局例の Pe's & Bullies の出物の方、割安と相成候義ニ御座候、而も使用上、矢張クラッチンクならされハ不可ナル処と存候間、割高二ても相場の成行ハ不得止の至と奉存候  
64 Top も前土曜日の入電ニハ、更ニ各半片高の  $31\frac{1}{2}$  ペンスと相成候間、貴方へも通報、御

入手と奉存候

但しブラットホード「レコード」社への電報料ハ、貴店より直接御送金之上、該金の不足ナラサル様、平常御注意置被下度、其後、此方よりハ別段通信不仕候、過日、此事貴信二一寸相見へ候間、為念申添候

本信中 Hughes の話ニ東洋へ十五萬斤売約云々の件、今朝アンデルソン氏より探聞ニ由れハ、協議中ニて、未だ契約シタルニハアラス申居候、此方寧口事実と存候

大倉組の十萬斤云々ハ、全く壹萬斤の由ニ御座候

又 Hughes のタイプ 18 ハ、上等のメ B 58 s 原料の由申居候、果シテ如何ニ哉？、被服廠毛糸宛として、王子ニて使用之分と先日此方より買送り候 52 原料ヲ以て御紡績相成候 100 或は毛糸の比較如何、御研窮被成下度候、但し此原料ニ就て、過日、前田君御意見御洩しの件ニ付、早速御返事可申上の処、多用ニて延引仕居候得共、次便此方の見込開陳仕御参考可申候

丹後丸輸出羊毛九十俵大倉組と在之候分は、メルボルンより六十俵、NZより三十俵の由探知仕候、多分、メBとクラツチンク可成哉ニ想像致候

余は次郵再報可仕候、草々不尽

北村生

大正三（一九一四）年

二五

第七五四号信 大正3年5月29日 シギスモンド号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、貴信四月四日？藤井君認 357号、本月廿日着

〃 四月廿三日 〃 無番日光便、 〃 廿五日着

〃 四月廿八日四方君認 〃 〃

夫々拝見仕候

古立君引続き元氣消沈之由、お氣の毒ニ奉存候、何卒、押て病氣の重り不申様、折角御加養被下  
度候

ハラム渡濠

二付、御来示敬承仕候、實際、同人の日本を放ナルゝは、第一我等の荷渡しニ付ても甚不便ニ存  
候、且ツ我等の婆心にて同人の当地工場へ出張して、製造上の忠告を表現致候ハ、Hughes の  
利益不尠と存候得共、如貴説 Hughes が、果してハラムの意見を実行致候哉否哉ハ疑問ニして、  
特ニ自家の収益を見る点ニアラサレハ、聞流しニ終り候哉とも被考候

本年中の先物売約後云々の事情も可在之なれ共、或はハラム自身の用事にて延引致候哉も難計と

伝承仕候、兎も角、前便御報仕候通り、若し同人の渡来アリとすれハ、本年末の事と存候、而も今日の如き高き相場を以て、来年一月渡の先物買人ありとすれハ、ハラムを日本ニ止メテ其約定ニ奔走為致哉と存候間、結局、同人の来濠説ハ又々立消ニ相成可申哉ニ被考候

## Top 品質

Hughes 供給品ニ付、毎度心配仕居候処、近来送荷は比較的改良の跡相見へ苦情無之趣、御同慶の至ニ奉存候、何卒、昨年来の弁金ニ鑑ミ大ニ注意実行致候様、潜ニ祈居候、東京方面は今以て評判回復不致由、一旦不評と相成候上ハサモアルヘク、工業家の信用ハ特ニ注意を要する処ニ奉存候

夫ニ引返へ、ウイツドン製品ニ多少見劣り在之哉の御来報ニ付、両三日前、同人ニ面会、懇々將來を戒め置候、然ルニ今朝は電信にて品質及スリバーの不同御警報被下、痛心之至ニ御座候、早速元方へ書面を以て更ニ詰責致置候間、何卒、熊の丸丹後丸輸出分共、無事通過候様祈上候  
ヒュース製品も Burr の残存するもの Silver の不同等の発見の由、是も書面を以て嚴重ニ懲戒可仕候、甚敷苦情相生し候様ならハ、例のハラムニ由り御解決被遊被下度、当地にては跡々を警戒するのみにて、實際既輸品ニ就ての交渉ハ困難ニ御座候

Hughes Rebate  
之件ニ付、貴地の状況御詳報被下奉謝候、ハラムへの通信写も披見仕候、種々御策略之程御尽力御礼申上候、昨年七月中旬の初手合已来、大毛約定僅ニ八十五萬封度ニ過キサリシハ、今更の如

く寂寥を感じ申候、而も近来貴方のモスリン界の形勢より見れハ、又不得止仕義ナルヘク、加之、瀧村氏辞任、稲畑氏就任等の変化も在之、一方ニはウイットン製品を売込高、昨年六月廿四日己来、八十一萬五千封度ニ及ヒ居候間、其實際の斤高はハラムも不知とするも、尚同社の品ニ大影響アリシハ既ニ承知の事と存候間、割戻契約ニ付テ御来示之如く頗る場合悪敷奉存候、乍併一旦成立セシ契約ニ付キ、是非継続ハ必要の事ニ御座候、於此方もアンデルソンを経て徐々ニ攻メ寄せ可申候

大毛トノミニセス、兼松商店対ニ改正の事も大ニ同感ニして、昨年ニも此説ハ出候得共、本物ニ不成仕舞ニ御座候、今後好機を以て此方直接ニも掛合可申候

今朝来電中、一語不明ニて再照仕候分ハ、恐く「目下売込不出来ニ付、右割戻期は六月末の処、九月末迄其條件を延期の事」ニ、ハラムへ御交渉済の意味と存候、而して九月末迄二三五十萬の注文引受けの御計画と奉存候

東京モスリンへハラムより先達廿萬斗約定云々は前田君御来報之処、事実と存候、而して本船にて三井の印付 Type 6 五六十俵積出し候塩梅、棧橋にて見受け候、或は此分が東毛行歟と被考候

山嘉の手を経て東洋宛商談ハ如何相成候哉、其後消息を得ず候得共、多分成立候事と奉存候（前

報参照)

欧州輸出云々は、全く御誤解と存候、実は千俵已上も同人名義の積出在之、不審ニ付取調候処、全く *Cay* 羊毛其俣ナリシヲ慥メタルハ、既報之通りニ御座候、尚更ニ探查可仕候得共、按するニ、前報致し置候欧州ニ於て(五千俵斗と伝聞致候) *Cover* 致し置候分を再売シタル事の意味ナルベク奉存候

Top の供給ニ就て

藤井君よりも前田君よりも、*Hughes* 又は *Whid* の製造力ニ付き、詳密なる算当を以て製品先売填補ニ付、元方ニ於て大ニ苦心致し居候様御来示ニ候得共、兩人共、左程先売を熱望致居候様子無之、今日は寧口既約済ニ対する原料集中ニ齷齪致居候様相見へ申候、*Hughes* ニ於ては原毛転売ニ原因する処大なるべく、又御承知之通り、保護金も壹万磅の制限在之候間、相当利益ニナルへキ勘定ナラサル限り、此際、製造力一杯ニ先売するも保護金不足を生すべく点も在之、*Whid* ニ於ては規模も少形ニ在之、進ンテ危険を犯すの勇氣無之、且ツ生産力一杯ニ売切ルハ器械の故障、ストライキ等の出来事を用心上、寧口危険と看做居候次第ニ御座候  
現ニ過般ブリスバンにて買入候 *Cay* 原毛も、其一部は単ニ *Sod* シテ再売するの目的と申居候、要ハ同人ニシテ *Top* を三井其他へ売約致サレハ、此方ハ満足ナル次第、而して余剩有之次第、貴方へ *offer* 為致可申候

但し今便月報記載之通り、既ニ棒立チ相場と相成、羊毛もメリノニ於ては何分ニも急ニ下落の兆候無之候間、今後著敷收穫増加、欧米金融界の切迫等無之以上ハ、需用ハ益發展可致被考候間、本年九月已後の季節最中ニ於て、多少の中弛ミ在之哉ニ予期致候外、太シキ安直ハ無之哉ニ存候間、ドチラガ勝利と相成候哉、不判然ニ候得共、Hughesニ於ては、今日の直頃を以て来年一月より六月渡位の先約可致希望を有し居候哉ニ觀察致候、或は品物ニ由リテハ、多少の危険を犯シテ唯今の相場より幾分乎、割安ニ注文引受候哉も難計、ハラムを経て底意御偵察も一策歟と奉存候

繰業短縮

大会社の外、栗原氏等の手織家も加盟相成候趣、幸ニ多少共モスリン界ノ人氣挽回を祈望仕候大毛ニ於ける毛糸製造開始の如き、目先きの収益如何ハ、御説之通り疑問ニ候得共、何時歟ハ原毛より取扱フ場合ニ相進ミ可申ニ付、其下稽古として御鍊習相成候事ハ、斯業の一進歩と奉存候サルニても大毛製品変更ニ哉、近来細手優等 Top 需用増加の事、其売行直段も夫だけ正比例ニ直増出来候事ニ哉、今朝來電にてハ新約 3 号 32 ½ fob と在之(Hughes) 聞合候処、33 ½ fob 申居候、何レガ正乎)、或は大毛創業已來の高直原料ナラサル乎と存候、委細ハ店報より御受可申上候



大毛社長

交迭其他内部情報御示教被下、大ニ心得ニ相成申候、従前一敵国なりし稲畑氏就任之上ハ、多少の変化は不免処ニ存候、幸ニ御尽力を以て松尾羽二両氏、偕は影武者の瀧村氏の援引を以て、可成我等の取引ニ影響無之様祈上候

東京金原氏の近況ニ付き、藤井君御来示、頗る興味を覚へ候、丁度何を思出して歟、貴信着両三日前、金原氏より別紙の如き来状在之(御披見之上、前田君へ御廻し可被下候)、不取敢、別紙写之通り返辞致置候、例のズーツー敷筆流ニ付、何れか二首を突込置の下拵へニ、我等ニ迄通信開始候事ニ哉、同人は単ニ稲畑氏ニ喰込居候のみならず、村井系の一派の人ニも知友在之哉ニ伝聞致候間、瀧村氏辞任後の大毛内閣ニ直接運動致候事在之歟、或は同人書面之如く、新規「ロ」業等ニ起業家を勧誘致候乎、平素御注意御交際可然奉存候

同意書

四方君御送付の佐々木恒彦採用の件、別紙署名同封仕候、印形ハ古立君御捺印可被下候  
本件、入江君も同意ニ御座候

広東古鉄

遂ニ物ニナラサリシ由、成行不得止奉存候、いつもあまりボロイお嘸ハ得テ如此ニ御座候、殷鑑不遠、明治製錬の一手特約運動の結果ニアリ、而も商売の事故、初メヨリ引込思案も相成間敷、

大正三(一九一四)年

二六五

所謂当テクダケニ御座候

余は日光丸便より補筆可仕候、草々不尽

北村寅之助

第七五五号信 大正3年6月10日 日光丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店支配人

拝啓、ワルテマー号にては貴信に不接候

NZ Crutchings

大倉組より千住宛六十萬封度、意外割安に注文引受け候趣、御來電驚入申候、千住宛は品質混合  
にして Seedy & Burry 不苦々在之候間、加古川宛に比し安直なるへきハ其処に候得共、而も一片  
の相違ハ少々開き過ぎ候様奉存候、尤も  $\text{C.P.O.}$  が予定直段にして、未だ実地に當ッタニハ無之  
候間、若し千住宛  $1\frac{3}{4}$  片相当にて出来候様ならハ、加古川分も  $1\frac{2}{4}$  片よりハ幾分割安に  
出来可申筈と奉存候間、以書面 Swift & Co. へ交渉致置候、何れ明後十二日のウエリントン開  
市の結果、電報待に御座候

店報にも在之候通り、大倉組同様の御注文可在之予定を以て、買入方用意可致様打電致置候、約  
千五百俵斗に可相成に付（大倉組分も同格ナラン）出品在之次第、買入置カサレハ供給不足の患  
在之候間、夫々手配為致居申候

東毛宛羊毛

跡百俵斗の処、生憎今便二間二合不申、来十三日、筆者プリスバンへ出張之上補買、熊の丸便に

大正三（一九一四）年

二七

て皆送可仕候間、不悪御承引奉願上候、何分ニも棒立一方の相場ニ付、急ニ下落ハ在之間敷候得共、サリ込、此上更ニ騰貴も在之間敷乎と存じ、特ニ買急カサリシ次第ニ御座候

ブリスバン閉市後、丁度熊の丸入港可仕ニ付、同船にて筆者帰南の考へ、幸ニ *Coss* 夫婦も乗船致居候間、御地の様子も承り可申候

本月末、当地の市場ニハ出品僅ニ一萬千俵との予定ニ付、格別上等品ハ無之哉ニ想像致候のみならず、前回既ニクインスランド産毛、大部分供給済ニ付、可成同種の *style* の品の方、適当と存候ニ付、態々出張の決心致候

## L B 豆油

尼ヶ崎工場との関係ニ付、詳細藤井君より御洩シ被下奉多謝候、テレットソン氏又出張の事ハ、当地支配人モーク氏ハ承知致し不居候位ニ御座候、而して筆者懇意の人より探聞ニ由れハ、日本工場の会計不成蹟ニ付、テ氏ハ既ニ其持株の大部を他へ譲渡したる由ニ御座候、金持ニハ不似合の米国流と驚入申候

同工場製出豆油の件、於貴店中味百斤 ¥12.45 ニ御売約被遊候趣、而も其当時の普通豆油直段ニ比シ、頗る上直ナルハ不審ニ御座候、既報 30/- per ton 落云々ト申上候ハ、神戸より申来リタルニハアラス、当地より返答シタル処ナリシ由ニ御座候、即普通品ニ比シ 30/- 落ちテハ同品引受ケても不苦と申居候、但し同品ヲ使用する時ハ、石鹼帯黒色ニ相成候為メ、普通の豆油

## 肥料

と同分量ニ使用スルハ能ハス、普通のサンライト石鹼の色ヲ保ツ為メ、他原料ヲ余分ニ使用スルノ必要アリト申居候、兎ニ角 30\ 安ナラハ買入テモ不苦候様申居候間、其含ヲ以テ御電信被下候ハ、夫々交渉可仕候

同工場宛混脂、近来 80\ 0\ より多大の噸数輸出仕居候ニ付てハ、此方へ注文致呉不申哉ニ付、当地支配人へ交渉致候処、テレットソン氏へ直接通信可然と申居候間、店報ニ同封之通り（写）、本国と又御地トーマス氏へも照会仕置候、自然御話の出る事と存候間、可然御尽力被成下度候、テ氏へハ信用状付ナラハ、1%口仙にて取扱ヒ可申候様通知仕候、夫以上ハ迎も出ス間敷との情報ニ付、此方より切出シタル次第御座候

御地の相場下押、且ツ売行緩慢の趣、遺憾之至ニ御座候、夫ニ引替へ乾血の外ハ産地格別の下落無之、遂ニ輸出中止の不得止場合と相成申候、就ては店報ニモ記載之通り、乾血と混合相成候ハ、色合及窒素の多きもの割安ニ出来、サンダウン又はコックビルの 56\ 10\ 0\ 乃至 57 杯申居候品ニ比シ、御売易クハ無之哉、御考案被下度候

御来報中、支那骨粉安直の事在之、我等の強敵ニ御座候得共、昨年（S）主人の話にてハ其原料は新屠殺のものニ無之、多くハ地中より掘出し云々と承り候、果して然らハ無尽蔵ニハ在之間敷、将来原料欠乏の時来ル憂ハ無之哉？、乍序御伺申上候

ホースウイク乾血、其後三十余噸 28/10/1 にて内地へ売却の由申居候、事実ラシク候、此処相場不定と可申歟

貴方新聞紙ニ由れハ、神戸横浜在蔵の硫安ハ莫大の斤量ニ在之、急ニ相場騰貴の見込ハ在之間敷、從テ濠州品の如きハ、今後ハダメと奉存候

## 雜貨

類の産地高二比シ、貴方売直の意想外安直ナルニハ今更の如く驚入候、夫ニしてモットン大澤小林杯ハ、如何ニシテ引合ニ相成候事ニ哉、大不審也、彼等が買送り候以上ハ、此方も引合ニ相成ヘキ筈ナルモ、貴電の如き直段ニテハ、テンデお話ニ相成不申、旁セリ市ニテハ一切買入中止の事ニ致し、幸ニ本年ハクインスラントにて大口買入候ニ付（NQハ落第ナレ共）、夫等の品精々上直ニ御売捌被下度候、今便プリスバンより取合せ、四五十噸輸送可仕候

ポーエン工場の品も、既ニ三十噸斗出来居候由ナレ共、直航船無之ニ付、待合中ニ御座候、都合ニ由れハ、当地へ持越積替の外在之間敷と存居候

高瀬貝も本船ニハ他店行百噸前後、輸送相成候趣ニ付、手持の少数品ハ次回迄積入見合申候

但し過日の貴信、Holt's 原価安の品たけ安相場の俣売却云々と在之、時の相場ニ付致方モ無之候得共、元直が安キニ付、安直ニ売捌キ相成候ては、安直ニ買入レタ骨折ハ無意味と相成不申哉、萬木輩の口車ニ便乗セス、ウント腹ヲ入レテ御取引被下度希望致候

坂部商会より浅の孝之助氏来濠中の礼状、丁寧ニ送り来り候間、宜敷御伝礼置被下度候

商号変更

四方君御来示中、正金神戸支配人安部君の御話として、兼松  $\infty$  付記の事、御尤もニ御座候、而も四方君御記憶ニ新タナルヘク、昨年筆者同道、山川氏訪問の節、名義変更ハ英人の習慣として非常ニ注意ヲ惹起し、却て不利ナルヘキニ付、F. Kanematsu 継称、Ltd も加フルノ不可ナルヲ忠告サレタル次第也、併山川氏が云々と表向きニ相成候ては、同氏は反対相成可申候得共、其内意も在之、且ツ前便ニも得貴意候通り、此方ニ於ても可成変更致度無之愚按ニ御座候間、安部君へ Private ニて御会話之節、右事情御弁疏之上、従前の通り黙諾の事ニ御倚頼被下度候、当地ニても訴訟事件無之限りハ、何等故障無之次第ニ御座候

且ツハ正金本店ニ於て御承諾被下候以上ハ、何等差支無之筈に候得共、龍動支店よりハ毎度杓子状木の注文在之、迷惑ニ感シ居候位ニ付、可成ハ信用程度ヲ拡張して、アマリコセ々々干渉ナキヲ祈望致候

人操

林生来任ニ付、当店輸出部は面揃ひと相成候得共、輸入部は国包生の女房役、中々多用ニして殆ント外出得意廻りの時間無之候ニ付、兼て御倚頼申上候一員、御派出被下度奉希望候、四方君も大西生も又筆者、中学卒業程度の青年より仕込致度同感ニ御座候得共、唯今ハ直ぐ二間ニ合ふ人物入用ニ御座候間、矢張、商業学校出の人適当と奉存候、実は輸入部の費用も追々相嵩ミ居候間、

無暗ニ人員増加は不勘定ニ御座候得共、去り迎、店員養成ハ商業上要訣ニ付、何卒役ニ立チソウナ人物御派遣被下度奉希望候

而して来年大西生帰朝の砌ニでも、中学生相当の青年一名、本人自身ニ引受けの決心を以て撰定之上、同行帰濠の事ニ致候ハ、好都合と奉存候〔後略〕

### 棉糸相場

印度棉の火事騒ぎニて余程の斤数焼失ニ付、内地の原料ニ影響無之哉と潜ニ案事居候処、米棉ハ少々騰貴の方ナルモ、印度棉ハ却て下落、殊ニ紡績糸の下落ハ少々意外ニ御座候、寔ニ商売は理屈已外ニ御座候、新聞紙ニ由れハ、今日の原料より起算すれハ廿手モノ百十円以内ニても損失ニハ無之由、幸ニタオル先売尽力中ニ御座候

### 雑俎

近着新聞紙披見中、三月廿七日「萬朝報」ニ、陛下即位式の事ニ論及し、「大札ハ其大切ナルニ拘ラス、畢竟スルニ宮廷ノ事ニシテ深く国家ト相渉ラス」云々の文字在之候、数年前なりしならんニハ不敬の声立ち申なるへきも、世は益共和的風潮ニ傾き居候事、我国の如き皇室崇拜の人民ニして、尚如此ハ可驚変遷と奉存候

其後、皇太后陛下の御崩御ニ付、遂ニ大礼延期、世は再び諒闇と相成、一般の人氣は沈衰可致哉と掛念罷在候、前記新聞屋の論説式ならんニハ、格別の影響ハ無之候筈ニ候得共、事実は未だ左



程迄ニ輕薄ニ陥り居不申候哉と存候、実況果して如何？

当方杯は有名の社会主義の共和的政府ニ付、本日三日英皇ヂョージ五世四十九の誕辰も其日を空過し、本月八日の月曜日を以て大祭休日と致し、土曜半日より三日続きの休暇ニ相成候、即敬意は付たりにてドンタクが主意ニ候、我等より見れハ、批評の外ニ御座候

近来、諸種の合同成立致候事、流行の如く、P & Oとブリチミア印度汽船会社の合併を報し候、其後兩三日にして郵船、大坂商船、東洋汽船会社合併云々の竜電在之、又東京電報ハ其然ラサルヲ報し居候得共、NYK杯も近時政友会の議員屋より重役の椅子をネライ居候哉の評判も在之候間、或ハ右三会社等保護金の関係より合同の風説漏洩シタルニハ無之哉と存候

松尾元の造船惣監三年懲役四十幾萬円の追徴、栗崎海軍大佐一年半懲役一萬五千円追徴、藤井機関少将の無罪放免之由、新聞電信在之候得共、三井の三重役其他の所分ハ如何相成候事ニ哉、苦々敷次第二奉存候

右

北村生

大正三（一九一四）年

二七三

第七五六号信 大正3年7月1日 独乙ワルデマー号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓、四方君御認五月廿日エンハイア便及書類、古立君 COS 号及書類到達、拝見仕候

筆者プリスバン羊毛市場へ出張致候得共、市況更ニ暴騰の為メ、遂ニ東毛宛一俵も買入不申、傍觀致候、而シテ去月廿日早朝（シケの為メ延着）、熊の丸ピンケンバー到着、COS 夫妻ニ出会、同夕同船ニ乗込ミ廿二日朝の筈の処、又シケニて午後一時棧橋へ無事着、帰任致候

COS 夫妻

夫婦出張中は御多用中、種々御周旋被成下、本人等特ニ感銘罷在候、厚く御礼申居候、幸ニ多少の見聞が将来の参考ニ資シ候ハ、自他の幸福ニ御座候

住吉の未亡人

「病氣見舞いについて翻刻省略」

利息勘定

会社創立第一回の決算表、難有拝見仕候、右付録の輸出入商品ニ対する利息勘定之件、四方君御来示之通り、如何ニも明敏ニシテ頭腦緻密ナル人ニアラサレハ、中々面倒の事と存候、而も頗る重要な勘定ニ御座候間、須く錯誤の生し不申様、十二分の御注意願上候、然ラサレハ折角の計算

## 決算表

無意味と相成候ノミナラス、或は坪算と相成候哉も難計候、要するニ御送付被下候表面にては一  
寸会得致兼候得共、御主意は元帳ニ利息勘定部を拵へ、實際ニ銀行者へ利息トシテ支払セサル迄  
も、各品の出入と受渡取引間の時日ニ対し、仮ニ二錢一厘の平均日歩を追加、又は割引して、品  
物付帯の利息の損益を計算相成候義と奉存候

明細書類拜見仕候、大体ニ於て世間の不況ニ不抱、又有価証券相場場の莫大の下落、儲は約一萬円  
の肥料部の損勘定を扣除して、尚拾萬二千六百余円の純益と相成候段、商店の為メ大賀之至ニ奉  
存候、故店長御存命ニ候共、定て御満足可被下の好成績と奉存候

但し四国の肥料貸倒之件は、先達四方君よりも前以御通知被下候通り、所得税の關係及当分回収  
之見込無之已上ハ、一時切捨御所分ハ当然の事と賛成仕候

疏安の損失約壹萬円ハ少々驚入候、素より商業上、相場の変化ハ予メ難期、成行致方も無之候得  
共、本品の見込輸入ニ就ては、昨年、筆者在神中ニも一再御話仕候様記臆致候、肥料取扱上、先  
売約定出来候ハ、毎噸一円乃至三円の薄利ニても可然ニ候得共、如此1%ニも満たさる少利の  
為メニ見込輸入は甚不得策ニして、況ンヤ正金信用状発行ニ付、四方君毎度御迷惑ナリシモ伝承  
致居候、而も何百噸の手持ニ相成候事ニ哉、又何故ニ夫迄損害を蒙るへき以前ニ見切売逃の手段  
ナカリシニ哉、今更愚痴ケ間敷候得共、其順序を承知不致候だけニ頗る残念ニ存候、是れニ因リ  
テ跡々手出し無之哉ニ存候得共、此損害回復杯の目的の為メニ、再ヒ本品の思惑輸入無之様奉希

望候

因記、硫安如此暴落ハ、全く相場屋連の見込輸入品の荷問ニより投売を生し、本国よりも日本の方安直と相成候故と存候、貴店ニして既ニ如前記損失アリトスレハ、鈴鹿氏の如きも取引高の大ナルタケ、夫タケ本品ニ對る御損害も些少ナラスと存候、実況如何ニ哉、御承知ナラハ御洩シ被下度候

株券の下落は、成行不得止次第とアキラメ申候

利益処分ニ付、原案及馨氏の訂正希望案、拝見致候、而して馨君訂正案の理由を發見するニ苦ミ申候、平常我等の御忠告致候ニも不抱、商店營業上の事務ニハ甚以不熱心、寧口怠り勝ニシテ何等の経験アリテ左様の希望を有せられ候哉、合点不参候、筆者は勿論、入江君も無論原案ニ同意仕候、筆者の愚按を以て見るニ、右賛成ニは如左理由在之候

第一、建築物損傷償却必要之事

第二、不動産減存ハ諸会社同習ナル事

第三、仮二十五萬円の固定資本として、年七朱の利率を以て算すれハ壹萬五百円の店賃を計上せざるへからず、而して其内僅ニ前半ニ於て千五百余円、後半ニ於て二千七百余円の収入あるのみ、果して然らハ、六千弍百九十円ハ本店経費を以て支弁せざる可らず、而も左様の高率の家賃ニ堪へざる候事

第四、第三理由の結果、年々利益の多寡ニ応じ減価を實行し、八萬円位までハ償却せざる  
へからす

第五、積立金としてハ、現ニ貳萬千円と奨励積立金壹萬円在之候間、其以上ニ今日の場合  
準備積立の必要なく、夫よりも男ラシク不動産減価を表示する方、世間の信用を博し  
可得と存候

右の通り原案賛成の事、過日一電仕置候間、夫々御披露被成下候哉と奉存候

重役増給案之件、是も御来示御尤もニ御座候、我等自身も均霑致居候事故、一寸申兼候得共、実  
は数年居座の俛ニ相成居候間、月給廿五円増は至当の義と奉存候、而して馨君は兼松家の名義人  
として特別取扱の事、昨年、井上静雄氏より筆者ニ御倚頼在之、諸君へ御相談之上、特ニ旧店長  
の収額月給貳百円と決定致候義ニ付、今回更ニ昇給の必要在之間敷存候、又御本人も左様の事ハ  
予期致居られ不申筈と相信じ申候

賞与金分配案、拝見仕候、古立前田両君と筆者へ御委任可被下の由承知仕候、如何にも御分配方  
平等ニ存候間、原案同意仕候、但し鈴木老人の二百五十円は氣の毒と存候、広戸中井松平等の分  
より百円乃至百五十円ヲ減し、老人の分セメテ三百五十円乃至四百円ニ増加相成度、小生希望ニ  
御座候、実力主義にてハ原案可然候得共、多年の勤続ニ対する礼儀は表現せざるへからすと相信

申候、乍併此状貴着前、既ニ御実行（原案賛成の電報御入手後）濟ニ候ハ、致方も無御座候ト奉存候

四方君より御回付被下候四月三十日貴店重役会議の決議ニ同意の認定書、別紙署名同封仕候又三月晦日ニ於て筆者の私借勘定尻六千四百六十九円余の分御来示、署名返上仕候、何卒、誤算無之様、小橋女史へ御注意置可被下候

## 対加古川口仙

這次御来示の半%ニても承諾云々の御意見ニハ、絶対同意仕兼候ニ付、不取敢以電報、昨年之通り若シ1%以下ナラハ、当店ハ断然取扱謝絶の覚悟ニ候間、其御心得を以て御交渉被下度申進置候間、御承知と奉存候、原来1%が既ニ割安なる事ニて、曾アハ~~ハ~~以下の切下ケ候事も不賛成ナリシ前田君古立君等の強固派の俄ニ意外の軟化ハ不審ニ御座候、実地当局者の身ニも引替へて御推考被下度候、注文ハ欲しきニ相違無之候得共、百萬円の品ニ五千円位の口仙ならハ真平御免ニ御座候、元々左様の事故候ては、三井大倉ニ対しても赤面之至ニハ無之候哉、如何ニ付属の割引杯在之候ニシテカラガ、左様ニ弱腰となる必要は何れより生し候哉、実以合点不参候塚脇生のマチンの的は、筆者の充分容化したる処、故ニ姫路工場の増設等の注文引請の希望上1%迄引下げの事ハ是非なしと覚悟致し居ナカラ、尚ホ本店の意向ヲ口術として即決せさりし也、旁1%以下の掛合在之候共、決して御取遇ヒ御無用、委細ハシドニ支店任せと御答置被下度候、同人愈渡濠之上ハ、又別ニ臨機交渉可仕候「後略」

原来、昨年の如く未曾有ニ利率高直なるニ係らず、物価も高し株式も高しと申事ハ、理論上非常の変体ニして、近来、株式及物価の下落ハ自然の趨勢と存候、然るニ悪敷時ニハ又再諒闇と相成、一般人氣の阻喪は重畳と相成候塩梅ニ付、本年中は内地の取引、惣て警戒を要し候事と奉存候既ニ加古川の増資又は払込難の事、大朝ニも掲載在之、例の東毛流ニ延手形の乱発を以て運転資本ニ供し候様ニては、自然貸高も相嵩ミ、正金銀行の思惑ニ関触致候場合と相成候哉も難計、予て御考案置可被下候

余は熊の丸便より補筆可仕候、草々

北村生

第七五七号信 大正3年7月7日 熊野丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓、コブレンツもセントアルバンス号も未着ニ付、貴信ニ接せず候

陸軍交迭

千住製絨所々長濱名氏は、兼て本年季節中ニ濠州漫遊の御話も在之由、コス杯も申居候処、突然大交迭、此所長も被服本廠長も転任相成候様、新聞紙にて披見仕候、岡林事ム官、橋本主計正の在務中ハ羊毛調弁等ニハ別段変化も在之間敷奉存候得共、幸ニ我等ニ不利ナラサル様祈上候

千住より出張の高橋君も年期満限にて、多分来月の丹後丸にて帰朝被致候哉と承知仕候

第三師団の矢野氏も閣下ニ昇級セラレ、第四師団へ転任被致候由、近日大坂へ御移任と奉存候、別紙祝賀状同封仕候間、最近の宿所へ御転郵被下度願上候

毛織業合同

モスリン業の大不況より牽テ他の毛織業者ニも波及し、多年好配当を継続せし加古川杯も本年上半季の成績如何、加之、姫路新工場開業後の計算も稍案事ラレタものニ在之、果して本年下半季



二も結果不良なる暁二は、利を見るニ敏なる川西氏の事故、一時は合同不賛成を標榜し、自家の株式釣上げ策ニ汲々たりしを緩慢し、各社合同の相談進行可致哉も難計と存候、而して若し此事解決致候ハ、次は千住製絨所払下けの運動が具体的ニ発頭可致哉と被考候、其際、三井大倉杯の勢力圏内ニ包轄セラレサル様的手段ニ就て、予メ御研窮置被下度奉希望候

三井物産重役連の「新聞記事の引用について翻刻省略」

小麦

先般、ニユカレトニアへ移民労働者を運搬セシ御地鈴木商店の漁船靖国丸ハ、過日来当地へ回航、目下小麦六千噸積入中ニ御座候、此取引はロンドンにて成立し、当地のドレーファス商会（仏人ニテ二三年前開業セシ麦商）取扱の由ニ御座候、果シテ何程の直段ニ哉、一寸探知致兼候得共、此方相場は引続き $3/10$ より $3/10\frac{1}{2}$ 枅ニ御座候間、靖国丸の戻り運賃ハ七八志迄の勘定ニテ起算相成候事歟と被考候

ロンドン表も茲二三週間来、米国下落、露国及黒海方面輸出の増加等にて一寸下押、一時 $32/6$ ……迄の処、 $35/6$ ニ相成候、而も此方よりの運賃ハ $20/$ 前後ニ候間、当地 $3/9\frac{1}{2}$   $10b$ の直打はある事ニ御座候

前周末の降雨ハ、産麦地方一般ニ普及致候間、新麦の作柄も先以て順境ニ御座候

一九一三、四年度新小麦一袋も取引成立セザリシハ、詢ニ遺憾の次第ニ御座候、何分近くカリホルニアの頸顔在之、殊ニ運賃のハンデカップニテ毎度障害を蒙り候事、今後ニ於ても同様ナルヘク、加フルニ近来の如く増田屋三井鈴木等、自船又ハチャーター船を利用サレ候ては、我等ハ甚窮地ニ立到可申、是亦残念之至ニ奉存候

Top 振替其他詳密御報被下候義ニ就ては、入江守田兩人より委曲御返事可申上候

輸出保護金継続の事ニ関し、過日来、当地ニ開会中の内国税制調査会ニ Hughes 先生出席、種々妙ナ説明を致居候、新聞切抜きの一部別送致候、御笑覧置可被下候、あまり serious ニ御考下候テハ、少々迷惑の処も在之候、兎ニ角、同人の請求は「壺封度ニ付、 $\sim$ 8片ニテ一ケ年は迄壺萬£の処ヲ式萬£迄制限ヲ拡張シ、而シテ夫ヲ無期限ニ付与セヨ」と申す虫の好き出願ニ付、果シテ継続許可可相成哉否、未定ニ御座候

## 羊毛報告

年度末ニ付、詳報可致考案の処、統計表其他材料纏り不申ニ付、今便ニハ前月の市況ノミ報告致置候、不悪御承引奉願上候

但し米国の買煽りが何時迄継続可致哉、頗ル疑問ニして、此買進ミアル中ハ下落の見込無之候、而も米国筋突飛の挙動ハ、俄ニ買入中止スル哉も難計、如此場合ニハ一般ニ下落待の人氣ニ付、

得タリ賢シト Dump 可致、果シテ其結果如何、頗る寒心スヘキニ御座候、尤も各方面の情報ニ由レハ、一八九九年の如き全然投機的買煽リニハアラス、原料払底の処へ製品の売行も順調ニ在之塩梅ニ付、下押アルモ著敷變化ハナキ筈トノ事ニ御座候

要之、今日已後、新毛出盛りと相成、十一月前後ニ於て多少弱含ミと相成、或はクリスマス休会前一時下押可在之歟、明年一月ニ入りテハ、又再上向キの歩調回復可致哉ニ被考候

千住注文品ニ付、大倉組の活動振ニ比シ此方頗る緩慢、定メテ齒カユキ事と東京支店のズレ加減、遙ニ洞見致候、而も此方ハ正直ニ元方の予想直段を其俣転電申上候事故、大倉組の先駆ケ奔馳の事情不明ニ御座候、筆者の考ニテハ Switch とても当店へ申出テ以下ニ大倉組へ通喋シタリトハ相信し不申候、Switch よりの一定の申出直段を見越シテ昨年例ヲ引用し、品物の格落ハ不苦ニ付、是非安直ニ手配せよとの大倉組の命令ナル哉ニ推察致候、而して Switch ニ於テ出来ルだけ尽力する事ニ相成候義と存候

恨くは、大倉組の注文が此方の電注よりも以前ニ先着致居候義ニ付、「安直のものハ惣て此方へ占領」云々の貴電を、其俣先方へハ通喋致兼候次第ニ御座候、其上ニ加古川注文初メ廿萬斤のもの十萬斤の減少の事、其後復活の処、又昨日ニ至り取消相成候、事情不明ナルモ、或ハ大倉組より(玉木君大坂在住の關係上)六十萬以下ニ申込ミ候影響ニハアラス哉とも被考候、加之、Switch 情報中、同店ニテ先住宛注文 11<sup>3/4</sup> 見当の分の外、成行直段の注文も若干アリと申来居候間、

其分が王子行か、又は加古川歟とも被考候、旁此方の注文高よりも大倉の惣数が多額ナル哉も難計、ソレ歟アラヌ歟、前月市場の買高、此方の四百〇九俵（三口合計）ニ対し、大倉行四百六十九俵と相成居候、依之、何故ニ大倉組ニ対し、此方よりも六十俵多分ニ割当テタル歟ニ付、嚴重掛合中ニ御座候

Swift 弁解ニ由レハ、今ハ割高ナルモ、出盛リニナレハ、 $1\frac{3}{4}$  見当ニても買入出来可申哉の考と申来り居候得共、他の羊毛の形況より見テ、半片已上、四分の三片方も下落スヘキ様ニハ難考、旁  $1\frac{3}{4}$  ニテ不出来の場合ニハ  $1\frac{1}{4}$  相当トナルモ、惣数供給確約上、時機ヲ逸セサル様手配可致様、押テ Swift へ委任致居候事也

而して昨日 Napier 市場の景況、多少弱含ミナルモ前況同事と申来り、且ツ買入高僅二百五十俵トハ大ニ失望致候、大倉組ニ対し何程買入候哉は、次の便船到着の上ナラテハ不明ニ御座候、兎ニ角、左様ニユツクリ落付き居候て千五百俵の注文買理大丈夫ナル哉ニ付、再三照会中ニ御座候立入リテ考察スレハ、大倉組ハ二歩口仙丸払ニ対し、此方ハ一步割戻し居候間、大倉分を先ニ、此方の後ニ廻す哉の疑点ナシトセス候得共、デニー氏の確答ニ由ルモ（先日來濠会談の口振）、又昨年分の Claim 一対し式百金をキレイニ弁金致候体度ニ比シテも、左程ケチナ考ニテ取引致居候様ニハ難信候、旁本月中ニ全部補充不出来ニても、十月迄ニハ結局格別損勘定ニナラヌ様、

供給濟出来候様只管祈居候

却説、加古川注文分（東京毛織宛も同様）ニ対する直開き御不審之義、御尤もニ御座候得共、今送十七点の小見本ニして果して熊の丸積全部を代表するものとすれハ、品物ハ慥ニ優等と存候、若し委託式とすれハ、歩留の高きハ運賃を節減スル点ニ於て著敷利方ニ相成候得共、加古川迄持込の勘定ナレハ、先方ニハ痛痒ナキ事と可相成、一寸縁の下の力持の如くニ候得共、結局大倉より供給シタリトスレハ、品物及歩留ニ於て夫たけの等差ハ可在之筈ニ御座候、而して御取消後、百七十五俵の買入ハ例の塚脇先生、彼是申立候哉も難計候得共、店報記載之通り、時間の間ニ合ハサリシ故ニテ、不得止次第ニ御座候、但し電信ハ仮ニ午後二時ニナピアニ到着したりとするも、宿屋ニ返らす、倉庫より直ニ競市場へ出席する事往々在之候間、電信を見るの機会なき事、自然の数ニ御座候、併萬一、加古川ニ於て彼是申立候様ナラハ、右の百七十五俵ハ外方へ御転売被下度候、本年ハ屹度此種の品の買入不出来の時機ニ到テ、希望者ヲ生スル事受合と奉存候、見込貯蔵ハ商店の憲法ニハ無之候得共、成行不得止場合ニ付、臨機御進退被下度候〔後略〕

肥料ニ就て

前便ニも乾血と骨肉粉混合の事、上伸仕候通り、窒素多量之品、御直売出来可申ナラハ好手段と存候得共、関西ニ於ては夫も実行不可能ニ哉、J.C.レッドバンク特別承諾為致候二百噸も（£5）全部へS.V.氏御引受被下候趣、聊失望致候、併日本全体の不景氣トアラハ萬不得止次第と奉

存候

其後乾血の安物ハ売人無之候得共、QMハイイグルもロスリバーも依然貯蔵致居候間、不遠買人ヲアサリ可申哉と期待罷在候、其節ハ充分叩キ付ケ度存居候

硫安の下落ハ、多く日本内地の貯蔵夥敷、加フルニ投機者流の思惑の失敗ニ原因候様存居候処、英国ニ於テモ一般ニ大ニ下落致候、目下 *tin/silver/copper* ナラハ、何程ニテモ供給可在之塩梅、果して然ラハ、日本の在荷ハ到底相場回復の時機無覚束（永く持耐へ得レハ兎ニ角）義と存候、貴店の大損害の御報告分ハ、既ニ売払後の勘定ナル哉、又未だ多額の御貯蔵在之候事ニ哉、実況承り度候

近来、コプラの天下落は其副産品椰子粕の直段も従ひて下落可致、自然、欧米肥料宛ニも間接影響可在之筈と奉存候、如何ニ哉？

棉糸下落

近着五月末の新聞上、鐘紡甘手ニて現物百廿円以内、十六手ニ到ては実二百〇七円迄ニ暴落の由、数年来稀有の事と驚入候、本年初メ已来、印度棉の下落ハ輸入を増加し、一方モスリン其他の非況、一般の人氣阻喪ニ加フルニ、銀価の下落ハ清国への輸出を疎隔したるニ原因する事と存候得

共、多年独占的暴利をセシメ居たる反動と存候

其後、貴店の電報ニ由れば、棉糸引続き暴騰と在之候得共、何辺の底直よりの暴騰ニ哉、暫く詳報を得るニ非らされハ不明ニ候得共、按ずるニ暴落の反動として一時のハネ返しハ可在之候も、銀価の廿六片前後ニ彷徨せる間は清国への輸出ハ漫々躊躇可致、内地の人氣挽回不致限りハ、モスリンの不況と同様、一時操業短縮等の人為の救済も、俄ニ夫程の効能無之哉ニ被考候、要ハ是迄アマリ暴利を貪り居たるを反省スヘキニ御座候

タオルの原料御仕込の砌、御如才ハ無御座候得共、直ニ此辺の消息ニ充分御研窮被下度、切望之至ニ御座候

松材

LBよりの相談ニ由り照電致候処、10/8との御返電ハ一驚致候、三月中旬、東支状并垣生予算ニヨレハ8/6乃至9/6ニ候、何故ニ俄ニ13%乃至25%も暴騰致候事ニ哉、不審ニ不堪候、依之、10/8と御申越の品ニ対し9/1のofferハ不当の如クニ候得共、黙過する訳ニも不参候間、電料犠牲トシテ返電候処、遂ニダメニ終り、ナキ寝入ニ御座候、実は毎月約三百五十噸斗ニ相成候間、貴地よりとすれハ、NYKニ於ても特別安運賃承諾可致哉との想像も画餅ニ属し、遺憾之至ニ御座候、挽キ板ニハ御再電モ、貴方の丸太の10/8ニ比シテハ、如何ニモ割安ニ候得共、此方の6/1より起算すれハ一寸も安く無之、況ンヤ挽材ハ輸入税在之候間、勿論落第ニ御座候

大正三(一九一四)年

二六七

人操  
の件ニ付、貴信 338 号より御来示の件、筆者ニ於テ唯今の処、別段異議無御座候

Talbot 氏

夫妻、先日出遊の節、御種々御斡旋被成下候趣、御多用中御迷惑之程、御察申上候、厚く御礼申上候、蓋し徳不孤ニ候間、何時歟、又た効能の出現する時可在之候

軍馬

前回の本船輸送十五頭、横浜迄ハ何の故障もなく無事到着致候処、陸揚後の取扱不行届きの為メ負傷馬二三頭を出し候由、遺憾の事ニ御座候、殊ニ水夫の怪我人を拵候事、氣の毒之至ニ御座候、前田君御来示之通り、多分の事ハ出来間敷候得共、商店よりも少々の慰安金御供与被下度希望候、一等運転士岩本氏も、前田君より種々配慮を受けたりと満足の様子ニ伝承致候

両三年来、引続き輸入相成居候事故、陸軍省当局者ニ於ても荒馬の取扱ニ多少鍊習可在之筈ナルニ、役ニモ立タヌ士官等の鋏戟鏘々、馬の驚のも知らずニ赤イ記章の軍服ニて棧橋ニ並列シタリ、又は瀛車の上ケ下シニモ、人足共の手荒き引張り廻シテ如此損害アリタリトスレハ、全く先方の手落と奉存候、折角良馬を周旋致候ても、コンナ事ニテハ甚残念之至ニ御座候

併大浦大尉よりは格別の事ナク、無事収容済との書面在之候間、先ハ安心仕候、其書面及此方の返事写ハ東京支店へ同封仕候間、御一読置可被下候

牧用の犬三頭は軍馬補充部へ進呈相成候て、同部長吉田平太郎少将より礼状参り候、是も東支へ



直郵致置候

右

北村寅之助

大正三（一九一四）年

二六九

第七五八号信 大正3年7月10日 エンパイア号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

「大正参年八月拾参日」のスタンプあり、受領日か」

拝啓、コブレンツ号はマニラ近傍と濠州沿海にて両度のシケニ出遇ヒ一日延着、昨午後、漸く貴  
信 360 号入手拝見仕候

前回の熊の丸書留郵便、延着不都合之段奉謝候、今後一層注意為致可申候

燐鉱

之件は、其後、彼是元会社ニてもゴタ々々致居候様子にて、今ニ見本も分析も手ニ入不申、其内  
輸出の見込相立候ハ、再報可仕候

今便東京支店状中、前田君より種々御来示在之候得共、既ニ業々御承知之通り、増田屋三井物産  
等ニ先鞭ヲ付ケラレ居候上ニ、雇船の便宜も難問題ニ在之、当支店輸入部の手腕にてハ到底鞅掌  
六ツケ敷、仮ニ我々協力致候ても、元来が薄利の品ニ付、到底夫だけの効能無之哉と存候、況ン  
ヤ羊毛季節中ハ輸出部員一同大多用ニ付、中々手廻り不申候間、其趣意ハ御尤もニ御座候得共、  
不悪御アキラメ被下度候、多分実行ハ無之哉とも存候得共、内地製肥の保護上、先日来、税制調

査会へ輸入品ニ課税出願も在之候

数年前迄ハ独逸よりも荷船を応用して、此方へ毎月相当の輸入アリシ事ニ候得共、内地製及日本品等の競争ニて遂ニ断絶致候

要之、輸入品ニ於て何歟先鞭ヲ付ケル事ニ最も苦心致居候、日本内地不況ニして、此方よりの輸出品ニも貸先信用ニ制限励行と相成候場合ニハ、是非日本の品ヲ売捌く事、肝要ニ候得共、借思ひ余りあるも実行六ツケ敷次第、不尠ヤキ々々致居候得共、未た好案なし

## 正金の制限

山川重役の意見として、本店及東京支店御取引の各得意先ニ対する貸高制限縮小の件、御来示敬承、今更ナカラ歎息之至ニ御座候、特大毛の三十萬円ハ少々意外ニ御座候

乍然、翻テ熟考すれハ内地一般金融上及營業状態ト物品消化の景況を較察して、銀行者自衛上、如御来示、極度の緊縮は我等の營業上ニハ大打撃ニ相違無之も、而も萬一の場合ニハ、我等薄資の商店ニ於ては元も子もナクナル惨害ヲ蒙ルカ如キ非常の出来事ナシトセス、斯く觀シ来レハ、儲ケタキハ山々申迄も無之候得共、損ヲスルニモ経費の喰込ニ留メ候事の大確實ナルニ如カスと存候、殊ニ今日の場合、古立君四方君態々横浜迄御苦勞被下候共、三萬や五萬の事ナラ兎も角、三十萬五十萬との拡張ハ、逆も山川氏ニ於て甘諾可相成ニハ難考候

殊ニ故店長在生中ニ異り、店員協力一致、幸ニ世間の同情ハ減縮不致候得共、得意先ニ破綻ヲ生

シタル如き場合ニハ、救済補助の相談相手が在之間敷、一層苦神の処、而シテ萬一の危険ヲ侵スヨリモ、寧ろ正金銀行の教示ヲ服膺し、他日世間の景況挽回セシ場合ニ於て、再び信用の拡張を請求スル方、正金重役の感情も宜敷、商店資金の安全を維持する所以ニハ在之間敷乎

唯困難ナルハ、一旦手を引き自家の仕事を他ニ嫁して後、好機を俟て再び此方へ引戻すと申事ハ、オイソレと容易の業ニアラサルヘキ点ニ御座候、寔ニ以て痛シ痒シナレ共、此処小を押へテ大ヲ保全スルノ策ニテ、我等の決勝点と奉存候

若手の店員ニ対し、頗る姑息因循の説と存候得共、御熟考を煩し度希望致候

右

北村寅之助

第七五九号信 大正3年7月14日 チャンサー号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓、セントアルバンス号ニは貴信無之候

毛織業合同

先日如此事も在之歟と存し上伸致候処、今日、萬朝報六月四日の紙上、恰も同じ様ナ事記載在之、世間の大勢、此傾向ニ赴き居候塩梅、我等薄資者の如何共スル能ハサル処ニ御座候得共、合同成立の暁、原料調弁の関連を失ハさる様、折角御注意置被下度候、例の金原君抔此間ニ処し、何れ歟の方面ニ嚙り付候哉も難計と存候

オリイン

競争ニ付、再三メルボルンへ交渉致し、漸く £36100 迄直引致候得共、昨今牛羊脂の不況より比較スレハ、更ニ相当直引の余地ある筈ニ御座候得共、御案内之頑迷党ニ候間、其以上ハ不出来と申居候、今回御注文の二等品試送ニ於て、更ニ掛合中ニ御座候

魚油会社との御契約も今迄の咄の続き合、全く不徳義ナハネ付ケも出来申間敷、何卒、巧妙ナル御解決希望致候、何分ニも外国品にて百斤式円の輸入税在之候間、内地製ハ先以て一割已上の保護を蒙り居候間、此競争困難ナル仕合ニ御座候、夫ニしても一再書面ニは記載在之候得共、肝腎

大正三（一九一四）年

二五三

の改良品見本、今以て御送付無之、キツチンニ対する掛合上、武器不足にて困入候

NZ Cruethings

大倉組先駈の事情、御詳報被下承知仕候、支那毛云々千住の御役人の御考へ程、夫程容易ニ割安ニは三井ニても引受け申間敷筈、全く萩原生杯のアワテた結果、トンダ御迷惑御気の毒ニ存候、而して貴電 11 ¾ Basics の件ハ付、Swift へ打電致候処、「Seedy 又ハ Mised の品ナラハ出来ルカモ不知」との返事ニ接し、大倉ニ對抗上、同條件ニテ御引受け可然様發電致候、而も元方引受けたるニも係らず、實際のセリ市開始前ニ付、大沢君来示之如く、大倉の尻馬ニ便乘して博奕を打ツ決心と相成候次第也、而して愈初市を見るニ到り、12 ¼迄奮發せされハ思敷手ニ入兼候由、Swift より交渉致来り候ニ付、無理とハ存候得共、昨年大倉より利割御収容の先例も在之、千住ニ於ても相場以下ニ叩キ付ケテ我等ヲ困憊サセル程、因業ニモ在之間敷、要ハ大倉組と協同ニテ直増シ御請願相成候ハ、多少斤量減少スル共、大概成効可致歟との想像ニテ再電仕候得共、大倉組ニ於テ千住へ直増の交渉シタ様子無之ニ付、最初指直之通、手配可致様御返電ニ接し、聊失望致候得共、元より引受けた已上ハ萬不得止成行ニ付、Swift へハ可成 11 ¾ ニテカ入入度、萬一、ドーシテモ不可能ナラハ、12 ¼ニテモ致方無之、約定高ハ買逃カサヌ様、是非供給スヘク申遣し置候、結局、損勘定ニナラヌを祈居候

其後買集方、頗々遅タトシテ不振ニ付、大ニ心配致居候処、今朝着信ニ由レハ、過日 Napier 市ニハ僅々四百俵（此方ニテハ電信の間違ナルベク、多分四千俵ト推訳致し居たる也）の offer

より無之、旁 *pass* ニテ買集メ約百五十俵 *S* 宛買入候由、其後 *Check* ニテハ三百俵の *offer* ニ  
不過、何れも細過ぎて適當無之、ウイリングトンニ於て千俵の *offer* の内、三百俵此方へ買入  
たる由、正確の処ハ不明ニ候得共、今日迄千住宛合計約五百俵ソコ々々候間、尚千俵不足ニ  
候得共、別紙 *Statement* 返電写之通り、九月中迄ニハ買理行届き可申見込ト在之候間、唯今の処ヤ  
キ々々致候共、無意味ト落付き居候

全く今年ハ雨天続きの為メ、昨年ニ比シ本品の出廻り大ニ減少致居候間、八月九月ニ於テも相当  
の出品可在之見込トノ情報ニ御座候

加古川宛直開きニ就ては、前郵便報より上伸之通、初より此方ハ千住宛ニ比してハ優等品の筈ニ  
注文致し之、而して過日の小見本ニ由ルモ、*scope* の範圍トノ指図ニ候得共、大部分ハ殆ン  
ト *C* 相当ニテ草種も無之、歩留りも高く候間、加古川ニ於て夫たけの値打ハ見テ呉候事と存候、  
而シテ又歩留高ケレハ、運賃の点ニテ貴店ハ多少節約ヲ得タル可ク存候

此分最初より案内高四百式十五俵買入と存居候処、全くハ三百五十俵と訂正致し来、甚不都合ニ  
候得共、別紙電報本紙及訳文之通ニ御座候間、萬一、塚脇生等彼是申出候ハ、御証明被下度候、  
按ずるニ第二回の十萬斤御取消ニ付、或は他へ振替へたる哉も難計、四百俵前後の手前ニて七十  
俵も間違云々ニは、あまり子供ら敷ニ付、嚴重ニ将来ヲ戒飾致置候得共、喧嘩も不出来、結局、  
加古川ハ寧口満足の方と奉存候、貴店ニハ御氣の毒ナレ共、

右第二回注文取消の理由不明ニ候得共、若し大倉の横鎗ニ候ハ、貴着本品ニ就て当店分と双方御比較之上、御一報被下度候、此点ハ Swift へも注意いたし、大倉組の注文ト掛ケ持ニ相成候為メ、此方ハ不勘迷惑致候事も、一再先方へ通喋致し置申候、而シテ今朝着信ニハ、飽迄も当店の注文ニ重ヲ措キ居、決シテ大倉組ヲ先ニスル様の取扱不致旨重テ申越候、且ツ最後の結果ヲ見テ呉レト申居候間、御来示之如く、二歩ト一歩の口仙が夫程大ナル依怙ヒイキを生し居候様ニハ難考候

歩留保証之件ニ付、東支状及貴店の御意見も御尤もニ御座候、而も此方ニテも同様の考在之候間、Swift へハ何も不申、如昨年無暗の Estimate ヲせず、可成大丈夫ニ見積りの事ハ申遣候得共、其為メ大倉組の分ト半片方も相違ヲ生し候様の事ハ萬無之様存候得共、或は此方想像已外の事在之歟ハ判断相付き不申、況ンヤ大倉ニ於て千住へ納入の際ニ歩留ヲ付け増し候歟、又ハ試験の時ニ内密の手段ヲ弄し候様の事在之候ハ、勿論我等の力及ハサル処ニ御座候

又加古川分ニ対し3%口仙ナラハと申上候ハ、Swift へ委任スル考案ニハ無之、右三步の余融在之候ハ、萬一步留不足の成績ヲ見タル場合、右3%ヲ以テ相殺スルノ予想ナリシ事ニ御座候

前条ハ今便の輸入部宛店報ト重複致候得共、種々込入り居候間、此方の策戦ニ付テ特ニ得貴意申候「後略」



千住行保険

何歟御事由在之、羊毛ハ矢張東京ニテ御取扱之由、致方無之候、而も前記クラツチングニ就ては  
当方ニテ申込不苦候由、是も何歟理由ノアル事と奉存候

右

北村寅之助

大正三（一九一四）年

二九七

第七六〇号信 大正3年7月25日 コブレンツ号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓、貴信 361 号丹後丸便到達、辱拝見仕候

信用制限

問題ニ付、引続き御配慮被成奉多謝候、正金銀行へ御呈出之陳情書写、拝見仕候、能く意味相通し候義と奉存候、而して古立君御東上、前田君同列、横浜本店へ御出頭、山川重役へ懇々御面談被下候趣、是亦御苦勞奉謝候、銀行ニ於て重役の決議と相成候已上ハ、オイソレと制限解除と申訳ニハ相成間敷候得共、御尽力の結果ハ、徐々ニ顕れ、相当の手加減を以て緩和可致哉と相信し申候〔後略〕

松材

直段見積之件ニ付、東支前田君御詳報ニ由リ大ニ開発致候、実は材木の積付けニ付テハ、此方ニても毎度苦心の経験在之候事ナルモ、松材の如きは寸尺も小形ニして取扱容易のもの故、NYKニ於て毎月約一定の積高アラハ、特別運賃の御約束も出来可申敷と存たる義ニ候得共、実地ハ反對の理由アリシ由、不得止次第と奉存候、雇船取扱の如きハ寧口手出シセヌ方利益と存候、一口ニ大数の輸入するの不便アル為メ、LBより相談アリシ次第ニ御座候

東支移転

丸ノ内三菱建築の新貸役場開設ニ付、其方へ御転店之御計画之由、何卒便利なる好位置を得ラレ  
ンコト奉希望候

羊毛年報

脱稿致居候得共、目下清書中ニ在之、本日間ニ合不申、来廿九日出港セントアルバンス号より出  
郵可仕候

銀価

近来廿四片台ニ下落致居候間、清国向輸出貿易ニハ打撃を蒙り居候哉ニ存候、就中、棉糸の如き  
ハ再ヒ多少の下落可在之、幸ニタオル原料御取扱上の便宜を得ラレ候様、潜ニ祈望致居候

小麦

ロンドン相場一時小弛ミの来報在之候処、近電にてハ大陸の作柄不充分の見込にて、又少々ハネ  
返し候由、加之、運賃も亦タ 17/6 乃至 18/6 ニ下落の為メ、昨今現物 3/11 1/2 唱へニ御  
座候、来年一月渡新麦 3/8 1/2 にて投機売実行サレタル哉の噂も在之候

御倚頼

「店員の父親病氣と給与前借りについて翻刻省略」

右

北村寅之助

大正三（一九一四）年

二五九

第七六一号信 大正3年8月4日 丹後丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓、前報後、本月一日イイスタン号入港致候得共、貴信ニ不接候

欧州大戦乱

数年来、噂は在之候得共、マサカと存居候、英独の権力争討は遂ニ塞奥の国際破烈ニ卷込マレ、独乙は露国ニ対し宣戦を布告し、英国は独逸ニ対し又宣戦を發表するニ至り候由、本日午後の新聞紙ニ報導され、前周末、一般商工業の人氣消沈の折柄、一層実業家の歎息を聞き候ニ反し、市中八鼎の涌か如く、新聞の号外は取勝ちニ売行候実況ニ候、今後果して何辺ニまで影響を及ホシ可申哉、我等も心神不穩、聊も油断難相成、頗る迷惑を感じ居候、貴方ニ於ても日英同盟の關係上、評判喧然、新聞屋多忙を極メ候事と存候得共、商業ニは未だ夫程の打撃は無之哉と臆測罷在候、如何ニ哉？

羊毛月報

前便年報郵寄仕置候間、御披見被成下候事と存候、然るニ欧州の大事乱は、忽チ非常の震動を与へられ候事、別送月報御參読被成下度候

Hughes より割安 Top 先物売込申込ニ付、Whid の分御聞合ニ対し交渉中、今朝より遂ニ暗音電

信受理不致ノミナラス、宛名差出人共、全名ト町処迄記載の強請と相成、頗る無意味(町処杯ハ)と存候得共、日露葛藤の節よりも國際上の關係密接の為メ、如此予防戒嚴を實行致候事と存候、我等は商取引の減縮スルノミナラス、非常ニ余計の費用を要し候段、迷惑千萬ニ奉存候加之、今日の形勢よりすれハ、新季節セリ市ハ無期延待、少ナクトモ一時中止アルヘキハ不可疑と存候、果シテ然ラハ、我等の予定の収入ニ大減少を来すべく、心不易大ニ苦勞罷在候、而も世間一般の困憊は、人力の如何共難防処と奉存候

今日の場合、羊毛相場は更ニ下落可致は自然趨勢ニ付、是非御入用ニアラサレハ、暫時日和待の体度ニ御見合被遊候事得策と存じ、敢テ鄙見勸告申上候得共、モスリン機業家ニ於て内地の需用先行見込相立チ、原料必要の場合ニは、矢張、御入用の數量は欧州よりハ不可能ナルヘキニ付、勿論濠州より供給するの順序と存候ニ付、夫々手配不可怠候、而もウイツドンニ於ては市場の危機を恐レ、進ンテ先物割安ニ quote 不致、ヒュースは果シテ何程の直引を申出候哉難計候得共、七月中の quote より一片乃至一片半落ニテ、ハラムへ先物注文引受け方打電致候事ナラン歟、而もオイソレと注文の来るヘキニも無之、前々の約定品殘高も大ニ減少致し、当店分ハ既ニ跡僅二十九萬封度斗で仕舞ニ相成候由(十月積迄ニテ)、分行の約定も格別の斤量ハ無之ニ哉、今回の戦争の影響を利用したるなるべく一時職工解減、或は今後仮休業致候哉の噂在之候(一時の機略ナルヘキモ、株主ニ対スル無配当の前提トシテ)、何ニしても兼々種々ナル御苦神を以て、大

毛ニ対スル特別割引約定の九月迄有効延期の事モ、遂ニ或ハ有名無実ニ終リ候哉と潜ニ御同情仕居候、尤も貴意ニ由レハ、此プレフェレンス復活の目的ニテ三五十萬新規割安御約定出来可申、御尽力被下候御用意と存候得共、虚心平氣ニ考案する時ハ、今日ノ戦争ノ大影響ハ仮令六ヶ月カ十ヶ月間ニセヨ、欧州工業界錯乱ノ影響を蒙リ、右割引額よりも、より以上の相場下落可在之哉ニ存候間、御含置被下度候、元より未来ノ事故、保証ハ出来不申候得共、愈英仏露連合して独塊伊ニ対戦致候ハ、實戦の時日は短期ナル哉も難計候得共、平和談判ノ克復迄ニハ相当の時日を要し候義と被考候、如何ニ哉？

## 信用制限

此間頗る憂苦ニ不堪ハ、例ノ信用制限ニ御座候、啻サヘ内地貸先如何ニ由リ不勘干涉を蒙リ居候処、今回ノ出来事ニ付、品物ハ東洋ノ取引ニ候得共、為替ノ支払ハロンドンニテ相殺サレ候義ニ付、英京金融ノ如何ニ由リテハ、一時英国扨ニ故障を生し候哉モ難計、其影響ハ我等ニ対する信用状発行中止等ノ理屈以外ノ危機ニ遭遇不致哉と大ニ心配仕居候

日英兩國ハ同盟ノ間柄ニ在之、又英国艦体ノ独乙艦隊ニ敗走スルガ如キハ夢想モ不及、加之、正金ニ無之共、紙幣ニテ双方満足ニ取引執行致し可得キ信用ノ程度ニ在之候間、萬々日東南濠間ノ取引上、障害ノ波及可在之とハ不存候得共、為念御研窮置被下度候

独乙ノ東洋艦隊ハ、僅ニ山東ノ一角ニ蟠居する小数ニ不過候間、到底日英ノ商船を恐嚇するか如

為替の事

き勢力は在之間敷乎、仮ニ青島灣防備ニノミ保守致居候ハ、無暗ニ挑戰も出来不申候得共、若し大平洋又ハ支那海ニ出テ、商船ヲ阻害するの患在之候ハ、我艦体ハ英国の東洋艦隊ト連合シテ敵艦ヲ撃沈可致存候間、此処、未た当地輸出荷ニ対シ War Risk を付す等の必要なしと存候、而もユニオン銀行よりハ本日午後ニ至リ、戦時保険付ヲ勧告すると申来り候得共、未た必要なしと断り置候、全濠銀行ニ於ては、普通の俣ニテ受理致候事也、併明日ニ至リ如何ニ變動可在之歟、必要ニ応し臨時費用ニ不抱、或は其要可在之哉も難計候

弊會計部報告ニ由れハ、本船之輸出品ニ対し約五千磅の無為替ハ、操合相付き可申由ニ候得共、時局研窮の結果、如前記、萬一貴方より信用中止等の恐慌ニ接せざる迄も、近き将来ニ於てロンドン払為替率ハ必ず騰貴可致ニ付、其時迄当座預ケニ据置き、目下變動なき為替率を以て、今便は全体取組ミの事ニ致候間、左様御承知可被下候、而して次便ニハ可成、無為替利用可致考ニ御座候

煤炭

ニューカスル以北メートラント近傍十数ノ石炭鉱ニ於テハ、抗夫等ノストライキニ由リ、二ヶ月以上モ休鉱の向キアルノ折柄、今回の出来事ニ接し、海軍々令部よりの秘密命令ニ由リ、商船ニ対シテモ予定の焚用炭ト雖モ満載ヲ許サレス、丹後丸の如きも約半減セラレ、漸く香港迄の炭ヲ得タルニ不過ト伝聞致候、今後臨時発掘の増加も在之、此際石炭欠乏の如き困難ニハ遭遇可致も

無之候得共、既ニ英国ニ於て其労働党議員ハ戦争反対の運動ヲ初メタルノ入電在之候間、此方ニ於ても、無謀の労働者、何時ストラライキを企テ候哉も難計、果シテ如此場合、NYK定期船の如き如何の予防策可在之歟、多少ノ杞憂ナキ能ハス候

先般来、濠州各港ニ碇泊中ナリシNDL其他、独乙国旗の元ニアル商船の殆ント全部ハ、定期出帆日又ハ予定ニ先チ、独乙の宣戦布告前、或ハ英独開戦の危機ニ迫ラサル以前、即チ昨日ヲ以テ大概本国又ハ局外中立港ニ向ケ、濠州沿岸ヲ退去セリ、於是乎、今明日中ニ貴方より入港スヘキ“Prince Sigismund”の進退ハ如何、同船ハ無線電信無之、又NDLより特別秘密の通信を如何歟の手段ヲ以テ該船ニ与ヘタリと仮定スルモ、焚用石炭ノ用意在之間敷ニ付、直ニ他港へ遁逃スル能ハサルヘク、無止知らぬ顔ニテ当港へ入着すヘキ哉と存候、実ハ同船ニハ絹物及豆油五十噸搭載在之候間、大ニ心配致居候事也、幸ニ無事着を祈リ居候

## 戒厳令

但し別送新聞紙記載の如く、当港ハ昨日ヨリ夜間出入禁止、昼間ト雖モ、検査艦ノ認許ヲ得サレハ出入禁止の事ニ実施相成居候、而して濠州艦隊ハ全部本国海軍省指揮ニ由リ運動スルコトと相成、旗艦オーストラリア以下の巡洋艦、無名の方面ニ出動致候由ニ御座候、幸ニ濠州沿海ニハ何事モナキヲ祈居候



前郵後、Private 二つ二百四十俵買約済と入電在之候間、跡は六七百俵迄二付、無滞買入行届き可申義と奉存候、併他の一般の羊毛下落の折柄、十分注意斟酌、是非残部は二 $\frac{3}{4}$ の指直已下割安二買入、既売品と突均し、我等の損勘定ニナラヌ様尽力在之度様、一再申遣置候間、天佑ニシテ先ハ多少の利益ニ致度ものと祈居候  
委細ハ店報御参照可被下候

生蹄

御表引続き下落二付、多少の損勘ニても此方ニて転売せよとの来電失望仕候、予て本品不人氣との御通信二付、敢テ買扣へ居たるニ候得共、一昨年来、好況の跡ニも在之、小村大沢等の商敵の引続き買進ミ候関係と、クインスラント肉会社の品ハ何れも優等ニ在之、他の雜貨と併売の入札等ニテ、不景氣の折柄としてハ多数の買入高と相成、御氣の毒ニ奉存候、殊ニ Eagle 及 Ross River の分ハ £9 ニテ落札シタルモ、他の骨類ヲ横取サレタル二付、蹄斗ナライヤとコダワリ候得共、実は全く引取らぬ訳ニは不參候二付、事情を訴へ、漸く 10/1 方直引サセ £8/10/0 ニて、而シテ一旦 £14 ニて不承諾トシテ引込候 Gtues Pe's (但し少々は耳付入) £13/17/6 まけさせ、同一ニ買約致候事也、其跡へ本月一日の入電は遺憾の至ニ御座候、時も時逆、唯今の処、一寸転売の途無之候間、是非、暫時元方倉庫へ貯藏の事、交渉中ニ御座候、無期限の承諾ハ六ツケ敷候得共、場合力場合二付、二ヶ月位ハ承知可致、其内ニハ戦雲の成行も鮮明ナルヲ得ン歟、或ハ幸ニボタンの需用急増杯の事アラハ此上モ無之、何と歟、都合克切り抜ケ度と配慮罷在候

七百六十一号続き 八月初五日認

羊毛N2

見本羊毛十二種、店報之通り御送申上候間、将来の標準ニ御保存置被下度候、而して前々の見本ハ一切御取消被下度候、此後の御注文ハ惣て今送見本ニ由ル事として、別紙新暗号付録致置候、御承知可被下候

但し其説明書は Swift より申越し其俣ニ御座候間、筆者一見仕候処ニては如左もの之候

Sample No	1	56 s	トアレ共、寧口	56/8	ニシテ	Dawn	種混合アリテ細毛多シ
	2	50 s	是モ	54/6	位ノ細毛	沢山混リ在リ	
	3	46 s	〃	50/4	〃	〃	
	4	44 s	〃	Part	44/6	〃	
	5	40 s	是ハ適當ト鑑定致候				
	6	Lambs	是ハ	50 s	ニシテ内ニ	56 s	混合ヲ意味ス
	7	〃	〃	46	〃	50 s	〃
	8	〃	〃	44	〃	46 s	〃

但此分多少 40s モ混レ居ルカ如シ

而シテ「クラッチング」は、一般ニスッキリした品物也、No12 Mised の物ニても寧口上等ニ過キル様ニ御座候、併フリースの細太多少の混合アルモ、先ツ右見本ヲ標準トシテ売買可然候、クラッチングは既ニ多少の経験も在之候間、一概ニ見本通りと言ハス、多少は混合品不同可在之予測ヲ以テ注文御引受け被下度候、而も元方へハ可成右標本を根拠トシテ、買入可申事ニ注意ヲ与へ可申候

未た大戦の報ニ不接候得共、今夕の号外ニては、過日、当地を出航せしNDLの欧州行飛脚船“Seydlitz”（約八千噸）は、濠州海軍駆逐艇「パラマタ」の為メニ沿海ニ於て捕獲セラレタル哉の報在之、未た公報ニハ不接候得共、独乙船ハ大概抑留せらるゝ事ニ相見へ申候

仏独其他の羊毛買入ニして、信用中止ニ遭遇し、頗ル困難の位置ニ陥り居候向き不尠哉ニ伝承致候、我等商人ニハ何等の罪惡ナキニ其影響を蒙り候事、迷惑至極ニ奉存候

株式ハ私立会社と言ハス、銀行其他のものも日々下落致居候、ブロークンヒルニ於ける銀鉞之二三、既ニ閉鎖シタルモノ在之、数千人の労働者解雇相成候、此丁子ニては一般の人氣阻喪、取引大減縮致候事と存候

本年ハ一月桜島噴火已来、東北の大饑饉、照憲皇太后陛下の御登遐、海軍収賄事件等、我国ニ於ても頗る厄年ニ在之候処、遂ニ欧州大陸の大乱を見るニ至り候段、全く世界的の大厄年と奉存候前文相認メ候独船シギスマント号ハ、昨夕ブリスバンへ入港致候由、併同地より南航シ得ヘキ歟、或は同船ニ碇繋の俣ニ相成候乎、未定の由ニ御座候

此騒動の為メ、丹後丸ニテ東洋へ漫遊すべく船室約定の客人等の俄ニ取消ニ致候者、数人アリタル由ニ御座候

マントの来电ニ由れハ、日本行罐肉買入の運動アル哉の噂と在之候得共、日本ニハ充分の用意可在之、今日俄ニ兵糧買入杯のアハテ者ハ無之哉と存候、如何ニ哉？

丹後丸入荷又苦情起り、或は訴訟沙汰ニ相成候哉も難計、困ツタものニ御座候、輸入部より委細上伸候事と存候、外見ハ格別ニ無之、慥ニ他店の品よりハ上等の姿ニ御座候得共、中ニ不成熟のもの混合アリ、其腐敗より他ニ伝播シテ全体の約三分ノ一ハペケとの事ニ候、大ニ抗議中ニ御座候得共、原来の約定の書方が此方ニ不利ニテ候、当時筆者ニ相談セズ、此迷惑を惹起せしハ全く

大西生の失策也

而も今更致方無之二付、出来ルダケ尽力致居候得共、何レハ損害を不免候、「六月積出し品は充分の品ニアラサレハ注文取消」ト申ス六ツケ敷條件が其根元ニ御座候、貴店ニても十分御尽力被下候事と存候得共、梅雨中ニ可在之、又季節モ早熟ナリシヲ以テ、遂ニ此難渋を引起し候事ニ御座候、跡荷二船の分も大ニ心配ニ御座候

立入りテ論スレハ、若し玉葱相場が十磅已上ニも相成居候ハ、少々腐リモ直段ニテ取返し相付き可申の処、生憎、此方相場が買人の原価已下ニ相成候為メ、自然苦情も大キク相成候事、相手の悪きニ閉口致居候

御倚頼

毎度住吉未亡人より送品を煩し居、御氣の毒ニ御座候間、乍御迷惑左之品、貴店より御恵送被下度願上候

上等 松魚 一貫目

〃 出し昆布 一貫目 此方毎夏ニ御買ハセ被下度候

〃 干鰯鮓 一貫目

〃 干ソバ 一貫目

外ニ東京支店へ御願申上候、昨日店報中（東支宛）へ同封致候筆者年賀状の印刷及状袋二百五十枚、日光丸又ハ熊の丸便ニテ御送付被下度願上候、文句の訂正又ハ紙質の撰択、紙の大サ等ハ前

大正三（一九一四）年

三〇九

田君へ御委任仕候間、可然御取計被下度奉希望候

右

北村生

以下八月初六日午後一時半認

着信

シギスマント号便、貴信 303 号唯今陸廻り到達致候

御来示の件々ニ付、特ニ御答可申上程の事無之、既ニ行違、夫々詳報済ノ事のみニ御座候

着電

今朝貴電御報被下候 War Risk 之件、少々意味不明ニ候、「日本が若し戦争ニ加担シタラハ10%」の義ニ哉、既ニ早く10% 日本沿岸船荷ニ対スル保険率ニ哉、文章解釈六ツケ敷候、何ニせよ、丹後丸輸出荷物ニ対スル War Risk は、カントンより香港本社へ照会中にて、其返事ナケレハ約定の可否も未定ニ御座候

欧州行と雖も、未だ保険会社連合ニ於ても八月一日メルボルンにて発表致候後、殆ント約定引受け不申塩梅、従て一旦船積せし荷物も再ヒ陸揚する向きも不尠、頗る混雜の状況ニ御座候御表は此方よりも未だ平穩なるへく考へ居候処、今朝の貴電より想像致候ハ、相当ニサワギ居

候様子ニ相見へ申候

休市

羊毛相場打撃ニツレ、羊皮も前周二八半片乃至一片下落致候、今周は戦争サワギにて毛皮類、羊皮、脂肪、雑貨ニ至る迄、臨時休市ニ相成申候

先は右迄、草々不尽

北村生

大正三（一九一四）年

三一

## 号外信 大正3年8月4日 シドニー時事

戦争に就て

今日認め候事は甚だ愚の如くにして、本船貴着の頃は如何なる状態を呈し候哉、推知し得べからざる事に候へとも、時々刻々諸方面より来る飛報に依り、我等の知り得る程度に於て、当地の現況の一二を追記致候も、又幾分御参考にも相成候事ならんかと存候

八月二日（日曜日）夜入電、愈々独乙が露西亜二対し宣戦の布告を發したるを知る

二日（月）は、英国も当地も Bank ホリデーなりしが、ロンドン金利は 10% に飛び上り、独仏は已に戦端を開きたるの報あり、然して NORTH SEA に於て砲声の盛なるを伝へり  
パリス及バークン金利は 7% に上れりと

Sydney Heads, Wollongong and Newcastle 等及 Hawksburg Bridge は、市民軍に依て固守せらるゝ事と成り、日没後は船舶のシドニー港出入を禁じ、日中なりとも一々検査を経たる上に非れば入港を免さず、全然海軍直轄の事となれり

株式取引所は全然閉会の事に決す

丹後丸の石炭積取りは七月三十一日に始まりしが、此時已に其筋より内命ありし由にて充分の石炭供給を得られず、交渉の結果、漸く香港迄の使用額を積取り得たる由なり



七百名の陸兵は木曜島に急行せり、其目的は同地の電信局守備にありと

三日（火）、昨二日英国議會ノ模様ハ、何レモ当地人、頗ル待チ兼ネラレシ処ナリシガ、午前十一時頃「ニューヨーク」來電トシテ、愈々英国ハ仏國ヲ助ケルベク必要ノ行動ヲ取ル事ニ決シタル旨ヲ報ゼリ、此報ハ公認セラレザル様ナレトモ、一般事實トシテ信ジラレツゝアリ

電信局ハ陸軍直轄トナリ、暗語ハ全然受ケ付ケズ、英又ハ仏國語ニ限ラルゝノミナラズ、受信宛名ハ街名モ加ヘザルベカラズ、其上、発信者名モ詳細ニ姓名町名等ヲ加電セザレバ、受付ケザル事トナレリ

午後十一時発号外ハ、木曜島附近ニ独巡洋艦二艘ヲ見受ケラレ、且ツ日本軍艦モ同地ニ近寄りツゝアル事ヲ報ズ

（以上八月四日夜認ム）

一新聞に、濠州紙幣ニ対スル準備金ノ不充分ナルガ如キ事ヲ記載シタルタメニモアランカ、早朝ヨリ貯蓄銀行ニ押シカクル老若男女ハ、銀行ノ内外ニ群ヲ為セリ

第七六二号信 大正3年8月22日 イースタン号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓、日光丸便を以て兼松馨君より支店員及ヒ筆者宛、大正二年度決算終了ニ付御挨拶状、四方君七月廿一日付支配人状、古立君 303 号等到達、夫々拝見仕候、先以て御表大暑中ニ不抱、御一同御健祥之趣奉賀候

NYK出張員

三原繁吉、栗屋七郎両君、日光丸にて来着、再三面会致候、同船にて目下メルボルンへ延長、更ニアドレード等巡回の上、近日当地へ引返し之筈、多年重役の出張説、漸く具体的ニ相成候処、生憎の折柄（戦争の余響、船舶界混雑の折柄）にて、充分の取調六ツケ敷義と歎息罷在候

本店決算報告  
付帯

之件ニ付、種々御来示拝読致候、早速ニ御返辞可仕候処、重要な義ニも在之、且ツ過日来、丹後丸保険之義ニ付、不勘配神仕居候等、熟考の余裕無之候間、追て御答可仕候間、暫時御猶予可被下候

戦時保険

本月五日丹後丸出港後、欧州の戦局徐々ニ進行在之候得共、独乙艦隊は殆ント全部北洋及ボル

チック湾内ニ収縮して、敢て英仏の艦隊ニ挑戦せず、寧口双方より水雷を沈没して互ニ相近寄るを許さゝる戰略を採り、専ら陸戦ニ於て雌雄を決せんとするものゝ如く、東洋ニ於ては日本の体度慎重にして飽迄中立を保有する間は、我日章旗の船舶ニは何等危険アル可カラサル筈ニ在之候、故ニ此方ニては独領ニユーギニー近傍ニ独乙海軍根拠地あり、其所屬戦闘巡洋艦二隻、三千五百噸級三隻を以て南太平洋より爪哇海峡を巡航、一説ニは蘭船の当地ニ來航中臨檢サレタル上、開放セシ由風聞在之候得共、尚日光丸の無事を信じ居候処、此方よりも貴表の方、却て激昂甚敷、例の新聞紙の不謹慎なる記事は一層危機の迫まれる如く、八月六日の貴電ニ続き、七日、日光丸の危険？ニ付來電在之候、而も貴方の war risk 5%と相成候を、前電ニ比較すれハ幾分緩和の模様ニ在之候、殊ニ日光丸ハ金高も大シタ事ニ無之、又如前記、多少安信スヘキ点も在之、但し當時、若し不安心ナリシトシテモ、保險引受人ナキ実況ナリシ也、夫よりも丹後丸積荷約五十萬円も在之候間、木曜島迄ハ安心ナルモ、其先きを苦心致し居たる也、併 N Y K は保險自家負担ニ付萬一不安ナラハ本社より停船ヲ命電スベシと存候、然ルニブリスバンよりもタウンズヴィルよりも平氣ニ進行致候ニ付、ユニオン銀行より一再請求在之候得共、何分ニも 100% 以下引受人無之、五萬圓の現金ハオイソレと出金も不相成、内心大ニ苦神アルモ、平氣を仮装して大丈夫を唱導致し候

一方、清水惣領事とバキスター之意向如何ハ、毎日兩度、探窮致候得共、更ニ秘密來電の模様無之、七日夕の來電是亦 war risk の請求ハ、全く正金銀行の指金と存候、而も 100% ハ我等の堪

へ難き処ニ付、寧口本船ヲ抑留スルニ如カスと八日發電致候、夫と同時ニ清水領事ニ歎願致候得共、領事権内ニ停船の法律力無之、其後、国民の財産保護の名義ヲ以て、漸く十一日朝ニ至り、清水氏より外ム省へ前記ニユーギニ艦隊の危険アルヲ以て、丹後丸の停船可然様發電致呉レタル由伝知致候、同時ニ貴電、危局切迫ニ付、NYKへ停船交渉中の事、熊の丸出帆取消の事拜見致候、先是前夕、日光丸木曜島安着、丹後丸 *war risk* 貴方買方負担ナラハ 10% にても約定可致哉と申上置候、引続き若し危険アリトスレハ、木曜島へ荷揚の事ハ甚無意味ニ付、更ニNYKへ丹後丸南航の御掛合在之度打電致し置候

此間、一方ニハ格別戦局の報なく、膠州湾外露独の交戦杯の米国電報在之候得共、濠州ニハ縁遠く、一方ロンドンの金利下落等、多少慰安の報在之候間、須く *war risk rate* の下落を神掛け祈り居候得共、頓と下落せず、越て十二日朝ニは東京支店より直接至急報ニテ二通、危機切迫ニ付、成行保険約定御指図ニ接し候、然レ共、幸ニシテ丹後丸ハ一時木曜島へ停船スル事ニ決定之由、領事及バキスターより探聞致候間、同港ニ碇船中ハ危険無之、且ツ *rate* も 10% ノミナルニて安直引受人無之、不得止、電料自弁ニテロンドンへ交渉を開き候、加フルニ丹後丸停船の事ハ秘密ニ付、此方より公然發電ノ事ハ、前記兩人より謝絶サレ居候ニ付、不取敢、非常の心配ニハ不及旨、十三日午後發電致候

而シテ可成安心の出来ル迄、本船ヲ抑留スル事の策略ニ付、清水、バキスター両氏へ交渉ヤラ相談ヤラ毎日お千度致候、恰も当地アンダライター組合ニ於てロンドン其他英国行 20% より 10

○ニ引下げ候得共、日本行ハ変化ナシト申居失望致候、バキスターは逸々主人バンス氏自身の直接運動を促し候得共、NYKよりもデスクレツション任せだけにては責任重シトシテ、丹後丸の発船ヲ躊躇シ、本店よりもバンスフルプの情報ノミニにては、本船出港の命令ヲ発シ得サリシモノ、如く、双方睨合の内、十七日ニは日光丸入港セリ、然ルニ意外の人、三原栗屋の来着ニ付、早速面会、事情を弁疏セシモ、丹後丸ハ中立国所有船ニ付、停船の無意味ナルの主張ニシテ、法律的ニ頗ル冷血、今日迄徒ラニ停船セシヲ不服の如く、形勢我等ニ不利ナリシ、翌十八日ニ至りては、其頃迄タウンスヴイル停船のセントアルバンス、愈発船ニ決シタルヲ探知し、丹後丸も出船可然哉トノ三原氏の意見ニ由ルラシク存候間、同夕打電仕候処、其後、行違ニ本社より出船の命アリタル由、御來電被下候間、其前聞合中ナリシ W. P. H. S. K. も最早猶予ナラス、十九日、即丹後丸出港（木曜島ヲ）の当時、直ニ現金ヲバンスフルプ商会ニ供金シテ、ロンドンへ交渉継続為致候、此辺入江君認メ輸出部通信ト重複致候得共、順序ニ付、不悪御通読可被下候

然ルニ翌廿日朝、東京にて若し当方ニテ約定済ナラサレハ4%にて御約定出来候由、來電ニ接し候得共、此方は既ニ現金供托之上の仮約ニ付、其返事待の処、廿日中ニ返事来らす、無止、同夕約定未定ナレ共、多分3%にて履行の見込と申上候、而して昨日ニ至り、漸く2%にて決定の事、バンスフルプ商会より確答ニ接し候間、直下其旨発電と共に安心致候事ニ御座候、而して金高ハ、インボイス高よりも少々余計ニ相成候得共、実ハ £1350 現金払（實際ハ £900 余）減セ

り)をも含ミ、四萬五千£保険契約致候、然る処、昨夜八時過ニ至リ、東京支店より前仮約の條件上、第一電(廿日朝)接手の時、契約ニ成リ居ラサリシナラハ、貴方の仮約を履行スルの義務アルニ付、頗ル御迷惑の様子、如見大ニ御同情申上候、過般来、前田君の御奔走も遙ニ推察仕候、夫と同時ニ、此方の苦神モ大ニ買ツテ戴き度処ニ御座候、此方全く保険率の高下ニ不抱<sup>※</sup>、現金供托の約定ニ付、萬一、貴方割安ニても取消し難き立場ニ在之候、旁昨夜折返し其事情答電仕置候間、幸ニ御得心被下候事と存候、貴方保険会社も御氣の毒ニ候得共、*WATERBURY*の如きは、矢張火事泥性質のものニ御座候間、可然御分疏置被下度候、当時の事情ハ十分説明スヘキ証拠在之候間、先方も泣寝入可致存候

〔※印欄外書込〕

3%ヨリ高カラサル見込ヲ以テ

信用状

其他申度事、種々在之候得共、来客等ニ妨ラレ候間、明後日頃出港のタイユアン号より補筆可仕候ニ付、悪からず御承知奉希望候

右

北村寅之助

第七六三号信 大正3年8月24日 タイユアン号便タウンズヴィル經由

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓、再昨日出イイスタン便を以て、過般來、此方苦心の丹後丸輸出荷物ニ対する戦時保険ニ付上伸仕候通り、最初或は10%も余義無クサレ候哉も難計、現金五萬円を冗費スル歟、五十萬円即チ商店の身代以上の金高を弁償スル歟、恰も100%一の馬券の勝負の如きものニ候

銀行屋サンの危険を遠慮して war risk cover を強請するは無理ハナケレ共、其出金の責任者ニ頓着ナキニハ閉口ニ御座候、此方迎も危険を侵し度無之候得共、ミスタ々數萬円の吐出しは、中々取返しの付くものニ無之、痛シ痒シニ煩悶の結果、種々奔走、幸ニ清水惣領事の同情を惹起し外ム省へ進電の余響歟、NYKニても危険を憂慮して歟、一時(十三日午後より十九日午後四時迄)木曜島ニ碇船(尤も此間他の火船も數艘同港ニ避難?セリ) 致候

〔欄外書込〕

其後探聞ニ由れハ、既報の蘭船「ハルトマン」号の爪哇海峡ニ於テ独乙軍艦ニ抑留サレタルハ事実ナルノミナラス、同船搭載の燃料石炭の殆ント全部ヲ徵発サレ、無止解放後、直航爪哇の近港ニ引返シタル趣、果シテ然ラハ丹後丸の避難シタルハ、詢ニ機宜ニ適シタル所置ナリシト存候

大正三(一九一四)年

其間一方 war risk 減率ニ就ても苦心交渉致し、特ニ昨日2%の輕率にて約定行届き候事(此外ニ、ロンドン T/T の 1¼% 印紙代 £5 余等アレ共) 僥倖と奉存候、而も大体ニ於て £900 余支払のハメと相成候ニ就ては、何と歟、買約人へ御交渉之上、其一半ニても負担輕減の運と相成候様祈望仕候、此方ニ於ても O.P. の約定品ハ war risk は買人へ交渉する余地アル習慣ニ候得共、大概ハ持込の約定多きが如く、貴方ニ於てもトップ其他を一メ、千住クラツチングニ至る迄、持込の御約定ニ相成居候事、頗る不仕合ニ御座候、特ニ千住の如き軍務關係者は、這般の事情垂察致呉ラレ候哉と存じ、先方負担ナケレハ、暫時此方へ貯庫(多少利足ト倉敷も可在之ナレ共) する様、掛行上打電仕候得共、何等手答へ無之、全く十月迄は御急ぎも無之ニ付、日和見の体度ニ在之次第と奉存候、而も今後一二ヶ月位にては、海路平安と申場合ニモ立到り申間敷、況ンヤ熊野丸取消しの理由不明ナレ共、萬一、NYK 船中止の場合ニは、運賃ニ莫大の墨算を生し可申候、加之、此方の注文入手の跡廻りと相成候為メ、大倉組引受け品の大部分ハ輸出済(但し此内丹後丸積 war risk 二付、銀行より催促アリシ由ナルモ、一切日本内地ニテ約定ニ付、正金へ聞合セ呉レト返答シタと過日橋本君申居候) ニシテ、此分ニ対し、何も不申出ニ兼松斗千住へ泣キ付候と申事も相成間敷、頗ル苦敷立場奉恐察候

〔欄外書込〕

次便日光丸にて少々補送之筈ニテ、夫ヲ以て皆済ニ相成候趣伝聞致候



幸二日光丸出船迄ニ1%ニモ相成候様、切望の至ニ御座候、実ハ先日、大隈内閣の発表せし「独乙ニ対し膠州湾撤退の勧告」は、独乙ニ於て昨廿三日の期限を不待、既ニ日本政府へ勧告拒絶セシ哉の風聞在之、又米國ハ右ニ付、日英兩政府へ交渉中と様の新聞も在之候間、直ニ日本艦隊の膠州湾砲撃杯ハ萬々無之候得共、尚今明日は問題の日と奉存候、ソレ歟アラヌ歟、一昨日の桑港電信（アテナナラヌモノナレ共）にては、ロンドンアンダーライターは日本の船舶ニ対スル *war risk* を引上げ、6.3% ヲ *quote* セリと在之候、多分虚説ナランヲ祈居候

戦争の余音は啻ニ保険ノミナラズ、NYKニ於ても他の英国会社と同じく、日光丸積荷物より運賃前払を請求致候、然ルトキハ当店ニ於ても不尠現金を要し、自然運賃ニ為替取組ミの必要を生し、又 *war risk* 迄も加算セサル可カラサル仕義ニ御座候、尚バキスターへ特別ニ懇談中ニ御座候得共、ドーシテモ承知不仕候曉ニハ、更ニ電信ヲ以て本社へ御掛合を希望する考ニ御座候、例の英文 *Plain* ニ付、是等の通信ニモ莫大の費用を要し、御同様迷惑此事ニ御座候

尚々、過日E&A等運賃引上げニ付、NYKも同様と早合点シテ25% 上げ打電候処、却て反問を煩し、恐縮之至ニ御座候、幸二日光丸迄ハ同率の事、相慥メ候得共、跡ハ何時変更可在之も難計候間、予メ御用意置被下度奉願上候

右本書認め中、唯今午前十時過、竜動電報は愈日本は独乙ニ対し宣戦を布告したる由、新聞号外ニて承知致候、其詔勅ニ由れハ、欧州の開戦後、独乙ハ膠州灣の防備を厚ふし、又屢東洋の海上ニ於て英国漁船を抑留検証する杯、其行動全く英国及日本の交通を阻害するもの也、且ツ膠州灣の独乙ニ由りて租借せらるゝは、東洋の平和ニ危態を醸すの憂あり、此際無條件を以て撤兵し、又海軍艦隊を東洋より撤退すべし云々、而も廿三日正午迄ニ何等の回答を与へず、無言の中ニ東京の大使引揚げを實行したるを以て、遂ニ開戦を布告するニ至れりと在之、於是乎、無名の遠征ニあらずして正当の名義あり、恰も日清戦後、三国干渉を以て遼東半島撤回のときの文意を繰返へされたる事ニ御座候

如此、愈開戦の曉ニは独軍如何ニ防禦死守致候共、三ヶ月を出てすして膠州灣ハ陥落可致哉ニ被考候、按するニ旅順口の再演なるへく、独艦ハ寧口港内ニ窒息して、港口ニ浮遊水雷を埋没して進撃を防衛可致も、我は山東半島の何れより歟上陸して（支那ニは一寸御免を蒙りて）、背後より例の二百〇三高地的砲撃再演と存候、多少の犠牲ハ不得止候得共、敢て心配する程の抵抗を見るへしとハ難考候、夫よりも我艦体を分派して、一面カリホルニア沿岸、又ハ布哇サモア領間ニ密航せる独乙艦隊？二三艘の巡洋艦と、一方ニユーギニア領近海ニ遊弋せる四五隻の独乙軍艦を撃沈する歟、我ニ捕獲して日濠間の航路の安全と相成候事の一日も早きを希望致候、我国工業の原料の欧州より輸入致し難き品は、此際可成濠州より試送致度候、尤も新規格別の適品可在之様

二も難考候得共、是非 war risk rate は 5/100 位の「ノミナル」率二引下げ、商取引の成立  
 子候様希望之至ニ御座候

現ニモスリン会社五割短縮の時間を応用して毛糸を拵へ、夫を手機屋へ供給するの御目論見も在  
 之趣、然ラハ 100 の御入用増加も無理ならぬ次第と奉存候、而も此方 war risk の臨時費用を  
 要するのみならず、内地ニ於ても實際征西出軍と相成候ハ、其費用も莫大なるへく、未た外国  
 債と申程ニハ無之共、金利の騰貴ハ難免処、或は一時工業家等の資金、偕ハ一般の売行ニ阻喪を  
 来し候様の義ハ在之間敷敷、多少の掛念なしとせず候、論より証拠、正金銀行の信用状は一層其  
 発行を難渋ならしめ、Hugues の話ニ由れハ、当地三井物産支店の如きニすら信用状大ニ減少の  
 塩梅と申居候、旁本月十九日を以て日光丸輸出荷ニ対し、信用追送方打電致候処、廿一日午後二  
 至り、僅々壹萬磅御加電被下候趣、夫だけニては前の残金、二銀行通算壹萬二千磅斗と合計貳萬  
 貳千磅ニ不過候間、到底 100 たけニも不足ニ御座候、可成無為替云々は御申越無之とも、百も  
 承知、二百も合点ニ候得共、シギスモント輸入の豆油及絹物類は今以てプリスバンニ抑留せられ、  
 近日積替へ到着の筈（沿海運賃其他臨時費用ハ、一切我等支弁之筈ニテ）ニ御座候得共、日光丸  
 出帆迄ニは豆油の代金ハ無論手ニ入り不申、其他ヨークストリート辺貸売金も、八月は毎年集金  
 永引く時ニ候、加之、千住宛クラッチングは新西蘭ニ買置品ニも（NZ とシドニー間ニ一時 3  
 % の war risk 扨申候二付、輸送中止セシメシナリ）貳千八百磅余支払済ニ相成居候間、前便申

上候此方へ一時浮金用意致候五千磅之上ニ、其後の余融を加ふるも三千数百磅を日光丸之無為替ニ使用可致予算ニ御座候、尤も此際押して信用状補足を請求致候ても、貴方ニ於ても御困難と存候間、一時多少の過振ニ相成居候共、日光丸ニは

Hughes Top 220/230 俵 千住クラツチンダ 216 俵

ノイル 約 30 B/S Whid Top 190/200 俵

脂肪 百〇五噸斗 オリイソ 10 トン

外ニ運賃前払等にて約三萬磅斗の品輸出可仕、粗等用意整ひ居申候

但しクラツチンダは war risk の費用の為メ、此方へ貯蔵可致覚悟の処、貴地へ参れハ早速ニ入金可相成ニ付、夫等の利息出入勘定致候ハ、寧口積送候方便宜と存候間、日光丸へ積入ニ決定致候、而して他品御承知不致候得共、此分政府の品物なるを口術として、運賃貴方払承諾為致候間、左様御承知被遊被下度候

Top 及脂肪類御注文在之候ニハ、無論跡々信用状発行可在之、御用意被下候義と確信仕候得共、此際、可成正金へより以上の心配を掛けぬ方、商店の信用上利益と存候間、此方も精々我慢致候、若し平時ニシテ日本のみの戦争ならハ、少々之事ハ当地銀行へ相談も出来候得共、何分事局拡大ニ候間、萬事思ふ様ニ不相成候、併其内ニ前々の手形支払済ニ相成候ハ、貴方貸高減少と共に、

跡々引続き相当の信用状御送付被下候哉ニ奉存候、但しウイツドン宛の分ハ、矢張ユニヨン銀行へ御送電被成下度希望致候

以下、八月廿六日認メ

竜動ニ於て現金の必要上、当地の為替相場は既報之通り  $\approx 90\%$  過日下落致候、而も戦局の展開未定ニ付、銀行組合ニ於て可成長期の為替を謝絶し、多くは参着乃至一ヶ月払ノミ取扱の決議致候由、通知在之候ニ付、輸出部状ニ記載、種々交渉中ニ在之、我等の信用状は正金銀行の條件範圍ニ在之候間、是非三ヶ月なり四ヶ月なり、此方希望之通り承諾致呉候様、押して交渉中ニ在之、多分ハ無事通過の見込ニ候

日光丸の war risk ハ、其率未定ニ御座候、当地の声唱は依然5%と申居候

東京支店来電の丹後丸 war risk policy 日付け十九日トモ rate ハ表向き三%トシテ 1/3 即一步ハ特別割引の勘定書御入用の趣、承知仕候得共、電信にて御返事申上候通り、該保険証書ハ廿一日付にて、特ニ保険率ヲヌキニして銀行へ交付済ニ付、今更変更出来不申、又バンスフルプ商

会ニ対し、秘密割引云々等ハ一寸口外難致候間、十九日付ニテ「3%の割ニテ四萬五千£分、即ち1350正」ニ受取候、証書は追て発行する」との書面を申受け候間、是ハ日光丸の方大丈夫と存候間、同船ニテ郵送の事ニ致候間、左様御承知可被下候

但し、何故ニ秘密割引と歟、十九日付証書御入用ニ哉、其目的少々合点不参候、店員等の想像説ハ、「多分3%として得意へ申告済ニ付、其割合ニテ全部支払ヲ受ケス共、多少ハ買主より war risk 分担セシムル時の用意」たるべしと歸着致候、事実如何ニ哉？

九月積取消ニ付、定て御迷惑相掛け候事と奉恐察候、既ニ御約定済の品、無條件解約希望ハ素より無理ニ御座候、而も着後品物苦情の恐アリ、war risk の危険アリ、寧ろ少々ノ損耗ニても取消の方安心と存し御迷惑相願候次第、当方ニても仲買口仙 510 の外ニ電信代も喰込居候事也、買人よりハ何も弁金不致候

越エテ八月積の百五十噸も、若し熊の丸取消ニ相成候ハ、無條件取消の方、便宜と存じ打電候処、20/- per ton 弁金ナケレハ解約難相成由、而して因幡丸出帆ニ在之、且ツ war risk ハ売人負担之由、御返電ニ接し候、果して然ラハ、御輸送被下候方、便宜ニ御座候、只八月中ニ積出し無之ては、例のゴテ屋ニ付、文句付ニ相成可申点ニ御座候、幸ニシテ因幡丸ハ愈廿八日貴地出帆の由、好都合ニ御座候、本品の此方相場も其後上向キニ御座候間、庶幾くハ着荷之上、無苦情取引済相成候様祈居候

〔欄外書込〕

本品のサベイヤア証書、是迄ロイド代理店ニ御倚頼の処、今年ハ単ニ「官許」トノミニテ私の名義ニ相成候人の検査証ニ付、買人ニ於テ矢張不信用トシテ苦情相起り居候、厄介ナ事ナリ、何故ニ従前之通りロイドの人ニ御依頼相成ラザリシニ哉？

肥料

硫安は英国よりの輸入減少可致ニ付、貴方在庫の売捌上、多少の便宜と可相成存候、而も原価ニ回復ハ六ツケ敷義と奉存候、本品英国ニ於ても下落致居候事ニ重きを置キ居ラサルニ哉、当地ガス会社の入札も遂ニ引込と相成、未売の俣ニ相成居候塩梅、此外ニニューカッスル郊外の鉷業会社ニても製造在之、目下直段 *£12,100,000* 杯申居候、メルボルのガス会社二千噸の入札は、九月十日開札の筈ニ御座候得共、大倉組も一寸手出し致間敷奉存候

若し貴方の景況回復致候ハ、此方より二三千噸の供給ハ、格別困難ナキ見込ニ御座候、而も一昨年来、日本の輸入莫大と相成、英国輸出高ニ於て日本第一位ニ相成、米国よりも多額ニ相成居候間、二三千噸の分輸ハ鼻糞の如きものと存候

近着英国肥料雜誌ニ由れハ、従前の豆粕ハ含油分多量の為メ長期の航海ニ不堪、往々腐蝕スルノ患アリ、僅ニ桑港迄無事着範圍ニアリ、依之、南滿鐵道会社ニ於て新ニ製油工場ヲ設置シ、十分二油を搾取シタル豆粕ヲ拵へ、欧州へ輸出の計画在之趣、自今の大戦争ハ惣ての計画を齟齬為致

可申も、早晚事実二なりて現出スル事と存候、而して其豆油豆粕ハ、矢張三井一派の掌中ニ歸スル義と存候得共、LB製品ニハ一大敵国と奉存候

丹後丸を以て、増田屋行当地の燐鉱石二百袋ツ、神浜兩港へ見本輸出の事承知致候、御注意可被下候、此方引合之分、今以て分析も見本も等閑ニ相成居候、実ハ元会社ニ於て、未タ採掘致不居故ニ御座候、大ニ催促致し置候間、手ニ入次第、御通知可申上候

右

北村寅之助

以下、八月廿七日認追伸

着電

今朝第十三号着電、貴電第十二号の不着を發見仕候、電信係想像之通り、途中ニ没取サレタル事と存候、サシテ戦争又ハ国际上差支可在之通電在之哉ニハ難考候得共、何歟、検査官の質疑ニ触レタル事と存候、災難ニ御座候

罐肉は欧州、特ニ同盟軍宛、偕は濠州出征軍ニ萬人宛等、臨時注文輻輳致し居候間、相場ハ時ニ



騰貴スルノミナラス、先物約定の会社無之、且ツ多くハ六封度入の大鐘ニ候間、貴方ニハ不向きと存し、一封度入

Boiled Beef      Corned Beef

// Mutton      // Mutton

ニ就き、当地とクインスラント各肉会社へ交渉中ニ御座候間、明日中ニハ是非返電致し可得奉存候、併是ハ我陸軍用ニ哉、英国艦隊等の需用向ニ哉、不審ニ存居候、愚按ニては未タ注文アルニアラサルモ、価格を慥メタル上、売込方御尽力の御計画ニハ無之哉と存候

電信料非常ニ相掛り候折柄、實際取引成立致候様祈望仕候

馬糧は多分、膠州灣背面攻撃軍使用の目的と存候、本品は当州ニ近来製造所無之、メルボルンの地方ニ二三ヶ所在之候間、唯今電信引合中ニ御座候、初メヨリ千噸二千噸と申候てハ非常ニ暴騰可致ニ付、数百噸より徐々噸数増加の事ニ引合可致愚考ニ御座候、愈無ナクテナラヌ場合ニハ直段ニ係り申間敷も、無暗の直段ニテハ却て御売約困難と存し、苦心の処ニ御座候、生憎、前々月来降雨不足ニて、飼糧ハ一般ニ割高の折柄、格好の直段ニて引受人在之候様、潜ニ案事居候、草々不尽

北村生

第七六四号信 大正3年9月3日 日光丸便タウンスヴィル接続

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓

御断

種々御返事可申上要件在之候得共、戦争中電信往復頻繁にて、未だ臨時多額の取引も成立致さず候得共、何となく気かソワ々致し落付不申候間、次便迄御猶予可被下候

NYK特派員

三原栗屋両氏は、意外の開戦と相成候為メ、折返し本船にて帰朝の事と相成候、メルボルン、アドレード等にも一両日視察サレタル由、素より十分の調査も不行届ナリシナランモ、船舶業ニハ多年の経験家ニ付、一見不如百聞の注意もアリシ義と奉存候、時日切迫、多用中ナルニ在留商人の一店員の割にて、態々オーストラリア旅館午餐会の招待在之、惣花的御馳走ニ相成候、前年出張の大谷氏不評判ナリシを回復スヘキ目的ラシクと承知致候

談話中、三原氏ハ早晚再ヒ当地へ出張の内意アルラシク鑑察致候、我等より直接バキスターの不行届きの攻撃ハ見合セ候得共、他方面より種々聞込ミ候事ナラント推測致候、ツマリNYKの損耗ニ付、注意スヘキ価値十分と存候

大陸交戦の様、貴地新聞紙ニ由リ日々御承知と存候、当地ニてはN乙義勇隊ハ既ニ独領サモアを無抵抗占領ニ歸し、濠州の海軍及陸軍の一部ハ、独領新ギニー及ニューブリテン群島を占領したるの報導在之候、果シテ然ラハ、予テ南太平洋ニ遊弋セシ三五隻の独乙軍艦ハ、何方へ潜伏致候ニ哉、マサカ膠州湾内へ帰着致候様ニハ難考、目下の疑問ニ御座候、尤も巡洋艦ライプチヒ及ひナンバーグの両隻は、カリホルニア及布哇近海ニウロ付き居候塩梅ニ御座候

膠州湾の既ニ封鎖サレタル由ハ、加藤司令長官の報告ニ由リ承知致候、但し要塞ハ八ヶ月間の用意アリトノ事ニ候得共、マサカ対陣睥睨独兵の兵糧饑渴を埃ツカ如き緩漫の策戦ニハ在之間敷、我等ハ矢張前面を封鎖して背面より砲撃ヲ加へ、二三ヶ月ニ出スシテ占領の事と期待罷在候、然ラサレハ支那内地の蜂起、米國杯の干渉初り候哉も難計ニ付、須く早幕ニ塵殺掃討可然存候、而シテ我の艦隊は台湾海以北ヲ鑑視し、英國ノ東洋艦隊は一部ヲ印度新嘉坡方面ニ配付シ、一部ヲ以テカロリン群島以南爪哇スマトラ近海ヲ掃除致呉候ハ、日濠間の航海ハ安全ナルヘキ筈ニ御座候

而も戦時保険ハ、当地組合アンダーライターニては5%を唱導致居候、一時非常ニ心配致候丹後丸も去月三十一日香港安着致候由、関根船長より來電接手致候間、先以て香港より貴地迄ハ萬全

と安心致候

會計部も、輸入部宛通信ニも在之通り、日光丸分も2%と申候ニ対し、引下げ方大ニ尽力致候、一方、運賃前払の件ニ付、今朝ニ至るも貴方より BP & Co. へ Deposit 受取済の來電無之ニ付、B/L 交付不致、大ニ苦神致候得共、融通の聞かぬバキスター先生、如何共手段無之ニ付、追々貴方より電着迄当店よりも正金を提供シテ B/L 受取の事ニ致候、同時ニ War リスクも 1 1/2% 迄ナラハ、ロンドンニテ承諾の返電在之候間、是も其率ニテ契約の事ニ決心仕候、今少々待合せ候ハ、1%ニは下落可致様存候得共、Top 其外代金支払の必要上、不得止次第、不惡御承引願上候但し貴電 War リスク 1%ならハ Top 何程、2%ナラハ減額云々御希望ニ候得共、御承知之通り War リスクハ本船出船前ニ契約不利ニ在之候、反対ニ Top 元方ニ於ては、資金の都合上、此方希望之通り増減自由ニハ難相成、矢張、元來の契約通り荷物引取の義務モ在之候間、其辺宜敷御推量奉願上候

過燐酸

是迄独乙製約定輸入致居たる肥料商の其交通閉息致候ニ付、日本より輸入致度希望の相談在之候ニ付、萬一取引不成立の際ハ電信料先方持の約定ニテ、去月廿九日御照電致置候、則

6000 tons Superphosphate

水ニ溶解性 最低 16 1/2% 燐酸含量 (16 1/2 / 17%)

二重袋仕立テ十二袋ニテ一噸トナル荷造リ

(此荷造ハ大阪硫曹ヨリ輸入ノモノ同様トノ事ニ候)

明年一月二月三月ノ三船ニテ Sydney へ 1000 ton 宛

Melborne へ 1000 ton 宛

過燐酸ハ必ズ固形トナラザル粉末状態保証ノ事

右本品供給ニ付、夫々御引合中と存候、同時積入船ニも多少御骨折れ候義と御察申上候、是迄度々談の口切りハアリシモ、いつも取引不成立ニ付、貴方ニも御迷惑とハ存候得共、非常の場合、且ツ此戦争或は一年以上継続致候哉も難計ニ付、若し幸ニ約定出来候ハ、跡も引続き相談行届可申哉ニ奉存候間、一入御尽力被成下度候

尚、前便イイスタン号にて増増行燐鉍石若干、鈴木派出員より輸出の事、御報申上候処、

昨日、日光丸ニも五六十噸試送致候様伝聞致候間、御注意可被下候、右ハ無論横浜肥料会社へ参り候事と奉存候

筆者引合の分ハ、昨日通信ニも在之候通り、未だ採掘シ不居候為メ、延引致し居候得共、大ニ催促之上、因幡丸ニハ是非見本御送申上度存居候

〔欄外書込〕

尚々、近来 Tallow 暴落の爲メ、LBニ於ても割高の豆油混交の必要無之、シキスマント  
の品、今以て未着ナルモ差支無之由ニ御座候、旁跡 ㊦ 罐入込ニテモ一寸買氣無之、尤  
もの談ニ御座候

オルデンハム便  
唯今午後一時プリスバン廻り一封到着仕候、此方へハ前状の写のみ、輸入部ニも日光丸荷物副書  
類のみ到達致候

右

北村生

号外信 大正3年9月4日 シドニー時事

「コピーのカスレにより、冒頭1ページ「濠州議会の動向」の記事は翻刻省略」

糠喜び

既送時事ニモ記シオキタル如ク、当洲駆逐艇「パラマタ」ニ依リ捕獲サレタル独商船「シーレッツ」ハ、何日迄待テドモ其姿ヲ顕サズ、或ハ「コツソリ」ト何レハカ稽留サレ居ルニハ非ルカナド噂シ居タルニ、何ノ事カ、同船ハ其後南米ヘ安着シタリトハ

其心中ヤ如何

独逸音楽隊ハ各所ニ時ヲ期シテ楽ヲ奏シ、相当ノ好収ヲ得居タルガ、戦争後モ商売ニハ代ヘラレズト見ヘ、相変ラズ「ブーブー」遣リ居ルノミナラズ、時節柄トテ英国々歌“Rule Britannia”又ハ国粹的ノ音楽ヲ奏セザル可カラズ、時ニハ群集ヨリ其意氣地ナキヲ罵ラルゝガ如キ事モアレトモ、彼等ノ大部分ハ帰化シ居ルノ意味ニ於テ、案外平氣ナルノミナラズ、或地方ニ於テハ独乙人ノ帰化シタル者相集リテ、必要ニ応ジテハ英国ノタメニ独ニ対スベク戦地ヘ派遣ニ応ズルノ希望ヲ当局者ニ申出タルモノモアル由、コンナ国民ガ有ル様デハ、「カイザー」ニモ氣ノ毒ナモノナリ

当地ノ如キハ、何分附録的ノ境遇ニアルタメニヤ、戦報ニ接シテ敵愾心的ノ発揚多キヲ見ズ、從

テ在留独乙人等ニ対シテモ危害等ヲ加フル者、殆下稀ナリ

### 親日論

今ハ聊カ旧聞ニ属スレトモ、英独關係ノ公ニセラレ日本政府ハ、何時ニテモ同盟国ニ対シ底分ノ援助ヲ与フル事ヲ公言シタルノ際、或会合ニ於テ当NSW州前首相タリシ自由党首領タル Mr. de 氏ハ時事ニ関スル演説中、左ノ一説アリ「新聞切抜の翻刻省略」

### 日本銀行の用心

日本駐在英国商務官(?)ノ報告トシテ、ロンドン電報ハ「日本ノ各銀行ハ、此際非常ノ用心ヲ以テ金融引締メ策ヲ採リ居ルタメ、現ニ濠洲ヨリ供給スベキ鉛及羊毛ニモ、大影響ヲ及ボシ居ルコト」ヲ報ゼリ(九月十一日)

### 日本政府戦事 保険

領事館ヘノ情報(公報ニ非ズ)ニ依レバ、日本政府ニテモ戦事保険部ヲ設ケ、一般貿易商ノ便利ヲ計ル意味ニ於テ議會ヲ通過シタル由、此問題ニ関シ、領事館ヨリハ我々ノ意見ヲ聞キ合セ来リシガ、其結果、必要ト認ムレバ、領事館ヨリハ正式ニ外務省ヘ照会スル筈ナリ(九月十一日)

其後聞キ込ミタル処ニヨレバ、右情報トハ B.P. & Co.ヘノ入電ナリ

### 食糧品ニ対スル 政府ノ保護

此頃ニ至リ、連邦政府ハ英国乃至英殖民地以外ヘ濠洲産出食糧品輸出ヲ禁ズルノ發布ヲ為シ、其行動ニ対シ、英国政府ヨリ感謝ノ意ヲ表シ来リシ、右ハ新聞紙ノ報ゼシ処ナリシガ、九月十五日



ニ至リ、NSW政府ハ左ノ通り、売直ノ最高率ヲ法律ニ於テ定ムル事ニ決セリ

小麦 4/2 ペンス 麦粉 £9/10/0 食パン 3 1/2 ペンス (二封度)

輸出禁制品ハ小麦、麦粉、肉類及鉛等ヲ含ミタリシガ、其後ニ至リ、鉛ハ露国政府用ノ証明アル注文ニ限り、同国ヘノ輸出ヲ許ス事ト改メラレタリ

右ノ結果、輸出商人ハ勿論、或汽船ノ如キハ急ニ大貨物タリン小麦、麦粉等ノ積出シ不出来ト成リシモ、半空ニテ出帆セザル可カラザルノ悲境ニ遭ヒタル者アルナド、其影響中々ニ少カラズ小麦其他ノ取引直段制限ニ就テハ、諸方面ヨリノ苦情百出ナルガ如シ、其一例トシテハ、是レガタメ、一番苦痛ヲ覚ユルハNSW州ノ農家又ハ商人ニシテ、結局、NSW産品ヲNSW州以外ノ地ニ於テ売買スルモノ、タメニ漁夫ノ利ヲ与フルニ歸スベク、又当地ノ売直ヲ制限シタリトモ、英国売直ニハ無制限ナレバ、其仲介者ヲシテ徒ラニ不当ノ利ヲ貪ラシムル好機ヲ与フルニ異ラズ、反之、当州公衆ノ益スル処、果シテ如何等ニテ一難問題ナリ

右制限以前ハ小麦類漸騰、最近直段ハ小麦 5/6、麦粉 £11/10/0ニ上リ、総テ日用ノ食パンモ直上ゲセザル可カラザルノ噂アリタル折柄、今回当州政府ノ行動ノ一面ニ於テ歓迎サレ居ルハ、疑ヲ容レザル処ナルガ如シ

此問題ニ関シテハ、他州モ目下考究中ナリ

英国政府ノ希望ヲ兼ネ、砂糖ハ全然輸出ヲ禁止スル事トナレリ

独艦隊ニ石炭ヲ供給シタル日本船

富国丸ハ、此頃ニューカッスルニ入港シ、進退谷マリ居ル由ナルガ、情報ノ伝フル処ニ抛レバ、同船ハ膠州灣在独逸艦隊ノ注文ニヨリ、石炭ヲ満載シテ南航シ、予定ノ通り Calorine Island ニテ独艦隊ニ石炭ヲ供給シタリ、時ハ八月六日ナリシモ、富国丸ハ勿論戦争ノ戦ノ字モ知ラザリシ処ニシテ、石炭代金トシテハ独乙渡シ為替手形ニテ支払ヲ受ケ、Samoa へ到リシモ、上陸ヲ許サレズ、Suva へ到リ該手形ノ無効ナルヲ知り、石炭食糧品購求ノ資金モナク同島ヲ発セシガ、夜ニ入りテハ近海ノ燈火ヲ廃サレタルタメ、暗黒界ニ漂フ内、遂ニ暗礁ニ乗り掲ゲタルモ、幸ニシテ大慘ナク、再ビ浮揚スルヲ得、漸クニシテ「ニューカッスル」へ到着シタルナリ  
途中石炭供給ニ就テハ、日本NYKヨリ当地 BP & Co. へ尽力方電命アリシタメ、種々奔走ノ結果、「アイランド」へ交渉シ、BP ノ手ヨリ幾分ノ石炭ヲ供給シタル由聞込ミタリ  
直接ニ其名ハ表サズレトモ、本船ハ矢張り神戸鈴木ノ関係アルガ如シ  
船長ハ丹野トテ、開南丸南極行ノ際ハ Chief Officer ナリシ男ナリ、而シテ出港許可ヲ受クベク当市へ来リシ際、当地海軍省ヨリノ詰問嚴重ナル物アリシ由ナリ、結局、同船ハ「ニューカッスル」ヨリ無事出発シ得ル事トナレリ

戦事保険率

九月十七日付ヲ以テ“Sydney Marine Underwriters’ and Salvage Association”ヨリ発表サレタル率ハ、如左向上ヲ示セリ、此際騰貴ハ合点行カザレトモ、其理由説明ナシ

To or From	旧率
United Kingdom	5% 3%
America & Canada (Atlantic Coast)	5% 3%
// (Pacific Coast)	5% same
India or the Beast	5% 3%
Africa	4% 2%
Pacific Islands (Excluding Fiji)	3% same
Fiji & Australian or Nzealand	2% same

同盟国領事ノ演説 九月十七日、当地ノ“Millions Club”ノ会合ヲ Farmer 階上ニ於テ催シ、時節柄、仏露日及日

各国領事、時節ニ関スル演説アリ、特ニ清水領事ノ言ハ、大ニ歓迎サレタル物ナリシ様ナリ

連邦新内閣 ハ「レーバー・パーティー」ニ依テ組織確定、九月十八日ヨリ、正式ニ内閣ノ譲リ渡シヲ終了シ

タリ

Welcome Rain 久敷間、渴望サレ居タル雨ハ、漸ク九月十二日ヨリ始まり、五六日間、雨勝チナリシタメ、多キ

ハ四吋ニモ達シタル由ナルガ、依例、重ニ海岸線ニ多ク、幾分内地ニモ及ビタレトモ、「リベリナ」ノ如キハ、此天恩ニ浴スル能ハズ、愈々悲境ニ向ヒツゝアリ、為メニ農家ハ小麦手放シニ躊躇シ居ルハ事実ナルガ如シ

First Loss of  
Australian Ship

ペーティー司令官ヨリノ無線電信報告ニヨレバ、濠州潛航水雷艇 AE 一ハ、三十五名ノ乗組員ヲ乗セ行方不明トナリ、種々搜索ニ尽力シタルモ不成功ナレバ、多分何等カノ故障ヲ生ジ、沈没シタルナラントノ事ナリ

電報料直下ケ  
(不調)

ノ事ニ就テハ、吾人モ大ニ感ジ居ル処アリシガ、此頃、当地商業會議所ヨリ正式ニ電信会社ヘ交渉セシ処、電信会社ニ於テモ其意ヲ了トシ、種々研究シタルモ、何分政府用ノ公電激増ノ折柄、「パシフィック」会社ノ一部ハ不通トナリタル如キ關係モアリ、自然電信ノ遅延ヲ免レザル状態ニアリ、此際電報料低減ノ結果、電報往復一層繁激ヲ加フルニ至ラバ、愈々電報到着時ノ安全ヲモ期シ難キニ至ル可ク等ノ事情ノ下ニ、該要求ハ拒絶サレタリ、然ルニ其後ニ至リ英本国及殖民地行の物に限り電信全文の字数ヲ通計シ、十時ヲ一語トスルコトニ決セリ、仮令 "SHIP TEN TONS TELEINE" の如き四語が此場合ニ語ト成ルナリ、但シ CTF FOB ETC の如ク、已ニ省略サレ居ルモノハ此例ニ含まレズ

輸出品制限

法ニ就テハ、其後ニ至リ、大分寛大ナル改正ヲ為スニ至リ、日本行罐肉ノ如キモ、政府用ノ証明アルニ於テハ、或程度迄許可スル事トナレリ

Victoria 州食糧  
品直段

ハ愈々九月廿三日ヲ以テ、左ノ如ク制限スル旨発表サル

小麦 4/9 ペンヌ 麦粉 £10/10/- パン 7ペンヌ (四封度塊)

是ヲNSW州ニテ定メラレタル最高直段ニ比スレバ、

小麦ニ於テ七片、麦粉 £1

ノ高直ニシテ、食「パン」ハ同率ナリ、母州ノ前例ヲ考究シテ斯クハ決定シタル処、中々利口ナ遣り方ナリ、ビクトリア州ハリベラル党ノ政府ニシテ、NSWノ「レーバー」勢力内ニアル事モ、幾分此間ニ含マルヤノ感モ懷カレザルナキニ非ズ

NSW州ニテハ、最高直段制限後、小麦ノ売人ナキニ至リ、製粉所ハ其原料ノ欠乏ヲ訴フルニ至リシタメ、政府ハ全然強硬手段ニ出デ、「ダーリング、アイランド」ニ積蔵サレタル小麦全部ヲ取り抑へ、又今後地方ヨリノ入荷ニ対シテモ、政府ノ許可ナキニ於テハ自由ニ受渡シヲ禁ジ、必要ニ応ジテハ政府ガ制限直段ニ於テ買収シ、之レヲ適宜ニ分配スル方針ナル由

法律ノ下ニ行動ヲ自由ニスル政府ニ対シテハ、当業者モ結局泣寝入りノ止ムナキ事ニナルベシ

## 商船捕獲

九月廿四日、Islandsヨリ急ギ帰港シタル一商船ノ伝フル処ニヨレバ、B.R. & Co. 所有諸群島間用小汽船(約七百屯)ハ、「マーシャル」島ニ於テ独乙戦艦ノタメ捕獲サレタレトモ、船員ハ同島ニ於テ無事ナル由

其後ノ入報ニ依レバ、日本汽船ウンカイ丸第二号(三九五一トン)ハ、「オーシャン」島ニテPhosphate積取りノタメ廻航シ居タル物ナリシガ、同船モ独逸船ノタメ捕獲サレ居リ、其他ニモ大小数隻ノ汽船ノ此悲境ニ遭ヒ居ル物有ル模様ナリ

開戦報告ヲ無線電信ニ依リテ得タルガ否ヤ、東洋駐在独艦隊ノ一部ハ直ニ此方面ヘ手ヲ廻シ、苦モナク交戦国籍ノ船全部ヲ捕獲シタルガ如シ

## 濠州兵出軍

徐々ニ出兵実行ヲ続ケツゝアリ、此頃総督検閲ノ結果、頗ル満足ナル旨、特ニ本国皇帝ヘ上告スル事ヲ発表サレシガ、又同時ニ左ノ如キ意味ノ投書ヲナシ、大ニ一般ノ反省ヲ促シツゝアルモノアリ、其要ニ曰ク、

「近来軍服ヲ着シタル者ニシテ、屢々ヨタ々々ノ泥酔者ヲ路傍ニ見受ケラルゝノミナラズ、遂ニ警官ノ手ヲ煩ス者少カラザルハ不都合、且ツ遺憾千萬ノ次第ニシテ、苟モ軍服ヲ用ユル以上、各自ノ一層自重セザル可カラザルハ勿論ナルト同時ニ、酒売場ニ於テモ大ニ此点ニ留意スルヲ要ス」

何レモ近々出発スベキ身ナレバ、從テ一モ酒、二モ酒ト遂ニハ軍服モ忘却スルニ至ル連中ノ少カ

ラザルハ事実ニシテ、軍律ノ精神的ニ了解サレ居ラザル当地ノ兵隊ナドニハ、無理モナキ事ト諦メザル可カラザル歟

The Season and  
Crops

此頃ノ降雨ノタメ、或地方ニテハ掌ヲ覆スガ如ク、一般ニ好果ヲ顕シ居ル所アルト同時ニ、果物ノ如キハ「メチャ々々」ニサレタルナドノ苦情モアル折柄、「リベリナ」ノ大部分、依然干天ノ悲境ヲ継続シ居リ、已ニ多数ノ羊ハ他ヘ移転サレ居ル由（但シ東南方面ハ左ノミニモ非ズ）加之、戦争開始以前ハ一頭 20<sup>〃</sup>位ニテモ容易ニ売レ行キタル羊毛、今日ニテハ羊毛付キニテ 6<sup>〃</sup>乃至 8<sup>〃</sup>位ノ相場ニテ、牧畜家ハ大頭痛ナリ、同地方ノ小麦モ頗ル悲觀スベキ状態ニアリ（早魃地方ニ於テノ直段也）

英巡洋艦二隻

一時ニ独ノ水雷艇ノタメニ撃沈サレタル報告ノ伝ヘラレタル当時ハ、一寸信ジ難キ迄ニ意外ノ感ヲ懷キシガ、其後、駐英濠洲事務官ヨリハ特ニ長文ノ電報ヲ寄セテ、英海軍ニ対シ侮意ヲ覚ヘサシムルガ如キ事ナキ様、半バ弁明的ノ説明ヲ掲ゲタリ、然シ頗ル大量ヨリモ寧口無頓着ナル濠洲人トシテハ、概シテ此問題ヲモ左ノミ重要視居ラズ、寧口我々日本人ノ方ガ齒痒キ思ヲ為シ居ルガ如シ

日本艦隊来濠

ノ噂ハ、遠キヨリ種々ニ喧伝セラレツゝアリシガ、此頃ニ至リテハ近々出発スベキ当地ノ御用船

擁護ノタメ、已ニ二乃至五隻ノ日本軍艦ハ潜力ニ濠洲港湾内ニ待チ受ケ居ルナド風説盛ニシテ、領事館員ハ勿論、口ヲ堅クシテ洩サズレトモ、此説ハ万更風声鶴令ノミニモ非ルガ如シ

## Patriotic Fund

募集ハ種々ナル方法ニ於テ行ハレ居リ、其重ナル物ハNSW州丈ケニテ、已ニ左ノ金額ニ達シ居リ、日々其額ヲ増シツゝアリ

Lord Mayor's Patriotic Fund	£128,463
Chamber of Commerces Food Fund	50,708
Belgium Fund	38,487
Red Cross "	17,985
Counters of Dudley "	5,907
Pastratist Union "	3,043
Regimental Comfort "	3,159

〔以下資料カスレのため7債券翻刻省略 合計 £264,527〕

合計約二百六十五萬円ニ達シ居リ、此外ニモ種々ノ名目ノ下ニ募集シツゝアリ  
過日ハ例ノ有名ナル、マダム・メルバ主催ノ「コンサート」アリ、如此場合ニハ記念的旗類ヲ競



売ニ附スルノ例ヲ作り居リ、同夜ハ小四本国旗の二三志位の物一本、マダム・メルバ及清水総領事ノ署名シタルモノハ、実ニ五十ギニー（五百円）ニ競り上げラレタル由ナリ

大正三（一九一四）年

三四五

第七六五号信 大正3年9月30日 オルデンハム号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓

貴信七月三十一日付364ワルテマ号便、八月廿六日付365号其他書類は、関東丸にて漸く一昨日到着、同便写類は昨日因幡丸便ブリスバンの陸廻り着、夫々拝見仕候

住吉未亡人  
御病氣も暑中二不抱、愈々全快被遊候趣奉賀居候、其他店員御一同御壯健之由、是亦遥ニ御同慶申上候

馨君  
丹後丸木曜島へ抑留運動ニ付、古立君同行御東上被下候趣、御苦勞ニ奉存候、中谷通信次官は京

都井上氏の御親戚ニ相成候手蔓を以て、間接ニ種々御尽力被成下候由奉謝候、幸ニ一時の大心配ニ引替へ無事貴着致事、御同様慶賀之至ニ御座候「以下、馨氏の入院見舞いについて後略」

疏安  
損害ニ付、御説明承知仕候、今更致度なき次第ニ御座候得共、何卒、将来の御注意奉希望候、肥料部通信ニも戦争の余波、一時ハ相場回復の兆候アリシモ、又逆戻り致候趣、サモアルヘク奉存

候、何分、思惑輸入多額ニシテ需給の権衝ヲ失し居候事故、一時ニセヨ、絶対輸入杜絶ニテモナラサレハ相場の回復無覚束、況ンヤ本国は昨年よりもズント下落致居候場合、永く持耐候も格別功能在之間敷存候

加古川口仙問題  
及ヒ注文

此方の詳報ニ御同意被下候趣承知仕候

本年の注文予想、御内聞ニテハ意外ニ少数の塩梅、併姫路毛糸会社分も在之候間、昨年よりも減少の事は在之間敷奉存候

不取敢、第一回 B type Gsy 廿萬、Z 廿萬御注文被下奉謝候、早速 P/S 探索仕候得共、思敷適當品無尠、漸く百俵余ツゝ買約仕候得共、因幡丸出港迄ニハ、セメテ半数ツゝニても調弁輸出仕度尽力中ニ御座候、B 印ハ廿四片見当と申上置候得共、廿三片位ニテ出来候哉も難計、既ニ前記買入候品ハ廿二片半以下ニ御座候得共、今少々上等の品買入度苦心罷在候、委細ハ次便詳報可仕候、且ツ出来直段平均は、電信ニテ御案内可仕候

何分品物は在之候ても、荷主の P/S 承諾セサル向キ多く、一度セリ市立会之上、相場の足取定マリ候ハ、一般の腹も極り、P/S も取引便利と相成可申見込ニ御座候

過日、不取敢、各タイプ見込直段打電仕置候、メ B は未だ適當品無之ニ付、見込相付き不申のみならず、戦争の需用ニテ、メリノニ比シ割高ニ見受け申候「後略」

大毛

重役軋轢の内情、種々御洩し被下承知仕候、我等何共批評すへき資格無之候得共、折角今日迄納マリ居リシ此会社も、今日の如き改革ニ由リ、多少一部ニ進歩ハ可在之ナレ共、利権獲得ニ急ナル我利々々亡者等の遂ニ平和錯乱の不幸ニ陥リ不申哉、深く御案事申候、殊ニ商店唯一の御得意ニ付、貴方の御心配も大底の御事ニ無之奉恐察候、呉々も松尾氏の留任となり、金原氏ニ多少の権能を掌握セラレサレを祈居候

但し金原氏迎も、今日となりては三井ニ秋波を送ル様の事ハ在之間敷、稲畑氏関係の仏国<sup>France</sup>も戦争の關係上、茲一ヶ年位ハ手出しの途在之間敷、況ンヤ此方より欧州ニ比シ割安の原料を供給するを得は、先方ニ於ても敢て貴店を排斥するが如き依古の沙汰ニも立至り申間敷乎、兎二郎、此方ハ飽迄誠意を以て尽力の外、他事なしと奉存候、恨クハ如此エラキ人の顔揃ニテ銀行の思惑如何、夫のみ大ニ氣掛リニ御座候、個人として羽仁君、福田老人、渡部技師杯実以て御氣の毒、特ニ御見舞状の書き様も無之候間、御序モ在之候ハ、藤井君より宜敷御伝言奉願上候

Hughes rebate

約定継続ニ関する御魂胆、藤井君詳報拝見仕候、逸々御尤ニして御取計方同感ニ御座候、特ニ兼ての懸案ナリシ大毛宛ニせず、絶対兼松取扱品ニ御振替へ被下候段、好都合ニ御座候、Hughesニ於ての諾否如何不明ニ御座候得共、前田君藤井君御来示之如く、今回の先売ニ於テHughesの腹をエグリて、ウント高直ニ売付け候ハラムの働きは慥ニ金鷄勲章ニ値し、Hughesは意外の余益を占得し、内心大満足の筈と存候、此矢先きのHallamの策言ナラハ、多分同意可致哉ニ存候

按するニ大毛ニ対し 3320 十萬売約後、此方更ニ相場之變動ナシ、全く東京モス東洋モス等の欧州原料輸入中止の危懼を懐き、聊カアワテ気味の買氣アルニ乗シ、ハラムはアセリ立チタ々々高直ニ吹込シタル策略の適中シタルハ、全くハラムの働キニテ、Hutches が高直へ居直トスルニハ無之と奉存候

ハラムの得意可思との御評言、詢ニ其処ニ御座候、逸々操返す必要無之、藤井君八月廿六日付御意見ニハ、筆者賛成ニ御座候、但此書面ハ貴察よりも十日斗も延着仕候て、Hutches よりハ本件ニ付、何等の談も無之候、其内アンダソンニ由リ内探可仕候、是非共、二百萬封 $\frac{1}{4}$ 片 $\langle K \rangle$ 収入の事ニ成立為致度、臨機運動可仕候、併如前記、本件は当地ニテ口出し候よりも、得意満々のハラム氏を利用相成候事、先例の通り捷徑と奉存候

Whiddon Top

ニ付て御来示敬承、本件ニ就ては入江君守田生、専ラ策戦応答仕居候間、東支御遠慮の収益已上の実入ニ相成可申考ニ御座候、薄利多便は我營業の定義ニ候得共、臨時の場合、少々の事ハ御免を蒙り候共、格別の罪惡ニハ相成申間敷奉存候

正金信用

収縮の事情、御尤もニ御座候、幸ニ因幡丸宛として加古川新注文もアリシナレ共、二口合計四萬五千 $\text{£}$ 御電送被下候事、全く貴店の御尽力ニ由るへきも、亦タ正金対兼松独特の庇護ニ由ル処、

大正三(一九一四)年

三四九

多大ナルヲ深く感謝致候

輸入部売掛金収集等ニも尽力致し、此方よりも精々多く無為替荷物輸出可仕候

ヒュースよりハラム宛にて、三井より香上銀行へ交渉し、更ニ全濠銀行へ打電云々の事ハ、此方全濠と Hughes ニ特別の内約アルニアラス、愚按にては、全濠ニ於てはヒュースの營業振ニ嫌悪タラサルモノアリ、常々過振ニ制限在之、中々自由不聞、曾テモ他の銀行を応用スヘク企謀セシモ、不得要領ニ終り候、何分、同人は「ゴロ」業のみナラス、生肉輸出等ニも手を広げ居候間、資金の欠乏ハ其処ニシテ、銀行屋の注目ヲ怠ラサル所以ニ御座候、依之、ハラムニ打電し、三井ヲ利用し、香上銀行より具体的ニ信用状的の交渉を全濠銀行ニ開カシメントシタルナランも、三井の受理セサルノミナラス、香上ニ於てもハラムの落第したる仕合と奉存候

当支店と全濠銀行との間ニ為替取組の件、御来示迄も無之、平時ナラハ少々の事、無論相談行届可申哉ニ存候得共、何分ニもロンドンニ正金の需用多き場合、日本宛の協商ハ頗ル六ツケ敷、殊ニ藤井君 507 店状の一部へ御認の件ハ不可能と存候得共、四方君會計部 240 号御来示は理由ありと存候得共、精々示談相試ミ可申候

丹後丸、木曜島碇泊当時の貴地御心配の模様、又東京海上との約定ニ付ての御苦神等、東支状にて拝見仕候、何分ニも意外の出来事ニ付、双方にて面喰い候事、人情不得止次第、今日より見れハ、夫程ニせすとも宜敷ナリシ如クニ候得共、先々無事貴着と慶賀致候、殊ニ其費用も大概注文

主負担承認の事ニ御尽力被成下候由、猶更好都合ニ御座候、併如此臨時費用ニテ1%カスリを収得するは心苦敷相感申候、併世間同率とあらハ、夫程氣兼するにも及間敷乎？

日光丸ニは無為替分ハ節減セン歟と相考候事ナレ共、思切ツテ奮発致置候処、木曜島碇船の事を探知スルニ及シテ、矢張奮発シタダケの効能ヲ感じ申候、而シテ丹後丸の時ニハ同地滞留ニ付、種々苦心シテ、漸く抑止シタル如く考居候処、又日光丸をも抑留シタル処ヨリ見レハ、今度ハN Y K 本社の方が危険を感じシテ、自ラ大事ヲ取りタルカ如シ、依之觀是、逋信省の御役人等の指図ニ寄らざるも、N Y K の決心次第ナル事判明致候、尤も保護金の關係上、届けハ役所へ出スヘキ事、勿論ニ御座候

赤糖

の事、見本云々御来示の処、戦争の為メ糖類輸出禁止と相成候間、当分ダメニ御座候、然ラサルモ先般も申上候通り、此方ニ余剩アルトキハ爪哇方面、貴方ニも品潤沢の時ニ在之、我等斯業の仲介的立場ニアルモノハ、一寸手出し六ツケ敷被考候（直接關係の増々、又ハ三井の如キアル故ニ）

人操

貴信 303 号より御照会被下候処、筆者異議無之候

大正三（一九一四）年

三五

余は因幡丸便より上伸可仕候、本船貴着と格別の相違ハナキ考ニ御座候、草々

北村生



第七六六号信 大正3年10月14日 “Venture” Via Honolulu

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拜啓、本便は因幡丸にて是非発信可仕覚悟の処、種々商要の為メニ妨げられ、遂ニ延引仕候段、重ネテ御断申上候、丹後丸便と格別早着も無之哉存候得共、又後れてハ不都合ニ御座候間、不取敢、一筆申上候

商店合資ニ改正  
後第一回決算

報告は無事決了、今便社長氏より謝状を辱し、却て龜縮之至ニ奉存候、何卒引続き一致協力、故店長氏の遺志ニ基き、日濠貿易発展ニ尽瘁仕度、切望之至ニ御座候

近来、正金銀行の手加減嚴肅を加へ、モスリン其他市況悪敷影響ハ、得意先売貸高ニまで制限を加へられ、取引難渋の折柄、意外の欧州大乱と相成、牽て我国ニまで此戦争波及致候事、恐くハ意外の又意外と奉存候、而して日露役の時の如く、戦争の為メニ我等ニ多少の利益均霑在之候事のなきのみならず、却て信用状の発行を阻害セラレ候段、泣面ニ蜂の災難と存候、幸ニして重役諸君ノ特別の御苦神と、正金山川副頭取の昔ニ更ラサル庇護ニ由り、先操融通緩慢と相成候段、為商店深く慶賀罷在候、ドーカ此打撃の内ニも新規収益の途を研窮し、日本の不景氣ニ不抱、我等は次年度ニ於ても相当の成績を挙げ度、只管苦心の処ニ御座候

大正三（一九一四）年

三五

予ては我等重役の面々、数年同率ニ辛抱仕居候ニ付、多少給料増加の御相談ニ接し、實際物価騰貴やら交際上の拡張やらにて費用増加致居候折柄、大ニ歡迎仕居候処、其後の御報告にては、何分ニも内地の不況ハ次年度の結果不充分なるへき御見込ニ付、此際、寧口重役等進ンテ経費節約の緒を示すべく、彼等（マダ）の月給減額実施の事ニ御決議相成候由承知仕候、我等多働多収主義者ニは不尠迷惑之至ニ御座候得共、会社全体之上より論する時ハ議論として一理在之、且ツ諸君既ニ御決議の上ハ我等ニ於ても異議無之、如何ニも減給承認可仕候、而して既往（現在）の重役俸給惣額尠萬三千五百円の処、三千五百円を減殺する事、御決議ニ相成候処、其節減の振当方、北村へ御一任被下候趣、頗る名譽と存候得共、随分六ツケ敷役目閉口ニ御座候、既ニ大体の金額決定ニ付、一寸見れハ何でも無き様ニ御座候得共、実はイヤな仕事ニ付、種々考へ中、丹後丸の war risk 之心配ヤラ其他当用蝟集ニ付、夫等ニ引掛り思案ニ余り氣が進まず、段々延引仕候段、更ニ御詫申上候、儲熟考の結果、如左断定仕候

重役	現俸月給	減額	割合	改正給料
兼松	¥ 200	¥ 80	40%	¥ 120
北村	225	55	約25%	170
古立	175	40	// 23%	135
前田	150	30	// 20%	120

大江	125	25	〃	100
四方	125	25	〃	100
藤井	125	25	〃	100
月	¥ 1, 125	減	¥ 280	¥ 845
此年額	¥ 13, 500	此年額	¥ 3, 360	此年額
				¥ 10, 140

則ち右の如く致候ときは三千五百円の決定の処、三千三百六十円より節減せざる事と相成、貴方御意見と少々符合不仕候得共、一ヶ年壹百四十円の差額ニ御座候間、何歟他方面にて御操合被成下度奉希望候

別テ御断申上候事は、社長氏の減額が他重役ニ比シ重率ニ相成、頗ル御氣の毒千萬ニ御座候得共、株金よりの御収入も多く、他ニ御財産も在之候義ニ付、此場合振ツテ御承諾被成下度、伏テ奉希望候、而して筆者の考窮ハ、其給料を重役の中間なる前田君と同列ニ置きたる次第御座候、是ハ小生苦心の処ニして、決心後、入江君ニも相談致候処、同君も賛成致呉候、幸ニ此裁決ニして諸君（重役諸君の分も）御同意を得候ハ、筆者光荣此事ニ御座候

此減俸実施明年一月よりと奉存候得共、年度替りの御都合も在之候ハ、本月一日ニ溯り、御勘定被成下候共、異存無之候

而して我等海外滞在者の手当金ハ、故店長御存命中決定致候事ニも在之、甚乍勝手、従前之通り支給の事、御承認被成下度候

商要

萬事ハ省略、何れ丹後丸便ニ寸暇を得て拝奏可仕候、右不取敢御照会ニ対し御返辞迄、草々不尽

シドニー支店 北村寅之助

尚々、本書は来ル十月廿四日桑港行郵船ニ投し、布哇經由にて出信の手取ニ候、而して本書写ハ丹後丸にて発状可仕ニ付、或ハ甲乙同時ニ貴着仕候哉も難計奉存候

第七六七号信 大正3年10月23日 丹後丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓、貴信 306 号丹後丸便、辱拝見仕候、本便ハ本月晦日メ切ニ御座候得共、筆者今夕メルボルン羊毛市場へ出張仕候間、寸暇を以て一寸御受申上候

号ハマニラへ入港、郵便物陸揚致候由にて少々延着ナカラ、此元 700 号書類御入手被下候由、好都合ニ御座候、幸ニ同船ニハ（乍毎度）此方積荷無之、大安心ニ御座候、例の 75% 保険の如きNDLの運動ニ誘拐セラレサリシハ、我等の僥倖ナリシ事ニ御座候

因、独乙ニ本社アル生命、海上、火災保険会社は、世界至る処ニ支店代理店在之、是等と契約したる被保人は罪もなきニ氣の毒之事ニ奉存候

L/C 段々の御尽力ニ由り、引続き過般も二口£8萬五千御送電被成下、難有奉謝候、全く重役諸君周到の御運動ニ基因致候得共、又山川氏等正金銀行よりの同情ニも多大の感謝を払ハサルヲ得スト奉存候、近日、穂積支配人宛にて山川副頭取へ伝札方倚頼状差出し可申候

折角信用状ハ出来候処、加古川其他御注文の羊毛、思ふ様ニ買入れ行届不申、遺憾千萬ニ御座候、

大正三（一九一四）年

三五

何分ニモ、*Deo* 其他のコンサーブチイブの間屋ハ、断然 *Pass* (一旦セリ市目録ニ「サブミット」セヌ品ハ) ニ応シ不申、僅ニ *Am. Co.* 等ニ三間屋ニテ適当品若干見付出し候外、今便ニモ手廻リ不申、申訳ナキ次第御座候、併 *Hughes* 等の三井の信用デサヘ大渋リニ渋リタルニ不抱、此方ハ引続き多少の余裕在之、殊ニ目下同人ハ他店注文引渡しニモ惱殺致サレ居候折柄の足元ヲ見テ、若し出来ルナラハ約定高全額、或は少々の斤高ナラハ操上げ輸出不苦杯、大キク当リ居候次第御座候

大陸の戦況ハ、頓と著明なる変化無之、独乙の死物狂ニ対シ、同盟軍も露軍も大打撃を加フル能ハサルモノ、如シ、サスガ世界一の陸軍国と存候、而も最後の結局、同盟軍のヘコタレ可申様ニハ絶対難信、矢張三代目の主人過敏ニして、却て父祖の柱石を敗壞セシムルニ至ル事と存候、恰もナポレヲン戦より百年目ニ此大乱相起り候事、不審儀ニ御座候、歴史ハ操り返すと申候得共、如此野蛮の遺風は、今回の大戦ヲ以て最後のページと致度きものニ御座候

ロンドンの金融も引続き融和致居候塩梅ニテ、海上航通も復旧、英国 *NY* 間は *ノミナル* *7/6* % *War Risk* の入電在之候位ニ付、東洋方面の取引ニモ為替の出合多少相殺出来候運ニ相進ミ候哉、遙ニ案事居申候、殊ニ近日の銀価暴落は、支那印度行輸出ニは大影響を蒙り居候哉ニ被考候得共、何卒、我等ニ対する信用状たけハ、必要ニ応シ發送承諾致呉ラレ候様祈居候

今便御来示ニ由リ *Hullam* の運動ニテ、三井より正金を *Sutor* 老ニ供提し、*S* 氏より *NSW* 政

府へ交渉云々の事ニまで進行致候由、全く初耳ニ御座候、而してS老人は夫迄深切ニ周旋致呉タルナルヘキモ、唯今の当政府ニ於ては、中々左様の事ニ関係保護可致様ニハ難考、常識を以て判断すれハ、先ハ可言難行手段ニ御座候、何トナラハ日本人の信する如く、S老人此方ニ信用ナケレハナリ、而して事実ハ有也無也の間ニ立消ヘニ相成候事と奉存候

前田君御来示の「買約は惣て信用状力出来タラハ」の條件付云々は、到底当地ニてハ不可能の事ニ在之、就中「<sup>○</sup>」の如き工業品は、代金支払確定セサレハ原料の仕入も不出来、而して原料ナケレハ、急ニ信用状出来候ても、製品間ニ合ハすと申次第と可相成、而して一方、正金ニ於て夫程迄出渋り居とハ不考、旁平押ニ信用状送れ（日光宛）と申上候事、或は過激の体度と御判断相成候由、恐縮之至ニ御座候

加古川

注文B廿萬斤、Z廿二萬斤奉謝候、其買入方ニ付き特ニ御指図も無之ニ付、依例、廉安の好機を見て買輪の事と存居候処、御注文の趣旨ハ、公開セリ市開始前、須くP/Sニて買調可致御希望ナリシ由、今便御来示ニ由り承知仕候、然る処、電信ニても申上候通り、P/S之相談ニ乗り候品は頓と優物無之、僅ニ昨年もB宛中等品（品質不悪ナレ共、外見歩留り低シ）OB X /Dunnumbral S/B/S外十俵ニて、廿二片平均ニかい送り申候（因幡ニテ）

昨年八十一片半辺のもの九片半ニて買取候事、如何ニ市況の惑乱致居候事、該荷物貴着之上、既

二御推察之義と奉存候、其後、昨年 61 の一部ニ買送り候 ALSN 印の Top Lot 斗 (トップニハアラス) 三十六俵及 MBV 七十六俵、頗る甚た安直ニ買入申候、右の内、特ニ MBV の中ニハ 80 手位のものも交り居、毛足長くサウンドニ付、優等の原料ニ御エリ分け被下候ハ、より一層割安と可相成存候、サスカの塚脇先生も満足致呉候事と存候、惜哉、數量の不多点ニ御座候、兎ニ角、此 122 俵平均ハ、品柄の優等ナル上ニ、直段も 22 ½ 以下ニ相成候、今周セリ市買入品は九十二俵平均廿三片半ソコ々々ニ可相成候 (電信ニハ 23 ¾ と申上候得共)

全く此セリ市ハ、ヨークシヤア人の自働買煽リニテ、他人ニまで割高の品を買ハセ候事也、殊ニメ B に至りてハ狂氣相場ニ御座候、品柄も Faulty も Burry も一切お構へなし、直段ニ不抱、品物入用の筆法ニテ買取候事也、三井も随分割高の品、買入候様傍見致候

但し当方ハ最初 24 ペンスソコ々々と申上置候ニ付、夫以上ナラハ無論買入見合せの決心ナリシモ、其範圍デモアリ、其前 P/S 買入品平均致候ハ、廿二片半前後ニ可相成ニ付、又或は毛糸会社ニ於て、年内ニ御入用の事とも被考候ニ付今送仕候

但し前記の外 “Sandalwood” 六俵ハ、東毛宛ニ P/S ニテ 20 ¼ ペンス基算ヲ以て買入置候事ナレ共、セリ市ハ意外割高ニテ、跡一寸廿片半御指直ニテは買入見込相立チ不申 (唯今の処)、此方へ持合之事も不便ニ御座候間、B 二ハ勿論毛足も短く不向きニ御座候得共、其替り直段も廿片四分ノ一二付、御辛抱可被下候哉と併送致候、B 混合用ニモ不適ナラハ、D ナリ其他へ御振替へ被下度願上候



Z宛ニは、因幡丸ニテ少々 *Burry* を大目ニ見テ太毛裾物買送り候ニ付、十七片四分ノ一と申、予算外安直と相成候得共、セリ市ニテハ此種 *Broken Pieces* の類、特ニ高直、恰も戦前の如ク一寸気の聞タ品は 10% ペンス前後ニ売行、廿片以上の算当ニ売行、手も足も出不申、遂ニ一俵モ買入能ハサリシ次第也

而シテ前記の「サンダルウッド」印の *Naks* 六俵七片半 *P/S* ニテ買入置候分、千住宛とも存候得共、Zニは細キニ過キ候得共、直段如何も割安ニ付、御辛抱御引取可被下事と確信して今送仕候、若しZニ不向ナラハ、何の原料ニ御振替被下度、是亦奉希望候

王子注文のMBも御急キの事と存候得共、当周セリ市の出品は品柄不良の上ニ意外の高直ニ付、皆々英国行と相成申候、僅々二口ニテ廿三俵今送仕候、ホンの御口汚しニ相成候のみと存候得共、辛抱可被下候、メルボルンニテ適当品割安ナラハ買入レ、セントアルバンス号ニテ百俵斗輸出仕度存居候得共、割高ナラハ後れ序ニ日光丸迄見合せ可申候

神戸上げ *Sed* MB *30s* 百俵斗、大急用御注文ニ付、皮毛 *Sed* 探索、漸く *Sydney* ニテセリ市前十一俵割安ニ買入れ申候、又 *HJD* ニテ三口取合五十俵買入申候、此分頗る高直ニテ、平時ナラハ無論イヤニ候得共、急用の事故、高きを承知ニテ買送申候、洗上げ廿片位ニ可相成候、殆ントメリノ同直ニ御座候得共、不悪御承知被下度候、何れの御注文ニ哉、一寸判断ニ苦ミ居候

却説、唯今は英国当用に大アセリニテ、NZクラッチクの如きも大ニ割高二騰貴仕居候位ニ御

座候得共、いつ迄も軍用品宛ニ買占ラレ候様ニハ難考、殊ニメBは南亞南阿ニも沢山産出在之候間、如何ニロンドン及濠州の売方問屋ニ於て、セリ市出品ニ制限を加ヘ候共、如斯人為的相場引上策を以て幾億円ニ価ヘスル羊毛の産額を無事ニ好価ニ売捌候事ハ、あまりニ虫の宜敷過ぎる義と奉存候、然らハ何日迄期待スレハ下落歟の点が問題ニ御座候得共、遅くとも年内、早けれハ十一月十日十一日、四萬俵以上の目録の時ニハ、屹度下落すべしと存候、何トナラハ英国筋のみては、到底引続き買煽り不申筈と確信致居候、兎二角、メルボルの市況ヲ確メ候上、更ニ補筆可仕候、筆者ハ来ル廿九日メルボルン出立、三十日ニは歸店の筈ニ御座候

以下十月晦日認

筆者、昨正午前歸店致候得共、種々多用ニ付、今便補筆仕兼候間、次便セントアルバンス号迄御猶予可被下候

但し、羊毛市況ハ別送月報ニ由リ御披見被下度候

は幸ニ取引成立の見込、御返電好望ニて大ニ勇氣を増し候、目下、マントへ極秘交渉中ニ御座候、積出し至急応需出来ル様祈居候

汐肉

馬具

幸ニメルボルン滞在中、連邦陸軍省次官ニ面会、種々様子承知致候得共、昨夕東支へ返電の通り、被服廠の工場にて自製ニ付、海外輸出の限りニ無之、民間製造ニテハ二三店ニテ引受候テハ時日ヲ要し候ニ付、政府の指名の方へ目下照会中ニ付、御好ミの如くオイソレと御返事不出来ニ御座候

申迄も無之候得共、貴地政府より証明ナケレハ、輸出ハ不可能と存候間、一概ニサツター老人ヲ目的ニせず、其筋の意向御慥メ置被下度候、御注文ハ或は露国宛ナル哉も難計候得共、此方は日本政府宛として運動罷在候次第二御座候、萬御除才ハナケレハ、此事ハ約定確メル前、特ニ御注意申上候事ニ御座候

下半決算

別紙古立氏宛郵寄致候間、御通覽可被下候、守田生より内訳粗述仕候通りニ御座候、尚次便補述可仕候

着信

イイスタン便 367 号及四方君御状共、昨日到達拝見仕候

信用状

先達、井上正金頭取来神ニ際し、種々御尽力被成下候趣奉多謝候  
今朝も追カブセテ全濠へ四萬£、共同へ壹萬£着電案内在之、是亦御礼申上候

大正三（一九一四）年

三六三

生憎は本月は輸入部の為替六千八百五十£斗支払の為メ、手元余融無之、僅ニ壹千磅余の無為替ニ相成候得共、貴會計部にて御勘定被下候上、事情御了解の義と奉存候、尚次便より精々多額の無為替送貨尽力可仕候

大毛重役

交迭ニ付テハ種々御心配被成下、是亦大ニ感銘罷在候、先日 *Engles* の話にてハ新重役も惣辭職の由、ハラムより着電と伝承候得共、夫程ニハ至らすシテ協商行届き候事ニ哉、兎ニ角、仏国派の稲畑氏も時局の關係、如何共致方無之、当分ハ貴店の甚大なる御計画と誠心的行動ニ由り、取引繼續行届可申哉二期待仕居候

尚、余は来周出帆の *St. Albans* 便にて可申上候、草々不尽

北村生

第七六八号信 大正3年11月4日 セントアルバンス号便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓、兼てはブリスバン羊毛セリ市の為メ、筆者本周同地へ出張の筈ニテ、切符まで用意致し居候処、馬具等緊要の用事生し候上、幸ニ当地セリ市日順変更致候ニ付、態々ブリスバンへ出張、是非買入不致共、次周より当市ニ於て活動致し得可く候間、Cosのみ出張致させ、適当品割安ナリシニハ二三百貨買入可致様命令致し置候、愈本日午後の市況如何在之哉？、マダ格別の下落ヲ著スマデニハ不至哉と存居候

過燐酸

肥料ニ付、種々御心労相掛ケ候ニも不抱、遂ニ不調ニ終り、遺憾千萬ニ御座候、初メ交渉開始の節は、独乙よりの輸入中止ニ付、是非入用の意気込ニ在之候処、其後各地の早魃は益廣大ニ相成、農家への貸金ニ制限（大概肥料屋ハ收穫の小麦売却ヲ仮抵当トシテ、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>ニテ取引致居候）の必要起り、販路の狭小トナル一方ニハ、硫曹お馴染のハッセル商会等、輸入超過分安売開始、内地製造家の競争ニテ形勢不利ニ陥リツゝアル折柄、十二月積四千噸の御照会ニ接し、此方ハ<sub>2</sub>5<sub>00</sub>口仙を以て、是非取引方苦諫致候得共、第一、一船ニハ数量過多（実ハ此方の相手が大商人ニハアラサリシナリ）、第二、着船後の倉庫借入ニ付、当地及メルボルンニテ種々苦心シタルモ、

大正三（一九一四）年

三六五

適當の貸蔵無之（棧橋より遠方ニテハ、車力賃ニ重ニナル故ニ）、加フルニ従前、独乙品ハ 53/2/6 cife の処、£3ニテモ転売品手ニ入り候景況と相成、一時四千噸を輸入するニハ、無尠共 51 方位ハ割安ナラサル可カラスとの言明ニ候、然ルトキハ到底貴方の元直と運賃ニ算當シテ、引合フヘクモアラスと存候得共、先方希望之通り 52 1 ナラト返電申上候処、定メテ馬鹿ら敷直段ニシテ御見捨被下候義ニ存候、如何共致方無御座候  
電料半分ハ徴収致候得共、半分ハ損の上、手数まけと相成申候

〔欄外書込〕

此方小売直段ハ、停車場届け四磅ニ志六片より四磅五志ニ候、而シテ田舎の仲買口仙トシテ 51 の割引習慣ニ相成居候趣、何レモ六十日払 52 ニテ期日更ニ延期スルナリ、多くの場合ニ於テ

小麦

今や戦争の余波、英国及其属国（或は同盟国ハ差支無之筈）へ輸出禁止之上、在荷の買占メ相場引上ケ等の投機者予防の為メ、既ニ御承知之通り、当地政府ニ於テ最高 4/6、麦粉 £9/17/6 と定価布告相成、其筋の商人の迷惑不尠、今後新麦出廻リト相成候暁ニハ、如右相場抑制令ニハ農家ニ於テ苦情ヲ持出し可申評判取ニ御座候

然ル処、如前記、当州中のリバリナ全部、其他の麦産地ニも降雨不足の為メ、非常の收穫減少、南濠州ウイクトリアニ於テハ、一層甚敷予測ニ御座候、如別紙、

	1912/3 年度	1913/4 年度	1914/5 年度予想	昨年二比シ
Victoria	26, 223, 104 B	32, 936, 245 B	5, 000, 000 B	僅二一割半作
NSW	32, 487, 336	38, 043, 360	14, 500, 000	約四割作
SA	21, 496, 216	16, 936, 988	3, 000, 000	僅二一割八步作
WA	9, 168, 594	13, 496, 242	1, 500, 000	// 一割二步作
Q	1, 975, 505	2, 053, 783	1, 500, 000	約七割作
Tasmania	630, 315	421, 380	500, 000	約一割半增收

右の Estimate 後、多少降雨在之候得共、既ニ遅キニ失シ、麦作の回復ニハ格別の恩恵ナキ模様ニ御座候、果シテ然ラハ、明年ニ於て南米辺より多少の輸入可在之も難計、到底日本への輸出等は算外と存候間、予メ御含ミ置被下度候

玉葱

御来示之通り、厄介ナ事ニ御座候、全く此方の約定の條件が悪カリシニ御座候、其要ハ「六月積の葱ハ、十分成熟シテ大丈夫ナモノナラハ輸出スヘク、多少疑点アラハ輸送中止セヨ」と在之、当時其通り電報御通知申上在之候趣ナルモ、是ハ貴店の判断ニ大ニ迷惑の事ニテ、御輸送の時ハ大丈夫との御鑑定ニテ御取計相成候段無理なし、然ルニ着荷ハ案外腐敗多く、其上此方相場下落

の時ナリシヲ以テ苦情相起り、代言人（昨年と同人）へ鑑定致サセ候処、何分ニモ“Surveyors' Certificate” 177 “as Dry as any other”等曖昧の事、記載在之ノミナラス、従前の如クロイド代人ニハアラス（ロイド迎、玉葱の専門知識アル人ニハアラサルヘキモ）等、訴訟勝算見込ミ無之由申候、又七月の日光丸は幸ニゴテ々々ありしも、左程ニモナク落着の処、八月の因幡丸、是ハマニラニ一周間近くも碇船中、多少の損害ハ不免処ナリシモ、兎二角、品物不宜、加之、神戸の何者より歟、〈K〉の玉葱は電燈ニテ夜分撰リタルモノニテ、成熟不足のモノナリ杯、中傷的報告ヲ買方へ通喋致居候由、益苦情の火の手上り、初メ一噸 511 位の事ナラハと交渉致候得共、中々相手ニ相成不申、遂ニ代言人の手ニ渡り候得共、訴訟トテモ如前記勝算無之、元々此方の手落トアキラメ、先方代言人費用ハ先方持トシテ、金額 5300 支払帳消致候、馬鹿敷々々次第ニ御座候得共、致方無之候、其他、多少手元ニ費用も相掛り候得共、決算之節 5600 サスヘンス勘定へ操込置候間、昨日御返電致候純益ニハ関係無之候

幸ニ此半季ハ輸入部成績、前々よりも好結果ニ付、思切り宜敷候得共、去り迎テ骨折リ心配シテ新平民の如き相手ニ弁金ヲ取ラレタル事、口惜キ限りニ御座候、御同情被下度候

## 決算表

副別紙同封仕候、肥料の中止、小麦皆無、加之、時局の影響ハ輸出額ニ大減少ヲ来シ、昨年同時の五ヶ月ニ比シ約四十萬円減、一昨年同時六ヶ月ニ比シテハ六十萬円の不足と相成候段、遺憾不尠候、乍併、其後混脂類其他増加のものも在之候間、何卒、来年三月終日ニ於て相当の収益と



相成候様、今より祈居候

但し筆者義、又々 £170 余の貸勘と相成、申訳無之候得共、實際夫たけ入用ナリシ義ニ付、不悪御用捨奉願上候

Hughes top rebate 之件、先日 Hughes 氏二面会之節、是非継続承諾の事、ハラムへ返電在之候様希望する旨申聞候

処、熟考中との事ナリシモ、其後貴方御希望之通り、へKへ全体ニ通用の事ニ協商行届き候様祈上候

露国軍需品

二付、サッター氏大ニ肩入れ致呉られ候趣奉多謝候、何卒、貴店より宜敷御伝礼置被下度候、過日来、再三往復中の馬具汐肉等、全く此方面の照会と奉存候

濠州騎兵用鞍之義は、過日筆者メルボルン滞在中、陸軍次官 (Secretary for Defence Dep't) 二面会致候、此人は故ホード少将の親友ニて好都合ニ種々注意致呉候、而して右国防局ニ於ては、先年自家ニ於て工場ヲ設け製造致し居候〔後略〕

筆者、一昨日来、当市各方面巡回致候得共、入江君店報ニも記載之通り、多くは小規模の工場のみにて、老萬個の供給ニは中々容易の事ニ無之(当地工業連合会議所ニテ取調タルモ)、幸ニ一

個可信用屋ニ見当り候ニ付、此手を以て当地メルボルン及アデレードの三市の重ナル製造家へ交渉し、約二ヶ月乃至三ヶ月ニ輸出出来候様の予定ヲ以て、目下交渉調査中ニ御座候、如前記、被服廠的工場の実費、騎兵用の馬具全部（鉄アブミ、クツワを除き）五磅十五志三片との事ニ候得共、民間にて製造すれハ二割方位ハ高直ナルヘシとの次官の話ナリシモ、一時ニ原料買集メ等、或は相場騰貴のものも相生し可申、旁更ニ一段高価ニ相成候哉も難計ト危惧罷在候、尤も品物ハ箱入荷造前、陸軍士官ヲ以て逸々検査之上受取候筈、其検査官ハ防備局より周旋致呉ラレ候様、口約在之候

前記アブミとクツワなしニても不苦候哉否、昨日不取敢、打電御伺申上候、目下英国より輸入の事ハ中々困難ニ在之、或は東京其他陸軍工場ニ於て補助製造出来不申哉、若し出来レハ大ニ好都合ニ御座候、多分御取調中と奉存候

又前掲「ナムナーパナル」と在之候ものハ、鞍の土台（スケルトン）の如きものにて、普通金属製のものも在之候得共、濠州流ニテハ木製の背当ニ鉄力銅ニテ拵ヘタルモノにて、特別の材料ヲ要し候由、而シテ民間ニ於テ右木材不足の節ニハ、政府約定分ヲ転売シテ呉レ候事ニ相成候、此品斗ハ 26、原価と承り候

兎ニ角、兩三日中ニは具体的の御返事出来可申、折角配慮仕居候

汐肉  
の事、店報よりも記載之通り、目下、肉類相場騰貴の折柄 Prime full body ニは一片乃至一

片半以上も高価と相成、且ツ他の需用の關係上、供給も遅延候由ニテ、此処ブリスケット（胸部の両脇肉）骨付の俣樽詰メの直段、二百封度入 74/1<sup>top</sup> 皆掛約三百五十封度見込ニテ運賃通算 (Freight 38/6 per 20 Cwt) 82/1 神戸着と申上候、尤も此種の汐肉ニは、普通式割前後の骨付ニ相成居候由ナルモ、為念約 22% 骨入と打電仕居候、結局、一斤五片弱相当ニ相成候事也、果シテ御注文被下候哉、一寸六ツケ敷ものと案事居候、但し愈御注文被下候上ハ、一ヶ月二百五十噸の処、三百噸位ニ増加急送ハ行届き可申見込ニ御座候

サッター老人より当地政府、又は連邦政府へ輸出認可の事、電照致被呉候事ハ、兼て打合せ之通りニ御座候得共、唯今、此方にてハ全然日本の政府用と申シテ運動仕居候事、既報之通りニ御座候、無論、露国も同盟軍の味方ニ御座候間、蹉跌ハ無之筈ニ御座候得共、約定前ニ貴方より確報を得度ものニ御座候

### 輸出禁止

今朝の貴電メリノ云々の條、少々意味深長ニシテ難解候得共、決シテ御心配の事ナク、日本は同盟国ニ候間、大概の禁止品も認可ニ相成筈ニ御座候間、即刻一電御返辞申上置候

ブラットホード先物<sup>top</sup> 相当御約定出来候趣、一寸妙ニ存候、ホリングス氏より時々貴方へ打電致居候哉と存候、昨今は、

64 s 31 1/2 ペンズ      Super 60 s 30 1/2 ペンズ      Com 60 s 29 ペンズ

大正三（一九一四）年

56 s 28 ペンズ

50 s 25 ½ ペンズ

46 s 22 ペンズ

40 s 20 ペンズ

との近電ニテ、メBは勿論お話ニ相成不申、メリノ逆も頗る割高と存候間、余程の割引でも無之候テハ、御約定の運ニハ致間敷筈と想像致候、殊ニ本日 Hughes のアンダーソン情報ニ由レハ、Type 3 先約三十片ナラ引受ケル考ニテ、ハラムへ交渉中の塩梅、果シテ然ラハ、ブラッドホードよりも此方割安之筈ニ御座候、夫ニしても一昨日の ≡ Top 半片落御照会ニ対し、四分ノ一たけ直引為致返電申上候ニ対し、今以て御返事無之ヲ以テ見レハ、栗原氏ニ於テ Hughes の品の直段と天秤ニして御勘考中歟とも存候

兎も角、日本行輸出ハ何の故障も無之候間、ズン々々御売約被遊被下度候

羊毛

王子宛メB買入直段御尋問ニ対し、昨日御返事申上置候、右はメルボルン買入分ニて、丹後丸積のシドニー品ハ少々見劣り致候得共、直段は割安ニ相成居候

本船積 44 及 46 二口の見本も少々不同の品在之、見本としてハ純当ニ無之候得共、初目録の出品ハ兎角優等の揃物無尠、特ニ今回の如キ、メB狂奔の折柄ニ付、不得止、急場の間ニ合せ候事故、不悪御承知被下度候、夫ニしても御指定の 100 見本の如き色悪の品ハ至極払底ニ候間、濠州原料ニテハ右見本よりハ優等品と相成、而も原価高直ニ相成候テハ、何ニも成らずと存候、実況御洩し被下度候

X I、X II 不足分及東京毛織宛想像の 108、103 等、次周当市の出品中適當品無之候ハ、不得止メルボルンへ再出張、日光丸二間ニ合候様、成行買送可申考ニ候

加古川及千住の注文も在之候間、筆者の不在ハ甚不便ニ御座候得共、次周のセリ市の様子にて大概 Basis ヲ定メ、Coss ニ任せ、多少買ハセテ見ルモ經驗と存候間、一周間同人の独断ニ委スル考ニ御座候

先住宛二種のメBは品物優等、テンダーなき品の御好ニ付

Type 54 毛糸用 50/6 s Staple 4 ½ "

" 107/8 セル地用 56/8 s " 3 ½ "

の標準ヲ以て、前者 21 ½ ペンス、後者 23 ペンス Basis と御通知申上置候、其中多少下落して 20 ペンスの 21 ½ 位ニハ可相成と存候得共、若し急用ナラハ、前記迄御任せを希サルヲ得ス、頗る割高ニ候得共、時局の影響無止次第ニ御座候

過日、御來電のメB 50 手 Combing 用云々は 44、46 等と同様見本的のものと存候、是も日光丸ニハ是非間ニ合せ可申候

サウスダウン大急用の由ナルモ、如何共致方無之、是非十二月の常陸丸ニハ輸出仕度、Swiftへハ出廻り次第直段ニ不抱、買送れと申遣し在之候

Crutching 500 B/S up to 12 1/2 〆ノス Basis迄御奮発被下、早速 Swift 其通り打電致し置候得共、本月十三日クライストチャーチにて初市相立候事と相成候為メ、相对取引困難にて、前の口も尚二百俵斗不足ニ相成居候間、是非成行にて出来ルだけ買集メ可申様再電仕置候、丁度貴案の如く、蓋ヲ開ケタラ却て高直の再演と不相成哉と案事居候、カーキ又毛布等原料ニハ必需の品ニ付、此種ノ原毛、最も割高ニ相成候事也

兎ニ角、過日ザロンニ於て、メ B 10x Pe's Bellies Crutching 等寄せ々々品四十四俵買入置候、NZの品ニハ劣ル混合物ニ候得共、例のクラッチングならと申口へなら押込ニ御引渡し行届き可申哉と奉存候、尚来ル十四日出張のせつ、適當品アラハ多少共補充的買入申度存居候

〔欄外書込〕

此步留り早急の鑑定ニ付、確實とハ難申候得共、大概大丈夫ニ見タ考、而シテ其洗上げ直段は約十一片半前後と存候

Pe's & Bellies は丁度新季ニ入り候間、NZ之供給は沢山可在之候得共、直段果シテ如何、目下照会中ニ付、一兩日中ニハ御返事致し可得哉と奉存候

加古川 G1 号 G27 拾萬斤、第一回御注文被下奉謝候、精々手早く買埋メ可仕候、120 号五百俵  
斗前季の残注も買送りの事ニ手準仕居候

昨年度上納千住宛羊毛、折角苦心の効能ナク、大倉組の次位ニ相成候由、落胆の限りニ御座候、  
多分品物ハ優レルモ直段高く、同一用途ニ付、役ニ立テハ割安の方第一位と相成候義と存候、筆  
者少々気魂も尽キ候間、本年は成行ニテ精々尽力可仕候、毎年不勘注意撰扱致し居候得共、頓と  
夫たけの効能相見ヘ不申、骨折ルダケ馬鹿ら敷存候間、成行不注意ナキヲ保シ、行当リバツタリ  
買輸可仕候、夫ニても結果ハ同じ事歟も不知と存候、不悪御承引置被下度候

王子宛メリノ優等細毛三十俵注文残りニ相成居候処、過日デロンニテ適當品見当り候ニ付、皆送  
仕度直入仕候得共、遂ニ二十一俵たけより落札せず、甚御迷惑察上候得共、メBと併送仕候間、悪  
からず御承知被下度、跡廿俵斗も可成早輸可仕候

尚々、大倉組員橋木弥吉郎生ハ親父死去の電報ニ接し、家事上無止、急ニ丹後丸ニテ帰朝  
致候

Top Conditioning 二付、藤井君御来示之件、御尤もニ御座候、Hughes & Wild 等ニ就き研窮可仕候、但し平常当地

の空氣、比較的乾燥致し居候ニ付、夏季の如きウイツドン工場ニ於テハ、コンミングの機械の上  
空ニ水吹き器ヲ装置し、応当の水分を羊毛ニ含マシ居候、是ハコンヂシヨンの目的ニアラスシテ、  
羊毛乾燥ニ過クル時キハ、脆弱トナルの患アルノ故と伝承仕居候

要ハ貴方ニ於テ乾キタル「*top*」も、水分多キ「*low*」も、織上ケの結果ニ著敷甲乙ナキニ付、寧ロシ  
メリたる品ヲ好ムト云フ理屈ニ相成候得共、尚前記両先生ニ就き大ニ講窮為致可申候

最近竜電一ヲンス廿二片十六分ノ三と在之、未曾有暴落と存候、支那向キ棉糸其他の輸出ニハ大  
影響と存候、幸ニ聊ニテもタオル其他の原料、割安ニ御仕入行届き候様祈居候

人事

「関善人の入店、藤井の大連出張などについて翻刻省略」

以下、十一月初五日認

J. Kitchens Ltd

伝聞ニ由れハ、此会社全体も遂ニLBへ併合？買取？サレ候様子ニ御座候、此会社は御承知之通  
りタウンスヴィル、ブリスバン、シドニー、メルボルン、アドレード及西濠州、タスマニアニ迄  
分工場在之、資本金は目下払込済一株£4ニテ廿一萬七千七百十二株、此金八十七萬八百四十八



磅ニ御座候、此四磅株ヲ£6ニテ買取、売渡の協議行届たる如クニ御座候、而も今後の營業方針ハ如何変更可在之歟ハ我等未知數ニ候得共、按するニ、キッチンハ矢張同名義ニテ繼續致候事ナルヘク存候、尚精探之上御報可仕候

豆油

の暴落は、逸々欧州輸出閉塞ニ基因スル義と存候得共、銀価の暴落より滿州との為替相場の差ニテ大ニ割安ニ相当致候事と存候、メルボルン滞在中、JKへ交渉候得共、同品を使用スルトキハ石鹼黒帶色と相成候為メ混用する能ハす、況ンヤ、タロー類の下落ニ於テヲ哉と申居候、但しLBニテは多年の信用と広告の効能ニ由リ、「サンライト」の名は石鹼の色位ニハ關係なき由ニ御座候

青島

膠州湾防備の砲台は大概鎮滅ニ歸し、將ニ守備軍の開城旦夕ニありとハ、兩三日前サッター老人よりの電報新聞上ニ散見致候、何卒、一日も早く此方面の落着を希望致候

今ヤ又、土耳其の新ニ獨軍ニ加勢して同盟軍ニ抵抗の端を開き、近き將來ニ於て伊太利ハ三国同盟ヲ脱し、却テ三回協商軍ニ加担シテ開戦の区域ニ入ルヘク、一層の大葛藤と相成可申候、何卒、プロジヤーマンの米国会衆国と日本との開戦ニハ不相成様祈居候、之レ敢テ米國ヲ恐ルヽニハ無之候得共、今ハ其時機ニアラスと被考候、併専門家の意見は如何ニ哉？

## 乗馬

本年度も東京騎兵学校用、例年之通り御入用の趣承知仕候、然ルニ時局の結果、濠州軍隊の需用増加の上ニ印度陸軍への輸出も増加致し、適当品の払底と共に直段も大ニ騰貴致候事、自然の成行ニ御座候、尤も過日防備局での話ニては、乗馬平均廿一磅前後、輓馬廿七磅前後との事ニ候、尤も馬格適當すれハ、十才以上も採用致し、高サ毛色の如きも不同差支ナキ筈と承知仕候、此外出張士官其他運搬費用ハ別ニ御座候

併両三年継続の注文ニ候間、本年無滞供給出来候様、マグ氏へ通牒致し置可申候、同人も政府雇ト成り地方へ出張、馬の検査官ニ相成居候

## 羊毛再記

昨夜打電仕置候通り、ロンドン市場ハ僅ニ四萬俵余の出品予定ヲ以て開会、英国内地機業家の競争ニて、メリノ上等 Com Par to 5% 高、中等以下ハ Par to 5% 落、メBは一般ニ前回よりも 5 to 10% 高との事ニ御座候、売方問屋ニ於て着荷の大部ヲ自由ニ offer するニ至らされハ、当分下落は在之間敷歟、サルニても南米よりの New Clip も近日ロンドン着荷可致ニ付、一月ニ入レハ多少の下落ハ受合と存候、而も直段ニ不抱、入用の軍需注文の原料一段行渡り不申ては、下落の現実延引スル次第ニ御座候

当地杯ニても引続きカーキー絨、又ハ毛布毛糸の注文発布相成居候

輸入品

ブリスバン定市も、予定の通り一萬二千俵の出品にて、直段は記すへき騰貴ハナキモ、前来シドニー、メルボルンの Basis 一比ツ very fine、特一 Pe's の Bulky のもの割高にて、東京モス一号、加古川乙も遂ニ買入レ能サリシ由、昨夜 Coss より入電ニ御座候、而シテ御存しのマクレゴア生買高ナリシ由  
併来周の当市場にては、是非御指直にて相当の俵数買入申度、期待罷在候

独乙品輸入中絶ニ付、類似の品日本よりも輸入致度、貴方の御尽力ニ加担シテ一取引成立為致度、係員も大ニ奔走致居候、差詰め、セメントの如き貴方相当の製出供給アル品、保証之上、直段適當すれハ数量ハ纏りたる手合出来可申見込ニ候、一昨夕、輸入部より、不取敢、発電致候分ハ試験的のものと存候、見本十樽御送付、夫々試験して風化其他の欠点ナク、当政府の Test 二合格すれハ、五千樽壹萬樽ハ容易の事と存候、但し戦争前独逸品ハ 60 c. 一ナリシ由、以前ニは樽一志の税金も内地工場設立已来、目下は 1 cwt 二付 一の税率ニ相成候間、一樽ハ約 3/5 相掛り可申候、要ハ元価安直の品ニ付、運賃の多寡ニテ仕事の可否を決セラレ可申候、而シテ毎月数百樽の御輸出よりも、社外船ニテ数千樽纏メテ御積出し相成候ハ、大ニ割安の運賃ニ相成不申哉、大ニ御研窮被成下度候

〔欄外書込〕

呉々も製品ニ不同アリテハダメニして苦情相起り可申ニ付、精煉の品必要ニ御座候

本品ハ多年の御経験も在之候様記臆仕候間、萬々御徐外ハ無御座候得共、特ニ為念御注意仕候、三井ハ小野組ヲ、増田屋ハ淺野ヲ取扱ヒ可申哉ニ承り候、東亜の製品、果シテ前二者ニ匹敵シ与フ候哉否哉、製品サヘ大丈夫ナレハ、規模ノ小ナルハ敢テ差支無之候

木筆類、茶色包紙、セルロイト製品（既算品杯ハ種類多く金高少数ニ付、取扱ニ不好候）等、新規の品アリソーナものと存候、尚研究可仕候

電信用のインスレーター杯、過般來、大分具体的ニ相成居候塩梅、是非政府の用品約定引受け度きものニ御座候

右

北村寅之助

書簡 大正3年11月24日 日光丸便

北村寅之助↓横浜正金銀行山川勇木

拝啓、平素は意外御無沙汰ニ打過ぎ居候段、幾重ニも御海容奉希上候、不相更、御健勝ニ被為涉候御義と遥ニ奉賀候

先達来、欧州大陸ニ於て未曾有の戦乱相起り、竜動金融界俄ニ大変動を生し、為替の相殺上非常の影響可在之、彼是御自衛上、外国より輸入品ニ対する信用状発行、頗る難渋と相成候趣、弊本店よりの情報ニ接し、不一方痛心罷在候処、其後ロンドンの金融界緩和の御見込相立ち候と共に、引続き信用状御発送被成下、以御蔭羊毛其他の注文品ニ対し無事取引出来候段、全く貴行御庇護の賜物と深く感銘仕候、尚乍此上御愛顧御引立之程、伏て奉懇願居候

濠州一般の市場も戦争の影響を蒙り、相場は下落の一方ニ御座候、只タ肉類のみは時節柄、本国への輸出頻繁ニして寧ろ騰貴致居候、羊毛の如きも開戦前、則ち本年六七月頃の最高市価ニ比シ、メリノ細毛ハ三割前後の下落ニ候得共、軍絨原料ニ需用増大の為メ、雑種の太毛ハ却て高直ニ売行居申候、但し本品も敵国ニ対シ輸出禁止の一ニして、中立国なる北米合衆国、スエーデン、ノルウエー杯もプロゼルマンの危惧在之、殊ニ米国ニハ独人多く、其勢力軽視すへからず、表面米国名義を以て買出し、更ニ米国を通過して独逸ニ再転供給の目的の品不尠を觀破し、濠州連邦政

府ニ於て羊毛羊皮類、断然米国ニ対し輸出禁制を励行致居候、夫か為め牧場荷主等の不平頗多、又米国商人等よりも解禁方ニ付、種々運動致居候得共、唯今の処、奏効無之、此際労働党の施政としてハ感心之至ニ存居候

御聞及之通り、此方より弑萬余の軍隊と輜重等、既ニ出動仕居候得共、市中ニハ格別の変化異状無之候、只一時、印度洋ニ出没して多大の損害を与へたる独艦エムデン号を、過般、濠州艦隊のシドニー号が撃破擱座せしめたるハ、中々の人氣ニ御座候

昨今の処、小売商店の如きも、未た夫れ程の波動を蒙り不居塩梅ニ御座候得共、戦争の永引候中ニは、相当の打撃あるへき筈と内々警戒仕居候

欧州よりの輸入不便と相成候原因と、日本内地の相場下落との關係ニて、輸入品の方ニも此際多少共、取引拡張仕度、折角尽力仕居候次第ニ御座候

右御礼旁久々御伺迄、如此ニ御座候、敬具

シドニー市兼松支店

北村寅之助

第七六九号信 大正3年11月24日 日光丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓、三百六十八号貴信及東京支店去月十六日付前田君御状到達、辱拝見仕候

信用状

御尽力の結果、引続き御打電被成下、頗る好都合ニ御座候、近時羊毛注文相重ナリ居候得共、經濟上後顧の心配無之、詢ニ結構ニ御座候、此段奉厚謝候  
別紙写之通り、山川正金副頭取へ乍延引礼書差出し置申候

無為替

近時、御表より輸入金高の増加と無為替御送貨被下候結果、双方にて不尠便益を得申候、但し今便ニは壹萬磅已上、輸送の推案ニ在之候処、マント倚托の牛脂代支払、SSC混脂積出延期の希望ニ反し、元方ハ約定励行を迫り候為メ、代金支払、荷物ハ棧橋へ常陸丸迄預ケ置事ニ示談致候、右二口にて三千磅の操延へと相成候、尤もハラム送金ハ100のヒュース入金も在之、是非七八千磅だけは今更輸出の考にて手配罷在候

過燐酸

東支へ種々御厄介相掛け、而も売約不出来、赧顔之至ニ御座候、東京御交渉の段取ニ付ても充分

大正三（一九一四）年

三六三

恐察致居候得共、未た纏り不申、現ニ過日、丹後丸積一千噸〆〆〆御飛電之分、早速相談致候得共、不得要領、本日迄待合セ候結果、メルボルン揚ニテ、同地ウイリアムスタウン棧橋着ナラハ引受可申様、返事在之候得共、NYKスペシアルフエボアの運賃ニ付、メルボルン普通の場合ナラハ承諾可致も、河口外の棧橋（P & O 其他欧州郵船の発着スル処也）へ迄、態々廻航致呉候様ニハ難考、依之、是非ヤラ河棧橋着ニテ辛抱可致様、本日午後、メルボルン支店へ掛合中との事ニテ、又々貴方への返電延引仕候、当店は〆〆〆ボツキリ無口仙ニテ掛合居候、貴電少々不判然ナレ共、「4%位の事ナラハ、カウンターオフア」せよとの事故、或は当店口仙位ハ、貴地ニ於て御コヂ付け被下候哉の見込ニ御座候、幸ニ若し此千噸約定出来候ハ、今後の端緒モ開ケ可申ニ付、無口仙ニても手合仕度覚悟ニテ応接致居候得共、不成効遺憾此事ニ御座候シドニー揚は既ニ他の製造元（当地の）と特ニ利方ニ約定済ニ付、当分不用と申居候此 Paton, Burns & Co. へ申者より横浜の野沢組へ交渉したるも不成効ナリシ由、同人申居候

セメントカーバ  
イト

等ニ就ても種々尽力為致居候得共、纏リタル相談成立不致、残念の事ニ御座候、品物の保証も八ケ間敷、内地製の競争も在之候間、マントを以てクインスラント方面へも照会中ニ御座候東亜セメント会社ニ於テ、竹輪樽ナラハ数千樽ニても直ニ輸出ニ応スルの設備在之ニ哉、又品物着之上、試験の上ナラテハ取引不出来の向キ不尠候間、例の風化其他の欠点ナキモノ輸出被下候事、最も注意を要し候



露国軍用品

カアバイトは独乙のトラストの手を放れ、スエデン、ノルウエーより直接ニ徐々輸入の途開ケタル哉ニも伝聞致候

供給ニ付、藤井君主任となり、種々御奔走、東支ニ於テモ補助御尽力被下候趣奉謝候、生憎汐肉は最初ニ割高ニ quote 致候為メ、米国との競争ニまけ、其後直引致候得共、既ニ遅カリシナルヘク、今以テ御返事無之、多分落第と存候、併是は元方の罪ニ付、致方無之候

馬鞍は多少御見込可在之御返電ニ付、大ニ有望と存し、元方へ返辞猶予を申込ミ、先方も時局ニ鑑ミ、最後の約定を期待致居候処、段々延引、何等要領を得ず、然ルニ本品ハ当地トアドレードの工場と組合ニテ引受予定の処、右南濠州取引先ニ対し、ソータ々返事延引ニテハ猶予もならずと申候ニ付、無止ハ成行ニ任スベシと相答置申候、愈注文と相成候ハ、用意も中々在之、近来、連邦政府より臨時注文品の入札も頻繁ニテ、革類の現品騰貴の傾向ニ在之、旁先方ハ釜敷申候事も無理ナラヌ次第、露国の事ム官トヤラハ、果シテ何時貴方へ着到相成候事ニ哉

サッター老人、製靴工場の List を以て注文引受けの事、相談在之候趣ナルモ、東京ニ於ケルト同様、六百萬足は扱置き、百萬足の注文ニモ応候得へき工場ハ皆無ニ御座候、過般馬鞍ニ付、三四ヶ処の工場巡回致候得共、何れも微々タルモノニテ、逆もお話ニ相成不申候

加之、生憎ニも過般メルボルンにて筆者へ種々報導を与へ呉候陸軍次官パスブリツヂ大佐ハ、俄ニナルー島（大洋島の隣ニテ、独領ヲ占領シタル処）民政長官トシテ赴任ニ付、若し馬鞍の注文

二接したる暁ニハ、検査其他の手配ニ少々面倒ナラン歟と案事居候得共、結局、御注文ハナキ事ニ終ル可キ歟と存候

War Risk

東京支店ニ於て御尽力被下候結果、9、10%の内より更ニ割引相成候処、近電ニ由れハ更ニ節減、遂ニ百円ニ付三十銭%にて往復共引受け相成候趣、左候ハ、殆ント痛苦を感じ不申事と相成安心仕候、全く「エムデン」撃破シヨーンホースト一派の艦隊モ南米沿海ニ奔竄致候ニ付、日濠航路ハ平安と相成候結果と存候

但し独乙の扇動ニテ、遂ニ渦中ニ投し候土耳其軍の進退如何ニ由リテハ、スエズ運河閉塞候哉も難計、果シテ然ラハ、日本への輸入よりも、日本よりの輸出品大影響可在之、NYKの如きも定期船一時中止等の事ハ無之哉、乍蔭案事居申候

余は各部通信ニ由リ御披見被下度願上候、草々不尽

北村生

第七七〇号信 大正3年12月24日 常陸丸便

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓、貴信 369 及 370 号ト半季計算表、四方君御状前田君御状等、無事到達辱拝見仕候、過日メルボルン出張中、チャンサー便にて申上置候通り、今便詳細御受可仕心得の処、過日来、風邪にて気分悪敷、敢て引籠り不申候得共、積荷の注意、羊毛月報何哉彼哉にて筆意不自由ニ在之候間、御返事ハ次便迄御猶予可被下候

羊毛も無事、常陸丸ニ積入出来、好都合ニ御座候、NYK割引対俵数の関係も在之、可成社外船ニは積入不致考ニ候得共、利息の勘定とBoA's等の不手際ニテ、又々積残りの危険も在之、無止オルテンハムへ三百七十三俵積入候事、今日ニ相成候テハ結局好都合ナリシ事ニ候、今少々の事にて今朝も常陸丸ニ其幾分ヲ Shut out される処ナリシ義ニ御座候

毎年クリスマス休日前後ニNYK出船ニ相成、我等別段休暇を希望不致候得共、相手なき仕事ハ出来不申、ギリ々々ニ切詰メ輸出手配致候事にて、一昨夜と昨夜ハ林広戸等、徹夜執務致居候次第ニ候、幸ニ月報も発郵行届、ヤレ々々ニ御座候、午後ハ又々年末心付ケ其他の送り品等、彼是雑用ニ追ハレ居候事、御察可被下候

御地も昨今ハ嘸々萬事御多端と奉存候、時下折角御自愛、店長初メ各店員諸君の御健康と嘉祥な

大正三(一九一四)年

三六七

る新年を迎られ候様遥ニ奉祈上候、敬具

右

シドニー支店

北村寅之助

尚々、前田君へ御倚頼仕候年始状、御送被下奉謝候、丁度格好ニ御座候、御手数之段御礼申上候、  
再拝

第七七一号信 大正3年12月30日 モントロ号便シンガポール經由

シドニー支店北村寅之助↓神戸本店重役

拝啓、常陸丸にて御返辞可仕候処、時間無之、延引仕候件、茲ニ御受申上度候、但し戦争後、独乙船停航、E & Aもエンパイアとイイスタンは御用船ニ被雇、僅ニセントアルバンス号オルデンハム号の二隻、香港止りのチャンサー号タイユアン号の古船の外はNYKのみニ御座候、随て次便は来月廿日の丹後丸迄ニは布哇經由の早便も無之ニ付、本船ニ托郵する事ニ致候

信用状

段々の御尽力ニ由り引続き御送電被下、詢ニ好都合にて銀行者ハ勿論、仲間取引先ニ対しても時節柄、大ニ面目を施し申候、常陸丸輸出、近来ハ多額ニ相成候間、残余ハ心細く相成候得共、丹後丸出港前、更ニ若干御送電被成下候哉ニ期待罷在候

為替取組ミの日数、一時は長期を嫌ひ候処、追々金融界の出入平穩ニ復し候加減歟、近日は左程八釜敷不申様相成候間、御放慮奉仰候

貴方より御取組の輸入品ニ対する為替は、既ニ支払済ニ候間、今後ハ集金ニ一層注意し、每便精々沢山無為替輸出の事、尽力不可怠候

大正三(一九一四)年

三六九

## 上半季決算

報告拜見仕候、仰之通り世間の不景況、戦争の影響も不尠折柄、我商店のみハ殆ント何等の波及も無きが如く、先以て満足の成績を得候事、御同慶之至ニ御座候、保護者たる正金銀行重役ニ対しても頗る順調ニして一層信憑を増加可致、只管、各店員諸君の真面目なる御精励を感謝致候、下半季ニ於ても相当の結果を得て、応分の配当出来候様祈居候

但し開戦後、為替率の下落ニ由リ、換算上一萬二千円斗も損害を蒙り候趣驚人候、非常の場合、何共致方無御座候得共、いつ歟、此反動ニて収益を増す時あるを夢想致候得共、而も委託式輸入品ニ対して為替の換算も共々、其勘定を注文主ニ転嫁する事ハ不出来ニ哉、此点小生等研窮薄弱ニ在之候間、御教示被下度候

膠原料の虫害大損ハ、一時の事ニ候得共、雜貨類の惣テが戦争の影響ニテ被害を蒙り候事、遺憾之至ニ候、殊ニクインスラント肉会社の大部を落札したる時ニ、此不幸ニ遭遇したるは一層残念ニ存候

疏安の損金は前期の老萬円余ニて沢山と存居候処、其残損尚三千円余を計上され候事、ウンザリ致候、今更愚痴ニ候得共、見込品の危険ハ能く々々味ふへき事ニ御座候

コロンボ麻御試売の処、少損ヲ来し候由、此商会 Percy H. Fradd & Co より濠州との取引開始致  
度様申来り候得共、唯今の処、其見込不相立様返事致置候

大坂人造肥料会社と歟、立派ナ名前の泡沫会社へ豆粕代引掛ケラレ候由、如命遺憾の至ニ御座候、  
畢竟 Stock が重積スルト、売リタイ々々が心頭ニ先立ち、知らず識らず手形の疑敷処へも取引  
する事ニ相成候、是ハ商売の通弊ニ御座候、依之、当店杯ニても須く見込品を嚴禁する方針励行  
の事、其原因ハ茲ニ胚胎致候

先達、藤井君より通知在之候、LB製品醜酵の為メ非常の損害を醸し候処、其三分一貴店御負担  
ニて六千円の損金弁償の由、成行無止処と存候、何卒、我商店の徳義と誠意のある処、サンライ  
トの本社へ貫徹致候様祈上候

四国の清水谷氏貸倒の内、四千円近く御回復行届き候趣、是は御同慶申上候

稲葉潤吉氏より利足として一千円余回収の由、是も御尽力奉謝候、此人がいつ迄も前々の借金の  
為メニ苦メラレ居ラレ候事、我等同情ニ不堪候

兎二角、来年三月末迄ニ拾萬円以上の純益勘定と相成候様、乍蔭祈望仕候

松木生

愈農商ム省留學生及第の由奉賀候、年内の便船にて南米へ出張の由承知仕候、併此戰爭中ハ格別の仕事ハ六ツケ敷義と存候、幸ニ健康の保全を祈上候

高橋生

準店員辭職之由、承知仕候

年末賞与

例年之通り準店員等外雇員等ニ対し、決算期を待タヌ年末ニ御配當の事、委細承知仕候

ハラム

Hughes の話にては、ハラム先生愈近日貴地出立、来濠の由ニ御座候、同人の先売約定は、余程Hughes の御氣ニ叶ひ候事と存候

サッター

老人帰濠の由、先達の貴方新聞紙にて承知仕候処、其後開戦の為メニ暫時貴方ニ引留マル事と相成候ニ哉、頓と消息承り不申候得共、御面会の節ハ宜敷御伝言奉願上候

先ハ右迄、本年も目出度攔筆仕候、敬具

北村寅之助



日豪間通信 大正期シドニー来状 第1巻 兼松資料叢書(大正編) 1

平成16年3月1日 印刷

平成16年3月10日 発行

(非売品)

編 著 神戸大学経済経営研究所

発行所 神戸市灘区六甲台町2-1

神戸大学経済経営研究所

印刷 神戸市兵庫区西柳原町3-29

岸本出版印刷  
有限会社